

□平成16年度 研究活動報告□

大谷藤郎総長

著書

- ・ 予防医学の二三について，予防医学，神奈川県予防医学協会創立50周年特別号，2004.12
- ・ 医療の政治・行政を見つめてきて，予防医学ジャーナル，2004.7

総説

- ・ 医療人として大切なことそれは人間を考えることだー倫理・道徳，職業倫理，バイオエシックス，法一，小児看護，臨時増刊号，2004.8

講演

- ・ 医療の政治・行政を見つめてきて，医療問題研究会傘寿記念講演，2004.4

所属学会

日本公衆衛生学会，日本生命倫理学会，重症心身障害学会

学会役員

聖ルカ・ライフサイエンス研究所（理事），全国精神障害者家族会連合会（顧問），日本栄養士会（顧問），ぼけ予防協会（会長），予防医学事業中央会（理事長），リハビリテーション振興会（理事長），日本漢方医学研究所（理事長），読売新聞社新老人大賞選考委員会（選考委員），若月賞選考委員会（選考委員），糸賀一雄記念賞（選考委員長），重症心身障害学会（名誉会長），日本公衆衛生学会（名誉会員），厚生省ハンセン病資料館設備整備等検討懇談会（座長），厚生省新医師臨床研修制度（検討委員），厚生省ハンセン病研究センター運営委員会（委員），国立がんセンター（顧問）

保健学部（看護学科）

著書

- ・ 中西睦子（監修，執筆）：看護管理学習テキスト第5巻看護情報管理論，日本看護協会出版会，2004.4.15
- ・ 中西睦子（監修，執筆）：看護管理学習テキスト第6巻看護経営・経済論，日本看護協会出版会，2004.6.30
- ・ 中西睦子（監修，執筆）：看護管理学習テキスト第7巻看護管理学研究，日本看護協会出版会，2004.7.30
- ・ 中西睦子（監修，執筆）：看護管理学習テキスト第8巻看護制度・政策論，日本看護協会出版会，2004.9.1
- ・ 豊嶋三枝子 他（分担執筆）：必携ケアマネジャー試験対策講座2004，保健医療系居宅サービス，pp186-231，KK医療福祉総合研究所，2004.4
- ・ 豊嶋三枝子 他（分担執筆）：改訂ホームヘルパー講座2級課程テキスト（2）ー介護技術の基礎と実践ー，在宅看護の基礎知識，pp171-203，日本医療企画，2004.7
- ・ 豊嶋三枝子 他（分担執筆）：関連図の書き方をマスターしよう，バセドウ病患者の関連図の書き方，pp92-103，医学芸術社，2004.7
- ・ 豊嶋三枝子 他（分担執筆）：看護に生かす看護理論19（城ヶ端初子監修），ヴァージニアAヘンダーソン，pp38-57，医学芸術社，2005.3
- ・ 豊嶋三枝子 他（分担執筆）：「病」と看護職ー生涯教育で何を学ぶかー（城ヶ端初子編），pp106-112 pp149-159

- pp179-183, 金芳堂, 2005.3
- ・羽山由美子, 松澤和正, 他 (編集/分担執筆) : 精神看護学, エスノグラフィーを通してみた看護の実践, pp140-155, 放送大学教育振興会, 2004.6
 - ・城ヶ端初子 (監修), 阿部智恵子 他 (共著) : 実践に生かす看護理論19, アイダ ジーン オーランド, pp111-125, 医学芸術社, 2005.3
 - ・山内豊明 (編集), 岩坂信子 : フィジカルアセスメントのコツと落とし穴, 中山書店, 2005.6
 - ・須田利佳子 (分担執筆) : 急性期看護論 (パート2, 第7章 急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者の看護, pp150-159, pp165-168), (パート3, 5, 安静が必要な患者の看護 (急性肝炎) pp352-355), ヌーヴェルヒロカワ, 2005.3
 - ・城ヶ端初子, 田尻后子 他 (監修/分担執筆) : 実践に生かす看護理論19, パトリシアベナー 臨床での看護実践における卓越性パワー, pp210-226, 医学芸術社, 2005.3
 - ・城ヶ端初子 (監修/分担執筆), 堤かおり : 実践に生かす看護理論19, マージョリー・ゴードン 機能的健康パターンによる看護診断一, pp362-378, 医学芸術社, 2005.3
 - ・伊藤佳代 (分担執筆) : 一問一答ケアマネジャー試験総まとめ, 急変時の対応, p135, 一橋出版, 2004.6
 - ・伊藤佳代 (分担執筆) : ケアマネジャー模擬試験問題集, 急変時の対応, p83, p142, 一橋出版, 2004.5.10
 - ・須田利佳子, 刈生田春美 (分担執筆) : 成人看護学シリーズ4, 急性期看護学, 池松裕子・山勢善江編, 急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者の看護, pp159-184, ヌーヴェルヒロカワ, 2005.3
 - ・谷 禮夫, 篠田道子, 須佐公子 他 (分担執筆) : ケアマネジャー試験対策2004, pp349-pp362, 医療福祉総合研究所, 2004.4
 - ・本多 勇, 須佐公子 他 (分担執筆) : ケアマネジャー模擬試験問題集, ケアマネ受験対策研究会, 一橋出版, 2004.5
 - ・本多 勇, 須佐公子 他 (分担執筆) : ケアマネジャー模擬試験総まとめ, ケアマネ受験対策研究会, 一橋出版, 2004.5

原著論文

- ・藤原聡子, 茅島江子, 陳 霞芬, 江幡芳枝, 日高陵好, 小川景子 : 日中インターネットにて表現された不妊症治療者のセクシャリティについての比較, 日本性科学学会誌, Vol.22, pp28-38, 2004.7
- ・江幡芳枝 : 「おしゃぶり」の認識と使用に関する国際比較, チャイルドヘルス, Vol.8 No.1, pp63-68, 2005.1
- ・大井伸子, 江幡芳枝 : 対早産児母親的援助-30例早産児母親心身状況需要的調査, 中華護理雑誌, 第40巻, 第3期, 2005.3
- ・阿部芳江, 堀口和子, 阿部智恵子 : 小・中学生の高齢者疑似体験による学びの分析, 日本看護福祉学会誌, Vol.10 No.2, pp72-80, 2005.3

総説

- ・渡辺孝子 : 適切な痛み治療を受けられなかった時代のがん患者の最期, がん患者と対症療法, Vol.15 No.2, pp68-70, 2004.10
- ・須田利佳子 : 看護過程集中ゼミ 甲状腺腫瘍, ナーシングカレッジ, Vol.9 No.3, pp44-65, 医学芸術社, 2005.3
- ・日高陵好・中西睦子・内野聖子・村松由紀・伊藤佳代・川村佐和子・水流聡子 : シソーラス作成に向けての看護行為用語の精選と分類, 第8回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, 2004

研究報告

- ・徳世良重, 射場典子, 田村恵子, 遠藤恵美子, 渡辺孝子, 小島操子: 乳がん認定看護師の必要性に関する調査研究, 日本がん看護学会誌, Vol.18 No.2, pp62-68, 2004.12
- ・豊嶋三枝子, 堤かおり: 看護学実習における学生の自己効力感に影響する要因—インタビュー内容の分析—, 日本看護学教育学会誌, Vol.14 No.3, 2005
- ・小口多美子: 白血病の患児の理解に, 絵本を用いてのイメージの変容の試み, 第35回日本看護学会論文集, 一小児看護—, pp143-145, 2004
- ・須田利佳子: 看護師が感じている「ジレンマ」の実態に関する研究(奨励研究), 国際医療福祉大学紀要, Vol.10, pp48-49, 2005.2
- ・川野英子: 看護学生の家族の見方 臨地実習時の情報収集の内容から, 家族看護, Vol.3 No.1, pp134-138, 2005.2

講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・中西睦子: 看護管理ファーストレベル, 栃木県看護協会
- ・中西睦子: 看護管理, 東北厚生局看護研修
- ・中西睦子: 看護管理セカンドレベル, 愛媛県看護協会
- ・渡辺孝子: 看護管理概説—何が優れた管理者を作るのか—, 平成16年度栃木県看護協会認定看護管理者ファーストレベル研修講演, 宇都宮, 2004.6.24
- ・渡辺孝子: 看護専門職論—看護と倫理—, 平成16年度栃木県看護協会認定看護管理者ファーストレベル研修講演, 宇都宮, 2004.9.15
- ・渡辺孝子: 看護組織と人材育成, 平成16年度埼玉県看護協会認定看護管理者セカンドレベル研修講演, さいたま市, 2004.10.8
- ・渡辺孝子: 人材育成と目標管理, 平成16年度埼玉県看護協会認定看護管理者セカンドレベル研修講演, さいたま市, 2004.10.15
- ・渡辺孝子: 症状コントロール, 平成16年度山梨県看護協会緩和ケア研修会講演, 甲府, 2004.10.28
- ・渡辺孝子: がん看護をめぐる倫理的問題のアプローチ, 平成16年度山梨県看護協会緩和ケア研修会講演, 甲府, 2004.10.28
- ・渡辺孝子: 緩和ケアにおける心理・社会的支援—精神的ケア, スピリチュアルケアに焦点をあてて—, 第2回群馬 Cancer Pain Forum特別講演, 高崎, 2004.12.4
- ・金 升子: 域医医療振興研究財団(自治医大関連組織)介護者研究会の研究講評, 東京, 都道府県会館, 2004.11
- ・金 升子: 函館市民病院看護部研究会の研究指導と講評, 函館市民病院, 2004.8
- ・金 升子: 自治医大病院 看護部の研究指導と講評, 自治医大研修センター, 2004.9, 2005.2
- ・松澤和正: 語りはなぜ可能なのか—精神科看護の視点から—, 第19回日本保健医療行動科学会学術大会シンポジウム, 「ナラティブと保健医療」, 日本赤十字看護大学, 東京, 2004.6.27
- ・岩坂信子: 専門分野の看護を追い求めて—高齢者の生活の質とリスクマネジメント—, 北海道立江差高等看護学院卒業講演, 2005.3.1
- ・村松由紀: 子育てと危機 子どもとどう向き合うか, H16年度看護学科公開学習会シンポジウム, (シンポジスト), 親の立場から

学会発表

- ・中西睦子(大会長): 日本看護管理学会年次大会, 栃木県総合文化センター, 2004.8.20-21

- ・大井伸子, 東 範子, 小田原笑, 塩見まこと, 多田千里, 江幡芳枝: 小学校での性教育の実態について—岡山市内10校の調査から—, 第23回日本思春期学会, つくば市, 2004.8.9
- ・江幡芳枝, 大井伸子, 中新美保子, 簗口和実: 看護・保育職者のわが子に対する「おしゃぶり」の使用実態, 第45回日本母性衛生学会, 東京, 2004.9.17
- ・江幡芳枝, 村松由紀, 大井伸子, 西尾順太郎, 西田 勝, 岡本伸彦, 簗口和実: 母親・小児科医・口腔外科矯正歯科医の「おしゃぶり」の認識と「母乳育児成功のための10カ条」第9条に対する考え, 第51回日本小児保健学会, 盛岡市, 2004.10.30
- ・江幡芳枝, 大井伸子: 日本における育児用品「おしゃぶり」の認識と使用実態, 第9回日中看護学会, 中国重慶市, 2004.9.21
- ・大井伸子, 江幡芳枝: 低出生体重児を出産した母親に対する援助—出産直後から児入院中—, 第9回日中看護学会, 中国重慶市, 2004.9.21
- ・黒田 緑, 江幡芳枝, 熊澤美奈好, 小田切房子, 渡邊典子, 篠原清夫: 専門学校・短大専攻科・大学における助産師教育の実態—その1. カリキュラム単位数の比較—, 第19回日本助産学会, 京都, 2005.3.20
- ・江幡芳枝, 黒田 緑, 熊澤美奈好, 小田切房子, 渡邊典子, 篠原清夫: 専門学校・短大専攻科・大学における助産師教育の実態—その2. 助産学実習の比較—, 第19回日本助産学会, 京都, 2005.3.20
- ・渡邊典子, 江幡芳枝, 小田切房子, 熊澤美奈好, 黒田 緑, 篠原清夫: 専門学校・短大専攻科・大学における助産師教育の実態—その3. 到達状況の比較—, 第19回日本助産学会, 京都, 2005.3.20
- ・内野聖子, 渡辺孝子: 介護老人福祉施設におけるインシデント・アクシデントの特徴と施設職員の危機回避行動に関連する要因, 第8回日本看護管理学会年次大会(一般演題), 宇都宮, 2004.8.20
- ・内野聖子, 渡辺孝子: 老年看護学実習における看護学生の不安に関連する要因, 第24回日本看護科学学会学術集会(一般演題), 東京, 2004.12.5
- ・郷間悦子(座長): 第10回栃木看護学術集会, 宇都宮市, 2004.11.17
- ・豊嶋三枝子, 堤かおり: 看護学生の成長につながった実習での学び—インタビュー内容の分析—, 日本看護学教育学会第14回学術集会, 2004.7.24
- ・堤かおり, 豊嶋三枝子: 感染予防における教授方法の検討—講義・演習を通じた学生の学びから—, 日本看護学教育学会第14回学術集会, 2004.7.24
- ・松澤和正(座長): 第14回日本精神保健福祉政策学会学術大会, 精神保健福祉法及び関連法規の再検討(Ⅱ) 関連演題, 東京, 2005.2.5
- ・岩坂信子, 菅原昌枝, 馬場亜矢子, 本田恵子: 回復期リハビリテーション病棟における転倒事故からみた看護管理の課題—第1報 開設から1年余の間に転倒した125事例の分析—, 第9回日本老年看護学会, 一般演題, 茨城県立医療大学, 2004.11.6
- ・小口多美子: 入院した小児に付き添う母親のPrivacyの調査研究, 第9回日本小児看護学会, 宮崎市, 2004.7.17
- ・小口多美子: 病院における看護師の感染症抗体価検査と予防接種の調査報告, 第8回日本看護管理学会, 宇都宮市, 2004.8.21
- ・小口多美子: 白血病の患児の理解に, 絵本を用いてのイメージの変容の試み, 第35回日本看護学会—小児看護—, 秋田市, 2004.9.24
- ・小口多美子: 小児特有ウイルス抗体検査と予防接種に関する調査報告—K大学看護学生の実態と, 関東の病院の検査状況—, 第9回栃木小児感染症研究会, 宇都宮市, 2004.10.28
- ・須田利佳子: がん診療における患者の意思決定に関わる看護者の態度に関する研究, 第19回日本がん看護学会学術集会, 仙台, 2005.2.5

- ・ 田尻后子, 室津史子: 助産師の生涯学習に関する検討(第1報)助産師の学習方法, 第45回日本母性衛生学会, 東京, 2004.9.17
- ・ 室津史子, 田尻后子: 助産師の生涯学習に関する検討(第2報)助産師の自己教育力, 第45回日本母性衛生学会, 東京, 2004.9.17
- ・ 田尻后子, 室津史子, 野本正子: 助産師の能力・努力観に関する検討—S県内に勤務する助産師からの分析—, 第19回日本助産学会学術集会, 京都, 2005.3.20
- ・ 室津史子, 田尻后子, 野本正子: 助産師の達成目標傾向に関する検討—S県内に勤務する助産師からの分析—, 第19回日本助産学会学術集会, 京都, 2005.3.20
- ・ 堤かおり: 学生が捉えた糖尿病であることを周囲に隠す患者への思い, 日本糖尿病教育・看護学会誌, vol8, p253, 2004.9
- ・ 糸井裕子: 学生の手術実習中の不安を軽減するための教育支援, 第24回日本科学学会学術集会, 東京, 2004.12.5
- ・ 糸井裕子: 異文化の背景を持つ対象を受け持った学生が必要とする支援内容, 第24回日本科学学会学術集会, 東京, 2004.12.5
- ・ 日高陵好, 中西睦子, 内野聖子, 村松由紀, 伊藤佳代, 川村佐和子, 水流聡子: シソーラス作成に向けての看護行為用語の精選と分類, 第8回日本看護管理学会, 宇都宮, 2004.8.20

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・ 須田利佳子: 看護政策実現に向けた看護職の意見形成ネットワークシステムの構築, 研究代表者 久常節子 (慶應義塾大学看護医療学部) の研究協力者となり会議・勉強会へ出席, 文部科学省科学研究費 (平成15~17年度), 継続

学位取得

- ・ 金 升子: 修士 (保健医療学) 取得, 2005.4

所属学会

- ・ 中西睦子: 日本看護管理学会
- ・ 江幡芳枝: 日本看護研究学会, 日本助産学会, 日本母性衛生学会, 日本小児保健学会, 日本看護管理学会, 日本口蓋裂学会, 日本性科学学会, 看護福祉学会, 日本母子ケア研究会, 健康社会学研究会
- ・ 坂主リツ: 日本看護管理学会, 世界肥満外科学会, 栃木県看護学術集会学会
- ・ 渡辺孝子: 日本がん看護学会, 日本看護管理学会, 日本緩和医療学会, 日本サイコロロジー学会, 日本死の臨床研究会, 日本在宅医療研究会, 栃木県緩和ケア研究会, 埼玉県緩和ケア研究会, 栃木県心身医学研究会
- ・ 金 升子: 日本集中治療医学会, 日本看護管理学会, 日本看護科学学会, 日本集中治療医学会関東甲信越地方会
- ・ 郷間悦子: 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本在宅ケア学会, 日本地域看護学会, 日本健康教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本看護管理学会
- ・ 豊嶋三枝子: 老年社会科学学会, 全国老人ケア研究会, 日本看護福祉学会, 日本看護学教育学会, 日本看護技術学会, 日本看護科学学会, 日本保健福祉学会, 日本看護管理学会, 日本看護医療学会, 日本看護学会
- ・ 松澤和正: 日本精神保健福祉政策学会, 日本看護管理学会, 日本生命倫理学会, 多文化間精神医学会
- ・ 阿部智恵子: 日本看護管理学会, 日本在宅ケア学会, 日本看護福祉学会, 看護科学学会, 公衆衛生研究会, 栃木県看護学会, 日本社会学会, 筑波社会学会, 日本電話相談学会, 日本スポーツ社会学会, 日本家族社会学会, 家族問題研究会, 公衆衛生学会, 日本地域看護学会
- ・ 岩坂信子: 日本看護管理学会, 日本老年看護学会, 全国老人ケア研究会, 日本痴呆ケア学会

- ・ 小口多美子：日本看護管理学会，日本教育学会，日本小児看護学会，日本看護科学学会
- ・ 近藤誓子：日本看護学会，日本看護教育学学会，日本看護歴史学会，日本看護科学学会，産業教育学会
- ・ 須田利佳子：日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本がん看護学会，日本クリティカルケア看護学会，ホスピスケア研究会，日本死の臨床研究会
- ・ 田尻后子：日本看護研究学会，日本母性衛生学会，日本助産学会，日本母性看護学会
- ・ 堤かおり：日本看護科学学会，日本糖尿病教育・看護学会，日本看護学教育学会，日本福祉学会
- ・ 糸井裕子：日本看護学教育学会，日本看護管理学会，日本教育方法学会，日本看護科学学会
- ・ 伊藤佳代：日本看護管理学会，日本看護福祉学会
- ・ 押尾知子：日本看護管理学会，日本看護学教育学会，日本看護科学学会，日本母性衛生学会，日本医学看護学教育学会
- ・ 刈生田春美：日本看護管理学会，日本看護科学学会，日本看護教育学学会
- ・ 須佐公子：日本看護福祉学会，日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本死の臨床研究会
- ・ 中村敦子：日本看護管理学会
- ・ 新野峰子：日本看護管理学会
- ・ 村松由紀：日本がん看護学会，日本看護科学学会，日本死の臨床研究会，日本看護管理学会，日本小児科学学会
- ・ 川野英子：日本保健医療社会学会，日本看護管理学会，日本家族看護学会
- ・ 平山浩美：日本看護管理学会

学会役員

- ・ 坂主リツ：日本看護管理学会（第8回年次大会 会場責任者）
- ・ 渡辺孝子：日本がん看護学会（評議員，監事），日本看護管理学会（第8回日本看護管理学会年次大会，企画委員，プログラム委員長，実行委員長），日本緩和医療学会（評議員），日本サイコオンコロジー学会（世話人），日本死の臨床研究会（世話人），日本在宅医療研究会（世話人），栃木県緩和ケア研究会（幹事），埼玉県緩和ケア研究会（幹事），栃木県心身医学研究会（幹事）
- ・ 郷間悦子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 豊嶋三枝子：日本看護学会（第36回日本看護学会 看護教育 準備委員），日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 松澤和正：日本精神保健福祉政策学会（常任運営委員），日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 金 升子：医療マジネント学会栃木地方会（理事），日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 阿部智恵子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 須田利佳子：日本看護管理学会（第8回年次大会 事務局編集担当）
- ・ 小口多美子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 糸井裕子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 伊藤佳代：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 押尾知子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 刈生田春美：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 須佐公子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 中村敦子：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 新野峰子：日本看護管理学会（第8回年次大会 事務局）
- ・ 村松由紀：日本看護管理学会（第8回年次大会 実行委員）
- ・ 平山浩美：日本看護管理学会（第8回年次大会 事務局）

保健学部（理学療法学科）

著書

- ・丸山仁司：運動解剖生理学ワークブック 第1版，アイペック，2004.5
- ・丸山仁司（編集），勝平純司（分担執筆）：運動学，中外医学社，2004.11
- ・丸山仁司（編集，分担執筆）：考える理学療法－評価から治療手技の選択，理学療法にもEBMがあるのか？，pp1-9，文光堂，2004.5
- ・丸山仁司（編集，分担執筆）：理学療法研究法入門 第3版，理学療法科学学会，アイペック，2004.9
- ・Junichi Tanaka, Hiroko Miyakubo, Shigeko Fujisawa, Masahiko Nomura : ATTENUATED NORADRENALINE RELEASE IN THE PARAVENTRICULAR NUCLEUS AREA INDUCED BY ELECTRICAL AND ANGIOTENSIN II ACTIVATION OF THE SUBFORNICAL ORGAN IN ESTROGEN –TREATED RATS. : NEUROSCIENCE RESEARCH COMMUNICATIONS, Vol.35, No.1, pp63-71
- ・秋山純和：内部障害理学療法概論ノート，アイペック，2004.4
- ・秋山純和，石井博之，下井俊典（共著）：地域理学療法概論ノート，アイペック，2004.4
- ・秋山純和：PNFノート，エビス，2004.5
- ・丸山仁司，黒澤和生，齋藤昭彦，竹井 仁，中山 孝（分担執筆）：考える理学療法－評価から治療手技の選択，3. クリニカルリーディングとは，pp17-27，文光堂，2004.5
- ・丸山仁司，黒澤和生，齋藤昭彦，竹井 仁，中山 孝（分担執筆）：考える理学療法－評価から治療手技の選択，17.神経の動きが機能に影響するのか，pp185-195，文光堂，2004.5
- ・網本 和，齋藤昭彦 他（分担執筆）：標準理学療法学シリーズ－物理療法学 第2版，経皮的電気刺激（TENS），pp151-167，医学書院，2004.7
- ・網本 和，齋藤昭彦 他（分担執筆）：標準理学療法学シリーズ－物理療法学 第2版，電気診断とバイオフィードバック，pp168-185，医学書院，2004.7
- ・齋藤昭彦：これでナットクらくらく合格 2005 PT・OT国試一般問題対策スピード攻略ブック，文光堂，2004.9
- ・齋藤昭彦：これでナットクらくらく合格 2005 PT国試専門問題対策 スピード攻略ブック，文光堂，2004.9
- ・潮見泰藏，齋藤昭彦（分担訳）：脳卒中の運動療法－エビデンスに基づく機能回復トレーニング，医学書院，2004.10
- ・齋藤昭彦，丸山仁司（分担執筆）：コメディカルのため専門基礎分野テキスト－運動学，上肢の運動学，pp81-111，中外医薬，2004.11
- ・赤坂清和，藤縄 理，齋藤昭彦 他（分担訳）：理学療法におけるクリティカルパス，神経と筋の損傷，pp208-251，エルゼビア・ジャパン，2004.12
- ・細田多穂，中山彰一，齋藤昭彦 他（分担執筆）：アドバンス版理学療法技術ガイド より深く広い理学療法技術の習得をめざして，神経系モビライゼーション，pp254-272，文光堂，2005.1
- ・潮見泰藏：臨床実習フィールドガイド 石川 朗，内山 靖，新田 収編，第1章神経系，脳血管障害，pp24-37，2004.7
- ・潮見泰藏：理学療法評価学（第2版）内山 靖編，pp131-137，pp316-344，医学書院，2004.3
- ・Anne Shumway-Cook & Marjorie H.Woollacott著，田中 繁，高橋 明，谷 浩明，監訳（分担執筆）：モーターコントロール－運動制御の理論と臨床応用－第2版，姿勢制御の発達， pp204-234，医歯薬出版，2004.6
- ・内山 靖編著，谷 浩明（分担執筆）：環境と理学療法，環境と学習， pp99-111，医歯薬出版，2004.10
- ・理学療法科学学会監修，谷 浩明（分担執筆）：物理療法学実習マニュアル－第1版－，アイペック，2005.2
- ・石井博之，藤井菜穂子（分担執筆）：ひとりで学べる理学療法士国家試験・問題と詳解 2005年版，理学・作業療法

学研究会編，廣川書店，2004.5

- ・石井博之，藤井菜穂子（分担執筆）：ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験・共通問題と詳解 2005年版，理学療法学研究会編，廣川書店，2004.5
- ・佐野裕子（分担執筆）：内部障害系理学療法実践マニュアル，Ⅱ 疾患別理学療法，B 呼吸器疾患，5 外科手術直後，pp240-255，文光堂，2004.5
- ・丸山仁司，藤田博暁，秋山純和 他（編集，分担執筆）：内部障害系理学療法実践マニュアル，文光堂，2004.5
- ・下井俊典：理学療法科学学会編集・監修：理学療法科学シリーズ基礎編，物理療法実習マニュアル，寒冷療法，pp29-40，アイベック，2005.2
- ・霍 明：運動学 全国高等医学院校リハビリテーション治療学教科書，華夏出版社，2005.1

原著論文

- ・勝平純司，山本澄子，丸山仁司，関川伸哉：階段およびスロープ昇降時の関節モーメントの分布，バイオメカニズム17，pp99-108，2004.10
- ・Rei Shimojyu-Kobayashi, Hitoshi Maruyama, Masashi Yoneda, Mieko Kurosawa : Responses of hepatic glucose output to electro-acupuncture stimulation of the hindlimb in anaesthetized rats. Auto Neuroscie Basic Clinical 115, 2004.7.14
- ・藤沢しげ子，金子純一郎，丸山仁司，秋山純和，石井博之，西條富美代，齋藤昭彦，潮見泰藏，谷 浩明，藤井菜穂子，藤田博暁，倉本アフジャ亜美，下井俊典，齋藤里果，霍 明，勝平純司：グループ学習や学年を超えた合同学習並びに口頭試問等の試み，理学療法ジャーナル，Vol.39 No.2，pp138-141，2005.2
- ・丸山仁司，藤沢しげ子，霍 明：中国における理学療法教育への国際協力，理学療法ジャーナル，Vol.38 No.12，2004.12
- ・山本祐子，遠藤美香，菅原亜子，徳原理恵，溝辺夏子，勝平純司，藤沢しげ子：ヒールの高さが妊婦歩行に与える影響，理学療法科学，Vol.19，pp107-110，2004.5
- ・Morara D, Shiommi T : Assessing the Reliability and Validity of Physical Performance Test for the Japanese Elderly, J Phys Ther Sci, 2004, Vol.16, pp15-20
- ・新井啓介，潮見泰藏：脳卒中患者における反復起立動作のパフォーマンスと歩行能力の関係，理学療法科学，Vol.19 No.2，pp89-93，2004
- ・橋立博幸，内山 靖，潮見泰藏：Modified Step Testの開発，その信頼性と妥当性，理学療法科学，Vol.19 No.1，pp55-59，2004
- ・佐野裕子，黒澤 一，上月正博，久保 晃，丸山仁司：自覚的呼吸困難度段階別に見た運動負荷客観指標の動向—呼吸困難度を指標とした運動処方のためのアプローチ—，臨床運動療法研究会誌，Vol.6，pp13-16，2004.6
- ・長澤夏子，勝平純司，渡辺仁史，山本澄子 他：腰部負荷からみた手をつく立ち上がり動作—加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究 その1—，日本建築学会計画系論文集，No.586，pp51-58，2004.12
- ・霍 明，藤沢しげ子，丸山仁司，李 建軍，陳 立嘉，魯 哲：中国における理学療法士の実態調査，理学療法科学 Vol.19 No.2，2004

総説

- ・丸山仁司：高齢者リハビリテーションの動向，理学療法科学，Vol.19 No.3，pp163-167，2004.
- ・秋山純和：スポーツ・コンディショニングにみるPNFストレッチングのアプローチ，マニピュレーション，Vol.23 pp37-43，2004
- ・秋山純和：理学療法を施行するにあたって留意すべき臨床検査値と薬物療法の副作用，Vol.20 No.1，pp69-73，2005.3

- ・ 齋藤昭彦：骨関節系理学療法のリスク管理，理学療法科学，2005.3
- ・ 潮見泰藏：中枢性運動麻痺に対する運動療法の基礎，PTジャーナル，Vol.38 No.9，pp727-732，2004
- ・ 潮見泰藏，霍明：中国における理学療法士・作業療法士の活動，日中医学，Vol.19 No.4，pp17-21，2004
- ・ 潮見泰藏：理学療法教育における臨床実習の現状と課題，リハビリテーションひろば，Vol.37，pp19-22，2004.12
- ・ 潮見泰藏：神経系疾患に対するリスク管理，理学療法科学，Vol.20 No.1，pp75-79，2005
- ・ 潮見泰藏：理学療法士教育モデル，理学療法士教育の現状と課題4，理学療法，Vol.22 No.3，2005
- ・ 今井 樹，潮見泰藏：理学療法研究における“評価の信頼性”の検査法，理学療法科学，Vol.19 No.3，pp261-265，2004
- ・ 石井博之：マレーシアでの2年間を振り返って，理学療法ジャーナル，Vol.38，pp1037-1039，2004.12
- ・ 藤井菜穂子：1ページ講座，超音波 理学療法ジャーナル，Vol.38 No.11，pp947，2004
- ・ 藤田博暁，荒畑和美：大腿骨頸部骨折患者のADLと理学療法，理学療法，Vol.5，pp726-734，2004.5

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 丸山仁司：日本における脳卒中の現状，脳卒中理学療法研究会，吉林大学中日友誼医院，中国長春，2004.8.8-13
- ・ 丸山仁司：高齢者リハビリテーションの動向，第18回理学療法科学学会夏期研修会，川越，2004.8.21-22
- ・ 丸山仁司：リハビリテーションの現状と将来，理学療法士の立場から，全国医書同業者，横浜，2004.10.3
- ・ 秋山純和：世界の理学療法動向，栃木県士会，栃木，2004.5
- ・ 秋山純和：PNFの基礎，日本理学療法士協会現職者講習会，大田原，2004.8
- ・ 秋山純和：上肢を中心とした神経筋促通治療法（PNF），理学療法科学学会，埼玉，2004.10
- ・ 秋山純和：PNFの動作応用，日本理学療法士協会現職者講習会，大田原，2004.11
- ・ 秋山純和：PNF，日本PNF研究会，名古屋，2005.3
- ・ 秋山純和：理学療法を施行するにあたって留意すべき危険な臨床検査値と薬物療法の副作用，理学療法科学学会，那須，2005.3
- ・ 齋藤昭彦：頸椎のマニュアルセラピー，世界の理学療法テクニック講習会，理学療法科学学会，埼玉，2004.4.17-18
- ・ 齋藤昭彦：頸椎のマニュアルセラピー，柳川リハビリテーション学院，福岡，2004.4.26
- ・ 齋藤昭彦：神経系モビリゼーション，日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.5.15.-16
- ・ 齋藤昭彦：関節モビリゼーション（下肢），日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.6.12-13
- ・ 齋藤昭彦：肩こり，腰痛，イブニングタイム公開講座，栃木，2004.7.6
- ・ 齋藤昭彦：脊椎の分節的安定性のための運動療法，日本徒手理学療法研究会技術講習会，山形，2004.7.10-11
- ・ 齋藤昭彦：脊椎の分節的安定性のための運動療法，柳川リハビリテーション病院，福岡，2004.8.1
- ・ 齋藤昭彦：関節モビリゼーション（上肢），日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.9.4-5
- ・ 齋藤昭彦：マニュアルセラピー（頸椎），日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.10.2-3
- ・ 齋藤昭彦：脊椎の分節的安定性のための運動療法，日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.10.23-24
- ・ 齋藤昭彦：腰椎・骨盤領域の徒手モビリゼーション，長野県中信地区理学療法士研修会，長野，2004.10.30-31
- ・ 齋藤昭彦：四肢・四肢・体幹のモビリゼーション，長野県東信地区理学療法士研修会，長野，2004.11.21-23
- ・ 齋藤昭彦，黒澤和生：マニュアルセラピー（腰椎），日本理学療法士協会現職者講習会，栃木，2004.11.26-28
- ・ 齋藤昭彦：腰椎のマニュアルセラピー，柳川リハビリテーション病院，福岡，2004.12.12
- ・ 齋藤昭彦：骨関節系理学療法のリスク管理，理学療法科学学会，栃木，2005.3.27
- ・ 齋藤昭彦：脊柱の分節的安定性のための運動療法，栃木，2005.2.25
- ・ 潮見泰藏：養成制度と教育水準，テーマ 教育水準と卒前・卒後教育，日本理学療法士学会大会教育・管理系専門領

域分科会, 仙台, 2004.5.27

- ・ 潮見泰藏: 臨床実習の位置づけ, 日本理学療法士協会・富山県理学療法士会共催臨床実習指導者研修会, 富山市, 2004.7.26
- ・ 潮見泰藏: 臨床実習のための教育技法—OSCE教育を中心として—日本理学療法士協会主催, 臨床実習指導者研修会, 関西経理専門学校, 大阪, 2004.12.13
- ・ 潮見泰藏: 神経系疾患に対するリスク管理, 理学療法科学学会春期研修会, 那須大島フォーラム, 那須塩原市 2005.3.27
- ・ 谷 浩明: ぼけないための運動, イブニングタイム公開講座, 栃木, 2004.6.15
- ・ 谷 浩明: 研究法, 栃木県理学療法士学術局第2回生涯学習部研修会, 栃木, 2004.9.12
- ・ 谷 浩明: PTの研究法のテクニック, 理学療法トピックス (遠隔授業実施コース), 東京, 2004.9.29
- ・ 石井博之: 世界の中の理学療法, 神奈川県理学療法士会, 新人研修会, 神奈川県, 2004.8.29
- ・ 佐野裕子: 摂食嚥下障害患者への呼吸理学療法, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 新潟, 2004.9.11
- ・ 佐野裕子: 在宅における呼吸リハビリテーション, 東京呼吸器フォーラム, 東京, 2004.9.29
- ・ 佐野裕子: 急性期・慢性期における呼吸理学療法, 那須呼吸リハビリテーション研究会, 栃木, 2005.2.26
- ・ 佐野裕子: 呼吸リハビリテーションの理論と実践, ディサースリア臨床研究会, 東京, 2005.3.26
- ・ 藤田博暁: 「転倒・骨折・寝たきり」, 国際医療福祉大学「イブニングタイム」2004
- ・ 勝平純司: 動作分析セミナー, 臨床歩行分析研究会, 国際医療福祉大学(乃木坂), 2004.9.30-10.3
- ・ 勝平純司: 動作分析システム活用セミナー, 臨床歩行分析研究会, 新潟医療福祉大学, 2004.12.4-5
- ・ 下井俊典: 九州地区専門学校対象ビデオ講義「運動生理学」(福岡国際医療福祉学院, 第8回「筋電図の基礎」, 第9回「筋電図の応用」, 柳川, 2004.11) (柳川リハビリテーション学院, 昼間—第8回「筋電図の基礎」, 柳川, 2004.10.19, 第9回「筋電図の応用」, 柳川, 2004.10.26, 夜間—第8回「筋電図の基礎」, 第9回「筋電図の応用」, 柳川, 2004.10.30
- ・ 霍 明: 理学療法科学 第35回学術大会 「国際協力と理学療法」, 中華人民共和国リハビリテーション専門職の現状について講演とディスカッションの参加, 大田原 国際医療福祉大学, 2004.11.6
- ・ 霍 明: 中国衛生部国家継続医学教育(No.2004-16-01-008)脳卒中片麻痺治療新テクニック学会, PNF理論, テクニック及び脳血管障害への応用について講演と実技, 中国長春市 中日連誼病院, 2004.8.10-11

学会発表

- ・ 斉藤琴子, 吉村茂和, 昇 寛, 丸山仁司: 歩行能力と敏捷性の関係, 第23回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 2004.9.5
- ・ 國澤洋介, 井上江里奈, 菊地智明, 小関要作, 丸山仁司: 日常生活活動に反映する定量的基本動作能力評価法の検討, 第34回理学療法科学学会学術大会, 埼玉, 2004.4.24
- ・ 下重里江, 丸山仁司, 黒澤美枝子: ラット下腿への低強度鍼通電刺激による肝グルコース放出および血糖の変化, 第81回日本生理学会学術大会, 札幌, 2004.6.2-4
- ・ 解良武士, 丸山仁司: 異なる姿勢における腹筋群の呼息性活動の観察, 第39回日本理学療法学術大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・ 西田祐介, 樋渡正夫, 丸山仁司: 施設入所高齢者に対する12週間の低強度運動負荷トレーニングプログラムの効果, 第39回日本理学療法学術大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・ 国島美佐, 鈴木千勢, 畠しのぶ, 佐野裕子, 丸山仁司: 腰椎牽引における効果的な牽引時間の検討, 第39回日本理学療法学術大会, 仙台, 2004.5.27-29

- ・久保 晃, 丸山仁司 : 電動補助型 (パワーアシスト型) 車椅子が駆動負担におよぼす影響, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・齋藤昭彦 : 日本理学療法学会大会 (座長, 骨・関節系理学療法)
- ・金子純一郎, 黒澤和生, 潮見泰藏, 中口和彦, 石井博之, 樋渡正夫, 高橋邦泰, 丸山仁司 : 壮年期有訴者の活動状況と運動機能の関係, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・森沢知之, 金子純一郎, 峯岸 忍, 指方 梢, 増田幸泰, 湯口 聡, 鈴木あかね, 高橋邦泰, 村山史雄, 丸山仁司 : 胸部外科術後早期からの肺機能の推移, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・昇 寛, 丸山仁司, 斉藤琴子, 高橋直子 : 膝関節固有感覚と重心動揺について, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・鈴木康文, 丸山仁司 : PWC_{HR50%}に影響を与える因子についての検討, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・斉藤琴子, 丸山仁司, 昇 寛, 吉村茂和, 藤田博暁 : 加齢による歩行能力に関する要因, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- ・佐野裕子, 黒澤 一, 上月正博, 久保 晃, 丸山仁司 : 自覚的呼吸困難度段階別にみた運動負荷客観指標の動向
- ・志村圭太, 河野博之, 小久保浩平, 西田祐介, 丸山仁司 : 到低位での低強度運動が生体に及ぼす影響, 第36回理学療法科学学会学術大会, 大田原, 2004.11.6
- ・望月志穂美, 勝平純司, 丸山仁司 : ブリッジ動作の運動力学的分析, 第8回栃木県理学療法士学会, 鹿沼, 2005.3.13
- ・Higuchi Y, Ohkubo M, Saito A, Maruyama H, Hayashi S*, Miyaki M*, Itoh Y* (*Department of Anatomy, Tokyo Medical University) : An anatomical consideration on the segmental stability of the lumbar spine by the transverses abdominis and multifidus muscles, 16th International congress of the International Federation of Association of Anatomists, Kyoto, 2004.8.23
- ・Ohkubo M : Basic structure of lumbar dorsal root ganglia of the rat, 16th International congress of the International Federation of Association of Anatomists, Kyoto, 2004.8.25
- ・樋口善英, 齋藤昭彦, 大久保真人, 新井正一, 伊藤正裕* (*東京医科大学解剖学第一講座) : 腹横筋の脊柱安定化現象に関する形態学的解析, 第110回日本解剖学会総会, 富山市, 2005.3.31
- ・Shigeko Fujisawa, Yoko Sugawara, Kayoko Eda : Introduction of Human Resource Development of Rehabilitation Project, The 1st Conference of Child Rehabilitation of the Chinese Association Of Rehabilitation Medicine, CHINA, 2004.7
- ・秋山純和 : 中華人民共和国における神経筋促進法指導の経験, 第5回日本PNF研究会学術集会, 奈良, 2004.10
- ・上杉 睦, 秋山純和 : 意識的な下肢荷重量配分に伴った荷重量, 足圧中心変化, 関東甲信越, 茨城, 2004.9
- ・獅子内善徳, 秋山純和 : Replicationにおける抵抗介入の妥当性の検討, 第5回日本PNF研究会学術集会, 奈良, 2004.10
- ・高間則昭, 秋山純和 : 運動負荷強度の違いによる呼吸変化について, 第5回日本PNF研究会学術集会, 奈良, 2004.10
- ・本所泰子, 江連素子, 秋山純和, 高間則昭 : Hold-Relaxの座位リーチ動作に及ぼす影響第5回日本PNF研究会学術集会, 奈良, 2004.10
- ・上杉 睦, 秋山純和, 視覚刺激の有無が最大随意握力およびピンチ力に及ぼす影響, 第5回日本PNF研究会学術集会, 奈良, 2004.10
- ・上杉 睦, 秋山純和 : 起立動作における下肢への意識的な荷重配分による荷重量, 足圧中心の変化について, 理学療法科学学会, 大田原, 2004.11
- ・石坂正大, 佐々木香, 秋山純和, 新井正一, 上杉 睦 : ウォーキング時の設定方法の違いによる体脂肪燃焼効果について, 理学療法科学学会, 大田原, 2004.11
- ・齋藤昭彦 他 : 女子大生における膝関節アライメントについて, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27

- Shiomi T, Maruyama H : Comparison of Physiological Cost and Driving Efficiency during Propelling Six-Wheel Type and Standard Type Wheelchair, 14th European Congress of Physical and Rehabilitation Medicine, Austria, 2004.5.13
- Dorothy T Morala, Shiomi T : Assessing the Reliability and Validity of the Physical Performance Test for the Japanese Elderly 第39回日本理学療法学会大会, 仙台市, 2004.5.28
- 藤田博暁, 森 孝之, 吉羽誠治, 栗原美智, 内山 寛, 国分江美佳, 宗藤明子, 山口 勇, 荒畑和美, 太田 隆, 石橋英明, 潮見泰藏 : 大腿骨頸部骨折後患者に対する在宅リハビリテーションメニューによる介入効果, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台市, 2004.5.27
- 栗城浩子, 潮見泰藏 : リーチテストにおける動作遂行過程評価の再現性, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台市, 2004.5.28
- 新井啓介, 潮見泰藏 : 脳卒中片麻痺患者を対象とした反復起立動作によるパフォーマンステストの有用性, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台市, 2004.5.28
- 石井博之, 金子純一郎 : 発展途上国農村部で普及可能な短下肢装具の開発, 第39回日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.26
- 石井博之, 霍 明, Dorothy Tan Morala, 梅内拓生 : 各国における理学療法士制度の違いとその背景, 第19回 日本国際保健医療学会, 2004.10.9
- Yuko Sano : Resistance of total respiratory system during pursed-lip breathing in healthy volunteers, American Thoracic Society, Frolida, 2004.5.26
- 佐野裕子 : 健常人における口すぼめ呼吸の呼吸抵抗の変化について, 呼吸管理学会, 大宮, 2004.8.
- 佐野裕子 : 口すぼめ呼吸にノーズクリップは必要ない, 呼吸管理学会, 大宮, 2004.8.6
- 佐野裕子 : 口すぼめ呼吸における鼻咽頭閉鎖機構, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 新潟, 2004.9.11
- 佐野裕子 : 口すぼめ呼吸時の呼吸抵抗と鼻咽頭閉鎖, 東日本包括的呼吸ケア研究会, 秋田, 2005.1.29
- 藤田博暁, 潮見泰藏 : 高齢者の歩行能力と下肢筋力との関係, 理学療法科学学会, 埼玉, 2004.4.24
- 長澤夏子, 勝平純司, 渡辺仁史, 山本澄子 他 : 腰部負荷からみた手をつく立ち上がり動作, 加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究 その1, 日本建築学会学術講演会, 北海道, 2004.8.29-31
- 藤井菜穂子, 勝平純司, 谷 浩明 他 : 健常若年者における下肢の機能的左右差に関する検討, 日本理学療法学会大会, 仙台, 2004.5.27-29
- 木島直幸, 勝平純司, 藤井菜穂子 他 : 階段降段時動作における健常者とACL損傷者との比較, 第35回理学療法科学学会, 栃木, 2004.11.6
- 村上正芳, 勝平純司, 山本澄子 : シルバーカー歩行の評価 一体幹の動きに着目して一, 第8回栃木県理学療法士学会, 栃木, 2005.3.13
- Kaneko J, Shiomi T, Maruyama H : Relationship between movement patterns and physical fitness elements during rising from supine to sitting position in community-dwelling elderly persons, 14th European, Congress of Physical and Rehabilitation Medicine (ECPRM) , Vienna, Austria, 2004.5.12-15
- 下井俊典 : 通所サービスにおける有効的なベッドスペースの活用, 日本デイケア学会第9回年次大会, 東京, 2004.9.23-25
- 霍 明 : 各国における理学療法士制度の違いとその背景, 第19回 日本国際保健医療学会 総会, テーマ「リソースからキャパシティへの展開」, 2004.10.9

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- 藤田博暁 : 平成16年度私立大学等経常費補助金特別補助, 高齢者の歩行速度と下肢筋力に関する基礎的研究

- ・窪田 聡, 山本澄子, 勝平純司, 市川 洌: 2005年度日本科学協会笹川助成金「介護用ベッドの背上げ動作が身体に及ぼす影響」研究番号(17-282)
- ・加藤宏之, 潮見泰藏, 金子純一郎 他(分担研究): 研究課題「発達および障害回復期における神経回路の再編成機構」チーム型研究(CREST), 科学技術振興機構, 2005年度, 継続

学位取得

- ・金子純一郎: 保健医療学博士取得, 起きあがり動作における運動パターン及びパフォーマンス評価に関する研究, 2004.9.30

所属学会

- ・丸山仁司: 東京保健科学学会, 理学療法科学学会, 日本義肢装具学会, バイオメカニズム学会, 日本人間工学会, 日本体力医学会, 日本老年医学会, ヒトと動物の関係学会, 日本エム・イー学会, 日本リハビリテーション医学会, 運動療法研究会, 人類動態学会, 日本生理学会, 日本私立医科大学理学療法研究会, 臨床歩行分析懇談会, 運動障害研究会, 日本運動生理学会, 日本生理人類学会, 日本病院管理学会, 馬と健康社会研究会
- ・大久保真人: 日本解剖学会, 日本リンパ学会
- ・藤沢しげ子: 日本生理学会, 日本神経科学学会, 理学療法科学学会, 日本磁気共鳴医学会, 日本私立医科大学理学療法研究会, 日本物理療法学会, 運動療法研究会
- ・秋山純和: 理学療法科学学会, 日本老年医学会, 日本呼吸器学会, 日本福祉学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本病態生理学会, 日本在宅ケア学会, 呼吸器系理学療法研究会, 肺理学療法研究会, 日本PNF研究会
- ・齋藤昭彦: 日本診療医学会, 日本私立医科大学理学療法研究会, 理学療法科学学会, 日本徒手の理学療法研究会, 栃木県理学療法士会, 日本理学療法学会(骨・関節系理学療法)
- ・潮見泰藏: 日本リハビリテーション医学会, Member of International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 日本老年医学会, 日本健康教育学会, 理学療法科学学会, 日本人間工学会, 日本体力医学会, 日本私立医科大学理学療法研究会, 脳機能とリハビリテーション研究会
- ・谷 浩明: 日本私立医科大学理学療法研究会, 理学療法科学学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本生理人類学会, 運動学習研究会, スポーツ心理学会, 物理療法研究会
- ・西條富美代: 日本私立医科大学理学療法研究会, 理学療法科学学会, 日本人間工学会, 義肢装具学会, 日本生理人類学会, 日本リハビリテーション工学学会, 臨床歩行分析研究会, 動作補助工学研究会, 全国訪問リハビリテーション研究会
- ・佐野裕子: 呼吸管理学会, 臨床運動療法研究会, 日本私立医科大学理学療法研究会
- ・藤井菜穂子: 理学療法科学学会, 人間工学会, 日本老年医学会, 生理人類学会, 理学療法科学学会
- ・藤田博暁: 日本老年医学会, 理学療法科学学会, 日本私立医科大学理学療法研究会
- ・勝平純司: 日本人間工学会, 日本建築学会, バイオメカニズム学会, 日本義肢装具学会
- ・金子純一郎: 理学療法科学学会, 日本私立医科大学理学療法研究会, 日本老年医学会
- ・倉本アフジャ亜美: 理学療法科学学会
- ・齋藤里果: 理学療法科学学会
- ・下井俊典: 理学療法科学学会, 日本人間工学会, 日本物理療法学会, 日本生理人類学会, 日本デイケア学会
- ・霍 明: 理学療法科学学会

学会役員

- ・ 丸山仁司：東京保健科学学会（理事・評議員），理学療法科学学会（学術局長），日本人間工学会（評議員），日本運動生理学会（評議員）
- ・ 大久保真人：日本解剖学会（評議員，第16回国際解剖学会議式典小委員会委員），日本リンパ学会（常任理事，編集委員）
- ・ 藤沢しげ子：日本私立医科大学理学療法研究会（理事），理学療法科学学会（評議員，理学療法科学編集委員）
- ・ 秋山純和：理学療法科学学会（理学療法科学編集協力・評議員），呼吸器系理学療法研究会（運営委員），日本PNF研究会（理事）
- ・ 齋藤昭彦：日本徒手の理学療法研究会（学術担当幹事，学術編集部委員，栃木支部長），栃木県理学療法士会（理事）
- ・ 潮見泰藏：理学療法科学学会（事務局長，評議員）
- ・ 藤井菜穂子：理学療法科学学会（査読委員）
- ・ 藤田博暁：理学療法科学学会（出版部・編集委員）

保健学部（作業療法学科）

著書

- ・ 山根 寛，中村茂美，神作一実，荻原喜茂（編）：移ることの障害とアプローチ，三輪書店，2004
- ・ 古川昭人（編著）：一人で学べる作業療法士国家試験問題・詳解2005，広川書店，2004
- ・ 古川昭人（編著）：国試の達人・作業療法編2005，アイペック，2004
- ・ 古川昭人（共著）：介護福祉士受験講座サブノート2005，医療福祉総合研究所，2004
- ・ 古川昭人（共著）：ケアマネジャー受験講座2005，医療福祉総合研究所，2004
- ・ 下田信明：国試の達人作業療法編第3版（編集：作業療法科学研究会），アイペック，2004

原著論文

- ・ 谷口敬道：摂食・嚥下リハのチームアプローチ～作業療法の立場からみた専門職間の相補的關係について～，第31回日本脳性麻痺研究会記録集，pp33-36，2004.6
- ・ Mieko Kurosawa，Takamichi Taniguchi，Masashi Yoneda：Cholecystokinin and prostaglandins Inhibit responses of vagal afferent activity to systemic administration of nicotine in anesthetized rats，Neuroscience，pp213-215，2004

総説

- ・ 杉原素子：老人保健施設へ行こう，市町村圏域で働こう，作業療法，Vol.23 No.5，2004.10
- ・ 杉原素子：作業療法の専門技術と役割，診療研究，No.400，2004.8
- ・ 杉原素子：大学の地域貢献～身近な圏域における通常学級教員と保健医療専門職との連携～，TALK April，Vol.53，2004.4
- ・ 杉原素子：作業療法士，週刊朝日，2004.9.10
- ・ 杉原素子：学問のすすめ，下野新聞，2004.6.6
- ・ 荻原喜茂：一特定非営利活動法人「那須フロンティア」の試み（その2）－精神認知とOT，精神障害者の地域生活支援，Vol.1 No.3，pp236-240，2004

- ・ 荻原喜茂：精神障害者の地域生活支援と精神科病院の役割 NPOの実践から見た精神科病院への期待，日精協誌，Vol.23 No.9，pp35-40，2004
- ・ 荻原喜茂：アクティビティを用いたアプローチ その基本的な考え方，高齢者ケア，Vol.8 No3，pp4-9，2004
- ・ 荻原喜茂：精神科臨床サービスにおける作業療法士の新人教育－新人に伝えたいこと－，精神科臨床サービス，Vol.5 No.1，pp71-74，2005
- ・ 河野 眞：チェシャホーム・プランタイヤの2年間，ノーマライゼーション～障害者の福祉，pp62-64，2005.3

研究報告

- ・ 杉原素子：筋力向上トレーニング，大田原市介護予防モデル事業
- ・ 古川昭人：痴呆性高齢者に対する作業療法効果の検討2報，全国地域作業療法研究会
- ・ 古川昭人：在宅高齢者に対する作業療法士の役割と特性に関する研究2報，全国地域作業療法研究会
- ・ 菅原洋子：リハビリテーション専門職養成プロジェクト，短期派遣報告，JICA 中国リハビリテーション研究センター
- ・ 下田信明：移動補助具分野の国際規格適正化調査研究成果報告書，日本福祉用具・生活支援用具協会，2005
- ・ 下田信明：認知症高齢者の家族支援プログラム実施モデル事業報告書，（社）日本作業療法士協会，2005

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 杉原素子：これからの老健に求められる機能，栃木県老人保健施設協議会総会，宇都宮市，2004.11.18
- ・ 杉原素子：QOLとユニバーサルデザイン，市民公開特別講演，第38回日本作業療法学会（司会），長野市，2004.6.26
- ・ 杉原素子：世界と日本の作業療法～これまでとこれから～，第1回宮崎県作業療法学会講演，宮崎市，2004.3.13
- ・ 杉原素子：実生活を支援する視点と実践，大分県作業療法士会研修会講演，大分市，2004.10.24
- ・ 杉原素子：実生活を支援する視点と実践，第15回東北作業療法学会講演，仙台市，2004.10.2
- ・ 杉原素子：作業療法の専門性と可能性を考える，群馬県作業療法学会講演，前橋市，2004.12.5
- ・ 杉原素子：これからの作業療法，広島県作業療法士会創立10周年記念式典講演，広島市，2005.3.13
- ・ 杉原素子：日本の作業療法の動向，千葉県作業療法士会新人研修会講演，千葉市，2004.12.12
- ・ 杉原素子：協会の歴史と活動，栃木県新人研修会講演，宇都宮市，2004.7.11
- ・ 杉原素子：障害を持つ人たちから教えられたこと，青陵リハビリテーション学院開学記念講演，長岡市，2004.6.11
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの利用，宮城県痴呆性疾患研修センター痴呆性老人介護指導者養成研修会，仙台市，2004.5.14
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，札幌市痴呆介護実務者研修会，札幌市，2004.5.18
- ・ 荻原喜茂：精神障害の地域生活支援，第38回日本作業療法学会，長野市，2004.6.27
- ・ 荻原喜茂：うつ病と作業療法，栃木県作業療法士会定例研修会，宇都宮市，2004.7.11
- ・ 荻原喜茂：精神科リハビリテーションの実際，精神科訪問看護研修Ⅱ，東京都，2004.7.21
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，札幌市痴呆介護実務者研修会，札幌市，2004.8.24
- ・ 荻原喜茂：精神障害の生活，精神障害保健福祉ボランティア講座，黒磯市，2004.10.2
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，福島県痴呆介護実務者研修専門課程，福島市，2004.10.6
- ・ 荻原喜茂：精神障害の地域生活支援，埼玉県精神保健福祉センター研修会，大宮市，2004.10.8
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，札幌市痴呆介護実務者研修会，札幌市，2004.10.19
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，宮城県痴呆性疾患研修センター痴呆性老人介護指導者養成研修会，仙台市，2004.11.26
- ・ 荻原喜茂：精神障害と作業療法，（社）日本精神科看護技術協会栃木県支部，第3回看護研修会，宇都宮市，2004.12.7

- ・ 荻原喜茂：関連法規，栃木県作業療法士会定例研修会，宇都宮市，2005.1.16
- ・ 荻原喜茂：アクティビティの理解，札幌市痴呆介護実務者研修会，札幌市，2005.1.18
- ・ 荻原喜茂：精神科リハビリテーションの実際，（社）日本精神科看護技術協会精神訪問看護集中研修会，東京都，2005.2.2
- ・ 荻原喜茂：精神科作業療法の歴史，東京都作業療法士会現職者研修会，2005.2.20
- ・ 荻原喜茂：こころの健康講座 うつ病について，湯津上村，2005.3.16
- ・ 古川昭人：地域作業療法のかたち；定義と提言，全国地域作業療法研究大会の主催・講演，北九州市，2005.3.5
- ・ 古川昭人：自立生活と介護予防へのリハビリテーション的支援；やる気と活動継続のための援助について考える，リハビリテーションから見たサービスの質，宮崎県地域リハ支援事業における講演，都城市，2005.3.26
- ・ 菅原洋子：上肢スプリントの種類と適応，北京リハビリテーション研究センター，2004.4.26
- ・ 菅原洋子：脳性まひ者の発達課題，中華人民共和国の脳性まひ研究会，北京リハビリテーション研究センター，2004.6.28
- ・ 菅原洋子：障害者の職業復帰，北京リハビリテーション研究センター，北京市，2004.8.5
- ・ 菅原洋子：「科学，その性質と研究方法」，栃木県作業療法士会新人教育プログラム，栃木健康の森，2004.11.14
- ・ 菅原洋子：住宅改修と福祉機器，栃木JA研修センター，2004.9.30
- ・ 菅原洋子：姿勢保持，移動介助従事者養成研修会，那須共育学園，2004.12.19
- ・ 菅原洋子：中国滞在記－JICA専門家として－，埼玉県立大学，2005.1.30
- ・ 菅原洋子：リスク管理－ガイドヘルパー研修－，那須共育学園，2005.1.9
- ・ 菅原洋子：高齢者の体の仕組みを理解しよう，軽度生活援助事業担い手講習会，大田原シルバー人材センター，2005.3.9
- ・ 谷口敬道：摂食・嚥下リハのチームアプローチ～作業療法の立場からみた専門職間の相補的關係について～，第31回日本脳性麻痺研究会，京王プラザホテル，東京，2004.6.5
- ・ 谷口敬道：筋力向上トレーニング教室（大田原市）の実施経過について－大学の研究推進の立場から－，平成16年度介護認定審査会委員現任研修，栃木県矢板健康福祉センター，栃木，2005.3.17
- ・ 森田千晶：作業療法の対象領域，栃木県作業療法士会・新人研修会，宇都宮市，2004.7.14
- ・ 森田千晶：筋電義手－システムと種類－世界の最新情報，日本作業療法士協会・切断者の生活支援研究会，兵庫県リハビリテーションセンター，兵庫県明石市，2005.2.11-12
- ・ 森田千晶：日常生活のできるリハの工夫，在宅難病患者に対する訪問事業・医療生活相談会，矢板健康福祉センター，矢板市，2005.1.27
- ・ 河野 眞：重度・重複障害児の指導の実際，平成16年度訪問教育研修，栃木県総合教育センター，2004.9.7
- ・ 河野 眞：青年海外協力隊でアフリカに行った!!，ワークショップ“世界の作業療法の動きと日本の作業療法士による国際交流と支援”，第15回東北作業療法学会，宮城，2004.10.2
- ・ 河野 眞：カンボジアのNGOで地域精神保健活動を展開するという事，OT協会国際部/PT協会国際部共催第12回海外技術協力セミナー，大阪，2004.11.6
- ・ 河野 眞：世界の作業療法の動向，平成16年度第4回新人教育プログラム，栃木県作業療法士協会，2005.1.16
- ・ 河野 眞：作業療法士としての体験報告 in マラウイ，JANNET/JICA東京共催 JANNET研究会「アフリカのコミュニティ開発と障害」，東京，2005.1.23
- ・ 河野 眞：カンボジアのNGOにおける地域精神保健活動，平成16年度埼玉県作業療法士会第4回研修会，2005.1.30
- ・ 河野 眞：カンボジアでの精神保健への支援活動，2004年度JANNET研修会「精神障害と国際協力」，東京，2005.3.6

学会発表

- ・ 杉原素子, 澁井 実, 下田信明: 臨床実習に臨む学生の不安度とその要因, 第13回日本保健科学学会学術集会, 東京, 2005.2.5
- ・ 菅原洋子: 股関節の人工関節置換術後の埋め込み式浴槽への入り方, 第38回作業療法学会
- ・ 菅原洋子: 乳がん後脊椎転移を呈した患者の退院指導, 第38回作業療法学会
- ・ 高橋良至, 山下 雄, 谷口敬道 他6名: 発達障害児のためのVRセラピーシステム, 第22回日本ロボット学会学術講演会, 岐阜大学, 2004.9.15
- ・ 下田信明, 藁谷裕葵, 田中雅博, 高橋保子: 長期回復を示した脊椎症性脊髄症・多発性脳梗塞併発の症例への作業療法経験第3報, 第38回日本作業療法学会, 2004
- ・ 藁谷裕葵, 鈴木みわ子, 山下幸一, 草野嘉直, 下田信明: もてあそび行為から目的動作へ～多彩な高次神経障害を呈した症例に対するADL・APDLアプローチ～, 第15回東北作業療法学会, 2004
- ・ 松木英里奈, 下田信明: 介護者からみた通所リハビリテーション利用の目的－介護者へのアンケート調査より－, 第9回日本在宅ケア学会学術集会, 2005
- ・ 下田信明, 松木英里奈: 利用者からみた通所リハビリテーション利用の目的及び満足度－利用者へのアンケート調査より－, 第9回日本在宅ケア学会学術集会, 2005
- ・ 松下素子, 鈴木俊成, 待井正司, 三浦一也, 河野 眞: 生活習慣病・肥満から生活を見直すグッドスタイルクラブの取り組み, 作業療法, Vol.23 Supplement, p320, 第38回日本作業療法学会, 2004.6.24-27
- ・ 澁井 実: 臨床実習に臨む学生の不安度とその要因, 第13回日本保健科学学会学術集会, 東京, 2005.2.5
- ・ 澁井 実 (座長): 栃木県作業療法士会教育部新人教育プログラム 症例研究, 宇都宮, 2004.11.14
- ・ 澁井 実 (座長): 栃木県作業療法士会教育部新人教育プログラム 症例研究, 宇都宮, 2005.1.16

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・ 杉原素子, 他32名 (谷口敬道): 要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究, 平成16年度厚生労働省研究費補助金, 長寿科学総合研究事業, 平成16年度総括報告書, 2005.3.31
- ・ 荻原喜茂: JICA 中華人民共和国北京リハビリテーションセンターリハビリテーション専門職養成支援プロジェクト短期専門家派遣, 2004.8.30-9.10
- ・ 森田千晶: 実用化筋電義手の開発, テクノエイド協会
- ・ 長谷川豊, 石井博之, 河野 眞, 林由美子: ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業, 平成16年度第2回草の根技術協力事業 (草の根パートナー型)

学位取得

- ・ 河野 眞: 学位 (修士) 取得, 医療福祉経営学

所属学会

- ・ 杉原素子: 日本リハビリテーション医学会, 日本保健科学学会, 日本病院管理学会
- ・ 荻原喜茂: 日本精神障害リハビリテーション学会, 日本リハビリテーション連携科学学会
- ・ 古川昭人: 全国地域作業療法研究会
- ・ 菅原洋子: 日本作業療法学会, 人間工学学会, リハビリテーション連携学会
- ・ 谷口敬道: 日本重症心身障害学会, 日本生活支援工学会, 光脳機能イメージング研究会
- ・ 下田信明: 日本作業療法学会, 日本作業行動研究会, 日本在宅ケア学会, 日本老年社会科学学会, 医療マネジメント

学会栃木地方会，日本リハビリテーション連携科学学会，日本神経心理学会

- ・ 森田千晶：日本義肢装具学会，国際義肢装具学会
- ・ 澁井 実：精神科リハビリテーション学会，日本保健科学学会
- ・ 林由美子：Joint Facilitation研究会

学会役員

- ・ 杉原素子：日本リハビリテーション医学会（評議員），日本保健科学学会（理事）
- ・ 荻原喜茂：日本精神障害リハビリテーション学会（理事），日本リハビリテーション連携科学学会（理事）
- ・ 古川昭人：全国地域作業療法研究会（代表）
- ・ 萱原洋子：日本作業療法学会（演題審査委員），リハビリテーション工学（カンファレンス会員）
- ・ 谷口敬道：日本生活支援工学会（資質委員）
- ・ 下田信明：日本作業療法学会（第39回，第40回，第41回 演題採否委員）
- ・ 森田千晶：日本義肢装具学会（評議員・学会誌編集委員）

保健学部（言語聴覚学科）

著書

- ・ 菅野倫子，藤田郁代（分担執筆）：学習療法 part2，失語症の言語機能の回復メカニズム，pp70-85，くもん出版，2005
- ・ 小松崎篤，岩田 誠，藤田郁代（編集）：言語聴覚士テキスト（廣瀬 肇監修），医歯薬出版，2005
- ・ 伊藤元信：運動性発話障害の臨床，（西尾正輝監訳），小児から成人まで(K.M.Yorkston et al (eds.): Management of motor speech disorders in children and adults, pro・ed, 1999)，インテルナ出版，2004.5
- ・ 福永真哉，伊藤元信：第17章 構音障害の評価（田川皓一編），神経心理学評価ハンドブック，pp179-187，西村書店 2004.11
- ・ 伊藤元信：言語聴覚士テキスト（廣瀬 肇監修），VII 言語聴覚障害学総論，pp222-228，医歯薬出版，2005.2
- ・ 廣田栄子，城間将江，小渕千絵，武智司尾子：聴覚障害学I・II 演習テキスト，2004.4
- ・ 城間将江：人工内耳と聴覚・言語発達，新生児聴覚スクリーニング，加我君孝編，pp80-92，金原出版，2005
- ・ 廣田栄子，城間将江，中村淳子，武智司尾子，吉川千絵：演習テキスト，聴覚障害学I，II，pp1-101，IUHW，2004
- ・ 西尾正輝（監訳兼共訳）：運動性発話障害の臨床ー小児から成人までー，インテルナ出版，2004
- ・ 西尾正輝：標準ディサースリア検査，インテルナ出版，2004
- ・ 西尾正輝：標準ディサースリア検査，CD-ROM，インテルナ出版，2004

原著論文

- ・ 久保田純子，藤田郁代，橋本律夫：失語症における動詞と名詞の乖離，言語聴覚研究，Vol.2 No.1，pp3-12，2005
- ・ 小島真奈美，藤田郁代，高岡 徹：数の統語処理に障害をきたした一例，高次脳機能研究，Vol.24 No.1，pp11-19，2004
- ・ 城間将江，松永達雄：人工内耳装用者の聴取に関する考察，医療，pp522-577，2004
- ・ Matsunaga T, Shiroma M, Goto Y, Usami S : Audiological features and mitochondrial DNA sequence in a large family

- carrying Mitochondrial A1555G mutation without use of aminoglycoside, *Annals of Otolaryngology, Rhinology & Laryngology*, Vol.114 No.2, pp153-160, 2005
- Matsunaga T, Kumanomido H, Shiroma M, Ohtsuka A, Asamura K, Usami S : Deafness due to A1555G Mitochondrial Mutation without use of Aminoglycoside, *The Laryngoscope* 144, pp1085-1091, 2004
 - Hideo Saigusa, Kazuo Yamashita, Kumiko Tanuma, Makoto Saigusa and Seiji Niimi : Morphological Studies for Retrusive Movement of the Human Adult Tongue *Clinical Anatomy*, 17, pp93-98, 2004
 - Masaki Nishio and Seiji Niimi : Relationship between Speech and Swallowing in Patients with Neuromuscular Disease, *Folia Phoniatrica et Logopedica*, 56, pp291-304, 2004
 - 平松宏之, 山口宏也, 新美成二, 大野秀則 : 喉頭領域の精密3次元モデル作製の試み, *日耳鼻会報*, 107, pp949-955, 2004
 - 竹内 啓, 今川 博, 榊原健一, 田山二郎, 新美成二 : 新型高速度デジタルカメラの喉頭領域への応用および検討, *日気食会報*, 55, pp57-361, 2004
 - 愛野威一郎, 三枝英人, 粉川隆行, 中村 毅, 新美成二, 八木聡明 : 慢性乾性咳嗽とその喉頭所見について, *日気食会報*, 55, pp305-311, 2004
 - 廣田栄子 : 乳幼児の聴覚検査, *臨床検査*, 47, 10, pp1096-1103, 2004
 - 廣田栄子 : 先天性聴覚障害児の発語への影響, *JHONS*, 21, 4, pp567-571, 2005
 - 廣田栄子 : 新生児聴覚スクリーニング検査, *発達*, 102, 26, pp48-52, 2005
 - Matsunaga T, Hirota E : Familial Semicircular Canal Malformation with External and Middle Ear Abnormalities *American J.of Genetics*, Vol.116(A) No.4, pp360-367, 2004
 - 小淵千絵, 廣田栄子 : 小児における韻律識別の発達に関する検討, *AudiologyJapan*, 47, pp192-199, 2004
 - 田中裕美子 他 : 栃木県西那須野町における特別支援教育実践報告 (1) , *日本特殊教育学会発表論文集*, pp137-138
 - Nishio M, Niimi S : Relationship between speech and swallowing disorders following neuromuscular disease, *Folia Phoniatrica et Logopaedica*, 56, pp291-304, 2004
 - 西尾正輝, 新美成二 : 加齢に伴う話声位の変化, *音声言語医学*, 46, pp136-144, 2005
 - 濱中康治, 小林修二, 久保 晃, 藤井伸一, 森田秋子 : 脳卒中片麻痺患者における半側空間無視を歩行自立度の関係, *理学療法科学*, 19, pp337-340, 2004
 - 池田利章, 前新直志, 熊木克治 : 言語聴覚学科における人体解剖学見学実習の教育効果, *リハビリテーション教育研究*, 9, pp79-82, 2004.4
 - 渡邊正基, 前新直志, 磯野信策 : 音読での吃音が顕著な学童女児の指導—間接的指導を取り入れて直接的指導を重要視した事例—, *新潟医療福祉学会雑誌*, Vol.4 No.1, pp48-56, 2004.12
 - 前新直志 : 思春期吃音者に対する心理的援助と発話訓練, *聴覚言語障害*, Vol.33 No.2, pp89-97, 2004.12
 - 前新直志, 山田好秋 : 発話速度刺激の変化が幼児の反応時間と復唱発話に及ぼす影響, *音声言語医学*, Vol.46 No.1, pp1-9, 2005.1
 - 前新直志, 山田好秋 : 発話刺激の間の変化が幼児の反応時間と復唱発話の間に及ぼす影響, *言語聴覚研究*, Vol.2 No.1, pp13-20, 2005.3

総説

- 藤田郁代 : 「言語聴覚研究」が拓くもの, *言語聴覚研究*, Vol.1 No.1, pp6-8, 2004
- 藤田郁代 : 失語症の回復プロセス, *高次脳機能研究*, Vol.24 No.3, pp201-202, 2004
- 藤田郁代 : 失語症リハビリテーションの最新の動向, *カレントセラピー*, Vol.22 No.11, pp19-23, 2004

- ・藤田郁代：言語聴覚士の臨床教育の現状と課題，リハビリテーションのひろば，37，pp31-37，2004
- ・藤田郁代：言語聴覚士の役割と今後の課題，診療研究，402，pp30-35，2004
- ・伊藤元信：嚥下のメカニズムと食事介助，いきいき栃木，2004年秋号，p18，2004
- ・伊藤元信：「言語聴覚研究」発刊に寄せて，言語聴覚研究，Vol.1 No.1，p4，2004
- ・城間将江：成人の人工内耳の音入れとリハビリテーション，JOHNS20-1，pp84-90，2004
- ・城間将江：Medical Tribune，Home care medicine，4月号，p37，2004
- ・廣田栄子：聴覚検査と診断過程の実際，新生児聴覚検査と早期リハビリテーションの手引き，日本言語聴覚士協会小児聴覚委員会，pp7-11，2004
- ・廣田栄子：補聴器の適合と指導，新生児聴覚検査と早期リハビリテーションの手引き，日本言語聴覚士協会小児聴覚委員会，pp60-68，2004
- ・廣田栄子：座長記「難聴児教育2」，Audiology Japan，48，1，pp34-35，2005
- ・廣田栄子，武智司尾子，小淵千絵：高齢者の語音識別における雑音下の周波数情報の処理，Audiology Japan，47，5，pp285-286，2004
- ・廣田栄子：「聴覚障害児の言語とその指導」，言語障害と指導，精神発達指導教育協会，pp7-13，2004
- ・廣田栄子：「根拠に基づいた教育・療育」聴覚障害，60，3，pp2-3，2005
- ・小淵千絵，廣田栄子：中高度聴覚障害児の韻律識別力と聴覚活用に関する検討，Audiology Japan，47，5，pp281-282，2004
- ・大和田健次郎，古賀慶次郎，小川 郁，廣田栄子 他：内耳ひずみの研究，Audiology Japan，47，5，pp585-586，2004
- ・松永達雄，廣田栄子，藤井正人 他：コネキシン26遺伝子変異を伴う先天性難聴における聴覚・言語発達の特徴，Audiology Japan，47，5，pp595-596，2004
- ・小淵千絵，廣田栄子：小児における韻律識別の発達に関する検討，Audiology Japan，47，pp192-199，2004
- ・水上喜美子，小淵千絵：高齢者の聴力レベルが知的機能に及ぼす影響について，仁愛大学研究紀要，3，2005

研究報告

- ・藤田郁代：脳外傷のコミュニケーション障害の病態と談話機能検査開発に関する研究，科学研究費補助金（日本学術振興会）基盤研究(C)(2)
- ・伊藤元信：サテライト・キャンパスを結んだ大学院遠隔授業の改善の取り組み，研究報告，フレキシブル・ラーニング環境における授業づくり，メディ教育開発センター（NIME）研究報告，7-2005，pp50-53，2005.3.10

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・藤田郁代：高齢者のリハビリテーションと言語聴覚療法，第5回日本言語聴覚学会，横浜，2004.6.13
- ・藤田郁代：高齢者の認知・言語障害への専門的対応，栃木県訪問看護ステーション協議会中央研修会，宇都宮，2004.9.15
- ・藤田郁代：言語聴覚士の未来，北陸言語聴覚学術集会，福井，2004.10.3
- ・藤田郁代：言語聴覚士の現在と未来，佐賀県言語聴覚士会創立5周年記念式典，佐賀，2004.10.24
- ・藤田郁代：言語聴覚士教育の課題，言語聴覚士コアカリキュラムシンポジウム，北海道医療大学，札幌，2004.12.4
- ・藤田郁代：医療・福祉・教育の動向と言語聴覚士の役割，秋田県言語聴覚士会設立記念祝賀会，秋田，2004.9.11
- ・伊藤元信：嚥下のメカニズムと食事介助，介護指導者研修，栃木県介護研修センター，2004.6.18
- ・伊藤元信：嚥下のメカニズムと食事介助，介護指導者研修，栃木県南介護研修センター，2004.6.22
- ・伊藤元信：嚥下のメカニズムと食事介助，介護指導者研修，栃木県北介護研修センター，2004.7.16

- ・城間将江：人工内耳の活用による小児の発達について，横浜市養護教育教職員研修会，横浜市養護教育総合センター，2004.9
- ・城間将江：諸外国における聴覚障害の早期発見と教育，第30回全国身体障害者福祉医療講習会，日本耳鼻咽喉科学会，和歌山，2004.6.5-6
- ・城間将江：小児人工内耳における母親指導，人工内耳東海支部，名古屋，2004.7.25
- ・城間将江：人工内耳小児の統合に関して，埼玉県大宮聾学校，2004.10.15
- ・城間将江：人工内耳の活用について大塚聾学校，2004.11.2
- ・城間将江：人工内耳と聴覚・言語発達，東京大学，2005.1.22
- ・城間将江：聴覚と言語発達，耳鼻咽喉科大手前カンファレンス，大阪，2005.3.5
- ・新美成二：構音障害診療における耳鼻咽喉科医の役割（特別講演），日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会，熊本，2004.4.14
- ・新美成二：高音について，発声指導者協会春季研究会，大宮，2004.4.15
- ・新美成二：嚥下障害とそのリハビリテーション，両毛耳鼻咽喉科医会研修会，2004.9.29
- ・新美成二：耳鼻咽喉科から見た音声障害，国立病院機構東京医療センター，感覚器疾患研修会，東京，2004.12.10
- ・新美成二：外来における音声障害の診断と治療，尾張耳鼻咽喉科医会研修会，名古屋，2005.3.5
- ・新美成二：健康な声のために，江戸川合唱連盟研修会，東京，2005.3.13
- ・新美成二：声の出る仕組み，春季国際声楽アカデミー，発声指導者協会，神戸，2005.3.26
- ・廣田栄子：言語聴覚障害児症例の検討，東京都世田谷区難聴言語教育研究会，東京都世田谷区，2004.6.28
- ・廣田栄子：「聴く力とことばの育ち」ことばを育む，精神発達指導協会実践セミナー，精神発達障害教育指導協会，東京都文京区，2004.7.18
- ・廣田栄子：新生児聴覚検査と評価の実際，総論，言語聴覚士協会生涯教育研修会，東京都港区，2004.7.25
- ・廣田栄子：難聴言語障害児の発達評価，世田谷区難聴言語学級教育相談会，東京都世田谷区，2004.7.26，9.13
- ・廣田栄子：心身障害児の医学と教育（聴覚障害）Ⅱ，平成16年度東京都立盲・ろう・養護学校初任者研修会，東京都教職員研修センター，東京都目黒区，2004.8.25
- ・廣田栄子：言語発達遅滞を呈する双生児の発達指導について，杉並区難聴・言語障害通級学級研究協議会，東京都杉並区，2004.10.25
- ・廣田栄子：補聴器と聴覚リハビリテーション，高齢期難聴，感覚器疾患研修会，東京医療センター，東京都世田谷区，2004.12.9
- ・廣田栄子：小児難聴と聴能訓練，補聴器技能者講習会，（財）テクノエイド協会，東京都文京区，2005.1.19
- ・廣田栄子：人工内耳術後難聴児の言語発達と指導，北区難聴言語教育研究会，東京都北区，2005.1.17
- ・廣田栄子：軽度聴覚障害症例の評価と指導，東京都墨田区言問小学校，2005.2.7
- ・廣田栄子：聴覚障害児指導におけるコミュニケーションモードの選択と音声学習，聴覚障害児症例検討と指導，高志通園センター職員研修会，富山県富山市，2005.3.14-15
- ・田中裕美子：言語学習障害・読み書き障害，第49回音声言語医学会，会長推薦講演，熊本産業文化会館，2004.11.11
- ・田中裕美子：軽度発達障害における読み書きの問題，第4回発達性ディスレキシア研究会講演，川崎市ミューザ市民交流室，2004.8.26
- ・田中裕美子：話しことばと書きことば—Roberts 博士を迎えて，第13回LD学会，成蹊大学，2004.8.28
- ・畦上恭彦：学習の前提における主体性の尊重，INREALアプローチの視点から，2004年度発達が気になる子の育ちを考える夏季セミナー，うめだ・あけぼの学園，上智大学，2004.8
- ・畦上恭彦：INREALアプローチ，厚生労働省派遣医師等で行う研修会，沖縄県言語聴覚士会，沖縄県浦添市，

2005.3.5-6

- ・ 西尾正輝：想いを伝えるコミュニケーションと飲み込みの問題の対処法，栃木県大田原市保健センター，2004.6.4
- ・ 西尾正輝：嚥下と言語の問題をもつ神経筋難病患者への対応，栃木県大田原市保健センター，2004.8.9
- ・ 西尾正輝：標準ディサースリア検査講師，第15回標準ディサースリア検査，愛知県中小企業センター，2004.10.9-10
- ・ 森田秋子：回復期リハビリテーション病棟における言語聴覚士，回復期リハビリテーション病棟研修会，福岡市，2005.2.27
- ・ 前新直志：幼児期の話しことばのスムーズさー問題と援助ー，国際医療福祉大学言語聴覚センターミニセミナー講演，栃木県，2004.5
- ・ 前新直志：新潟医療福祉大学医療技術学部言語聴覚学科特別講義，新潟県，2004.8
- ・ 寺尾恵美子，前新直志：口蓋切歯乳頭部の神経痛によって吃様症状を訴えた症例ー第II報ープレート装着後の発話状態ー，新潟言語障害児懇談会発表，新潟県，2004.12
- ・ 渡邊正基，前新直志，磯野信策：音読での吃音が顕著な学童女兒の指導，新潟県聴覚言語障害児研究会発表，新潟県，2005.3

学会発表

- ・ 横山妙子，藤田郁代，鈴木智子，森田秋子，橋本律夫：左頭頂葉下部病変による漢字の失読と呼称障害との関連，第28回日本高次脳機能障害学会，2B10群，東京，2004.11.26
- ・ 久保田純子，藤田郁代，橋本律夫：失語症における名詞と動詞の喚語障害，第5回日本言語聴覚士学会，8群，横浜，2004.6.12
- ・ 平田 文，伊藤元信：食事前後の嚥下動態の変化，RSSTを用いた検討，第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会，新潟市，2004.9.11
- ・ Kaga K, Shiroma M, Akamatsu Y, Ogata E, et al : Environmental sound perception in adult patients with cochlear implants, a comparison with central auditory disorders, Cochlear implants International, An Interdisciplinary Journal, Vol.5 No.1, pp90-92, 2004
- ・ 新美成二（座長）：第28回日本口蓋裂学会，B-1群，チーム医療，鹿児島，2004.5.26
- ・ 新美成二（座長）：第105回日本耳鼻咽喉科学会，第20群，音声I，広島，2004.5.13
- ・ 新美成二（座長）：招聘講演Michael F, Vaezi, 第7回GERDと咽喉頭疾患研究会，東京，2004.6.12
- ・ 新美成二（座長）：パネルディスカッション，第7回GERDと咽喉頭疾患研究会，東京，2004.6.12
- ・ 梅津絵里子，新美成二：当重症心身障害児（者）施設における嚥下障害の実態とリハビリテーション，日耳鼻栃木県地方部会第86回学術講演会，宇都宮，2004.9.12
- ・ 新美成二（座長）：ミニシンポジウム「音声基礎」，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・ 新美成二：口蓋帆下降に関する筋電図学的研究，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・ 今川博，新美成二 他：2質量モデルによるフライ発声の声帯振動の模擬，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・ 岩崎智治，新美成二 他：ピッチ調節に対する外喉頭筋の活動と喉頭の空間的位置関係，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・ 楠山敏行，新美成二 他：東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・ 佐藤麻美，新美成二 他：GIDの音声に対する基本的店頭と音声治療の効果について，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12

- ・藤本裕一, 新美成二 他：喉頭結核の3奨励とくに局所の変化，嗄声の改善度に注目して，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・磯貝 豊, 新美成二 他：挿管性内筋麻痺と診断せざるをえない1症例，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・愛野威一郎, 新美成二 他：ヒト反射性は津運動の機能生理学的研究，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・牧山清, 新美成二 他：無喉頭発声例の発声機能評価，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・伊藤朋子, 新美成二 他：声帯溝症に対する音声治療について，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12
- ・新美成二 (座長)：ランチョンセミナーGERD Up-to-Date，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.26
- ・新美成二 (座長)：ビデオシンポジウム喉頭運動麻痺治療，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.26
- ・廣田栄子, 武智司尾子, 小瀧千絵：高齢者の語音識別における雑音下の周波数情報の処理，第47回日本聴覚医学会，福岡，2004.10.14
- ・小瀧千絵, 廣田栄子：中高度聴覚障害児の韻律識別力と聴覚活用に関する検討，第47回日本聴覚医学会，福岡，2004.10.14
- ・大和田健次郎, 古賀慶次郎, 小川郁, 廣田栄子 他：内耳ひずみの研究，第47回日本聴覚医学会，福岡，2004.10.15
- ・松永達雄, 廣田栄子, 藤井正人 他：「コネキシン26遺伝子変異を伴う先天性難聴における聴覚・言語発達の特徴」第47回日本聴覚医学会，福岡，2004.10.15
- ・Tanaka Welty Y, Suzuki T & Menn L：‘Comprehension strategy use in Japanese children with SLI’ Presented at the convention of ASHA, Philadelphia, USA
- ・田中裕美子 他：栃木県西那須野町における特別支援教育実践報告(1)ー通常学級における対象児同定および支援方法の検討，第42回特殊教育学会自主シンポジウム
- ・田中裕美子, 鈴木孝明, 渡邊 純：特異的言語発達遅滞幼児の文理解について，第91回小児精神神経学会
- ・田中裕美子, 鈴木孝明, 渡邊 純, Menn L：特異的言語発達障害児の文理解における文脈の影響，第6回言語科学会国際大会
- ・青木さつき, 田中裕美子：特異的言語発達障害児の臨床像の検討ー幼児期から学童期までの指導経過，第13回LD学会
- ・遠藤重典, 畦上恭彦：言語聴覚センターに來所した発達障害乳幼児・児童についての検討，第5回日本言語聴覚士学会総会・学術集会，神奈川，2004.6
- ・畦上恭彦：学習障害児等指導体制充実事業，栃木県の取り組みに関わって，日本特殊教育学会第43回大会自主シンポジウム，東京，2004.9
- ・Shimoizumi H, Iwasaki H, Umetsu E, Saitou H, Nishio M, Niimi S：An assessment of dysphagia using videofluorography in severe motor and intellectual disabilities. 8th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology, 2004.10.7-10
- ・伊藤智彰, 鈴木智子, 西尾正輝：国際生活機能分類 (ICF) に基づいたディサースリアの治療モデルの1例，第5回日本言語聴覚士学会，神奈川県民ホール，2004.6.13
- ・志村栄二, 森山直子, 西尾正輝：認知機能の低下した運動低下性ディサースリアに対する発話速度の調節法第5回日本言語聴覚士学会，神奈川県民ホール，2004.6.13
- ・志村栄二, 森山直子, 西尾正輝：問題志向型に基づいた当施設における嚥下チームの立ち上げ，第5回日本言語聴覚士学会，神奈川県民ホール，2004.6.13
- ・田中康博, 西尾正輝, 大嶋梨紗子：携帯型ペーシングボードの活用により急速・劇的に改善し般化した運動低下性ディサースリアの一例，第5回日本言語聴覚士学会，神奈川県民ホール，2004.6.13
- ・米澤奈緒, 菅原由里香, 西尾正輝：ギラン・バレー症候群に伴うディサースリア1例の臨床経過，神奈川県民ホール，

2004.6.13

- ・ 志村栄二, 西尾正輝: 回想法が及ぼす実用的コミュニケーション能力への影響, 第15全国介護老人保健施設大会, 香川県民ホール, 2004.11.12
- ・ 浦辺浩司, 志村栄二, 西尾正輝: ペーシングボードを用いることで口頭コミュニケーションが劇的に用意になった一例, 第15全国介護老人保健施設大会, 香川県民ホール, 2004.11.13
- ・ 森田秋子, 小林修二, 飯島 節: 失語症患者のADLの予後, レーブン色彩マトリックス検査との関連について, 日本老年医学会, 幕張メッセ, 2004.6.16
- ・ 森田秋子, 岩渕 裕, 本郷裕子: 半側空間無視患者の慢性期における自覚症状について—左側の異常視を訴えた3例の報告—, 日本高次脳機能学会, 舞浜, 2004.11.25
- ・ 横山妙子, 鈴木智子, 藤田郁代, 森田秋子, 橋本律夫: 左側頭葉株病変による漢字の失読と呼称障害の関連, 日本高次脳機能学会, 舞浜, 2004.11.25
- ・ Obuchi C: Age-related changes in auditory processing and hearing handicap, XXVIII International Congress of Psychology, Beijing CHINA, 2004.8.10
- ・ 小渕千絵, 水上喜美子, 堅田明義: 高齢者における中枢聴覚処理と認知機能の関係について, 第68回日本心理学会学術大会, 大阪, 2004.9.13
- ・ 小渕千絵, 廣田栄子: 中高度聴覚障害児の韻律識別力と聴覚活用に関する検討, 第49回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 福岡, 2004.10.14
- ・ 廣田栄子, 武智司尾子, 小渕千絵: 高齢者の語音識別における雑音下の周波数情報の処理, 第49回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 福岡, 2004.10.14
- ・ 前新直志, 山崎和子, 小林宏明: 正常非流暢性と考えられた幼児の発話に対する母親の聴覚判定, 第30回日本コミュニケーション障害学会, コミュニケーション障害学, Vol.21 No.3, p218, 2004.5
- ・ 寺尾恵美子, 磯野信策, 前新直志: 舌・口底癌再建術後の口腔機能および構音機能の評価について, 第30回日本コミュニケーション障害学会, コミュニケーション障害学, Vol.21 No.3, p212, 2004.5
- ・ 前新直志, 山田好秋: 発話刺激の間の時間的変化が幼児の応答タイミングに及ぼす影響, 第5回日本言語聴覚学会抄録集, p62, 2004.6
- ・ 池田利章, 前新直志: 言語聴覚学科の解剖学実習見学に関する理解度の調査, 第5回日本言語聴覚学会抄録集, p112, 2004.6
- ・ 前新直志, 寺尾恵美子: 口蓋切歯乳頭部の神経痛によって発話困難を訴えた症例—第I報痛みに対する処置—, 第42回日本特殊教育学会発表論文集, p433, 2004.9
- ・ 前新直志: 幼児の発話非流暢性に対する鑑別診断, 第16回日本発達心理学会発表抄録集, p317, 2005.3
- ・ 前新直志 (座長): 第49回日本音声言語医学会 (熊本) 会長推薦講演「幼児の吃音」(北里大学 原 由紀氏) 2004.11

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・ 藤田郁代: 脳外傷のコミュニケーション障害の病態と談話機能検査開発に関する研究, 科学研究費補助金 (日本学術振興会), 基盤研究(C)(2), 課題番号15500379
- ・ 千野直一, 藤田郁代 他 (分担研究): 医療の質および医療安全体制の確保に関する研究, 厚生科学研究費補助金
- ・ 伊藤元信: 財団法人テクノエイド協会平成16年度福祉用具研究開発助成事業 (分担研究)
- ・ 新美成二, 高林瑞穂 他: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する生理学的研究, 喫煙科学財団研究助成金
- ・ 新美成二, 今川 博 他: 人間の発声の生理学的計測/分析手法の研究開発, 総務省 戦略的通信研究開発推進制度「研究主体育成型研究開発—産学官連携技術開発」

- ・ 廣田栄子（主任研究）：聴覚言語障害児における多感覚モダリティーを用いた言語機能の評価法の開発，平成16年度文部科学研究費，分担研究者 久保田正人（千葉大学），樺澤一之（国際医療福祉大），武智司尾子（国際医療福祉大），基盤研究(C)，継続
- ・ 田中裕美子：学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究，平成17年度文部科学省基盤研究(B)

所属学会

- ・ 藤田郁代：日本言語聴覚学会，日本音声言語医学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本リハビリテーション医学会，言語障害臨床学術研究会
- ・ 伊藤元信：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本音声言語医学会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，言語障害臨床学術研究会，American Speech-Language-Hearing Association
- ・ 城間将江：American Speech-Language-Hearing Association(ASHA)，Asian Pacific Cochlear Implant and Related Sciences，日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本言語聴覚学会，日本人工内耳研究会
- ・ 新美成二：日本耳鼻咽喉科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本気管食道学会，国際音声言語医学会，国際音声外科学会，東アジア音声外科学会，CoMeT（世界舞台芸術医学会），日本口蓋裂学会，日本耳科学会，日本音響学会，日本音声学会
- ・ 廣田栄子：日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本言語聴覚学会，日本コミュニケーション障害学会，日本音響学会，日本ろう教育科学会，日本連携リハビリテーション学会
- ・ 田中裕美子：American Speech Language Hearing Association，Adjunct member of the Institute of Cognitive Science，University of Colorado，小児精神神経学会，日本特殊教育学会，日本音声言語医学会，日本教育心理学会，日本LD学会
- ・ 畦上恭彦：日本言語聴覚学会，日本特殊教育学会，日本発達心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本音声言語医学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本コミュニケーション障害学会
- ・ 西尾正輝：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本音声言語医学会，ディサースリア臨床研究会，日本言語聴覚学会
- ・ 森田秋子：日本高次脳学会，日本神経心理学会，日本言語聴覚学会，理学療法学会
- ・ 伊藤智彰：日本言語聴覚学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本音声言語医学会
- ・ 鳥野幹夫：日本言語聴覚学会，日本特殊教育学会，日本公衆衛生学会
- ・ 小淵千絵：日本心理学会，日本特殊教育学会，日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本聴覚言語障害学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本生理心理学会
- ・ 前新直志：日本音声言語医学会，日本言語聴覚学会，日本発達心理学会，日本特殊教育学会，日本コミュニケーション障害学会，日本聴覚言語障害学会

学会役員

- ・ 藤田郁代：日本言語聴覚学会（プログラム委員），日本音声言語医学会（理事，評議員），日本神経心理学会（理事，評議員，編集委員），日本高次脳機能障害学会（理事，評議員，編集委員，ありかた委員会委員），言語障害臨床学術研究会（世話人）
- ・ 伊藤元信：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（理事・学会誌編集委員），日本音声言語医学会（評議員），日本高次脳機能障害学会（評議員），日本神経心理学会（評議員），言語障害臨床学術研究会（世話人），Journal of Clinical Linguistics and Phonetics誌（編集委員），Asia Pacific Journal of Speech, Language and Hearing誌（編集委員）
- ・ 城間将江：Asian Pacific Cochlear Implant and Related Sciences（理事），日本音声言語医学会（評議員），日本言語聴覚学会（国際部員，編集委員），日本人工内耳研究会（世話人）

- ・ 新美成二：日本耳鼻咽喉科学会（聴・平衡・言語委員会委員長，嚥下委員会委員），日本音声言語医学会（編集委員），日本喉頭科学会（理事，編集委員），日本気管食道学会（理事），国際音声言語医学会（理事），国際音声外科学会（理事），東アジア音声外科学会（理事），CoMeT（理事長），日本口蓋裂学会（評議員）
- ・ 廣田栄子：日本聴覚医学会（評議員，編集部会委員，補聴研究会世話人，内耳ひずみ研究会世話人），日本音声言語医学会（評議員，編集委員会査読委員），日本言語聴覚学会（学術研究委員会委員），小児聴覚小委員会（副委員長），日本コミュニケーション障害学会（編集委員会査読委員，研究奨励賞選考委員，学術研究選考委員），聴覚補償教育国際セミナー（実行委員会委員），日本連携リハビリテーション学会（評議員），Hearing International（評議員）
- ・ 西尾正輝：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（評議員），日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（編集委員・査読委員兼任），日本音声言語医学会（評議員），ディサースリア臨床研究会（会長），日本言語聴覚学会（評議員）

保健学部（視機能療法学科）

原著論文

- ・ 嶺井利沙子，清水公也，新田任里江，新井田孝裕 他：眼内レンズによるモノビジョン法の視機能評価，眼科手術，17，pp223-228，2004.5
- ・ Handa T, Uozato H, Mukuno K, Niida T : A clinical quantitative measurement of ocular dominance, Transactions of the Xth International Orthoptic Congress, pp156-158, 2004.11.15（準原著）
- ・ Nitta M, Niida T, Higa R, Shimizu K : Monovision by implanted intraocular lenses, Transactions of the Xth International Orthoptic Congress, pp175-178, 2004.11.15（準原著）
- ・ Handa T, Mukuno K, Uozato H, Niida T, Shoji N, Shimizu K : Effects of dominant and nondominant eyes in binocular rivalry, Optometry and Vision Science 81, pp377-382, 2004
- ・ Handa T, Mukuno K, Uozato H, Niida T, Shoji N, Shimizu K : Ocular dominance and patient satisfaction after monovision induced by intraocular lens implantation, J Cataract Refract Surg 30, pp769-774, 2004
- ・ Ishikawa H, Uga S, Mashimo K, Yoshitomi T, Kusanagi M, Shimizu K : Pharmacological vascular reactivity in isolated hypercholesterolemic rabbit ciliary artery, Exp Eye Res 78, pp805-813, 2004
- ・ Shoji N, Hayashi E, Shimizu K, Uga S, Sugita J : Central corneal haze increased by radial keratotomy following photoreactive keratectomy, J Refract Surg 19, pp560-565, 2004
- ・ 小松真理（共著）：Laser in situ keratomileusis 術後2年の経過，日本眼科学会雑誌，Vol.109
- ・ Fujita J, Niida T, Mukuno K : Assessment Of Sensory Ocular Dominance, Transaction of Xth International Orthoptic Congress, pp150-153, 2004.11（準原著）
- ・ 矢野 隆，鈴木雅信，魚里 博，伊藤美沙絵，清水公也：小児における調節麻痺薬点眼前後での高次収差の変化，あたらしい眼科，21，pp1379-1382，2004.10

総説

- ・ 新井田孝裕：Monovision を理解するために必要な神経眼科，日本眼内レンズ屈折矯正手術学会誌，Vol.18，pp105-109，2004.6
- ・ 新井田孝裕：Pickwell's Binocular Vision Anomalies，神経眼科，Vol.21，pp221-222，2004.6

- ・ 小松真理：コンサルテーションコーナー・エキスパートに聞く，IOL&RS，Vol.18
- ・ 小松真理：視神経科学者からみた絵画の歴史，白内障手術よもやま話，IOL&RS，Vol.18
- ・ 小松真理：例の会について，白内障手術よもやま話，IOL&RS，Vol.18

研究報告

- ・ 新井田孝裕，清水公也，比嘉利沙子，新田任里江：モノビジョン症例における視機能と眼精疲労の関連について，IT眼症と環境因子研究班業績集（2002～2004），pp153-158，2005.3
- ・ 宇賀茂三：アロキサン投与家兎後毛様体動脈の薬理学的研究（病理担当），北里大学医学部眼科との共同研究
- ・ 宇賀茂三：高圧処置ラット水晶体の形態的变化（病理担当），東京医科大学眼科との共同研究
- ・ 宇賀茂三：多量の色素沈着を伴った後発白内障の一例（病理担当），武蔵野赤十字病院眼科との共同研究

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 小松真理：Wavefront-guided refractive surgery，ISRS Japan Meeting，横浜，2004.9.12
- ・ 小松真理：白内障手術におけるリスクマネジメント，日本眼内レンズ屈折手術学会総会，福岡，2004.6.27
- ・ 小松真理：Wavefront-guided refractive surgery，倉敷中央病院臨床懇話会，倉敷，2004.12
- ・ 四之宮佑馬：眼振のケア，栃木県視能訓練士勉強会，国際医療福祉大学，大田原，2004.9.9

学会発表

- ・ 新井田孝裕，江本正喜，野尻裕司：立体画像観視時の視覚疲労とその評価，第108回日本眼科学会総会，「IT眼症と環境因子研究班」第3回研究部会，東京，2004.4.15
- ・ 中田かづき，山田徹人，四之宮佑馬，藤田純子，新井田孝裕，高橋和晃：治療に苦慮している周期性交代性眼振の一例，第60回日本弱視斜視学会総会，宜野湾市，沖縄，2004.6.19
- ・ 三柴恵美子，新井田孝裕，下泉秀夫，片山沢子，平野大輔，浜副さくら：重症心身障害児における視機能評価と眼鏡の導入，第30回日本重症心身障害者学会総会，北海道，旭川市，2004.9.9
- ・ 矢野 隆，山田徹人，四之宮佑馬，高橋和晃，新井田孝裕：垂直注視麻痺を呈した視床出血の一例，第42回日本神経眼科学会総会，名古屋，2004.10.15-17
- ・ 四之宮佑馬，山田徹人，日高彩子，新井田孝裕，高橋和晃：垂直運動障害を伴った特異な Duane 症候群の症例，第45回日本視能矯正学会，盛岡，2004.10.24
- ・ Fujita J，Niida T，Mukuno K：Assessment Of Sensory Ocular Dominance，Xth International Orthoptic Congress，Melbourne，Australia，2004.11.15-17
- ・ Nitta M，Niida T，Higa R，Shimizu K：Monovision by implanted intraocular lenses，Xth International Orthoptic Congress，Melbourne，Australia，2004.11.15-17
- ・ Handa T，Uozato H，Mukuno K，Niida T：A clinical quantitative measurement of ocular dominance，Xth International Orthoptic Congress，Melbourne，Australia，2004.11.15-17
- ・ 藤澤邦俊，西元久晴，張 小猛，永野幸一，鈴木雅信，清水公也，宇賀茂三，安達ゆかり，藤原寛子：眼内コンタクトレンズ（ICLTM）挿入眼に於ける水晶体変化，第108回日本眼科学会総会，東京，2004.4.16
- ・ 小松真理（共同演者）：Wavefront-guided LASIKにおける乱視矯正効果，日本眼内レンズ屈折手術学会総会，福岡，2004.6
- ・ 小松真理（共同演者）：Wavefront-guided LASIK for myopia. 2 year results. American symposium of cataract and refractive surgery，SanDiego，2004.5
- ・ 小松真理：Treatment of irregular astigmatism with wavefront-guided ablation，American symposium of cataract and refractive

surgery, SanDiego, 2004.5

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，その他研究助成金）

- ・ 杉原素子（主任研究員）：要支援者および軽度介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究，平成16年度厚生労働科学研究費
- ・ 新井田孝裕：モノビジョンにおける視機能の解明（眼優位性の生理学的検討及び定量的評価法），文部科学省科学研究費，基盤(C)(2)，課題番号:4571686，
- ・ 新井田孝裕：IT眼症と環境因子の研究会，厚生労働省日本眼科医会
- ・ 藤田純子：視野闘争を用いた眼優位性の時間的定量と電気生理学的検討，文部科学省科学研究費補助金，若手研究(B)，課題番号:16791064

所属学会

- ・ 新井田孝裕：日本眼科学会，日本神経眼科学会，日本眼科手術学会，日本弱視斜視学会，日本視覚学会，日本解剖学会，日本神経科学学会
- ・ 宇賀茂三：日本顕微鏡学会，日本眼科学会，日本神経眼科学会，日本白内障学会，水晶体研究会，The Association for Research in Vision and Ophthalmology，International Society for Eye Research，US-Japan Cooperative Cataract Research Group
- ・ 小松真理：日本眼科学会，日本眼科医会，日本眼科手術学会，日本眼内レンズ屈折手術学会，日本眼光学学会，レディスサージャンの会，International society of refractive surgery，American society of cataract and refractive surgery，European society of cataract and refractive surgery，眼内コンタクトレンズ移植認定医（VisianICL，STAAR Surgical）
- ・ 山田徹人：日本神経眼科学会，日本眼科学会，日本眼光学学会，日本視覚学会，The Association for Research in Vision and Ophthalmology，The Society for Neuroscience
- ・ 三柴恵美子：日本眼科学会，日本重症心身障害学会，日本視能矯正学会
- ・ 藤田純子：日本弱視斜視学会，日本ロービジョン学会，日本眼科紀要会
- ・ 矢野 隆：日本神経眼科学会，日本眼光学学会，日本視能矯正学会
- ・ 四之宮佑馬：日本弱視斜視学会，日本視覚学会，日本視能矯正学会

学会役員

- ・ 新井田孝裕：日本神経眼科学会（評議委員，査読委員，書評委員，編集委員）
- ・ 宇賀茂三：日本白内障学会（評議員，学会誌編集委員），水晶体研究会（世話人），US-Japan Cooperative Cataract Research Group（世話人）
- ・ 小松真理：日本眼内レンズ屈折手術学会（学会誌編集委員），レディスサージャンの会（世話人代表）
- ・ 山田徹人：日本神経眼科学会（評議員）

保健学部（放射線・情報科学科）

著書

- ・ 飯沼一浩：国試要説・演習 電気電子工学（H16年度版），全103頁，アイユーエイチ，2004.4
- ・ 佐々木博，小池貴久（共著）：診療放射線技師を目指す学生のための-X線CT工学，アイユーエイチ，2004.9

- ・ 平林 誠 (分担翻訳) : 改訂新版 PostgreSQL オフィシャルマニュアル, インプレス社, 2005
- ・ 新井正一 : 医用放射線科学講座 8, 放射線画像技術学 第1版, pp16-36, pp116-201, 医歯薬出版株式会社, 2005.1.20
- ・ 新井正一 : 医用放射線科学講座 13, 放射線診断機器工学 第2版, pp15-24, pp37-48, 医歯薬出版株式会社, 2005.1.20
- ・ 金場敏憲 他 (分担執筆) : インフォームドコンセントと医療情報, p45, (社) 東京都放射線技師会, 2005.2
- ・ 金場敏憲 他 (分担執筆) : 医療倫理と患者の権利・生命倫理, p51, (社) 埼玉県放射線技師会, 2004.12

原著論文

- ・ Chu-Shinh Chen, Rumiko Matsuoka, Shoichi Arai, Yukihiro Momiyama, Haruka Murakami, Shin-ya Kuno, Kaori Ishikawa, Kazuto Nakada, Masato Tamata, Jun-Ichi Hayashi : Determination of Normal Ranges of Mito-chondrial Respiratory Activations by mtDNA Transfer from 54 Human Subjects to mtDNA-less HeLa Cells for Identification of the Pathogenicities of Mutated mtDNA. J. Biochem, Vol.135, pp237-243, 2004
- ・ 金場敏憲 : 診療放射線技術教育での倫理, 日本放射線技術学会雑誌, Vol.60 No.9, pp1273-1280, 2004.9
- ・ Takahisa Koike, Shosuke Karashima : CALCULATIONS OF ENERGY DISTRIBUTION OF HEAVY-ION BEAMS IN TISSUES, Euro physics A, pp12-13, 2004.7
- ・ Y. Sakai, M. Kubota, H. Takahashi, T. Kurachi, T. Koike, N. Kumano : Nondestructive Evaluation of Blood and Dialysate Flows in Dialyzers Using X-Ray Computed Tomography, Blood Purif 2004, p391, 2004.9
- ・ Hongfei Wang, Takashi Onozuka, Hiroshi Tomizawa, Mikio Tanaka, Eiichi Miki : The unexpected reactions of $[RuCl_3(2mqn)NO]-(H_2mqn = 2\text{-methyl-8-quinolinol})$ with 2-chloro-8-quinolinol (H_2cq_n) and of $[RuCl_1(2cq_n)(2mqn)NO]$ on photoirradiation, Inorganica Chimica Acta, Vol.357, pp1303-1308, 2004
- ・ Miyachi Y., Kanao T, Okamoto T : Low dose β -emitter source induces sexual reproduction instead of fragmentation in a terrestrial earthworm. Journal of Environmental Radioactivity, Vol.79, pp1-5, 2005
- ・ Kanao T, Miyachi Y. : Exposure to low-dose X-rays promotes peculiar autophagic cell death in Drosophila melanogaster during metamorphosis, an effect that can be regulated by the inducible expression of E93 dsRNA. in press. (院生指導論文)

総説

- ・ 青木幸昌 : 肺癌の放射線療法の適応と実際, Medical Practice, Vol.21, pp1336-1338, 2004
- ・ 熊野信雄 : 放射線と医学のかかわり, 第6回ガンマカメラ, 放射線と産業, 102号, pp64-71, 2004.6
- ・ 熊野信雄 : 基礎講座 I 核医学画像診断機器の現状と今後の展望—性能管理を中心に—, 核医学技術, Vol.24, pp360-365, 2004
- ・ 新井正一 : 近未来における放射線領域の分子生物学的応用, 日本放射線技師会雑誌, Vol.51, Vol.619, pp382-385, 2004

研究報告

- ・ 熊野信雄 : 指の三次元運動軌道の測定, 学内研究, 2004.7.29
- ・ 新井正一 : 拡張相肥大型心筋症, 刺激伝導系異常家系におけるミトコンドリアDNA, ミトコンドリア機能の解析, 国際医療福祉大学紀要, 第10巻, pp26-27, 2005.2
- ・ 新井正一 : 教育と臨床現場の一体化による専門教育 本学学生 (3, 4年生) を対象にした意識調査, 2004年度国際医療福祉大学自己点検自己評価報告書

- ・ 金場敏憲 他：叢書「用語集」の改訂調査報告，日本放射線技術学会雑誌，Vol.60 No.10，pp1405-1407，2004.10
- ・ 清水慶昭：生体内情報伝達とバイオフィオンの研究－生体の秩序性とバイオフィオンの関係－，国際医療福祉大学紀要，10，pp28-29，2005
- ・ 佐久間洋一，山西弘城，橋本光康（共同研究）：中性子照射線量分布のTL式解析方法の評価研究，平成15年度京都大学原子炉実験所共同利用研究報告書
- ・ 宮地幸久：低線量放射線照射の個体レベルでの解析V，（財）電力中央研究所主催「放射線ホルミシス研究委員会」，口頭発表と報告書提出，東京，2004.9

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 熊野信雄：核医学画像診断機器の現状と今後の展望－性能管理を中心に－，第24回日本核医学技術学会総会学術大会，千葉市文化センター，千葉市中央区，2004.7.24
- ・ 熊野信雄：核医学画像診断機器の現状と今後の展望－性能管理を中心に－，第16回伊勢那須尾張核医学セミナー，サンピア佐久，長野県佐久市，2004.8.6
- ・ 新井正一：リスクマネジメント，患者の安全な取り扱い方，ADセミナー「医療安全学」，平成16年度栃木県放射線技師会主催，栃木県済生会宇都宮病院グリーンホール，2004.7.25
- ・ 新井正一：医療サービスと診療放射線技師の役割，ADセミナー「医療学」，平成16年度栃木県放射線技師会主催，栃木県済生会宇都宮病院グリーンホール，2005.2.11
- ・ 金場敏憲：Overseas Primary Health Careを考える，OPST講演，国際医療福祉大学，2004.7.2
- ・ 金場敏憲：カンボジアの医療状況，日本画像医療システム工業会講演会，JIRA工業会会議室，2004.7.21
- ・ 金場敏憲：医療倫理と患者の権利・生命倫理，日本放射線技師会ADセミナー，埼玉県民活動センター，2004.12.19
- ・ 金場敏憲：平成16年度医療技術スタッフ練成（診療放射線技術）コース講師，JICA神戸，2005.1.24
- ・ 金場敏憲：インフォームドコンセントと医療情報，日本放射線技師会ADセミナー，東京監察医務院別館，2005.2.11
- ・ 樋口清孝：（代表，総括，企画・準備）第6回医療画像情報学研究セミナー，郡山，2004.8.7-8
- ・ 宮地幸久：低線量放射線照射の生体影響研究－微量であっても本当に有害か－，国立長寿医療センター主催セミナー講演，名古屋，2004.9

学会発表

- ・ 根岸 徹，飯沼一浩 他：写真効果から検討した非接続形管電圧測定器の測定精度，日本放射線技術学会 第60回 総会学術大会，パシフィコ横浜，2004.4.8
- ・ 青木幸昌，橋本光康，福留 潤：IMRTにおける特異的線量領域の線量補正，第17回日本放射線腫瘍学会学術大会，東京，2004.11.18
- ・ 青木幸昌，福留 潤，中村直樹，多湖正夫，中川恵一：再発進行期癌に対する体幹部定位的放射線治療，第11回高精度放射線外部照射研究会，名古屋，2004.12.9
- ・ Yukimasa AOKI：4th International Workshop on 3 Dimensional Conformal Radiotherapy，Features of Solid IMRT，名古屋，2004.12.10
- ・ Yukimasa AOKI：4th International Workshop on 3 Dimensional Conformal Radiotherapy，Computed Dose Correction in the Solid Method for Stereotactic IMRT，名古屋，2004.12.10
- ・ K. Saki, M. Kubota, H. Takahashi, T. Kurachi, T. Koike, N. Kumano：Nondesructive Evaluation of Blood and Dialysate Flows in Dialyzers Using X-ray Computed Tomography，22nd Annual Meeting of the International Society of Blood Purification，Blood Purif 2004，Vol22，pp277-408

- ・石坂正大, 佐々木香, 秋山純和, 新井正一, 上杉睦: ウォーキング時の設定方法の違いによる体脂肪燃焼効果について, 第36回理学療法科学学会, 大田原, 2004.11.6
- ・金場敏憲, 宇佐美良子, 平石由希, 梅内拓生: 診療放射線技師の成立形態からみた業務範囲の日米比較, 第19回日本国際保健医療学会総会, 国際協力機構国際協力総合研修所, 2004.10.9
- ・金場敏憲: ポジショニングドールを用いたセルフラーニング教育, 第20回放射線技師総合学術大会, 長崎市ブリックホール, 2004.11.4
- ・金場敏憲: カンボジア国における放射線技師教育の検討, 第20回放射線技師総合学術大会, 長崎市ブリックホール, 2004.11.4
- ・久保田昌裕, 高橋宏次, 倉地朋子, 酒井良忠, 熊野信雄, 小池貴久: X線CTを用いた血液透析中における内部濾過の定常的観察, 透析医学会学術集会・総会, 2004.6
- ・Takahisa Koike, Shosuke Karashima: CALCULATIONS OF ENERGY DISTRIBUTION OF HEAVY-ION BEAMS IN TISSUES, 8th EPS Conference on Atomic and Molecular Physics, France, 2004.7
- ・伊澤健太郎, 富沢比呂之, 三木瑛一: エチレンジアミンを含むニトロシルルテニウム(II)錯体において対イオンがNO伸縮振動に与える影響, 第54回錯体化学討論会, 熊本大学, 2004.9.24
- ・原田文雄, 富沢比呂之, 三木瑛一: 2位に電子供与基をもつ8-キノリノラートイオンを配位子とするニトロシルルテニウム(II)錯体の合成と光異性化反応, 第54回錯体化学討論会, 熊本大学, 2004.9.24
- ・金尾智子, 岡本武人, 宮地幸久: 低線量照射により誘導されたショウジョウバエ蛹期のautophagic cell deathの解析, 第47回日本放射線影響学会, 長崎, 2004.11
- ・宮地幸久: 微量放射線は生命活動に必要なか, 第47回日本放射線影響学会ワークショップ, 長崎, 2004.11
- ・Kanao T, Okamoto T, Miyachi Y: Exposure to low-dose X-rays promotes peculiar autophagic cell death in Drosophila melanogaster during metamorphosis, an effect that can be regulated by the inducible expression of E93 dsRNA. 11th International Congress of Radiation Protection, Madrid, p470, 2004.5
- ・Miyachi Y, Okamoto T, Kanao T: Low-level X-ray promotes regeneration in lens and forelimb of the newt: involvement of nitric oxide in the modulation of radiation-induced effects, 11th International Congress of Radiation Protection, Madrid, 2004.5, p472

研究助成金(文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・熊野信雄, 小池貴久: 人工透析用中空糸フィルタの評価に関する研究, 共同研究, 東レ株式会社
- ・熊野信雄, 小池貴久: 小型半導体ガンマカメラの研究開発, 共同研究, 安西メディカル株式会社
- ・佐々木博: 超音波診断装置の臨床的可用性に関する研究, 委託研究, 東芝メディカルシステムズ株式会社
- ・菊地義信: 基盤研究(B)(2), 言語障害に伴う学習の問題を早期に予防するコンピュータ指導法の効果についての研究, 文部省科学研究補助金, 分担, 継続
- ・宮地幸久: 低線量放射線の中樞神経系への影響に関する研究, (財)電力中央研究所受託研究費

所属学会

- ・飯沼一造: 日本超音波医学会, 日本ME学会, 電子通信情報学会, 日本機械学会, American Association of Physicists in Medicine
- ・大嶽 達: 日本放射線学会, 日本核医学会, 日本心臓核医学会, 北米核医学会
- ・熊野信雄: 日本核医学会, 日本医学放射線学会, 日本放射線技術学会, 日本核医学技術学会
- ・齊藤裕久: 日本放射線技術学会, 同学会東京部会, 日本消化器集団検診学会, 同学会関東甲信越地方会, 日本乳癌検

- 診学会，日本がん検診・診断学会，日本消化器画像情報研究会，日本乳癌画像研究会，総合医用画像技術研究会
- ・ 佐々木博：日本超音波医学会
 - ・ 田之上司：応用物理学会，応用物理学会放射線分科会，日本放射線技術学会，日本磁気共鳴医学会，日本生体磁気学会，ESR応用計測研究会
 - ・ 西川潤一：日本医学放射線学会，日本心臓核医学会，断層映像研究会，日本核医学会，日本循環器学会，日本癌学会，米国核医学会
 - ・ 平林 誠：電子情報通信学会，応用物理学会，超音波エレクトロニクスシンポジウム運営委員会，日本PostgreSQLユーザー会
 - ・ 新井正一：日本循環器小児学会，日本循環器学会，日本人類遺伝学会，日本放射線技術学会，日本磁気共鳴医学会，日本生理学会，日本病院管理学会，日本物理医学会，日本肥満学会，日本神経化学会，東京女子医科大学学会，総合医用画像技術研究会
 - ・ 菊地義信：IEEE (The Institute of Electric and Electronic Engineers)，電子情報通信学会，日本音響学会，日本音声言語医学会，日本聴覚医学会
 - ・ 金場敏憲：日本放射線技術学会，日本画像医学会，日本ME学会，広島県立保健福祉大学倫理研究会，日本乳癌画像研究会，日本国際保健医療学会，東京保健科学学会
 - ・ 橋本光康：日本医学放射線学会，日本放射線腫瘍学会，日本放射線技術学会，日本物理学会，日本医学物理学会
 - ・ 小池貴久：日本物理学会，日本応用物理学会，日本核医学会，日本放射線技術学会，総合医用画像技術研究会
 - ・ 富沢比呂之：日本化学会，錯体化学会
 - ・ 樋口清孝：日本胃癌学会，日本消化器集団検診学会，日本放射線技術学会，総合医用画像技術研究会，小児放射線技術研究会，日本高齢消化器医学会議
 - ・ 宮地幸久：日本放射線影響学会，日本発生生物学会，Member of the International Behavioral Neuroscience Society，Journal of Radiation Research誌
 - ・ 室井健三：日本放射線技術学会，日本ヒト脳機能マッピング学会

学会役員

- ・ 飯沼一浩：日本超音波医学会（名誉会員），日本ME学会（評議員）
- ・ 佐々木博：日本超音波医学会（評議員）
- ・ 西川潤一：日本医学放射線学会（代議員），日本心臓核医学会（評議員），断層映像研究会（世話人）
- ・ 新井正一：総合医用画像技術研究会（幹事）
- ・ 金場敏憲：日本放射線技術学会（評議員，論文審査担当），東京保健科学学会（論文審査担当）
- ・ 宮地幸久：Journal of Radiation Research誌（編集委員）

医療福祉学部（医療経営管理学科）

著書

- ・ 水卷中正，樺澤一之，岡村世里奈，佐藤貴一郎，高橋 泰，鳥羽克子，大隈暁子，福永 肇，大西正利，河口洋行，山田康夫，加藤尚子，菅原琢磨，福原康司，磯 伸彦，曹 光仁 他（共著）：改訂 医療福祉経営管理入門 四訂版，国際医療福祉大学出版会，2004.7.20

- ・水卷中正：介護ビジョン（月刊誌），連載 介護行政の先を読む，日本医療企画，2004年4月号～2005年3月号
- ・佐藤貴一郎（共著），武谷雄二，大内尉義（編集）：改訂 高齢女性の健康増進のためのホルモン補充療法ガイドライン，第3部 6. ホルモン補充療法の対費用効果に関する検討－経済評価のためのアセスメント・モデルの構築－，第5部 1. 医療経済学からみたホルモン補充療法の意義－アルツハイマー型痴呆症に対する予防効果の経済的評価－，メディカルレビュー社，2004.5
- ・高橋 泰：DPC実践テキスト，基礎から病院への導入まで，じほう，2005.2
- ・鳥羽克子（共同制作）：診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV 専門・国際疾病分類法編，pp3-89，日本病院会（日本病院共済会），2005.1
- ・鳥羽克子（共同制作）：診療情報管理士テキスト ICD-9-CM 手術および処置の分類 2003－容例示表－，pp1-373，じほう，2004.4
- ・鳥羽克子（共同制作）：診療情報管理士テキスト ICD-9-CM 手術および処置の分類 2003－索引表－，pp1-201，じほう，2005.2
- ・鳥羽克子（共同制作）：診療情報管理士テキスト 診療情報管理III，専門・診療情報管理編，pp1-583，日本病院会（日本病院共済会），2005.2
- ・大隈暁子：チェックリスト資産税，資産税実務研究会（編集），第一法規出版，2004.11
- ・大隈暁子（分担執筆）：管理栄養士全科のまとめ，独立行政法人国立健康・栄養研究所監修，給食の会計・原価管理，p312，南山堂，2005.1
- ・大西正利（共著）：診療報酬請求事務能力認定試験，受験対策と予想問題（前期版），医学通信社，2004.6.1
- ・大西正利（共著）：診療報酬請求事務能力認定試験，受験対策と予想問題（後期版），医学通信社，2004.10.5
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp114-117，2004年6月号
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp110-113，2004年9月号
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp118-122，2004年11月号
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp118-122，2004年12月号
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp112-115，2005年2月号
- ・大西正利：保険診療（月刊誌），連載 点数算定実践講座，医学通信社，pp122-115，2005年3月号
- ・大西正利：看護展望（月刊誌），連載 看護と医療経済，2004年4月号～12月号，メジカルフレンド社，pp6-7
- ・大西正利（共著）：保険診療（月刊誌），2004年診療報酬改訂の総まとめ，医学通信社，pp 26-42，2004年7月号
- ・福永 肇（分担執筆）：管理栄養士 全科のまとめ，独立行政法人国立健康・栄養研究所監修，給食経営管理論（給食の組織，人事・労務管理論），p304，南山堂，2005.1
- ・山田康夫，田中平三，田畑 泉 他（編集/分担執筆）：管理栄養士 全科のまとめ，独立行政法人国立健康・栄養研究所監修，給食における経営管理，p301，南山堂，2005.1
- ・水卷中正，山田康夫 他（編集/分担執筆）：変革期の福祉経営戦略，厚生連の医療福祉事業，日本医学出版，2005.3

原著論文

- ・Tai Takahashi, Jiro Okochi, Kiyoshi Takamuku, Kazumi Nakae : Validity and Reliability of International Classification of Functioning disability and Health in the long-term care settings, Proceedings of the 20th International Case-mix Conference, PCS/E Budapest, pp446-457, 2004
- ・佐藤善隆，滝田憲晃，羽石秀昭，土田大輔，森 豊，外山比南子（共著），宮本忠昭：胸部X線CT画像における葉間裂抽出とその重粒子線治療評価への応用，MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY, Vol.22 No.5, pp269-277, 2004.11
- ・大隈暁子（医療福祉経営審査機構・国際医療福祉大学，分担執筆）：医療機関債についての一試案，医療機関債につ

- いての提案, 病院64第3号, pp222-223, 2005.3
- ・ 大西正利 : レセプト請求の全技術, 医学通信社, 2004.6
 - ・ 河口洋行 : 介護保険改革への視点, 経済教室, 日本経済新聞社, 2004.11.30
 - ・ 河口洋行 : 公的介護保険導入後の長期入院と介護サービス給付に関する研究, 社会保険旬報, 社会保険研究所, 2005.1.21
 - ・ 河口洋行, 開原成允, 菅原琢磨, 細小路岳史 他 (共著) : 公的介護保険導入後の長期入院と介護サービス給付に関する研究上・下, 社会保険旬報, No 2232, No 2233, pp6-13, 2005.1
 - ・ 豊田修一, 仁木 登, 西谷 弘 : 慢性疾患患者の診療を支援する外来検査管理システムの開発, 電子情報通信学会技報, MBE2004-43, pp29-32, 2004
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状1 変わってしまった銀行審査, 病院, Vol. 63 No.9, pp767-769, 2004.9
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状2 銀行の病院審査の変遷, 病院, Vol. 63 No.10, pp857-859, 2004.10
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状3 融資審査のファーストステップー企業格付ー, 病院, Vol. 63 No.11, pp936-938, 2004.11
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状4 銀行の企業格付評価アップへの病院経営, 病院, Vol. 63 No.12, pp1021-1024, 2004.12
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状5 銀行から見た病院ファイナンスの課題「情報の非対称性」と「低い売上高水準」, 病院, Vol. 64 No.1, pp69-73, 2005.1
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状6 病院の短期資金調達にはどのようなものがあるか, 病院, Vol. 64 No.2, pp152-155, 2005.2
 - ・ 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状7 銀行からの具体的借入方法と知っておくべきポイント, 病院, Vol. 64 No.3, pp236-239, 2005.3
 - ・ 南部鶴彦, 菅原琢磨 (共著) : 介護サービス需要における自己負担率の効果ー給付管理レセプトによる実証分析ー, (財) 医療科学研究所, 医療と社会, Vol.14 No.3, pp191-211, 2004.12

総説

- ・ 鳥羽克子 : 個人情報保護と診療情報管理, 看護, 日本看護協会出版会臨時増刊号発刊, 2004.5
- ・ 鳥羽克子 : 診療記録記載の点検・評価方法について, 日本医療機能評価機構編, 2004.5
- ・ 鳥羽克子 : ICDコーディング総論, 長野県診療情報管懇話会編, 2004.11
- ・ 鳥羽克子 : ICD-10と診療情報管理入門, 月刊保険診療, Vol.60 No.2 Ser.1388, 医学通信社, 2005.2
- ・ 外山比南子, 上村幸司 : フェージョンイメージングのすすめ, 新医療, 5月号, pp74-78, 2004.5
- ・ 外山比南子 : 訪問 日立製作所日立総合病院, Isotope News, 9月号, pp16-20, 2004
- ・ 山田康夫 : 平成18年度診療報酬改定への展望, 看護部長通信, Vol.2 No.1, pp22-23, 2004.4
- ・ 山田康夫 : 「医療の質奨励賞」創設と医療の質評価, 看護部長通信, Vol.2 No.2, pp30-31, 2004.6
- ・ 山田康夫 : 介護保険制度の見直し, 看護部長通信, Vol.2 No.3, pp26-27, 2004.8
- ・ 山田康夫 : 国立病院等の独立行政法人化, 看護部長通信, Vol.2 No.4, pp30-31, 2004.10
- ・ 山田康夫 : 病院会計準則の改正, 看護部長通信, Vol.2 No.5, pp20-21, 2004.12
- ・ 山田康夫 : 医療におけるガバナンスの実践, 看護部長通信, Vol.2 No.5, pp14-19, 2004.12
- ・ 山田康夫 : いわゆる「混合診療」問題について, 看護部長通信, Vol.2 No.6, pp28-29, 2005.2
- ・ 加藤尚子, 長谷川敏彦 : 医療の質と在院日数, 循環器疾患患者の早期退院マニュアル, HEART nursing, 2004年秋季増刊, pp20-30, 2004

- ・ 加藤尚子, 長谷川敏彦: 平均在院日数から見えてくるもの, Histo-Logic Japan2004後期号, Vol.32 No.2, pp30-33, 2004

研究報告

- ・ 佐藤貴一郎: ホルモン補充療法の対効果費用に関する検討—認知症患者の施設間推移確率推計の試み—, 日本人におけるホルモン補充療法の有効性に関する多施設共同研究, 平成16年度長寿医療研究委託費, 2005.3
- ・ 鳥羽克子: 診療記録記載の点検・評価方法, 厚生労働省科学研究費助成金医療技術評価総合研究事業, 認定病院間の医療事故情報共有による患者安全の推進と医療記録の検証による事故防止策の実施に関する研究, 医療記録検討会報告, 2004.5.18
- ・ 鳥羽克子: 紙カルテと電子カルテ記載状況の調査検証 (検討会, 2004.8.18, 2004.11.8)
- ・ 大隈暁子: 非営利法人の比較検討について, 日本公認会計士協会東京会, 公益法人特別委員会, 2004.9
- ・ 河口洋行: 経済成長に関する国際共同研究, 内閣府, 2005.2.15
- ・ 山田康夫, 谷 修一 他: 経営・運営の変化が医療及び医療機関に与える影響に関する研究 (国立病院移譲を例として), 平成16年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学推進研究事業
- ・ 川島英樹, 山田康夫: 病院経営の営利企業参入による波及効果に関する研究, 財団法人新医療施設開発振興財団, 平成16年度研究助成事業
- ・ 福原康司: 経営学における物語分析の方法論的可能性, 科学方法論研究会, 2004.6
- ・ 福原康司: 信頼とパワーに関する実証研究とナラティブ・アナリシスの方法論的意義, CMS研究会, 2004.7
- ・ 福原康司: 経営学における信頼研究の史的展開と方法論的再考, 経営組織論研究会, 2004.11
- ・ 福原康司: ナラティブ・アナリシスとCMS, CMS研究会, 2005.1

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 水卷中正: 社会保障改革と介護保険, 日本介護支援協会主催, 2005.2.19
- ・ 井上宗迪: 地方再生について, 岩手県町村会
- ・ 井上宗迪: ソフトウェアビジネス サイエンスかアートか, 日本シリコングラフィックス社
- ・ 佐藤貴一郎: 骨粗鬆症に関するHRTの経済評価—対費用効果とコスト・エフェクティブ分析—, 平成16年骨粗鬆症学会シンポジウム, 2004.11.18
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, メッセージ, 岡山, 2004.5.14
- ・ 高橋 泰: 平成16年診療報酬改訂の解説, 国際医療福祉学院, 福岡, 2004.5.15
- ・ 高橋 泰: 平成16年診療報酬改訂の解説, 高木病院, 大川市, 2004.5.15
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, 熊本県医師会, ウェルネスケア, 熊本国際交流会館, 2004.5.22
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, ウェルネスケア, 明治安田生命, 大阪, 2004.5.28
- ・ 高橋 泰: プレゼンテーション講習会, 神奈川県社会福祉協議会, 横浜, 2004.5.29-30
- ・ 高橋 泰: 医療制度改革とDPC, 北海道診療録管理研究会, 札幌生涯学習センター, 2004.6.5
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, ウェルネスケア, 福祉プラザ, 仙台, 2004.6.11
- ・ 高橋 泰: 介護保険と介護市場, 医療経営塾, 東京, 2004.6.12
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, ウェルネスケア, 葛西明治安田生命研修所, 2004.6.21
- ・ 高橋 泰: ヤングフォーラム司会, 全日病学会, ホテルロイトン, 札幌, 2004.6.26
- ・ 高橋 泰: 医療制度改革とDPC, JAPIC, 読売ホール, 2004.6.28
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, ウェルネスケア, 札幌ポーラスターホテル, 2004.7.2
- ・ 高橋 泰: ICFと介護予防, ウェルネスケア, 釧路パシフィックホテル, 2004.7.3

- ・ 高橋 泰 : ICFと介護予防, ウェルネスケア, 金沢都ホテル, 2004.7.16
- ・ 高橋 泰 : ICFと介護予防, ウェルネスケア, 福岡天神ビル, 2004.7.17
- ・ 高橋 泰 : ICFと介護予防, ウェルネスケア, 名古屋国際ホテル, 2004.7.21
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, おやま西病院, 2004.8.10
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, 医療制度研究会, 北里研究所病院, 2004.9.4
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, 製薬協, 経団連ホール, 2004.9.9
- ・ 高橋 泰 : エコケアマネジメント, サンアイ, 明治安田生命静岡ビル, 2004.9.15
- ・ 高橋 泰 : ICFと介護予防, ウェルネスケア, ピュアフル松山, 2004.9.17
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, 兵庫県病院協会, 尼崎, 2004.9.18
- ・ 高橋 泰 : ICFと介護予防, ウェルネスケア, アステ川西, 神戸, 2004.9.19
- ・ 高橋 泰 : 慢性期のケースミックス (RUGs), 保険局医療課, 厚生労働省レクチャー, 2004.9.21
- ・ 高橋 泰 : DPC講義4時間講演会, 全日病, お台場21, 東京, 2004.9.22
- ・ 高橋 泰 : 痴呆高齢者の見方, 有料老人ホーム協会, グリーンプラザ, 東京, 2004.9.27
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, 栃木県特別養護老人ホーム運営協議会, ホテルメイフェア, 宇都宮, 2004.9.30
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革とDPC, 宇都宮済生会病院, 2004.10.6
- ・ 高橋 泰 : TAI特別研修, WC講習会, 葛西明治安田生命研修所, 2004.11.11-12
- ・ 高橋 泰 : DPC講義4時間講演会, 岩手県立中央病院, 2004.11.20
- ・ 高橋 泰 : 医療制度と介護保険の動向, 熊本プライマリーケア研究会, 熊本県医師会館, 2004.11.21
- ・ 鳥羽克子 : ICDのための診療記録記載点検・評価, 長野診療情報管理懇話会, コーディング研究会, 佐久総合センター, 2004.6.4
- ・ 鳥羽克子 : 医療安全と診療情報管理, 大田原赤十字病院職員研修会, 大田原赤十字病院研修会会場, 2004.7.8
- ・ 鳥羽克子 : 診療情報管理の現状と役割-II, 神奈川県病院管理研修会, 神奈川県看護協会研修室, 2004.9.24
- ・ 鳥羽克子 : 診療情報管理の役割と医療の方向性, 東京都健康局・病院経営本部, 視野拡大研修重要課題研修「診療情報開示」研修会, 東京都病院経営本部, 2004.9.27
- ・ 鳥羽克子 : 診療情報管理士を取巻く最近の医療情勢, 長野県診療情報管理懇話会, 松本医療従事者研修センター, 2004.10.23
- ・ 鳥羽克子 : ICDと診療記録管理, 長野診療情報管理懇話会, 佐久総合研修センター, 2004.11.22
- ・ 鳥羽克子 : 個人情報保護法と守秘義務ー病院職員的心得ー, 島根県立中央病院職員研修会, 島根県立中央病院研修会室, 2005.3.4
- ・ 鳥羽克子 (座長) : 病院機能評価で問題になる診療情報管理の現状ーサーベイヤーの立場からー, 日本診療録管理学会診療情報管理士生涯教育研修会, 笹川記念会館, 2004.6.13
- ・ 鳥羽克子 : 診療記録記載の点検・評価方法, 厚生労働省科学研究: 認定病院患者安全推進協議会第1回医療記録検討会報告, 全電通労働会館2F大ホール, 2004.5.18
- ・ 鳥羽克子 : ICDコーディング研修会, 佐久診療情報管研究会, 佐久総合研修センター, 2004.6.4-5
- ・ 鳥羽克子 : ICDコーディング研修会, 佐久診療情報管研究会, 佐久総合研修センター, 2004.11.19-20
- ・ 河口洋行 : 新春医療経済研究会, 医療経済研究機構, 公演, 2005.1.17
- ・ 河口洋行 (討論者) : アジアの医療福祉制度会議, 一橋大学公共政策大学院主催, 2005.1.22
- ・ 福永 肇 : 銀行審査の変化と病院資金調達, 医療福祉経営審査機構主催医療経営セミナー講演, ホテルオークラ, 2005.7.16
- ・ 福永 肇 : 日本福祉大学通信教育学部病院ファイナンス講演, 大阪国際会議場, 2005.8.18

- ・山田康夫：医療従事者の法的責任，菅間記念病院医療安全管理委員会職員研修会，菅間記念病院ホール，黒磯市，栃木県，2004.6.24
- ・山田康夫：診療報酬改定の影響とこれからの医師に求められる病院経営の視点，秋田県厚生農業協同組合連合会医療職Ⅰ（医師）研修会，キャッスルホテル秋田，秋田市，秋田県，2004.9.25
- ・山田康夫：病院財務分析，社団法人日本看護協会看護教育・研究センター「看護管理と医療経済」，看護教育・研究センター，清瀬市，東京都，2004.10.7
- ・山田康夫：医療経済論，社団法人群馬県看護協会 認定看護管理者研修セカンドレベル，群馬県看護協会，前橋市，群馬県，2005.1.28-29
- ・菅原琢磨：介護保険導入の医療機関経営への帰結と同時改定に向けた今後の展望，医療保障政策研究会議，東京，2005.2.24
- ・菅原琢磨：医療経済学の概要，日赤幹部看護師研修センター，東京，2004.8.3
- ・菅原琢磨：医療情報統計の作成とその活用，診療情報管理東京ネットワーク，東京，2004.9.25
- ・菅原琢磨：レセプト解析からみた介護保険と老人保健の利用関係，第3回医療経営戦略セミナー，栃木，2004.12.18
- ・福原康司：組織変革に対する経営組織論的覚え書き，I&ET研究部会，2004.9
- ・磯 伸彦：インフォームド・コンセントと診療情報，社団法人栃木放射線技師会，済生会宇都宮病院，宇都宮，2005.2.11

学会発表

- ・佐藤貴一郎（座長）：第42回日本病院管理学会病院管理分野，医療経営・人事制度，（ポスター発表），2004.11
- ・高橋 泰，大河内二郎：ICF（国際障害分類）イラストレーションライブラリーの開発と今後の展開，第42回病院管理学会，熊本，2004.11
- ・高橋 泰：ヤングフォーラム企画・総合司会，全日本病院協会郡山学会，2004.10
- ・鳥羽克子（座長）：診療情報管理は医療を変えられるか，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・吉田 希，國分厚志，菊池優子，杉山慎弥，滝澤雅美，二木理恵子，橋本昌仁，福田宏美，向井崇徳，鳥羽克子：医療の質と組織体制の関連性－診療情報管理部門の位置付けから見た機能・役割－，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・大道 久，石川 澄，梅里良正，寺崎 仁，北村龍彦，中村定敏，鳥羽克子，重田イサ子，三宅裕子，倉部直子，吉崎悦子，須貝和則，阿部眞澄，上田京子，枝光尚美，大槻憲吾，川村保孝，小阪清美，奥田直樹，遠矢雅史：日本医療評価機構による医療記録記載指針の作成と記録内容の検証に向けた取り組み，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・内藤恵子，古庄雅彦，重田イサ子，大橋昌夫，田村 潤，阿曾沼元博，鳥羽克子：診療情報総合システムとしての電子カルテにおける退院サマリーの機能，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・河村保孝，鳥羽克子，秋山恭子，大槻憲吾，小澤早苗，落 律子，河野牧子，木村ハナ子，鈴木栄子，高橋幸江，永井健一，丸田美保子，浜本文子：診療情報管理東京ネットワーク TNコード勉強会報告，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・菊池優子，國分厚志，杉山慎弥，滝澤雅美，二木理恵子，橋本昌仁，福田宏美，向井崇徳，吉田 希，鳥羽克子：情報提供業務の重要性について－医療機関における医療情報活用の有益性－，第30回日本診療録管理学会学術大会，千葉幕張メッセ，千葉，2004.9.16
- ・大橋信一郎，小島隆行，外山比南子，上村幸司，鎌田 正，神立 進，池平博夫，辻井博彦：クラスタリング手法を

- 用いた複数MRI画像からの腫瘍自動抽出法の検討, 医用電子と生体工学 Vol.42 p528, 2004, 第43回日本ME学会大会, 金沢, 2004.5.19-21
- ・高橋郁磨, 外山比南子, 大林 茂, 上村幸司, 永井裕司, 岡内 隆, 前田 純, 入来篤史, 須原哲也, 内山明彦: PET賦活検査における脳活動領域間の相関関係解析法の開発, 医用電子と生体工学 Vol.42 p376, 2004, 第43回日本ME学会大会, 金沢, 2004.5.19-21
 - ・中野剛志, 生駒洋子, 外山比南子, 上村幸司, 内山明彦: PET胴体検査における2種類の脳機能の同時評価に関する研究, 医用電子と生体工学 Vol.42 p378, 第43回日本ME学会大会, 金沢, 2004.5.19-21
 - ・山川恵介, 北村圭司, 外山比南子, 上村幸司, 織田圭一, 羽石秀昭, 村山秀雄, 内山明彦: 応答関数を用いたPET断面ない分解能向上に関する研究, 医用電子と生体工学 Vol.42 p380, 第43回日本ME学会大会, 金沢, 2004.5.19-21
 - ・外山比南子: 医療従事者に対する医療情報教育について (ポスター発表), 医学物理 Vol.24, pp141-142, 第88回日本医学物理学会学術大会, 広島, 2004.10.1-2
 - ・織田圭一, 石井賢二, 木村裕一, 大橋信一郎, 外山比南子, 佐々木敏秋: 局所脳血流とベンゾジアゼピン受容体PET画像の相関クラスター分析, 第44回日本核医学会総会, 2004.11.14-16
 - ・山川恵介, 北村圭司, 外山比南子, 上村幸司, 山谷泰賀, 羽石秀昭, 村山秀雄, 内山明彦: 断面内および対軸方向の応答関数を考慮したPET画像の空間分解能向上に関する研究, 第44回日本核医学会総会, 2004.11.14-16
 - ・高橋郁磨, 外山比南子, 大林 茂, 上村幸司, 永井祐司, 須原哲也, 内山明彦: PET脳賦活検査における賦活部位間の相関関係解析法の検討, 第44回日本核医学会総会, 2004.11.14-16
 - ・河口洋行: 病床規制の評価に関する研究 (口頭発表), 日本経済学会秋季大会, 2004.9.26
 - ・豊田修一, 仁木 登, 西谷 弘: 指示データ視覚化機構 (SAKURA-Viewer) と病診連携, 日本医用画像工学会第23回大会, 2004
 - ・山田康夫: ホスピタル・ガバナンス, ホスピタル・ガバナンス研究会, 東京, 2004.5.21
 - ・山田康夫: 医療の質向上に関するアンケート分析にかかる考察 (第四報), (社) 日本品質管理学会 医療経営の総合的質研究会, 東京, 2004.5.22
 - ・山田康夫: 医療機関の総合的質経営に対する意識に関する調査研究, (社) 日本品質管理学会第74回研究発表会, 東京, 2004.5.29
 - ・山田康夫: ガバナンス評価指標の可能性としての「医療の質奨励賞」, ホスピタル・ガバナンス研究会, 東京, 2004.8.6
 - ・山田康夫, 内田 亨 他: 医療機関におけるガバナンス概念の提起—フランスの国立大学病院の事例から—, 第42回日本病院管理学会学術総会, 熊本県熊本市, 2004.11.6
 - ・山田康夫: クリニカルガバナンスの内部統制システム, 第1回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス, 東京, 2004.12.17
 - ・山本寿美子, 加藤尚子: ハンセン病療養所における結婚と子供, 日本文化人類学会第38回研究大会, 東京, 2004.6.6

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・佐藤貴一郎 (分担研究): 日本人におけるホルモン補充療法の有効性に関する多施設共同研究, 平成16年度長寿医療研究委託費
- ・高橋 泰 (主任研究員): 自立から死亡までのプロセスとコストの分析, 平成15年度厚生科学研究費補助金, 長寿科学総合研究事業 (中間報告書), 継続
- ・高橋 泰 (分担研究員): 老化 (機能衰退) パターンの地域差に関する研究, 平成15年度21世紀型医療開拓推進研究事業班 (中間報告書), 継続

- ・高橋 泰（主任研究員）：慢性期入院医療における包括的評価指標の開発，平成15年度政策科学研究推進事業班（中間報告書），継続
- ・高橋 泰（分担研究員）：急性期以降の施設ケアにおけるケースミックス，資源消費，評価手法に関する日本とカナダの比較，平成15年度ファイザー財団国際共同研究B
- ・鳥羽克子：医療記録記載状況の点検・評価判定基準の明確化，診療および看護の経過と結果点検・評価手順と判定基準の明確化，医療記録点検・評価の院内実施推進，点検・評価結果及び改善活動関連情報の提供と共有および記載指針の提案，厚生労働省科学研究&日本医療機能評価機構研究（3年計画2年）
- ・外山比南子：DPC試行連絡協議会のデータベース構築，解析ツールの開発およびそれらを用いたデータ解析を行った，厚生労働省科研費
- ・外山比南子：医療情報管理者育成プログラム開発プロジェクト（育成用教育システム開発WG責任者），経済産業省
- ・河口洋行（協力研究）：医療計画の実施およびその評価に関する研究（主任研究者：東京医科歯科大学教授 河原和夫），厚生労働省科学研究費補助金
- ・河口洋行（報告書執筆），山田康夫：経営・運営の変化が医療及び医療機関に与える影響に関する研究（主任研究者：国際医療福祉大学 谷 修一），厚生労働省科学研究費補助金
- ・河口洋行：DEAを利用したHIV検査の効率性測定に関する研究（東京医科歯科大学依頼研究：有償受託），厚生労働省科学研究費補助金
- ・川島英樹，山田康夫：病院経営の営利企業参入による波及効果に関する研究，財団法人新医療施設開発振興財団，平成16年度研究助成事業
- ・山田康夫，開原成允 他：急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査研究，平成16年度厚生科学研究費補助金，政策科学推進研究事業
- ・加藤尚子（分担）：医療機能の分化と連携をめざした医療計画の在り方に関する研究，平成16年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究，最終報告書
- ・加藤尚子（主任研究）：萌芽研究，民間ハンセン病療養所の生活世界に関する文化人類学的研究－国立療養所との比較から－，平成16年度文部科学省科学研究費
- ・加藤尚子：ハンセン病療養所における結婚と子供，トヨタ財団2004年度研究助成
- ・加藤尚子（分担研究），（主任研究者長谷川敏彦）：医療機能の分化と連携をめざした医療計画の在り方に関する研究，病院内総合的患者安全マネジメントシステムの構築に関する研究，平成16年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究
- ・和田 勝，山崎史郎，R.J.Vollmer，菅原琢磨 他（分担研究）：先進諸国における介護保険制度の国際比較研究，ファイザーヘルスリサーチ振興財団研究助成，国際共同研究A，継続
- ・南部鶴彦，菅原琢磨，野口晴子（分担研究）：要介護高齢者の介護サービス需要とその影響要因に関する調査研究，政策科学推進研究事業，厚生労働科学研究費補助金，継続
- ・南部鶴彦，上塚芳郎，菅原琢磨 他（分担研究）：医療機器の内外価格差に関する調査研究，政策科学推進研究事業，厚生労働科学研究費補助金，継続
- ・田近栄治，小椋正立，南部鶴彦，菅原琢磨 他（領域分担研究）：世代間利害調整プロジェクト（医療・介護班），文部科学省研究補助金特定領域研究，継続
- ・福原康司：組織間協働過程におけるパワーと信頼の構造に関する実証研究，平成16年度文部科学省科学研究費補助金，若手研究(B)，課題番号 16730196

所属学会

- ・ 水卷中正：国際疾病分類学会
- ・ 井上宗迪：現代経済ワークショップ
- ・ 佐藤貴一郎：日本病院管理学会，日本医療情報学会，日本経済学会，日本人口学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本経営情報学会，日本医療バランスト・スコアカード研究学会
- ・ 高橋 泰：日本病院管理学会，日本医療情報学会，日本老年医学会，日本医療経営学会，日本神経疾患医療福祉従事者学会，PCSE (Patient Classification System/Europe)
- ・ 鳥羽克子：日本診療録管理学会，日本POS医療学会，日本病院管理学会
- ・ 外山比南子：日本核医学会，バイオメディカルファジー学会，日本医療情報学会，日本医学物理学会，日本心臓核医学学会，日本情報通信学会
- ・ 大隈暁子：日本病院管理学会
- ・ 河口洋行：日本経済学会，日本病院管理学会，IHEA (International Health Economics Association)
- ・ 豊田修一：AMIA(American Medical Informatics Association)，IEEE(The Institute of Electric and Electronic Engineers)，情報処理学会，電子情報通信学会，日本医療情報学会
- ・ 福永 肇：日本経済学会，経済社会学会，臨床経済学研究会
- ・ 山田康夫：日本病院管理学会，国立病院研究会，(社)日本品質管理学会，DPC試行病院協議会
- ・ 加藤尚子：日本病院管理学会，日本衛生学会，医療マネジメント学会，日本民族学会，異文化間教育学会
- ・ 菅原琢磨：日本経済学会，日本病院管理学会
- ・ 福原康司：日本病院管理学会，医療マネジメント学会，日本経営学会，組織学会，日本経営教育学会
- ・ 磯 伸彦：経営行動研究学会，日本病院管理学会，日本経営教育学会，日本哲学学会

学会役員

- ・ 水卷中正：国際疾病分類学会 (評議員)
- ・ 佐藤貴一郎：日本病院管理学会 (評議員)，日本医療バランスト・スコアカード研究学会 (評議員，企画委員会委員)
- ・ 高橋 泰：日本医療経営学会 (評議委員)，日本神経疾患医療福祉従事者学会 (理事)
- ・ 鳥羽克子：日本診療録管理学会 (理事，診療情報管理士生涯教育委員会委員，国際疾病分類委員会委員)
- ・ 外山比南子：日本核医学会 (評議員)，バイオメディカルファジー学会 (評議員)，日本心臓核医学会 (評議員)，日本情報通信学会 (編集委員)
- ・ 山田康夫：DPC試行病院協議会 (事務局兼務)
- ・ 磯 伸彦：経営行動研究学会 (幹事)

医療福祉学部 (医療福祉学科)

著書

- ・ 鈴木五郎：第5章，第3節，地域援助技術の意義・定義，社会福祉士養成講座⑧社会福祉援助技術論Ⅰ，pp169-179
- ・ 鈴木五郎：第6章，第4節，地域援助技術の構造と機能，社会福祉士養成講座⑧社会福祉援助技術論Ⅰ，pp218-226
- ・ 鈴木五郎：第4章，第1-3節，地域援助技術の理論と技術，社会福祉士養成講座⑨社会福祉援助技術論Ⅱ，pp97-141

- ・ 鈴木二郎：診断および治療の進め方，神経生理学的検査（脳波など），山内俊雄，小島卓也，倉知正佳編集，専門医をめざす人の精神医学 第二版，医学書院，pp185-190，2004
- ・ Murashima Y. L, Suzuki J, Yoshii M : Ictogenesis and Epileptogenesis in Epileptic Mutant EL Mice in 'Focus on Epilepsy Research' Benjamin, S.M.(Eds), pp139-198, 2004
- ・ 東口重信（共著）：障害者福祉論，障害者の心理，介護福祉士国家試験対策2004，p53, p150, じほう，2004.8.30
- ・ 東口重信（共著）：障害者福祉論，障害者の心理，介護福祉士受験講座サブノート，p30, p82, 医療福祉総合研究所，2004.10.31
- ・ 六波羅詩朗，福祉士養成講座編集委員会（編集・分担執筆）：第6章，低所得者対策の概要，新版社会福祉士養成講座6，公的扶助論 第3版，pp149-198，中央法規出版，2005.1
- ・ 六波羅詩朗：第6章，低所得者問題対策の概要，精神保健福祉士養成セミナー11巻・公的扶助論 改訂第3版，pp161-198，ヘルス出版，2005.3
- ・ 六波羅詩朗，白澤政和，中野いく子（編集/分担執筆）：高齢者を支援する社会的制度2，老人福祉論 第2版，pp195-208，2005.3
- ・ 小嶋章吾，嵐末憲子（分担執筆）：相談援助の方法，ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会編，生活援助・相談援助・関連領域，ホームヘルパー養成研修テキスト②級課程 [第3巻] 2004年改訂版，pp91-113，（財）長寿社会開発センター，2004.4
- ・ 小嶋章吾（分担執筆）：事例記録の書式（フォーマット），日本社会福祉実践理論学会監修，事例研究・教育法，pp133-144，川島書店，2004.6
- ・ 小嶋章吾，嵐末憲子（分担執筆）：第10章 在宅介護支援センターの協働実践，副田あけみ編著，介護保険下の在宅介護支援センター，pp206-241，中央法規，2004.8
- ・ 小嶋章吾（分担執筆）：生活問題のとらえ方，社団法人日本社会福祉士会編，社会福祉援助の共通基盤（上），pp105-123，中央法規，2004.9
- ・ 小嶋章吾（分担執筆）：生活場面面接の意義と技法，社団法人日本社会福祉士会編，社会福祉援助の共通基盤（上），pp274-280，中央法規，2004.9
- ・ 村上須賀子，佐々木哲二郎，金蔵常一，金子努，小嶋章吾，藤田花緒里（共編）：介護保険時代の医療福祉総合ガイドブック，第3版第3刷，医学書院，2004.10
- ・ 小嶋章吾（分担執筆）：社会福祉援助技術の技法 I 記録，岡本民夫監修，社会福祉援助技術論（上），pp178-188，川島書店，2004.4
- ・ 小林雅彦（共著/編集）：地域サポートネットワーク，権利擁護・苦情解決システム，地域保健福祉政策実践事例集，pp7503-7511, pp7903-7930，第一法規，2004.10
- ・ 小林雅彦（分担執筆）：地域福祉の推進組織と財源，地域福祉論，pp127-162，NHK学園，2005.2
- ・ 小林雅彦（分担執筆）：住民参加型在宅福祉サービスの組織化・支援，社会福祉事業者と社会福祉協議会の連携，社会福祉士学習双書「社会福祉協議会活動論」，pp108-113, pp123-126，全国社会福祉協議会，2005.3
- ・ 小林雅彦（分担執筆）：生活協同組合，pp249-255，社会福祉士学習双書「地域福祉論」，全国社会福祉協議会，2005.3
- ・ 小林雅彦（分担執筆）：地域福祉論，社会学，必携社会福祉士国家試験対策，pp92-111, pp137-157，国際医療福祉大学出版会
- ・ 小林雅彦（分担執筆）：社会福祉概論，介護福祉士受験講座サブノート，pp6-20，医療福祉総合研究所
- ・ 式恵美子（分担執筆）：介護概論，形態別介護技術，実技 I 編，実技編 II，介護福祉士受験講座2005，pp172-190, pp216-227, pp268-284, pp285-294，医療福祉総合研究所発行，2004.4
- ・ 式恵美子（監修）：介護福祉士国家試験実技試験対策，VTR Vol.2，医療福祉総合研究所発行，2004.6

- ・ 式恵美子 (分担執筆・保健医療サービス領域担当) : 介護支援専門員受験対策 正文集, 日総研発行, 2004.6
- ・ 式恵美子 (分担執筆・保健医療サービス領域担当) : 介護支援専門員予想問題集2004, 日総研発行, 2004.6
- ・ 山崎順子 (共著) : 障害者福祉, 支援の手引き, 改訂版, 新日本法規, 2005.1
- ・ 浅香 勉, 鈴木五郎 他 (分担執筆) : 児童福祉論, 社会福祉士国家試験対策, pp266-299, 国際医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 須藤昌寛 (共著) : 必携社会福祉国家試験対策, 第9章 老人福祉論, pp207-228, 国際医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 永野なおみ (分担執筆) : 必携社会福祉士国家試験対策, 12章, 社会福祉援助技術論, pp315-332, 国際医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 林 芳治 (分担執筆) : 介護保険制度の基本視点, 介護保険制度の概要, 福祉系居宅サービス, 福祉系施設サービス, 高齢者福祉の基礎知識, ケアマネージャー試験対策2004, pp8-44, pp234-291, 医療福祉総合研究所, 2004.4
- ・ 林 芳治 (分担執筆) : 老人福祉論, 介護福祉士受験講座2005サブノート, pp21-35, 医療福祉総合研究所, 2004.4
- ・ 林 芳治 (分担執筆) : 老人福祉論, 必携社会福祉士国家試験対策, pp229-236, 国際医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 松井由美 : 介護技術 I・介護技術 II・形態別介護技術 II (障害者), 介護福祉士受験講座2005サブノート, 株式会社医療福祉総合研究所
- ・ 松井由美 : 介護概論, 社会福祉士受験講座2005サブノート, 株式会社医療福祉総合研究所
- ・ 松井由美 : 介護概論, 社会福祉士国家試験対策
- ・ 佐藤恭子 (編集・分担執筆) : 国際医療福祉大学医療福祉学科, 社会福祉士国家試験対策, 過去問題編, pp378-391, 医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 若倉 健 (共著) : ケアマネージャー試験対策 2004, 国際医療福祉大学出版会, 2004.4
- ・ 若倉 健 (共著) : 必携 社会福祉士国家試験対策 2005, 国際医療福祉大学出版会, 2004.8
- ・ 若倉 健 (共著) : ケアマネージャー模擬試験問題集, 一橋書院, 2004.6
- ・ 若倉 健 (共著) : 2005 社会福祉士国家試験模擬問題集, 中央法規, 2004.7

原著論文

- ・ 鈴木二郎 : 巻頭言 現代における精神医学の存在と危機, 最新精神医学, Vol.7 No.2, p107, 2004
- ・ 鈴木二郎 : 臨床心理技術者の国家資格化について, 一厚生労働科学研究班の分担研究者として-, 精神医学, Vol.46 No.1, pp29-34, 2004
- ・ 鈴木二郎 : 特集 日常臨床にみるうつ病と老年期疾患, INN Journal, Vol.63, pp2-9, 2004
- ・ 鈴木二郎 : 特集「食」とは何か, 摂食障害, 環, 16/2004, pp214-217, 2004
- ・ 鈴木二郎 : 2001年1月外来臨床精神医学会懇話会 (CPO) 設立総会, 来賓挨拶, 外来臨床精神医学会誌, Vol.1 No.1, p12, 2004
- ・ 鈴木二郎 : ビジネスマンのためのメンタルヘルス, ~誰でもメンタルヘルスの問題は起こりうる~, TSR (東京商工リサーチ) 情報, Vol.1130, pp4-8, Vol.11331, pp7-9, Vol.1132, pp4-7, Vol.11334, pp4-6, 2004.6.11
- ・ 鈴木二郎, 古屋一峯千絵子 : 某海運業におけるメンタルヘルス15年間の状況, 産業精神保健, Vol.12 No.2, p157, 2004
- ・ 六波羅詩朗 : 生活保護における査察指導について, 生活と福祉, No.584, pp6-11, 2004.11
- ・ 小嶋章吾 : 保健医療ソーシャルワーク研究の国際動向, 社団法人日本医療社会事業協会編, 医療と福祉, No.77, pp10-13, 2005.3
- ・ 永野なおみ, 小嶋章吾, 若倉 健 (共著) : 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題 (第1報), 社団法人日本医療社会事業協会編, 医療と福祉, No.77, pp14-17, 2005.3

- ・小嶋章吾（分担執筆）：ソーシャルワーク研究・養成教育における事例研究の方法，厚生労働科学研究費補助金（政策科学研究事業），社会福祉専門職国家資格化後におけるソーシャルワーク実践事例の収集・評価による実践方法の標準化に関する研究 平成16年度総括研究報告書，pp38-51，2005.3
- ・大石剛史：地域福祉の主体形成論に関する基礎的考察，国際医療福祉大学研究紀要，2004.9
- ・若倉 健：在宅介護支援センター機能の課題と展望－「高齢者虐待」への対応に－，草の根福祉（社会福祉研究センター），Vol.36，pp11-21，2004.10

総説

- ・六波羅詩朗，古川孝順，白澤政和 他（編集・項目分担執筆）：社会福祉士・介護福祉士のための用語辞典，誠信書房，2004.11
- ・小嶋章吾，寫末憲子（共著）：利用者のエンパワメントを生み出すホームヘルプの相談援助－生活場面面接の活用に向けて－，ヘルパーネットワーク，No.51，pp2-7，全国社会福祉協議会，2004.4
- ・小嶋章吾，寫末憲子（共著）：ケアワーカーによるコミュニケーションの重要性－意図的な「言葉かけ」と生活場面面接の活用－，ふれあいケア，第10巻 第7号，pp19-21，中央法規出版，2004.7
- ・小嶋章吾：介護保険と医療保険の統合（介護保険 見直しへの提言②），福祉新聞，2004.6.7
- ・式恵美子：実習で看護過程が展開できない原因とそれを理解した上での支援・指導のポイント，看護教員と実習指導者，Vol.No.4，pp4-10，日総研発行，2004.10

研究報告

- ・会田元明：栃木県臨床心理士会相互研修会
- ・六波羅詩朗：民生委員制度の役割変化と地域における相談支援機能，貧困の世代間再生産の緩和・解消のための支援に関する基礎的研究，平成15年度厚生労働省厚生科学研究費補助金政策科学推進研究事業報告書，pp179-203，厚生労働省，2004.4
- ・小嶋章吾，寫末憲子：社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究－高齢者分野におけるソーシャルワーク及びケアワークの事例分析にもとづく検証を中心に－，平成13-15年度科学研究費補助金（基盤研究C（2））研究成果報告書，2004.6
- ・小嶋章吾：社会福祉援助技術演習用「教材」の現状と課題，社会福祉教育年報2003年度版（第24集），pp89-91，社団法人日本社会福祉教育学校連盟，2005.2
- ・小嶋章吾：分科会「社会福祉援助技術論」，2004年度社会福祉士養成校協会研修委員会事業報告書，pp8-10，社団法人日本社会福祉士養成校協会・研修委員会，2005.3
- ・小嶋章吾：専門技術の習得②，2004年度ケアマネジャーとサービス提供責任者が連携できる研修プログラム開発事業報告書，pp63-91，財団法人協総合研究所，2005.3
- ・式恵美子：在宅介護現場における介護職のサービス提供のあり方に関する調査研究，雇用能力開発機構の助成金による委託研究（座長：大嶋正光，研究委員：大嶋正光，服部万里子，西嶋公子，三川武彦，登坂真人，三澤哲夫，北昌司，榎本弘子，柳原真理子）2005.3
- ・浅香 勉，大石剛史，若倉 健（分担研究）：栃木県社会福祉士会における研修・交流活動の意義と課題，社団法人日本社会福祉士会栃木県支部 調査研究報告書，2005.3
- ・杉岡直人，梶 直美，林 芳治：地方都市における地域福祉計画および地域福祉実践－美唄市の事例－，平成15年度科学研究費補助金基盤研究（A）（1）協働と参加による市町村地域福祉計画のシステム形成および評価方法に関する実証的研究（研究代表者：関西学院大学 牧里毎治）

- ・若倉 健：老人福祉制度と介護保険，とちぎソーシャルワーク共同事務所，2004.10

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・鈴木五郎：－社会福祉改革と残された課題への挑戦－，徳島県ソーシャルワーカー協会定期総会講演，徳島市，2004.7.10
- ・鈴木五郎：－21世紀，社会福祉の展望と課題－，福島県社会福祉士会年次総会講演，福島県いわき市，2004.11.20
- ・会田元明：栃木県臨床心理士会スクールカウンセラー学習会，栃木県青年会館，2004.7.11
- ・会田元明：宇都宮大学教育学部教育実践総合センター研究会，宇都宮大学，2004.12.4，2005.2.19
- ・会田元明：栃木こころの会議，栃木県総合教育センター，2004.11.7
- ・鈴木二郎：ビジネスマンのためのメンタルヘルス，－誰でもメンタルヘルスの問題は起こりうる－，第164回特別情報セミナー，東京，2004.4.16
- ・六波羅詩朗：生活保護における査察指導の在り方，平成16年度全国生活保護査察指導員研究協議会（厚生労働省社会・援護局総務課監査指導室主催），東京ファッションタウン大会議室，東京，2004.8.24
- ・小嶋章吾：分科会報告「社会福祉援助技術」，第4回社会福祉士養成教育と社会福祉士試験，社団法人日本社会福祉士養成校協会主催，日本女子大学，東京，2004.4.18
- ・小嶋章吾：分科会コーディネーター「MSW実践と記録の手法」，NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会主催，第10回東京大会，明治学院大学，東京，2004.7.3
- ・小嶋章吾：介護保険下における介護サービスと諸課題－介護保険施設体系を中心に－，国際医療福祉大学附属熱海病院主催，熱海市，2004.7.29
- ・小嶋章吾：分科会コーディネーター「ソーシャルワーカー養成教育における教員研修のあり方」，社団法人日本社会福祉教育学校連盟・社団法人日本社会福祉士養成校協会，2004年度全国社会福祉教育セミナー，福岡市，2004.10.23-24
- ・小嶋章吾：「医療福祉の事例研究と記録法」及びスーパービジョン（事例提供者：本学2期生・高橋茂治氏），社会福祉セミナー「ソーシャルワーク実践をつくる」，ワークショップ・分野別実践事例検討会，日本社会事業大学社会事業研究所主催，日本社会事業大学，東京，2004.11.6-7
- ・小嶋章吾：「Life Space Interview～生活場面面接の臨床場面での検証」及び事例検討会スーパーバイザー，ソーシャルワーク勉強会しんみち主催，三楽病院，東京，2005.2.19
- ・小嶋章吾：ケアマネジメントリーダーのためのソーシャルワークの視点と技法，栃木県ケアマネジメントリーダー養成研修，社会福祉法人とちぎ健康福祉協会主催，宇都宮市，2005.2.25
- ・小嶋章吾：ソーシャルワークの記録のあり方を探る～個人情報保護と情報公開時代に向けて～（秘密保持原則と医療ソーシャルワーク記録～電子カルテ化の流れのなかで～），富山県医療ソーシャルワーカー協会主催，定例研修会，富山市，2005.2.26
- ・小嶋章吾：教育講演「今，求められる社会福祉実践とは」，第1回愛媛県社会福祉士フォーラム，（社）日本社会福祉士会愛媛県支部主催，松山市，2005.3.12
- ・小嶋章吾：スーパーバイザー候補者研修会，NPO法人コミュニティケア研究所主催，千葉市，2004.12.12
- ・小嶋章吾，寫末憲子：対応困難事例・場面及びアンケート結果の報告と現任研修（スーパービジョン）への活用，NPO法人コミュニティケア研究所主催，千葉市，2005.2.20
- ・柴田範子，小嶋章吾：「専門技術の習得②サービス担当者会議開催，モニタリング技術」及び演習「専門職間連携を深めるためのケアプラン，訪問介護計画書の作成」，ケアマネジャー・サービス提供責任者研修交流会，財団法人生活協総合研究所主催，東京，2004.10.21，大阪，2004.11.14
- ・小林雅彦：シンポジウム「地域性を生かした福祉サービスのあり方」コーディネーター，全国地域生活支援ネットワ

ーク, 那須, 2004.6.26

- ・ 小林雅彦: シンポジウム「支援費制度で障害者の生活がどのように変わったか」コーディネーター, 全国肢体不自由児父母の会全国大会, 鬼怒川, 2004.7.25
- ・ 小林雅彦: シンポジウム「住民力でまちづくり」コーディネーター, 東京栄和会, 東京, 2004.9.11
- ・ 式恵美子: 介護予防のためのケアプラン, ひまわり館主催, 大田原市, 2004.8.11
- ・ 式恵美子: 居宅介護サービス事業者の役割, ナレッジバンク主催, 飯田橋セントラルプラザ, 2004.10.3
- ・ 式恵美子: 介護保険の見直しと介護の変化への対応, (社)医療経済研究所主催, 金沢市厚生年金会館, 2004.10.24
- ・ 式恵美子: 介護保険の見直しと介護の変化への対応, 介護計画の立案, (社)医療経済研究所主催, 大阪駅前第4ビル, 2005.1.22-23
- ・ 山崎順子: 栃木県ソーシャルワーカー学会助言者
- ・ 浅香 勉: 心を育てる育児, 大田原市食生活改善推進委員研修会, 大田原市保健センター, 2004.7.28
- ・ 永野なおみ: 富山県における女性の就業構造—女性の仕事と子育ての両立を可能にする環境, 平成15年度富山県民生センター研究助成による調査報告会, 富山県民生センターサンフォルテ, 富山市, 2004.8.21
- ・ 永野なおみ, 小嶋章吾: ソーシャルワーク業務の進め方/記録の意味, 業務開発と定着化, 栃木県医療社会事業協会主催, 平成16年栃木県医療社会事業協会 初任者研修, 宇都宮市, 2004.9.12
- ・ 松井由美: 事故からの教訓, 実践報告検討会, グループホーム協会, 東京
- ・ 若倉 健: アセスメントとケアプラン～アセスメントの実際～, 平成16年度 第1回痴呆介護実務者研修「専門課程」, 栃木県済生会高齢者ケアセンター, 栃木県, 2004.7.6
- ・ 若倉 健: アセスメントとケアプラン～ケアプラン作成の方法～, 平成16年度 第1回痴呆介護実務者研修「専門課程」, 栃木県済生会高齢者ケアセンター, 栃木県, 2004.7.6
- ・ 若倉 健: 社会福祉とは何か, 平成16年度 茨城県立総和高等学校大学出張講義, 茨城県立総和高等学校, 茨城県, 2004.10.5
- ・ 若倉 健: 社会福祉士国家試験直前講座, 栃木県社会福祉士会国家試験対策委員会, とちぎ健康の森, 栃木県, 2004.12.18

学会発表

- ・ 鈴木二郎: ディスカサントーPersonal Disorderの外来治療をめぐる一, 第4回日本外来臨床精神医学会 (JCOP) 学術大会, 2004.3.14
- ・ 鈴木二郎, 古屋一峯千絵子: 某海運業におけるメンタルヘルス15年間の状況, 第11回日本産業精神保健学会, 東京, 2004.6.11
- ・ 村島善也, 鈴木二郎, 吉井光信: ELマウス発作起始部頭頂皮質における異常可塑性成立に関わる神経栄養因子の果たす役割, 第38回日本てんかん学会, 静岡, 2004.10.1
- ・ Suzuki J: Promotion of Ethics of Psychiatry in Japan with Fusing Individualism and a new Family System, XVIII World Congress of World Association for Social Psychiatry, Kobe, 2004.10.25
- ・ Suzuki J, Nakamura M, Kobori S, Kawana A, Hirose Y, Furuya-Mine C: Psychiatric outpatients of University Hospital and Characters of Local Community, XVIII World Congress of World Association for Social Psychiatry, Koube, 2004.10.25
- ・ Jiro Suzuki: New Concepts of Epileptic Psychosis, WPA International Congress in Florence, Italy, 2004.10
- ・ Kojima S, Ito S: An Issue on Social Work Role for Discharge Planning in the Hospital in Japan, Fourth International Conference on Social Work in Health and Mental Health, Official Program, p.A-60, Quebec, 2004.5
- ・ 小嶋章吾, 巖末憲子: 社会福祉実践・教育・研究における生活場面面接の意義と活用の方向性—高齢者分野における

- ソーシャルワーク及びケアワークの質的研究結果の総括一，日本社会福祉学会第52回全国大会 報告要旨集，p249，東京，東洋大学，2004.10
- ・ 小嶋章吾：日本社会福祉学会第52回全国大会，分科会「方法・技術②」，座長，東京（東洋大学），2004.10.10
 - ・ 小嶋章吾：第1回とちぎソーシャルワーク学会，分科会座長，宇都宮市，2005.2.13
 - ・ 矢部正治，有村大士，小嶋章吾，鈴木ゆかり，田中千枝子，手島陸久，柳田正明，山下英三郎：ソーシャルワーク・アーカイブズの構築に関する研究，日本社会福祉学会第52回全国大会 報告要旨集，p253，東京，東洋大学，2004.10.9
 - ・ 式恵美子：高齢者退院時のケアマネジメントと在宅ケアの安定的開始の関連，日本ケアマネジメント学会第3回研究大会発表，大阪，2004.7.11
 - ・ 式恵美子，服部万里子（共同研究）：ホームヘルパーの実施している医療行為の実態と今後の課題，日本社会福祉学会，第51回研究大会発表，東京，2004.10.10
 - ・ 浅香 勉：社会的養護の方向性をめぐる研究ー地域小規模児童養護施設をめぐってー，日本社会事業大学社会福祉学会，第43回社会福祉研究大会，日本社会事業大学，2004.6.27
 - ・ 大石剛史，若倉 健，浅香 勉：社会福祉士の主体形成の必要性と研修活動の方向性①，とちぎソーシャルワーク学会第1回大会，栃木，2005.2.13
 - ・ 若倉 健，大石剛史，浅香 勉：社会福祉士の主体形成の必要性と研修活動の方向性②，とちぎソーシャルワーク学会第1回大会，栃木，2005.2.13
 - ・ 須藤昌寛：高齢者の記憶に関する動機づけの研究ー”ほめる”ことの効果についてー，第2回日本福祉心理学会，東京，2004.6.6
 - ・ 永野なおみ：対人援助における対象者の認知とその過程（2），第11回介護福祉教育学会，山形市，2004.7.23
 - ・ 永野なおみ，小嶋章吾，若倉 健：医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題，日本社会福祉学会第52回全国大会 報告要旨集，p509，東京，東洋大学，2004.10.9
 - ・ 林 芳治，杉岡直人（共同発表）：旧産炭地域における生活実態と居住地域に対する意識調査ー美唄市我路町の事例ー，第18回 日本地域福祉学会，名古屋，2004.6.12-13
 - ・ 大石剛史，中野いく子，原田正樹：高齢理解プログラムの視点と課題ー日本の高齢理解教育とアメリカ Intergenerational Programとの比較からー，第10回日本福祉教育・ボランティア学習学会，2004.11.28
 - ・ 竹内孝仁，佐藤恭子：介護支援専門員のケアマネジメントに関する基礎知識について，第3回ケアマネジメント学会，大阪，2004.7.11
 - ・ 竹内孝仁，佐藤恭子：介護支援専門員のケアマネジメント業務の現状について，第52回社会福祉学会，東京，2004.10.10
 - ・ 若倉 健：経済的虐待の実態と地域福祉権利擁護事業を中心とした支援課題，日本社会福祉学会第52回全国大会，東京，2004.10.10
 - ・ 若倉 健：社会福祉士の研修ニーズに対応する職能団体のあり方に関する研究，立正大学社会福祉学会第6回大会，埼玉，2004.10.31

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，その他研究助成金）

- ・ 六波羅詩朗，杉村 宏 他（分担研究）：貧困の世代間再生産の緩和・解消のための支援に関する基礎的研究，平成16年度厚生労働省厚生科学研究補助金（政策科学推進事業）研究，（H14-政策-026）
- ・ 六波羅詩朗，青木 記 他（分担研究）：福祉資金貸付制度の効果と課題に関する研究，平成16年度厚生労働省厚生科学研究補助金（政策科学推進事業）研究，（H-16-政策-004）

- ・ 山崎順子, 六波羅詩朗, 小林雅彦, 須藤昌寛, 若倉 健, 大石剛史 (分担研究) : 障害児・者の生活ニーズに対応するホームヘルプサービスの在り方に関する研究, 平成16年度みずほ福祉助成財団社会福祉助成事業
- ・ 手島陸久, 後藤 隆, 山下英三郎, 田中千枝子, 竹内幸子, 小嶋章吾, 矢部正治, 柳田正明, 鈴木ゆかり : 社会福祉専門職国家資格化後におけるソーシャルワーク実践事例の収集・評価による実践方法の標準化に関する研究 (主任研究者・手島陸久 (日本社会事業大学教授)) 分担研究者, 平成16年度厚生労働科学研究費補助金 (政策科学研究事業)
- ・ 寫末憲子, 小嶋章吾 : 対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究—ケアマネジメントシステムにおける利用者の生活変化と援助プロセスを中心とした検討— (研究代表者・寫末憲子 (埼玉県立大学講師)) 研究分担者, 平成16年度科学研究費補助金
- ・ 柴田範子, 小嶋章吾 : ケアマネジャーとサービス提供責任者が連携できる研修プログラム開発事業 (財団法人協総合研究所), 学識経験者, 独立行政法人福祉医療機構 (長寿社会福祉基金) 助成事業
- ・ 副田あけみ, 小嶋章吾, 石川久展, 藏野ともみ, 谷川和昭, 保正友子 : 社会福祉士養成校教員研修プログラム基盤構築事業 (社団法人日本社会福祉士養成校協会), 研究分担者, 独立行政法人福祉医療機構 (長寿社会福祉基金) 助成事業
- ・ 小嶋章吾, 寫末憲子 : 社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究—実践的技法と教育訓練プログラムの開発—, 平成16年度科学研究費基盤研究基盤研究C(2), 研究代表者・小嶋章吾, 課題番号16530376
- ・ 山崎順子 : みずほ福祉助成財団社会福祉助成
- ・ 浅香 勉, 大石剛史, 若倉 健 (分担研究) : 栃木県社会福祉士会における研修・交流活動の意義と課題, 平成17年度社団法人日本社会福祉士会栃木県支部調査研究委員会補助金
- ・ 杉原素子, 佐藤恭子 他 : 要支援者および軽度要介護者の介護サービス計画および標準化に関する研究, 平成16年度厚生労働科学研究費補助金, 長寿科学総合研究事業, 課題番号16090401, 研究メンバーとして参加

所属学会

- ・ 鈴木五郎 : 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会
- ・ 相原和子 : 日本医療社会福祉学会, 日本社会病理学会, 日本犯罪社会学会, 日本社会学会
- ・ 鈴木二郎 : 日本てんかん学会, 日本疾患モデル動物研究会 (現在日本疾患モデル学会), 日本脳神経疾患動物研究会, 日本脳波・筋電図学会 (現在日本臨床神経生理学会), 日本生物学的精神医学会, 東京精神医学会, 東京てんかん懇話会, 日本精神神経学会, 日本精神保健学会, 日本精神・行動遺伝学研究会, 日本精神衛生会, 日本産業精神医学会, 日本総合病院精神医学会, 日本神経精神医学会, 日本臨床精神神経薬理学会, 世界精神医学会 (WPA), 日本外来精神医療学会, 日本外来臨床精神医学会, 日本精神保健政策学会
- ・ 六波羅詩朗 : 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 社会保障法学会, 社会政策学会, 社会事業史学会, 経済統計学会
- ・ 小嶋章吾 : 日本社会福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本社会福祉実践理論学会, ソーシャルワーク研究会, 日本医療ソーシャルワーク研究会, 日本福祉図書文献学会, M-GTA研究会
- ・ 小林雅彦 : 地域福祉学会
- ・ 式恵美子 : 日本社会福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本医療保健社会学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本看護学教育学会, 日本死の臨床研究会, 白山社会学会
- ・ 山崎順子 : 社会福祉学会, 発達障害学会, 地域福祉学会
- ・ 浅香 勉 : 日本社会福祉学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 日本介護福祉学会, 日本子どもの虐待防止研究会, 日本子ども家庭福祉学会
- ・ 須藤昌寛 : 日本心理学会, 日本福祉心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本老年行動科学会
- ・ 永野なおみ : 日本福祉学会, 日本医療社会事業学会, 介護福祉教育学会

- ・ 林 芳治：北海道社会福祉学会，北海道地域福祉学会，日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本社会学会
- ・ 松井由美：日本社会福祉学会，日本ケアマネジメント学会，日本介護福祉学会，日本老年社会科学会，介護福祉教育学会
- ・ 大石剛史：地域福祉学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会，社会福祉学会
- ・ 佐藤恭子：社会福祉学会，地域福祉学会，ケアマネジメント学会
- ・ 若倉 健：日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本ケアマネジメント学会，日本高齢者虐待防止学会，日本老年行動科学会，日本医療社会事業学会，日本福祉大学社会福祉学会，立正大学社会福祉学会

学会役員

- ・ 相原和子：日本医療社会福祉学会（副会長）
- ・ 鈴木二郎：日本てんかん学会（理事），日本疾患モデル動物研究会（現在日本疾患モデル学会）（評議員），日本脳神経疾患動物研究会（代表世話人），日本脳波・筋電図学会（現在日本臨床神経生理学）（評議員），日本生物学的精神医学会（理事），東京精神医学会（理事），東京てんかん懇話会（世話人），日本精神神経学会（理事・出版局委員長），日本精神保健学会（評議員），日本精神・行動遺伝学研究会（世話人・監事），日本精神衛生学会（評議員），日本産業精神医学会（評議員），日本総合病院精神医学会（評議員），日本神経精神医学会（評議員），日本臨床神経薬理学会（評議員），世界精神医学会（WPA）（第17（東アジア）地区代表），日本外来精神医療学会（常務理事），日本外来臨床精神医学会（理事），日本精神保健政策学会（運営委員・編集委員長）
- ・ 六波羅詩朗：日本社会福祉学会（日本社会福祉学会関東部会運営委員，機関誌編集委員，機関誌査読委員）
- ・ 小嶋章吾：日本福祉図書文献学会（理事），M-GTA研究会（世話人）
- ・ 式恵美子：日本ケアマネジメント学会（広報委員）

センター（基礎医学研究センター）

著書

- ・ 今井 正：パワーポイントで学ぶ腎臓のはたらき，東京医学社，2004
- ・ 今井 正（分担執筆），藤村昭夫（編集）：薬の作用機序，研修医のための薬理学，永井書店，2004
- ・ 今井 正（分担執筆），本郷利憲 他（監修）：腎臓生理学，標準生理学，医学書院，2004
- ・ 今井 正：ハイブリッド型人工透析器—基礎と臨床の間で，「透析医療の常識・非常識」臨床透析，2004
- ・ 今井 正（編集／分担執筆）：塩のことば辞典，日本塩工業会（編集委員），2005
- ・ 神山隆一（編集／分担執筆）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト 病理学（北村 諭，北川定謙，開原成允シリーズ監修），病理学の概要，pp2-5，病因，pp6-8，細胞・組織の傷害とその修復，pp9-23，老化，pp94-98，中外医学社，2004.11
- ・ 黒澤美枝子（分担執筆）：IN 標準生理学 第6版，6-I 自律神経系，pp405-431，医学書院，2005.1
- ・ 黒澤美枝子（編集／分担訳）：IN トータル人体解剖生理学 原著6版，第21章 泌尿器系，pp530-549，丸善，2004.6

原著論文

- ・ R Konno, A Niwa：Library screening for D-amino-acid oxidase gene：Application of real-time PCR，Amino Acids 27，pp221-223，2004

- A Hashimoto, M Yoshikawa, A Niwa, R Konno : Mice lacking D-amino acid oxidase activity display marked attenuation of stereotypy and ataxia induced by MK-801. *Brain Res*, Vol.1033, pp210-215, 2005
- Tomimori Y, Katoh I, Kurata S, Okuyama T, Kamiyama R, Ikawa Y : Evolutionarily conserved expression pattern and *trans Xenopus p51/p63*, *Biochem Biophys Res Comm*, Vol.313, pp230-236, 2004
- Kurosawa M, Taniguchi T, Yoneda M : Cholecystokinin and prostaglandins inhibit responses of vagal afferent activity to systemic administration of nicotine in anesthetized rats, *Neurosci Lett*, Vol.362, pp213-215, 2004
- Hashimoto T, Yoneda M, Shimada T, Kurosawa M, Terano A : Intraportal nicotine infusion in rats decreases hepatic blood flow through endothelin-1 and both endothelin A and endothelin B receptors, *Toxicol Appl Pharmacol*, Vol.196, pp1-10, 2004
- Shimoju-Kobayashi R, Maruyama H, Yoneda M, Kurosawa M : Responses of hepatic glucose output to electro-acupuncture stimulation of the hindlimb in anaesthetized rats, *Auton. Neurosci. Basic & Clinical*, Vol.115, pp7-14, 2004
- Stener-Victorin E, Shimoju-Kobayashi R, Watanabe O, Lundeborg T, Kurosawa M : Effect of electro-acupuncture stimulation of different frequencies and intensities on ovarian blood flow in anaesthetised rats with steroid-induced polycystic ovaries, *Reprod Biol Endocrinol*, Vol.2, pp16-24, 2004

総説

- 今井 正 : 腎髄質の尿細管機能 (Henleループと遠位側ネフロン)の輸送機構)腎と透析, 57, pp435-443, 2004
- 今井 正 : 食塩と高血圧, 腎臓の役割を中心として, 日本食品科学工学会誌, 52, pp1-6, 2005
- 下重里江, 黒澤美枝子 : 運動時の肝グルコース放出調節, 自律神経, Vol.41 No.6, pp561-565, 2004
- 黒澤美枝子 : 人物往来「佐藤昭夫先生」, *Clinical Neuroscience*, Vol.22 No.11, p1347, 2004

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- 今井 正 : 尿の濃縮機構, 日本生理学会中部部会 (特別講演), 静岡, 2004.10.2
- 今井 正 : 体液と血圧の調節から見た塩と健康, 日本海水学会西部支部部会 (招請講演), 大阪, 2004.11.19
- 黒澤美枝子 : 皮膚刺激の肝糖代謝に及ぼす影響とその神経機序の検討, 第41回日本臨床生理学会総会シンポジウム, 宇都宮, 2004.11.19

学会発表

- 関 貴行, 谷澤 徹, 神山隆一 : 大腸腫瘍における粘膜下逸脱腺管の病理組織学的検討, 第93回日本病理学会総会, 札幌, 2004.6.9
- 神山隆一 (座長) : 病理診断シリーズ27, 第50回日本病理学会秋期特別総会, 名古屋, 2004.12.3
- 下重里江, 丸山仁司, 黒澤美枝子 : ラット下腿への低強度鍼通電刺激による肝グルコース放出および血糖の反応, 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3
- 黒澤美枝子, 渡邊織江, ステナービクトリン エリザベス : 鍼通電刺激によって誘発される麻酔ラットの卵巢血流反応, 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3
- Mieko Kurosawa, Orié Watanabe, Brian Budgell : responses of spinal blood flow to cutaneous brushing in rats, 第27回日本神経科学学会大会, 大阪, 2004.9.23
- 渡邊織江, 黒澤美枝子 : 皮膚触刺激によるラット脊髄血流の変化, 第57回日本自律神経学会総会, 長崎, 2004.10.29
- 黒澤美枝子 (座長) : 循環器-3, 第57回日本自律神経学科総会, 長崎, 2004.10.29
- 黒澤美枝子 (主催) : 第32回自律神経生理研究会, 東京, 2004.12.4

- ・ 黒澤美枝子 (座長) : フォーラム2 神経系の臨床生理, 第41回日本臨床生理学会総会, 宇都宮, 2004.11.19

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・ 丹羽 章 : 大学教育高度化推進経費 平成16年度高等教育研究改革推進経費 (担当部局責任者)
- ・ 丹羽 章 : 私立大学等研究整備補助金 (責任者)
- ・ 黒澤美枝子 : 授乳期ならびに成長期に加えた触刺激が成熟後の自律反応におよぼす影響とその機序の研究, 平成16年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号15590214, 継続
- ・ 黒澤美枝子 (分担研究) : G_{M1}-ガングリオンシドローシスモデルマウスの神経機能評価, 平成16年度厚生労働省科学研究費補助金, こころの健康科学, 主任研究者 鈴木義之, 継続
- ・ 黒澤美枝子 : ニコチンの肝グルコース放出におよぼす影響とその機序の研究, 平成16年度喫煙科学研究財団研究費, 継続
- ・ 長谷川薫 : 肝再生の開始調節における非特異的刺激の関与, 平成16年度文部科学省科学研究補助金, 基盤研究 (C)

所属学会

- ・ 丹羽 章 : 日本細菌学会, 日本組織培養学会, Society for In Vitro Biology
- ・ 今井 正 : 国際腎臓学会, 日本腎臓学会, 日本薬理学会, 日本血管内分泌代謝学会, 日本医学教育学会
- ・ 神山隆一 : 日本病理学会, 日本血液学会, 日本リンパ網内系学会, 日本臨床血液学会, 国際血液学会, 細胞病理談話会
- ・ 黒澤美枝子 : 米国神経科学学会, 国際自律神経科学学会, 日本生理学会, 日本神経科学学会, 基礎老化学会, 日本自律神経学会
- ・ 野首和人 : 日本解剖学会, 日本霊長類学会
- ・ 長谷川薫 : 日本生理学会, 日本細胞生物学会, 日本組織培養学会, 日本動物学会, 米国インビトロ・バイオロジー学会, New York Academy of Science

学会役員

- ・ 今井 正 : 日本腎臓学会 (功労会員), 日本薬理学会 (学術評議員), 日本血管内分泌代謝学会 (評議員)
- ・ 神山隆一 : 日本病理学会 (名誉会員, コンサルタント委員), 日本血液学会 (功労会員), 日本リンパ網内系学会 (評議員), 細胞病理談話会 (世話人)
- ・ 黒澤美枝子 : 国際自律神経科学学会 (編集委員), 日本生理学会 (評議員, 将来計画委員, 編集委員), 日本神経科学学会 (専門委員), 基礎老化学会 (評議員), 日本自律神経学会 (評議員, 編集委員)
- ・ 野首和人 : 日本解剖学会 (評議員)
- ・ 長谷川薫 : 日本生理学会 (評議員)

センター (臨床医学研究センター)

著書

- ・ 下泉秀夫 (共著) : 虐待を疑う症候と疑ったときの対応, 小児初期救急診療ガイドブック, pp150-152, へるす出版, 2004.4
- ・ 下泉秀夫 (共著) : 第11章ネグレクトと医学的所見, 子ども虐待の臨床-医学的診断と対応, pp169-184, 南山堂, 2005.1

- ・ 松本和則 (共著) : 医学一般, 介護福祉士受験講座サブノート2005, 医療福祉総合研究所
- ・ 松本和則 (共著) : 医学一般, 社会福祉士国家試験対策, 国際医療福祉大学出版会
- ・ 谷 禮夫 (分担執筆), 医療福祉総合研究所 (編集) : 高齢者保健医療の基礎知識, ケアマネジャー試験対策2004, pp116-187, 医療福祉総合研究所, 2004.4
- ・ 谷 禮夫 (分担執筆), 荒川泰行, 川村 洋 (編集) : 20世紀の教訓から21世紀の新しい扉を拓く, 第66回日本消化器内視鏡学会総会記念随筆集, pp225-228, メディカルレビュー社, 2004.4
- ・ 谷 禮夫 (分担執筆), 峯 徹哉 (編集) : 上部消化管疾患を探る, 臨床試験とインフォームドコンセント, pp89-92, 永井書店, 2004.11
- ・ 谷 禮夫 (分担執筆), 高久史麿 (監修) : 消化管疾患, 検査計画の進め方, 臨床検査データブック2005-2006, pp58-59, 医学書院, 2005.3
- ・ 内田克紀, 松本和則, 嶋田裕之 (編集) : コメディカルのための専門基礎分野テキスト, 老年医学, 各論, 腎, 泌尿器疾患, 中外医学社, pp111-130
- ・ Kato H, Takahashi A, Itoyama Y : Microglial proliferation and cell cycle protein upregulation in the rat hippocampus following forebrain ischemia, In, Buchan A, Ito U, Colborne F, Kuroiwa T, Klatzo I, eds, *Maturation Phenomenon in Cerebral Ischemia V*, Springer-Verlag, Berlin, pp113-119, 2004
- ・ 古瀬 彰, 川内基裕 (編集) : 外科研修なんでも質問箱100, 南江堂, 2004
- ・ Suzuki Y, Oshima A, Nanba E : β -Galactosidase deficiency (β -galactosidosis), GM1-Gangliosidosis and Morquio B disease, Sriver CR, Beaudet AL, Sly WS, Valle D, Childs B, Vogelstein B (eds), *The Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease*, 8th ed, Online Version, Website, <http://genetics.accessmedicine.com>, McGraw-Hill, New York, 2004
- ・ 橋本雅章 : 脳を活性化するためのヒント, わたしのここから, オフィス東和, pp30-31, 2005.1
- ・ 柳田 薫 (共著) : 婦人科内分外来ベストプラクティス (神崎秀陽編集), 男性不妊, 医学書院, pp177-189, 2004.9
- ・ 片寄治男, 林章太郎, 両角和人, 柳田 薫, 佐藤 章 : ART必須技術マニュアル (福田愛作, 鈴木秋悦監修), 卵の人為的活性化, pp390-397, 2005.01
- ・ 柳田 薫 (共著) : 卵細胞質内精子注入法, 生殖医療のコツと落とし穴 (吉村泰典編), 中山書店, pp88-89, 2004.5
- ・ 柳田 薫 (共著) : 体外受精, 顕微授精での受精障害, 生殖医療のコツと落とし穴 (吉村泰典編), pp172-173, 中山書店, 2004.5
- ・ 柳田 薫 : 日本哺乳動物卵子学会 (編), 顕微授精, 生命の誕生に向けて, 近代出版, pp145-153, 2005.3
- ・ 柳田 薫 : 看護のための最新医学講座第2版, 第15巻, 日野原重明, 井村裕夫監修, 生殖補助医療技術, pp12-29, 中山書店, 2005.03
- ・ 大橋一之 (共著) 松本和則, 嶋田裕之 (編集) : 口腔疾患, 老年医学, 中外医学社, pp233-234, 2005.3
- ・ 井上正人 (分担執筆) : 今日の不妊治療, 受精障害の診断, pp50-55, 医歯薬出版株式会社, 2004.11.10
- ・ 福田宏之 (分担執筆) : 音声外科医の専門医の治療, 甲状腺疾患治療マニュアル, pp158-163, 南江堂, 2004.4.20
- ・ 福田宏之 (分担執筆) : 言語障害について, 耳鼻咽喉科診療Q&A, No.39, pp1122-1125, 六法出版社, 2004.5.13
- ・ 福田宏之 (分担執筆) : 嘔声, 今日の小児診断指針第4版, pp224-226, 医学書院, 2004.7.15
- ・ 織田正也, 中村正彦 : 急性胃粘膜病変 (AGML), YEAR NOTE SERIES, SELECTED ARTICLES 2005, 「主要病態・主要疾患の論文集」, pp45-64, メディックメディア, CD-ROM, 2004
- ・ 岩動孝一郎 (監修) : 週刊インサイドヒューマンボディ, Vol.120-171, デアゴスティニーニ社, 2004
- ・ 奥仲哲弥, 林 和, 加藤治文 (分担執筆) : 外科病棟・手術室のリスクマネージメント, 呼吸器外科とリスクマネージメント, pp97-109, 中外医学社, 2004

- ・ 奥仲哲弥 (分担執筆) : 肺癌診療二頁の秘訣, 蛍光気管支鏡による中心型早期肺癌の診断, pp62-63, 金原出版, 2004
- ・ 奥仲哲弥 (分担執筆) : インフォームドコンセントのための図説シリーズ 肺癌, 光線力学的療法, pp60-62, 医歯薬ジャーナル, 2004
- ・ 奥仲哲弥 (分担執筆) : 第98回医師国家試験問題解説書, 医学評論社, 2004
- ・ 小木曾智美, 長原 光, 白鳥敬子: 肝癌細胞におけるTGF- β 抵抗性の分子機構一, 細胞療法の基礎と臨床, 小俣政男監修, pp125-127, アークメディア, 2004.6.1
- ・ 柳原 泰 他 (分担執筆) : 標準治療2004-2005, 日本医療企画, 東京, 2004
- ・ 須藤英一 : 胸水, 肺胞洗浄液, 臨床検査データブック2005 - 2006 (高久文麿監修), pp613-614, pp619-621, 医学書院, 2004
- ・ Kazuo Nakamura : Part3 Clinical Cases Case10, 11, 12, 18 and 23, New Magnetic Applications in Clinical Dentistry, Minoru Ai, Yuh-Yuan Shiau, Quintessence Publishing Co. Ltd., Tokyo, 2004
- ・ 横山郁夫 : 心臓核医学エビデンス, 2004
- ・ 横山郁夫 : Medical Technology, 心臓viability PET, 2004
- ・ 倉島一浩 (分担執筆) : 標準治療2004・2005, 突発性難聴, メニエール病, 良性発作性頭位眩暈症 (BPPV), 前庭神経炎, pp1228-1239, 株式会社日本医療企画, 2004.8
- ・ 吉岡直紀, 和田昭彦, 加藤伸之 (分担執筆) : 新版よくわかる脳MRI, 小脳橋角部・側頭骨, pp152-179, 秀潤社, 2004
- ・ 楠山敏行, 佐藤麻美, 福田宏之 : 耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド Part 4 (野村恭也, 小松崎篤, 本庄巖 編), ボイスセラピーの限界は, pp231-233, 中山書店, 2004.8
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 : 耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド Part 4 (野村恭也, 小松崎篤, 本庄 巖 編), 嚥下障害の手術, 中山書店, 2004.8

原著論文

- ・ 下泉秀夫 : 老朽化する児童養護施設, 子どもの虐待とネグレクト, 6, pp273-282, 2004.9
- ・ 下泉秀夫 : 発達障害と子ども虐待, 子ども虐待の予防とケアのすべて, 追録第3号, pp219-220, 2005.2
- ・ 下泉秀夫 : 発達障害が原因の身体的虐待, 子ども虐待の予防とケアのすべて, 追録第3号, pp1345-1348, 2005.2
- ・ 大多和薫, 神部芳則, 青木実紀, 宮城徳人, 三田村治郎, 草間幹夫 : 多数の唾石を認めた口唇小唾液腺唾石症の2例, 日本診断学会雑誌, Vol.17 No.2, pp254-257
- ・ 神部芳則, 大多和薫, 三田村治郎, 草間幹夫, 小林 馨 : 顎関節部に生じたガングリオンの1例, 歯科放射線2004, Vol.44 No.4, pp238-239
- ・ Kurosaki R, Muramatsu Y, Kato H, Araki T : Biochemical, behavioral and immunohistochemical alterations in MPTP-treated mouse model of Parkinson's disease. Pharmacol Biochem Behav 78, pp143-153, 2004
- ・ Kurosaki R, Muramatsu Y, Kato H, Araki T : Protective effect of angiotensin-converting enzyme inhibitor perindopril in MPTP-treated mice, Neurol Res 26 : pp644-657, 2004
- ・ Kurosaki R, Muramatsu Y, Kato H, Araki T : Protective effect of pitavastatin, a hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme A (HMG-CoA) reductase inhibitor, on ischemia-induced neuronal damage, Neurol Res 26, pp684-691, 2004
- ・ Muramatsu Y, Kurosaki R, Kato H, Araki T : Effect of pitavastatin against expression of S100, protein in the gerbil hippocampus after transient cerebral ischemia, Acta Physiol Scand 182, pp95-107, 2004
- ・ Kumagai R, Oki C, Muramatsu Y, Kurosaki R, Kato H, Araki T : Pitavastatin, a 3-hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme A (HMG-CoA) reductase inhibitor, reduces hippocampal damage after transient cerebral ischemia in gerbils, J Neural Transm 111,

pp1103-1120, 2004

- Kato H, Kurosaki R, Oki C, Araki T : Arundic acid, an astrocyte-modulating agent, protects dopaminergic neurons against MPTP neurotoxicity in mice, *Brain Res* 1030, pp66-73, 2004
- 渡辺 悠, 神原史織, 水野久美子, 姫田敏樹, 加藤宏之, 荒木 勉 : 実験的パーキンソン病モデルマウスにおけるグリア細胞の役割, *Prog Med* 24, pp3072-3079, 2004
- 川内基裕, 室田欽宏, 田中公啓, 古瀬 彰 : 75歳以上の心臓血管外科手術, *交通医学*, 58巻, pp91-95, 2004
- Lin H, Sugimoto Y, Ohsaki Y, Ninomiya H, Oka A, Taniguchi M, Ida H, Eto Y, Ogawa S, Matsuzaki Y, Sawa M, Inoue T, Higaki K, Nanba E, Ohno K, Suzuki Y : N-Octyl- β -valienamine up-regulates activity of F213I mutant β -glucosidase in cultured cells. A potential chemical chaperone therapy for Gaucher disease. *Biochim Biophys Acta* 1689, pp219-228, 2004
- 相澤 啓, 遠藤俊輔, 山本真一, 齊藤紀子, 大谷真一, 長谷川剛, 佐藤幸夫, 村山史雄, 蘇原泰則 : 胸壁類上皮肉腫, *胸部外科*, Vol.57 No.10, pp957-960, 2004
- Tezuka Y, Tetsuka K, Murayama E, Tsukada H, Endo S, Sato Y, Hasegawa T, Sohara Y : Vital observation of the pulmonary microcirculation in rats with a soft x-ray system, *Microcirculation annual* 20, pp79-80, 2004
- 柳田 薫, 高橋秀憲, 片寄治男 他 : 腹腔鏡下に大網切除を行った大網妊娠の1例, *日本産科婦人科内視鏡学会雑誌*, 20, pp196-198, 2004.07
- Kazuto Morozumi, Hiroyuki Tateno, Kaoru Yanagida, et al : Chromosomal analysis of mouse spermatozoa following physical and chemical treatments that are effective in inactivating HIV, *Zygote*, 12, pp339-344, 2004
- Haruo Katayose, Kaoru Yanagida, et al : Fertilization failure from a sperm chromatin defect in couples with unexplained infertility, *J, Reprod, Med*, 49, pp727-732, 2004.9
- Haruo Katayose, Atuko Shinoharam Momoko Chiba, Hiroko Yamada, Kunihiko Tominaga, Akira Sayo, Kaoru Yanagida : Effects of various elements in seminal plasma on semen profiles, *J, Mamm, Ova Res*, 21, pp141-148, 2004.10
- 鈴木りか, 菅原 登, 鈴木博志, 柳田 薫, 高山智子, 片寄治男, 佐藤 章 : 腹腔鏡下に治療した腹腔妊娠の2症例, *日本産婦人科内視鏡学会雑誌*, 20, pp70-73, 2004.12
- Onozawa M, Kawai K, Yamamoto T, et al : Clinical parameters that predict histology of postchemotherapy retroperitoneal lymph node mass in testicular cancer, *Int J Urol*, 11, pp535-541, 2004.7
- 黒川真輔, 寺内文人, 小林 実, 森田辰男, 徳江章彦, 吉田こず恵, 山本千鶴, 佐久間裕司 : 骨髄移植後アデノウィルス11型尿路感染による両側尿管狭窄, *泌尿外*, 17, pp257-259, 2004
- 黒川真輔, 寺内文人, 貫井昭徳, 小林 実, 村石 修, 森田辰男, 徳江章彦 : Gemcitabine, paclitaxel併用化学療法が著効したM-VAC療法抵抗性の膀胱癌肺転移の1例, *講演集第17回関越UFT研究会*, pp14-16, 2004
- 松崎 敦, 小林 裕, 森田辰男, 徳江章彦 : 甲状腺非髄様癌を合併した副甲状腺腫瘍の1例, *西日泌尿*, Vol.66 No.4, pp257-259, 2004
- 松崎 敦, 森田辰男, 児玉智之, 徳江章彦 : 同時発見された両側同組織精巣腫瘍の1例, *西日泌尿*, Vol.66 No.7, pp503-506, 2004
- 松崎 敦, 森田辰男, 徳江章彦, 小林 裕 : 前立腺肥大症における形状記憶合金製尿道ステント(MEMOKATH)の臨床的検討—術後早期における経時的尿流量測定および国際前立腺症状スコアの検討—, *西日泌尿*, Vol.66 No.10, pp637-643, 2004
- 西澤秀治, 岡根谷利, 上垣内崇行, 古清水岳志, 松崎 敦, 徳江章彦 : 女兒単一尿管異所開口に対する腹腔鏡下腎摘除術, 4例の経験, *臨泌*, Vol.58 No.2, pp163-166, 2004
- 鈴木一実, 小林 実, 森田辰男, 徳江章彦 : 酢酸クロルマジノンにてホットフラッシュの改善をみた内分泌療法中の

- 前立腺癌の3例, 泌尿外, Vol.17 No.9, pp1041-1044, 2004
- 鈴木一実, 小林 実, 徳江章彦: 化学療法によりてんかん様発作を呈したが著効を示した進行性精索横紋筋肉種の1例, 日泌尿会誌, Vol.95 No.5, pp733-737, 2004
 - 山崎晶司, 越智雅典, 満 純孝, 大塚 潔, 徳江章彦: 腎癌の多発性肺転移症例における十全大補湯の効果, 漢方医学, Vol.28 No.3, pp115-119, 2004
 - Morita T, Tokué A: Vesicoureteral reflux after intravesical instillation of bacillus Calmette-Guerin against carcinoma in situ of the bladder, Urol, Int, Vol.73 No.3, pp287-288, 2004
 - Suzuki K, Morita T, Tokué A: Vascular endothelial growth factor-C(VEGF-C) expression predicts lymph node metastasis of transitional cell carcinoma of the bladder, Int, J, Urol, 12, pp152-158, 2005
 - Yokomori H., Yoshimura K., Nagai T., Fujimaki K., Nomura M., Hibi T., Ishii H., Oda M.: Rho modulates hepatic sinusoidal endothelial fenestrae via regulation of the actin cytoskeleton in rat endothelial cells. Lab. Invest., 84, pp857-864, 2004
 - Nagai T., Yokomori H., Yoshimura K., Fujimaki K., Nomura M., Hibi T., Oda M.: Actin filaments around endothelial fenestrae in rat hepatic sinusoidal endothelial cells, Med. Electron Microsc., 37, pp252-255, 2004
 - Yokomori H., Yoshimura K., Funakoshi S., Nagai T., Fujimaki K., Nomura M., Ishii H., Oda M.: Sinusoidal endothelial fenestrae organization regulated by myosin light chain kinase and Rho-kinase in cultured rat sinusoidal endothelial cells, Hepatology Research, 30, pp169-174, 2004
 - Yokomori H., Wakabayashi G., Yoshimura K., Nomura M., Kitajima M., Hibi T., Oda M.: High expressions of caveolins on the proliferating bile ductules in primary biliary cirrhosis. World J. Gastroenterol., 11(24), pp3710-3713, 2005
 - 北村直人, 東 俊文, 富田謙吾, 井口清香, 西村 健, 織田正也, 石井裕正: Dimethylnitrosamineによるラット肝線維化におけるDisse腔内desmin陽性細胞のactivin・TGF- β の発現, 肝サイトスケレトン研究会誌, 14, pp19-23, 2004
 - Okunaka T., Kato H, Furukawa K, et al: Photodynamic therapy for peripheral lung cancer, Lung Cancer, Vol.43, pp77-82, 2004
 - 柳原 泰: 手に関する痛み, ペインクリニック, Vol.25, pp1167-1174, 2004
 - 岩脇 淳, 能重和正, 森 東, 室井秀太, 駒橋 徹: 統合失調症外来患者の主観的QOL, 日本社会精神医学会雑誌, Vol.13, pp53-60, 2004.7
 - Sonoda M, Yonekura K, Yokoyama I., Nagai R, Aoyagi T: Common Carotid Intima-Media Thickness Is Correlated with Myocardial Flow Reserve in Patients with Coronary Artery Disease: A Useful Non-Invasive Indicator of Coronary Atherosclerosis. Int J Cardiol, Vol.93, pp131-136, 2004
 - Yokoyama I., Inoue Y, Moritan T, Ohtomo K, Nagai R: Impaired myocardial vasodilatation during hyperaemic stress is improved by simvastatin but not by pravastatin in patients with hypercholesterolaemia. Eur Heart J, Vol.25, pp671-679, 2004
 - Inoue Y, Kurimoto S, Kameyama S, Ohta N, Akahane M, Yoshikawa K, Yokoyama I., Minami M, Ohtomo K, Kitamura T: Prolonged renal parenchymal retention of ^{99m}Tc-MAG3 after nephron-sparing surgery. Nucl Med Commun, Vol.25, pp509-13, 2004
 - Morita H, Yokoyama I., Yamada N, Uno K, Nagai R: Usefulness of (18) FDG/ (13) N-ammonia PET imaging for evaluation of the cardiac damage in Churg-Strauss syndrome. Eur J Nucl Med Mol, Vol.31, p1218, 2004
 - Yokoyama I., Inoue Y, Moritan T, Ohtomo K, Nagai R: Measurement of skeletal muscle glucose utilization by dynamic 18F-FDG PET without arterial blood sampling. Nucl Med Commun, Vol.26, pp31-37, 2005
 - 楠山敏行, 藤本裕一, 佐藤麻美, 伊藤朋子, 磯貝 豊, 新美成二, 福田宏之: ホルモン音声障害に対する音声治療の経験—声帯粘膜波動に注目して—, 音声言語医学, Vol.46, pp16-20, 2005.1

総説

- ・ 下泉秀夫：障害児と児童虐待，小児科診療，68，pp227-233，2005.2
- ・ 松本和則：序文，医薬品副作用要覧，第3集，エルゼビア・ジャパン，2004
- ・ 加藤宏之：特集，脳の機能検査法マニュアル，Vol.10，光トポグラフィ，MB Medical Rehabilitation 40，pp81-86，2004
- ・ 加藤宏之：fMRI，加齢と機能再生，臨床画像，Vol.20，pp912-918，2004
- ・ 加藤宏之：Cheyne-Stokes呼吸，CLINICAL NEUROSCIENCE，Vol.22，pp980-981，2004
- ・ 加藤宏之：Near Infraredによる脳代謝測定，脳循環代謝，Vol.16，pp290-294，2004
- ・ 櫻井芳明，加藤宏之，清水宏明，遠藤 実：エリア座談会（宮城），脳梗塞の診断と治療－慢性期診療を中心として－，宮城版1-4，Nikkei Medical 2004年8月号
- ・ 古瀬 彰，川内基裕（編集／共著）：人工心肺安全マニュアル，人工心肺の基礎知識，じほう，pp3-25，2004
- ・ 川内基裕：心タンポナーデを疑わせる患者さんが来ました。，心嚢ドレナージはどのようにすればよいのですか。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp46-47，2004
- ・ 田中公啓，川内基裕：敗血症の患者さんが腹痛を訴え，CTで大動脈に臍状の小突出が認められました。（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp90-93，2004
- ・ 川内基裕：大動脈解離を疑わせる強い背部痛の患者さんですが，胸部X線写真では縦隔の拡大はありません。（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp94-95，2004
- ・ 瀬崎和典，川内基裕：PTCAとCABGはどのくらい細い血管に可能ですか。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp100-101，2004
- ・ 田中公啓，川内基裕：在宅酸素療法を受けている患者さんの腹部大動脈手術は可能ですか。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp148-149，2004
- ・ 川内基裕：輸血を拒否する患者さんの手術が必要になりました。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp238-240，2004
- ・ 川内基裕：医療事故と医療過誤はどちらがうのですか。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp241-243，2004
- ・ 川内基裕：患者さんが亡くなったときはいつでも届け出なくてはいけないのですか。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp250-252，2004
- ・ 田中公啓，川内基裕：手術予定の患者さんに甲状腺機能亢進症があります。，（古瀬 彰，川内基裕編集），外科研修なんでも質問箱100，南江堂，pp152-153，2004
- ・ 鈴木義之：ライゾゾーム病に対するケミカルシャペロン療法，小児科，Vol.45 No.13，pp2313-2320，2004
- ・ 鈴木義之：ファブリー病の診断（生化学的診断，遺伝子診断，鑑別診断），ファブリー病，基礎から臨床までの最近の知見，（衛藤義勝総監修），ブレーン出版，pp89-97，2004
- ・ 柳田 薫，片寄治男，佐藤 章：生殖補助医療マニュアル，生殖補助技術の成功率，産婦人科の世界，56春季増刊，pp23-29，2004.4
- ・ 柳田 薫：産婦人科医療における最近のトピック，難治性受精障害への対応，日本産科婦人科学会雑誌，56，N-485-N-488，2004.9
- ・ 柳田 薫，島田和彦，佐藤郁夫：未熟な精細胞による顕微授精，HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY，11，pp270-277，2004.9
- ・ 柳田 薫，佐藤 章：ICSIのコツ，J.Mamm.Ova Res，21，pp61-64，2004.04
- ・ 柳田 薫，種市明代，島田和彦：配偶子操作による不妊治療，Vita，21，pp28-32，2004.12

- ・ 柳田 薫：難治性受精障害，産婦人科治療，90，pp54-59，2005.1
- ・ 柳田 薫：生殖補助医療の限界，生殖補助医療の成績，医学の歩み，213，pp2785-2789，2005.4
- ・ Kaoru Yanagida：Complete Fertilization Failure，Human Cell，17，pp187-193，2005.3
- ・ 橋本律夫，田中康文：記憶障害の評価法，Clinical Rehabilitation別冊，Ver.2，pp168-174，2004.6
- ・ Oda M.：Series introduction，Hepatic sinusoidal cells in liver physiology and pathology，Special Review Series，Med，Electron Microsc，37(1)，pp1-2，2004.
- ・ 山沖和秀：甲状腺疾患への対処法 VI.合併症をもつ患者の管理 心臓病の外來診療，日本医師会生涯教育シリーズ，Vol.65，日本医師会雑誌特別号，Vol.132，No.8，pp S310-S312，2004.10.15
- ・ 山沖和秀 他：Heart Failure Today，Excerpta Medica Newsletter，編修 杉本恒明・矢崎義雄（心不全関連の文献紹介を中心としたNewsletter），エルゼビア・サイエンス株式会社，年3回発行，2004
- ・ 鷺崎一成，武田克彦：視床性失語症，神経内科，Vol.60，pp16-19，2004
- ・ 須藤英一：呼吸，嚥下リハビリテーション，治療学，Vol.38，pp25-35，2004
- ・ 須藤英一：慢性閉塞性肺疾患（COPD）は，今や生活習慣病の一つ，「食生活」，Vol.99，No.3，pp74-77，2005
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候群，ドクターサロン，Vol.48，pp833-837，2004
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候群の医療現場から，痛みと臨床，Vol.5，pp112-115，2005
- ・ 楠山敏行：Laryngomicrosurgery—最近の話題—Sexual Minority & Androphonia 第14回日本気管食道科学会認定医大会テキスト，pp123-126，2004
- ・ 楠山敏行：Sexual Minorityに対する音声外科的治療法，日本気管食道科学会「認定医通信」，Vol. 28，pp18-21，2004

研究報告

- ・ 渡辺浩史，岩崎博之，下重理江，渡辺織江，黒澤美枝子，一ノ宮悟史，柴田雅祥，松田潤一郎，飯田真己，久保孝利，小川誠一郎，鈴木義之：GM1-ガングリオシドリスモデルマウスに対するケミカルシャペロン療法の臨床的酵素学的効果，平成16年度厚生労働省精神，神経疾患研究委託，神経疾患の分子機構の解明と治療法開発に関する研究班会議，東京，2004.12.3
- ・ 岩崎博之，一ノ宮悟史，渡辺浩史，檜垣克美，難波栄二，飯田真己，久保孝利，小川誠一郎，鈴木義之： β -ガラクトシダーゼ欠損症に対する新しい分子治療の効果予測，平成16年度厚生労働科学研究特定疾患研究事業，ライソゾーム病の病態の解明および治療法の開発に関する研究班会議，東京，2004.12.9
- ・ 鈴木義之：神経遺伝病に対するケミカルシャペロン療法の開発，平成16年度厚生労働科学研究，こころの健康科学鈴木プロジェクト研究発表会，東京，2005.1.11
- ・ 鈴木義之：神経遺伝病に対するケミカルシャペロン療法の開発，平成16年度厚生労働科学研究，こころの健康科学（神経分野）研究成果発表会（研究者向け），東京，2005.2.9
- ・ 福田宏之：音声障害の診断—プライマリケア医のできるこ—，治療，Vol.86，pp143-147，2004
- ・ 斉藤康一郎，福田宏之 他：片側反回神経麻痺症例の臨床的観察，日気食会報，Vol.55，pp1-8，2004
- ・ 磯貝 豊，福田宏之 他：音声外科的治療プログラム 最適な治療選択から医療事故防止まで手術手技をめぐって—声帯ポリープのlaryngomicrosurgeryを中心に—，音声言語医学，Vol.45，pp153-161，2004
- ・ 斉藤康一郎，福田宏之 他：瘢痕性喉頭気管狭窄症例の検討—とくに上方充填型Tチューブの有用性について—，日気食会報，Vol.55，pp229-234，2004
- ・ 福田宏之：放射線治療後再発喉頭癌の治療指針—外來経過観察のチェックポイント—，耳喉頭頸，Vol.76，pp537-542，2004
- ・ 田村悦代，福田宏之 他：声帯に注入された自家脂肪に対する塩基性繊維芽細胞増殖因子の影響，音声言語医学，

Vol.45, pp206-210, 2004

- ・ 福田宏之：喉頭の非腫瘍性腫瘍, JOHNS, Vol. 20, pp1382-1386, 2004
- ・ 福田宏之：喉頭内視鏡手術－喉頭顕微鏡下手術を中心として－, Monthly Book ENTONI, No.42, 全日本病院出版会, 2004.10
- ・ 福田宏之：耳鼻咽喉科医療の最前線－喉頭領域, 日本耳鼻咽喉科学会, 第18回専門医講習会テキスト, pp187-194, 2004.11
- ・ 田村悦代, 福田宏之 他：声帯内脂肪注入術における塩基性線維芽細胞増殖因子を用いた脂肪再生の試み, 日気食会報, Vol.55, pp433-438, 2004
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他：ホルモン音声障害に対する音声治療の経験－声帯粘膜波動に注目して－, 音声言語医学, Vol.20, pp46-16, 2005
- ・ Han J.-Y., Akiba Y., Miura S., Horie Y., Suzuki H., Kato S., Nagata H., Oda M., Ishii H., Hibi T. : Cardiogenic pills improve the aggravation of the mesenteric microcirculatory disturbances following reperfusion in chronically ethanol fed rats. In: Microcirculation annual 2004, Vol.20, Edited by M. Asano and T. Yamamoto, Nihon-Igakukan, Tokyo, pp23-24, 2004

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 下泉秀夫：障害児と児童虐待, シンポジウム「児童虐待－愛着障害が心に与える影響」, 第37回日本カウンセリング学会, 東京, 2004.8.19
- ・ 下泉秀夫：子ども虐待の理解と対応～保育所での実態調査をふまえて～, シンポジウム「子ども虐待の理解と対応」, 第61回東京都小児保健協会学術講演会, 東京, 2004.10.2
- ・ 下泉秀夫：医師へ児童虐待問題を教育する, シンポジウム「子ども虐待に係わる人をどのように育てるか」, 第10回日本子どもの虐待防止研究会, 福岡, 2004.12.11
- ・ 谷 禮夫：GERDに関する最近の話題, 臨床GERD懇話会, 宇都宮ホテルフェアシティ, 2005.1.26
- ・ 内田克紀：前立腺と前立腺がん検診, 栃木県北保健師研修会講演, 栃木県, 2004.11.15
- ・ 内田克紀：PSAとPSAを用いた前立腺がん検診, 那須郡市医師会西那須野支部学術講演会, 栃木県, 2005.2.17
- ・ 内田克紀：前立腺癌治療の臨床, 武田薬品研究所研究講演会, 茨城県, 2005.2.26
- ・ Koizumi H, Yamamoto Y, Kawaguchi H, Watanabe E, Kato H : Functional reorganization in damaged aged brains (II), Lifelong Learning Network Meeting, RIKEN Brain Science Institute and OECD-CERI, Tokyo, Japan, 2004.1.13-14
- ・ 加藤宏之：脳機能再生, 脳機能画像診断に関するトピックス, 栃木県作業療法士会研修会, 宇都宮, 2004.10.23
- ・ 加藤宏之：fMRI/NIRSによる脳卒中後の運動障害の回復過程評価, 第2回損傷脳研究会, 東京都, 2004.12.5
- ・ 加藤宏之：脳機能再生におけるリハビリテーションへの展望, 第8回栃木県理学療法士学会, 鹿沼市, 2005.3.13
- ・ Suzuki Y : Neurogenetic disease update, Plenary Lecture, Second International Congress of Egyptian Society of Child Neuro-psychiatry and 4th Pan Arab Child Neurology Conference, Cairo, 2004.3.31-4.1
- ・ Suzuki Y : Chemical chaperone therapy for lysosomal storage diseases, 19th United Leukodystrophy Foundation Scientific Symposium, DeKalb, 2004.7.14-15
- ・ Suzuki Y : Chemical chaperone therapy for brain pathology in GM1-gangliosidosis, Lecture at Northwestern University, Chicago, 2004.7.19
- ・ Suzuki Y : Recent advances in neurometabolic disorders, 8th Asian & Oceanian Congress of Child Neurology, Delhi, 2004.10.7-10
- ・ Suzuki Y : Chemical chaperone therapy for brain pathology in lysosomal storage diseases, International Conference : Current problems in Child Neurology, Moscow, 2004.11.7-9

- ・ 橋本雅章：脳を若々しく保つためにパートⅡ，西那須野町女性団体連絡協議会，那須塩原市，2004.4.19
- ・ 橋本雅章：脳血管障害と頭痛について，アストラゼネカ職員講習会，宇都宮市，2004.5.20
- ・ 橋本雅章：脳腫瘍の最先端治療について，武田薬品講演会，宇都宮市，2004.5.31
- ・ 橋本雅章：頭痛患者の受療行動の問題点ーパネルディスカッション，栃木県頭痛診療推進会，宇都宮市，2004.12.9
- ・ 村山史雄：気管支鏡手技の基本，日本呼吸器内視鏡学会，第11回気管支鏡講習会，東京，2004.7.3
- ・ 村山史雄：周術期呼吸リハビリテーションー胸部手術を中心にー，第2回那須呼吸リハビリテーション研究会，2005.2.26
- ・ 柳田 薫：難治性受精障害，生涯研修プログラム，第56回日本産科婦人科学会，東京，2005.4.10
- ・ 柳田 薫：特別講演，女性のリプロダクティブヘルスからの話題，ダイエット，第28回栃木県母性衛生学会，栃木県小児保健会合同研修会，とちぎ思春期研究研修会，宇都宮，2004.10.2
- ・ 柳田 薫：特別講演，不妊治療とART，第187回日本産科婦人科学会熊本地方部会学術講演会，熊本，2004.10.23
- ・ 柳田 薫：特別講演，不妊治療のEBMと障壁，第14回武庫川産婦人科セミナー，神戸，2005.1.22
- ・ Yanagida K：Total Quality Management in the IVF Program，Serono Symposia International，Chairman，Tokyo，2004.6.12
- ・ 柳田 薫：シンポジウム発表，卵細胞質内精子注入法での受精障害，ヒト細胞学会，東京，2004
- ・ 柳田 薫：シンポジウム発表，ICSI による受精と受精卵の初期発生における問題点，第19回日本生殖免疫学会，箱根，2004.10.11
- ・ 柳田 薫：特別講演，EGG ACTIVATION，第9回茨城ART臨床懇話会，水戸，2004.12.5
- ・ 柳田 薫：特別講演，ICSI の実際と最近の進歩，第1回東海ART研究会，名古屋，2005.2.19
- ・ 大橋一之，内藤浩美，石下透江：看護技術ー口腔ケアー，平成16年度栃木県看護協会研修会，宇都宮コンセーレ，宇都宮，2004.9.22
- ・ 大橋一之：障害児・者の口腔環境について，第2回とちぎ歯の健康センター研修会，とちぎ歯の健康センター，宇都宮，2005.2.20
- ・ 大橋一之：口腔ケアについて，栃木県看護協会安足支部第4回研修会，安足健康福祉センター，足利，2005.3.3
- ・ 橋本律夫：痴呆症の早期診断について，西那須野医師会講演会，西那須野，2004.7.15
- ・ 橋本律夫：高次脳機能障害患者のeZISを用いた評価ー頭部外傷患者を中心にー，第3回脳SPECT解析講演会，東京日本橋，2005.3.5
- ・ 緑川由紀夫：両下肢RSDより線維筋痛症に移行した一症例，厚生労働科学研究費補助金，免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業，線維筋痛症の病因・病態解明に関する分科会，公開シンポジウム，都市センター，東京，2005.3.8
- ・ 福田宏之：のどって何，第17回日喉連東日本ブロック発声指導者養成研修会，千葉，2004.10.4
- ・ 福田宏之：シンポジウム，耳鼻咽喉科医療の最前線ー喉頭領域，日本耳鼻咽喉科学会第18回専門医講習会，岡山，2004.11.21
- ・ 福田宏之：ラリンゴマイクロサージャリーー私の歩みー，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ E.Tamura, H.Fukuda：Autogenous fat injection for sulcus vocalis，4th East Asian Congerence on Phonosurgery，2004.12.4
- ・ Oda M., Yokomori H., Yoshimura K.：Involvement of Rho in dynamic modulation of hepatic sinusoidal endothelial fenestrae via actomyosin system. Symposium Session II，Liver Endothelium in Health and Disease (Cont)，The 12th International Symposium on the Cells of the Hepatic Sinusoid-Their pathogenic implication and therapeutical targets in liver disease，Bilbau，Spain，September 5-9，2004
- ・ Han J.-Y., Horie Y., Li D., Nagata H., Miura S., Oda M., Ishii H., Hibi T.：Dihydroxyphenyl lactic acid improves ischemia-reperfusion-induced microcirculatory disturbances in rat mesentery，ACM Symposium I “Free Radicals and Inflammation in Microcirculation”，The 6th Asian Congress for Microcirculation (ACM'05)，Tokyo，Japan，February 24-26，

2005

- ・ 織田正也：胃・十二指腸潰瘍の臨床(1)，潰瘍病態研究会第13回フォーラム 特別発言，東京，2004.8.28
- ・ 百村伸一，山沖和秀（座長）：Beyond blood pressure-lowering effectsは本物か？，ミカルデイス発売2周年記念講演会－各領域より降圧治療を考える－，東京，2005.2.9
- ・ Okunaka T：Clinical application of PDT，14th International Congress on Photobiology，Jeju，Korea，2004
- ・ Okunaka T：PDT in 2004，10th Congress Asian-Pacific Association for Laser Medicine and Surgery，Shanghai，China，2004
- ・ 奥仲哲弥：レーザー光線感剤による最近の肺癌治療，キャンサーToday，ラジオ日経，2004.8.8
- ・ 戸部正博，水谷一裕，甲斐秀顕，津布久義人，柳原 泰：パネル，新しい手関節traction splintの試み，第47回日本手の外科学会，大阪，2004.4
- ・ 戸部正博，水谷一裕，若江幸三良，甲斐秀顕，柳原 泰：橈骨遠位骨折に対する手術療法－内固定か創外固定か－，第30回骨折治療学会，東京，2004.7
- ・ 須藤英一：誤嚥性肺炎と患者さまの生き方・生き甲斐，第8回三浦半島在宅呼吸ケア懇話会，横須賀，2004.10.9
- ・ 須藤英一：高齢者に特徴的な肺疾患～誤嚥性肺炎を中心に，山王病院院内研修会，東京，2004.11.29
- ・ 須藤英一：肺の病気総論～冬へ向けてかぜをひかないために，伊豆高原ゆうゆうの里有料老人ホーム，静岡，2004.12.5
- ・ 須藤英一：肺の病気総論～冬へ向けてかぜをひかないために，山王病院呼吸教室，東京，2004.12.8
- ・ 松原 哲：臨床心電図入門，東京都臨床衛生検査技師会学術部生理検査研究会，東京，2004.6.1
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候群について，東京都医師会整形外科分科会研究会，京王プラザ，東京，2004.5.18
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候群とめまい，慶応大学医学部耳鼻科平衡班研究会，耳鼻科セミナー室，東京，2004.9.9
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候の診断と治療，東京都江戸川区整形外科医会講演会，江戸川区医師会館，東京，2004.10.22
- ・ 美馬達夫：低髄液圧症候群とめまい，第13回慶応耳鼻科研究会，崎陽軒本店，横浜，2004.12.14
- ・ 横山郁夫：特別講演，第七回宮城心臓核医学研究会，心臓PETこの15年のwhy（なぜ），みかぼカンファレンス特別講演，循環器疾患における多面的効果と多様性について－クリニカルPETからのメッセージ，宮城県仙台市
- ・ 倉島一浩：内科医にもわかるめまいの診断と治療，横浜市港北内科学会，神奈川県横浜市港北区，2004.11.10
- ・ 倉島一浩：花粉症大飛散シーズンに備えて－耳鼻咽喉科の診療ポイントと漢方－，カネボウ薬品株式会社医薬東日本支社社内講演会，東京都中央区，2004.12.17
- ・ 楠山敏行：特別講演，東京ボイスセンターにおける音声障害の診断と治療，日本耳鼻咽喉科学会和歌山県地方部会学術講演会，和歌山，2004.7.4
- ・ 楠山敏行，伊藤朋子，福田宏之：動画でみる喉頭疾患，湘北耳鼻科医会学術講演会，神奈川，2004.6.19
- ・ 楠山敏行：音声障害の診断と治療，長崎ENT update，長崎，2004.12.4
- ・ 楠山敏行，藤本裕一，佐藤麻美，伊藤朋子，磯貝 豊，新美成二，福田宏之：東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察，第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.12

学会発表

- ・ 岩崎博之，渡辺浩史，梅津絵里子，齋藤紘子，下泉秀夫：なす療育園におけるVideo Fluorography等による摂食嚥下機能評価，第30回日本重症心身障害学会，旭川，2004.9.9-10
- ・ H Shimoizumi，M Nishio，S Niimi：An assessment of dysphagia using videofluorography in severe motor and intellectual disabilities，アジア・オセアニア小児神経学会，デリー，インド，2004.10.9
- ・ 下泉秀夫，桃井真里子：生活の場としての児童養護施設の現状，第10回日本子どもの虐待防止研究会，福岡，2004.12.11

- ・ 岩崎博之：噴門形成術と胃瘻造設とにより全身状態が改善した2例，第103回日本小児科学会栃木県地方会，自治医大，2004.10.24
- ・ 岩崎博之：高リン血症，活性型ビタミンD高値があり，異所性石灰化をきたした一例，第104回日本小児科学会栃木県地方会，獨協医大，2005.3.6
- ・ 石下透江，内藤浩美，永本彩子，大橋一之：経管栄養者における歯周疾患のリスクに関する検討，第11回摂食嚥下リハビリテーション学会，新潟，2004.9.10
- ・ 遠藤重典，畦上恭彦：言語聴覚センターに来所した発達障害乳幼児・児童の検討，第5回日本言語聴覚学会，横浜，2004.6.12
- ・ 小野澤瑞樹，友部光朗，内田克紀：国際医療福祉病院で施行した前立腺生検の臨床的統計，第49回日本泌尿器科学会栃木地方会，栃木県，2004.11.20
- ・ 小野澤瑞樹，友部光朗，内田克紀：国際医療福祉病院で施行した前立腺生検の臨床的統計，第63回日本泌尿器科学会茨城地方会，パネルディスカッション，茨城県，2005.3.26
- ・ 渡辺 悠，神原史織，水野くみ子，加藤宏之，荒木 勉：実験的パーキンソン病様モデルマウスにおけるグリア細胞の役割，第12回カテコールアミンと神経疾患研究会，東京都，2004.4.17
- ・ 加藤宏之，黒崎瑠美子，荒木 勉：グリア機能調整薬ONO-2506によるパーキンソン病の神経細胞保護と神経症状改善，第45回日本神経学会総会，東京都，2004.5.13
- ・ Kawauchi M，Furuse A，Matsuda H，Yada I，Tabayashi K：An update on cardiopulmonary bypass safety: Japanese survey，12th Annual meeting of the Asian Society for Cardiovascular Surgery，イスタンブール，2004.4.19
- ・ 川内基裕，室田欽宏，古瀬 彰：成人シミター症候群の経験，第58回日本交通医学会，札幌，2004.6.13
- ・ 室田欽宏，川内基裕，山口哲生，天野裕子，山田嘉仁，星 作男，河野千代子，丹野正隆：当科で経験した肺動静脈ろう手術例の検討，第58回日本交通医学会，札幌，2004.6.13
- ・ Kawauchi M，Furuse A：How to evaluate functional and emotional states of cardiac surgical patients，World Society of Cardio-Toracic Surgeons，Japan Chapter XXVII，Annual Meeting，Yokohama，2004
- ・ 川内基裕，古瀬 彰：エホバの証人派信者ならびにその家族の心臓血管外科手術，第35回日本心臓血管外科学会総会，浜松，2005.2.25
- ・ 松田潤一郎，鈴木 治，大島章弘，山本美江，野口 章，滝本一広，伊藤雅之，難波栄二，檜垣克美，鈴木義之：GM1ガングリオシドーシス幼児型モデルマウスの中枢神経病変に対する新規治療法開発，第51回日本実験動物学会総会，長崎，2004.5.20-22
- ・ 渡辺浩史，岩崎博之，下重里江，渡辺織江，黒澤美枝子，柴田雅祥，松田潤一郎，飯田真己，久保孝利，小川誠一郎，鈴木義之：GM1-ガングリオシドーシスモデルマウスに対するケミカルシャペロン療法の臨床的酵素学的効果，第47回日本先天代謝異常学会総会，宇都宮，2004.11.11-13
- ・ 高村歩美，檜垣克美，山本浩一，富永里香，難波栄二，松田潤一郎，鈴木義之：GM1ガングリオシドーシス神経変性分子メカニズムの解明とケミカルシャペロン法の研究，第47回日本先天代謝異常学会総会，宇都宮，2004.11.11-13
- ・ 檜垣克美，山本浩一，富永里香，難波栄二，鈴木義之：ヒトGM1ガングリオシドーシス変異とケミカルシャペロン法の検討，第47回日本先天代謝異常学会総会，宇都宮，2004.11.11-13
- ・ 山本浩一，檜垣克美，高村歩美，飯田真己，難波栄二，鈴木義之：ヒト変異β-ガラクトシダーゼ遺伝子を発現するマウス細胞株の樹立と解析，第47回日本ライソゾーム病研究会，東京，2004.12.9-10
- ・ 関根義夫：日本精神病理学会第27回大会，第1日目一般演題C-5,6,7司会，長野佐久市勤労者福祉センター，2004.10.7-8
- ・ 遠藤俊輔，大谷真一，齊藤紀子，遠藤哲哉，手塚康裕，金井義彦，手塚憲志，長谷川剛，佐藤幸夫，塚田 博，村山史雄，蘇原泰則：慢性膿胸に対する治療戦略，姑息的か根治的か，第21回日本呼吸器外科学会総会，横浜，2004.5.28

- ・ 遠藤俊輔, 齊藤紀子, 大谷真一, 手塚憲志, 手塚康裕, 遠藤哲哉, 長谷川剛, 佐藤幸夫, 塚田博, 村山史雄, 蘇原泰則: 再発軟部悪性腫瘍に対する胸骨柄を含む広範囲両側胸鎖関節切除術, 第104回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2004.4.7
- ・ 遠藤俊輔, 手塚憲志, 大谷真一, 長谷川剛, 佐藤幸夫, 遠藤哲哉, 手塚康裕, 齊藤紀子, 塚田博, 村山史雄, 蘇原泰則: Inhibition of IL-6 overproduction with preoperative steroid treatment for thymectomy in myasthenia gravis, 第57回日本胸部外科学会定期学術集会, 札幌, 2004.10.20
- ・ 大谷真一, 遠藤俊輔, 佐藤幸夫, 長谷川剛, 手塚憲志, 齊藤紀子, 村山史雄, 塚田博, 手塚康裕, 金井義彦, 蘇原泰則: 月経随伴性気胸の5例, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.27
- ・ 手塚憲志, 手塚康裕, 大谷真一, 齊藤紀子, 長谷川剛, 佐藤幸夫, 金井義彦, 塚田博, 村山史雄, 遠藤俊輔, 蘇原泰則: 軟X線画像解析装置を用いた肺内微小血管の動的解析, 第57回日本胸部外科学会定期学術集会, 札幌, 2004.10.22
- ・ 手塚康裕, 村山史雄, 蘇原泰則: 縦隔リンパ管腫の一例, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.27
- ・ 片寄治男, 高山智子, 両角和人, 林章太郎, 呉竹昭治, 小宮ひろみ, 佐藤章, 柳田 薫: Sperm chromatin structure assay(SCSA)の標準化の試み, 日本不妊学会
- ・ 高山智子, 片寄治男, 両角和人, 林章太郎, 呉竹昭治, 小宮ひろみ, 佐藤章, 柳田 薫: 体外胚盤胞形成に及ぼす精子核クロマチン構造の影響, Sperm chromatin structure assay(SCSA)を用いた検討, 日本不妊学会
- ・ 高橋秀憲, 大川敏昭, 安部 宏, 橋本 敏, 藤森敬也, 柳田 薫, 佐藤章: 胎盤におけるiNOS早産因子の遺伝的影響, Lipopolysaccharide(LPS)処理によるNOとPGE2の産生動態, 日本産科婦人科学会
- ・ 両角和人, 柳田 薫, 片寄治男, 呉竹昭治, 林章太郎, 小宮ひろみ, 高山智子, 佐藤章: 加熱処理精子に由来するマウス受精卵の染色体分析, 日本産科婦人科学会
- ・ 高山智子, 柳田 薫, 片寄治男, 呉竹昭治, 林章太郎, 小宮ひろみ, 両角和人, 佐藤章: ICSIに併用したストロンチウム処理卵活性化法がマウス配偶子染色体に及ぼす影響に関する検討, 日本産科婦人科学会
- ・ 呉竹昭治, 柳田 薫, 片寄治男, 佐藤章: ゴルジ結合蛋白であるGOPC proteinノックアウトマウスの精子を用いた受精, 胚発生能の検討, 日本産科婦人科学会
- ・ 林章太郎, 両角和人, 呉竹昭治, 小宮ひろみ, 片寄治男, 柳田 薫, 佐藤章, 柳町隆造: HechtNorman B, ICSI後とROSI(Round spermatid injection)後のマウス着床前胚におけるmRNA発現パターンの相違, 日本産科婦人科学会
- ・ 西田 浩, 中尾真理子, 添田 周, 渡辺尚文, 山田秀和, 柳田 薫, 佐藤章: 腹膜播種能を有する卵巣癌細胞株におけるHeregulin発現の検討, 日本産科婦人科学会
- ・ 渡辺尚文, 中尾真理子, 添田 周, 西山 浩, 山田秀和, 柳田 薫, 佐藤章: 卵巣癌腹膜播種形成における組織学的検討, 卵巣癌細胞と腹膜中皮の接着を中心に, 日本産科婦人科学会
- ・ 大川敏昭, 橋本 敏, 野村泰久, 加藤克彦, 三瓶 稔, 藤森敬也, 柳田 薫, 佐藤章: 羊胎仔におけるEndothelin-1とNitric Oxideの役割, 日本産科婦人科学会
- ・ 橋本 敏, 大川敏昭, 安部 宏, 高橋秀憲, 柳田 薫, 佐藤章: 低栄養妊娠ラット新生仔の高血圧発症における性差の影響, 日本産科婦人科学会
- ・ 添田 周, 中尾真理子, 渡辺尚文, 西山 浩, 山田秀和, 柳田 薫, 佐藤章: 子宮筋腫が原因と思われる深部静脈血栓症に併発した肺塞栓症の2症例の検討, 日本産科婦人科学会
- ・ 島田和彦, 柳田 薫, 山田哲夫, 種市明代, 齊藤 裕, 佐藤郁夫: 腹腔鏡下に性腺を摘出した精巣性女性化症候群の1例, 第61回日産婦科木地方部会, 壬生町, 2005.2.20
- ・ 石下透江, 永元彩子, 内藤浩美, 大橋一之: 重症心身障害児施設入所者における歯肉炎の改善に関する検討一週1回のプロフェッショナルケアの有用性について-, 第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 新潟, 2004.9.10-11
- ・ 内藤浩美, 大橋一之, 小尾友梨, 石下透江, 永元彩子, 大多和薫, 草間幹夫: 長期経管栄養者における口腔環境に関

- する検討—第2報 安静時唾液分泌量について—, 第21回日本障害者歯科学会, 大阪, 2004.11.13-14
- ・ 橋本律夫, 鎌倉矩子, 岩井昌子: 動く風船を叩くことができたBalint症候群の一例, 第28回日本神経心理学会総会, 広島, 2004.9.14-15
 - ・ 横山妙子, 鈴木智子, 藤田郁代, 森田秋子, 橋本律夫: 左側頭葉下部病変による漢字の失読と呼称障害の関連, 第28回日本高次脳機能障害学会総会, 舞浜, 2004.11.25-26
 - ・ 緑川由紀夫: 両下肢RSDの浮腫治療に腰部交感神経節ブロックのみが有効だった一症例, 第11回栃木県ペインクリニック研究会, 獨協医科大学, 栃木, 2004.11.28
 - ・ 緑川由紀夫 (座長): 第18回栃木県緩和医療研究会, 栃木, 2004.9.18
 - ・ 黒川真輔, 寺内文人, 鈴木一実, 安土正裕, 越智雅典, 満 純孝, 村石 修, 森田辰男, 徳江章彦: MVAC療法抵抗性進行尿路上皮癌に対するGemcitabine, Paclitaxel併用化学療法, 第92回日本泌尿器科学会総会, 大阪, 2004.4.12
 - ・ 小林 実, 徳江章彦: 下部尿路症状に対する α 1-blocker投与中止後の下部尿路症状の変化について, 第92回日本泌尿器科学会総会, 大阪, 2004.4.11
 - ・ 鈴木一実, 森田辰男, 徳江章彦: 内分泌療法中前立腺癌患者の血清CGRP(calcitonin gene-related peptide)値の検討, 第69回日本泌尿器科学会東部総会, 東京, 2004.9.24
 - ・ 山崎晶司, 徳江章彦, 本間精一, 森田辰男: 十全大補湯により腎癌の肺転移巣縮小効果が認められた一例, 日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会第12回学術集会, 宇都宮市, 2004.9.5
 - ・ 井上正人 (大会長): 第27回生殖外科学会, 東京, 2004.8.4
 - ・ 牧野克巳, 福田宏之 他: 声の健診, 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 広島, 2004.5.13
 - ・ 塩谷彰浩, 福田宏之 他: 新しい注入物質 (リン酸カルシウム骨ペースト) を用いた声帯内注入術, 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 広島, 2004.5.13
 - ・ 池田麻子, 福田宏之 他: 新しい声帯内注入物質 (リン酸カルシウム骨ペースト) の基礎的研究, 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 広島, 2004.5.13
 - ・ 田村悦代, 福田宏之 他: ビデオ演題, 難治性声門閉鎖不全疾患に対する声帯内脂肪注入術, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 藤本裕一, 福田宏之 他: ビデオ演題, 喉頭結核の3症例 とくに局所の変化, 嗄声の改善度に注目して, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 磯貝 豊, 福田宏之 他: ビデオ演題, 挿管性内筋麻痺と診断せざるをえない1症例, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 楠山敏行, 福田宏之 他: ミニシンポジウム, 東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 佐藤麻美, 福田宏之 他: ミニシンポジウム, Gender Identity Disorderの音声に対する基本的統計と音声治療の効果について, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 塩谷彰浩, 福田宏之 他: ミニシンポジウム, リン酸カルシウム骨ペースト (BIOPEX) を用いた声帯内注入術, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 福田宏之 (司会・座長): 第78群 ビデオ 音声・喉頭1, 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 広島, 2004.5.13
 - ・ 福田宏之 (司会・座長): 教育講演 Tumor dormancy therapy による化学療法 甲能直幸 (杏林大学), 第2回アジア頭頸部外科研究会, 東京, 2004.7.3
 - ・ 福田宏之 (司会・座長): ミニシンポ, 発声障害と音声治療, 第49回日本音声言語医学会, 熊本, 2004.11.11-12
 - ・ 福田宏之 (司会・座長): 第3群喉頭臨床, 第56回日本気管食道科学会, 東京, 2004.11.25-26
 - ・ 伊藤朋子, 福田宏之 他: 声帯溝症に対する音声治療について (ポスター), 第49回日本音声言語医学会, 熊本,

2004.11.11-12

- ・ 森 有子, 福田宏之 他：反回神経麻痺に対する新しい薬物療法の開発（ポスター），第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.11-12
- ・ 池田麻子, 福田宏之 他：新たな声帯内注入物質リン酸カルシウム骨ペーストの有用性（ポスター），第49回日本音声言語医学会，熊本，2004.11.11-12
- ・ 田村悦代, 福田宏之 他：声帯内自家脂肪注入術における脂肪再生の試み，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 藤本裕一, 福田宏之 他：喉頭結核の3症例，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之 他：フードと持続送気を併用した下咽頭ファイバースコープの工夫1ー持続送気用ポンプとしての鑑賞魚用エアポンプの利用ー，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之 他：フードと持続送気を併用した下咽頭ファイバースコープの工夫2ー頸部を反対側へ捻転すると食道入口部への挿入が容易になるー，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 富藤雅之, 福田宏之 他：下咽頭神経内分泌癌の1例，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他：アダムのリングの切除後に嗄声をきたした性同一性障害の3例，第56回日本気管食道科学会，東京，2004.11.25-26
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他：声帯嚢胞症例の検討ーvocal abuseとの関連を中心にー，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 田村悦代, 福田宏之 他：声帯内自家脂肪注入術における脂肪再生の試み，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之 他：ビデオ電子スコープ下喉頭手術の検討（第2報）ー引き抜き法（pulling out法）ー，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之 他：ビデオ電子スコープ下喉頭手術のための鉗子の検討，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 中川秀樹, 福田宏之 他：水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化が原因と考えられた混合性喉頭麻痺の2症例，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 森 有子, 福田宏之 他：反回神経麻痺に対する新しい薬物療法の開発，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ Luciana Miwa Nita, 福田宏之 他：最長発声持続時間測定の評価に対する一考察，第17回日本喉頭科学会総会，名古屋，2005.3.18-19
- ・ 奥田 誠（座長）：一般ポスター，内分泌癌・悪性リンパ腫，pp1-13, pp1-20，第59回日本大腸肛門病学会総会，久留米，2004.11.5
- ・ Oda M.(President)：The 6th Asian Congress for Microcirculation (ACM'05), Tokyo, Japan, February 24-26, 2005
- ・ 織田正也（会長）：第30回日本微小循環学会総会 学術講演会，The 30th Annual Meeting of Japanese Society for Microcirculation (JMS'05), 東京，2005.2.23-24
- ・ 織田正也（世話人）：第15回サイトスケレトン研究会，京都，2004.7.17
- ・ 織田正也（代表世話人）：第23回消化器病態生理勉強会，東京，2004.7.31
- ・ 織田正也（世話人）：第18回肝類洞壁細胞研究会学術集会，大阪，2004.11-27-28
- ・ Oda, M. (Chair)：AUM Award Lecture. Robert S. McCuskey. (Speaker) “Sinusoidal endothelial cells as an early target for hepatic toxicants. “The 6th Asian Congress for Microcirculation (ACM'05), Tokyo, Japan, February 24-26, 2005
- ・ Oda M. (Chairman)：Symposium Session I , Liver Endothelium in Health and Disease, The 12th International Symposium on

- the Cells of the Hepatic Sinusoid-Their pathogenic implication and therapeutical targets in liver disease, Bilbao, Spain, September 5-9, 2004
- Oda M. (Chair) : JSM State of the Art Lecture II, Mark G. Clemens (Speaker) “Altered caveolae-associated signaling in liver sinusoidal endothelial cells following inflammation” The 30th Annual Meeting of Japanese Society for Microcirculation (JSM’05), Tokyo, Japan, February 23-24, 2005
 - 織田正也 (座長) : 血流動態とその調節因子 II, 第29回日本微小循環学会総会 学術集会, 熊本, 2004.2.19-20
 - 織田正也 (座長) : 研究発表1, 第15回肝サイトスケレトン研究会, 京都, 2004.7.17
 - 織田正也 (座長) : ポスターツアー I 消化器 (肝臓), 第36回日本臨床電子顕微鏡学会総会 学術集会, 熊本, 2004-11.5-6
 - 織田正也 (座長) : 口演発表セッションVIII 内皮細胞-肝障害, 第18回肝類洞壁細胞研究会 学術集会, 大阪, 2004.11.27-28
 - Yokomori H., Oda M., Ishii H. : Immuno-electronic expressions of intercellular adhesion molecules and lymphocyte function-associated antigens on canals of Hering and bile ductules in primary biliary cirrhosis, AGA Poster Session I : Clinical Biliary Tract Disorders 105th Digestive Disease Week (DDW), New Orleans, U.S.A., May 15-20, 2004
 - Han J.-Y., Oda M., Suzuki H., Akiba Y., Nagata H., Miura S., Ishii H., Hibi T. : Cardiotonic Pill® improves ischemia-reperfusion-induced microcirculatory disturbances in rat mesentery, Oral Communications-Angiogenesis, Pharmacology, Gene Therapy and Hypertension (OAP), 23rd Conference of the European Society for Microcirculation, Lisbon, Portugal, September 8-11, 2004
 - Yokomori H., Hibi T., Oda M. : Expression of adhesion molecules on mature cholangiocytes in canals of Hering and bile ductules in wedge biopsy samples of primary biliary cirrhosis, Poster Session2 : PBC/PSC, 55th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD), Boston, U.S.A., October 29-November 2, 2004
 - 横森弘昭, 織田正也, 石井裕正 : 肝類洞内皮細胞の小孔に対する低分子量GTP結合蛋白質のRhoの関与, 第40回日本肝臓学会総会学術集会, ポスターセッション59「肝循環」, 浦安, 2004.6.3-4
 - 荻真理子, 横森弘昭, 織田正也 : 肝類洞内皮細胞の小孔周囲のアクチンフィラメントにおける低分子量GTP結合蛋白質Rhoの関与, 第36回日本臨床電子顕微鏡学会総会学術集会, ポスターツアー I 消化器(肝臓), 熊本, 2004.11.5-6
 - 横森弘昭, 織田正也, 日比紀文 : 肝類洞内皮細胞のアクチン細胞骨格に対する低分子量GTP結合蛋白質のRho, myosin-light chain kinase-calcium calmodulinの関与, 第18回肝類洞壁細胞研究会学術集会, 一般演題 セッションVI「星細胞, その他」, 口演発表, 大阪, 2004.11.27-28
 - Han J.-Y., Horie Y., Li D., Akiba Y., Nagata H., Miura S., Oda M., Ishii H., Hibi T. : Myakuryu improves ischemia-reperfusion-induced microcirculatory disturbances in rat mesentery. JSM Session III “Microvascular Permeability”, The 30th Annual Meeting of Japanese Society for Microcirculation(JSM’05), Tokyo, Japan, February 23-24, 2005
 - 奥仲哲弥 (座長) : その他の腫瘍, 第27回日本呼吸器内視鏡学会, 大阪, 2004.6.2-3
 - 奥仲哲弥 (座長) : 呼吸器外科, 第56回日本気管食道科学会, 東京, 2004.11.25-26
 - 奥仲哲弥 (座長) : PDTの基礎, 第25回日本レーザー医学会, 東京, 2004.11.11-12
 - Michiyo Chiba, Akiko Saito, Yoko Yoshioka, Ikuko Haruta, Katsutoshi Tokushige, Hikaru Nagahara, Hiroshi Okuda, Keiko Shiratori : Analysis of hepatocellular carcinoma (HCC) with malignant lymphoma (ML) or multiple myeloma (MM) in relation to HCV infection, AASLD 55th, annual meeting, Boston, 2004.10
 - Hikaru Nagahara, Tomomi Kogiso, Keiko Shiratori : Constitutive expression of siRNA for Mcl-1 exon 2 enhanced TGF- β -mediated apoptosis in human hepatocellular carcinomas (HCC) , AASLD 55th, annual meeting, Boston, 2004.10
 - Tomomi Kogiso, Hikaru Nagahara, Keiko Shiratori : Down-regulation of Wee1 kinase mediated apoptosis in human

- hepatocellular carcinoma (HCC) by TGF- β treatment, AASLD 55th, annual meeting, Boston, 2004.10
- ・ Hikaru Nagahara, Tomomi Kogiso, Keiko Shiratori : TGF- β concurrently induced G1 cell cycle arrest and apoptosis in human hepatocellular carcinoma, The Cell Cycle, Cold Spring Harbor Laboratory Meeting, 2004.5.19-23
 - ・ 小木曾智美, 長原 光, 白鳥敬子 : 肝癌細胞に対するTGF- β によるアポトーシス誘導におけるWee1キナーゼの関与, 第40回日本肝臓学会総会, 浦安, 2004.6.3-4
 - ・ 小木曾智美, 長原 光, 白鳥敬子 : 肝癌細胞におけるTGF- β 抵抗性の分子機序, 第90回日本消化器病学会総会, 仙台, 2004.4.21-23
 - ・ 竹田純一, 伊沢久未, 森 仁, 小田原隆, 鷺崎一成, 中村哲也, 岩本愛吉 : 急速な進行を示しMRIで病変の進展を経時観察しえたHIV-I, HTLV-I共感染者のPML症例, 第18回日本エイズ学会学術集会, 静岡, 2004.12.10
 - ・ Hiroshi MIZUTANI, Vygandas RUTKUNAS, Kazuo NAKAMURA, Masato KOTAKE, Shin ISHIKAWA : Influence of Different Overdenture Attachments on Denture Stability, The 3rd International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, 2004
 - ・ 松原 哲 (座長) : 一般演題 生体適応, 第8回日本適応医学会学術集会, 福島県福島市, 2004.6.26
 - ・ 美馬達夫 : 脳脊髄液減少症の180症例を治療した現在感じていること, 第2回低髄液圧症候群研究会, 山王ホール, 東京, 2004.9.12
 - ・ 美馬達夫 : 正常圧水頭症と低髄液圧症候群の病態の狭間, 第6回日本正常圧水頭症研究会, 郡山, 2005.1.29
 - ・ 美馬達夫 : 興味ある経過を示した脳脊髄液減少症の6症例, 第3回低髄液圧症候群研究会, 日本医科大学橋桜ホール, 東京, 2005.3.13
 - ・ 横山郁夫 : 国際学会, ESNM, ヨーロッパ核医学会, ヘルシンキ, Finland, 2004
 - ・ I.Yokoyama, Y.Inoue, H.Itoh, I.Kanno, H.Iida : Heart and Brain Blood Flow in Response to Hyperventilation and Carbon Dioxide Inhalation in Normal Healthy Elderly Men: A Study using 15O-Water Dual Positron Emission Tomography Oral presentation
 - ・ I.Yokoyama, Y.Inoue, T.Moritan, K.Ohtomo, R.Nagai : Impaired myocardial vasodilatation during hyperaemic stress with dipyridamole is improved by simvastatin but not by pravastatin in hypercholesterolaemics Oral presentation
 - ・ 吉岡直紀, 林 直人, 森 壘, 赤羽正章, 阿部 修, 青木茂樹, 南 学, 大友 邦 : 脳拡散強調画像での小梗塞の診断におけるzero-filling interpolationの影響, 第63回日本医学放射線学会総会, 横浜, 2004.4.9
 - ・ 楠山敏行, 藤本裕一, 磯貝 豊, 新美成二, 福田宏之 : アダムのリンゴの切除術後に嘔声をきたした性同一性障害の3例, 第56回日本気管食道科学会, 東京, 2004.11.26
 - ・ 楠山敏行, 藤本裕一, 中川秀樹, 田村悦代, 磯貝 豊, 新美成二, 福田宏之 : 声帯嚢胞症例の検討—vocal abuseとの関連を中心に—, 第17回日本喉頭科学会, 名古屋, 2005.3.18
 - ・ 楠山敏行 (座長) : 第7回日本音声外科研究会, 第1群, 大阪, 2005.1.8

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, その他研究助成金)

- ・ 加藤宏之 : ONO-2506のパーキンソン病モデル動物に対する免疫組織学的検討, 委託研究 (小野薬品工業), 2003.11-2005.3
- ・ 加藤宏之 : fMRIによる脳卒中後の運動, 言語機能回復機序の解明と臨界期の同定, 科学研究費補助金, 基盤研究 (C)(2), 2004-2006
- ・ 加藤宏之 : 高齢者損傷脳の機能計測に関する研究, 日立製作所基礎研究所, 2004.6, 2004.11
- ・ 加藤宏之 : 脳の機能発達と学習メカニズムの解明, 発達期および障害回復期における神経回路の再編成機構, 戦略的創造研究推進事業, チーム型研究CREST, (研究代表者: 鍋倉淳一), 2004.10-2009.9

- ・ 川内基裕：加速度計内蔵時計型コンピュータによる心不全患者手術後、回復過程の検討，平成15年度関東循環器呼吸器研究会研究助成金，JR東京総合病院
- ・ 鈴木義之：遺伝性ライソゾーム病の脳障害に対する新しい分子治療薬の開発，文部科学省科学研究費基盤研究(A)(1)，平成14-16年度
- ・ 鈴木義之：神経遺伝病に対するケミカルシャペロン療法の開発，厚生労働省構成科学研究，こころの健康科学事業，平成14-16年度
- ・ 鈴木義之：β-ガラクトシダーゼ欠損症に対する新しい分子治療の効果予測，厚生労働省厚生労働科学研究，平成14-16年度
- ・ 鈴木義之：GM1-ガングリオシドーシスモデルマウスに対するケミカルシャペロン療法の臨床的酵素学的効果，厚生労働省精神・神経疾患研究委託，平成14-16年度
- ・ 柳田 薫：難治性不妊症である受精障害例の原因解明とその治療法に関する研究，平成16年度科学研究費補助金，基盤研究(C)
- ・ 柳田 薫：子ども家庭総合研究事業，生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究，平成16年度厚生労働科学研究費補助金
- ・ 柳田 薫：厚生労働科学特別研究事業，ヒト胚の研究体制に関する研究，平成16年度厚生労働科学研究費補助金

受賞

- ・ 平成16年度日本臨床電子顕微鏡学会（現日本臨床分子形態学会）「論文賞」を受賞(2004年11月5日 第36回日本臨床電子顕微鏡学会総会において)
Ogi M., Yokomori H., Oda M., Yoshimura K., Nomura M., Ohshima S., Akita M., Toda K., Ishii H. : The localization and distribution of caveolin-1 of sinusoidal cells in rat liver, Med. Electron Microsc., 36, 33-40, 2003
- ・ Oda M. : The Asian Union for Microcirculation(AUM) Award, The 6th Asian Congress for Microcirculation(ACM'05), Tokyo, Japan, February 26, 2005

所属学会

- ・ 下泉秀夫：日本小児神経学会，日本子どもの虐待防止学会
- ・ 松本和則：日本消化器病学会，日本肝臓学会，日本成人病学会，日本消化器内視鏡学会，日本内科学会，日本老年病学会
- ・ 岩崎博之：日本小児科学会，日本小児神経学会，日本先天代謝異常学会，日本重症心身障害学会
- ・ 内藤浩美：口腔科学会，日本口腔外科学会，口腔粘膜学会，日本口腔診断学会，障害者歯科学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，有病者歯科学会，日本口腔腫瘍学会，国際歯科学会
- ・ 谷 禮夫：日本消化器病学会，日本消化器内視鏡学会，日本内科学会，日本実験潰瘍学会，日本肝臓学会，日本ヘリコバクター学会，日本神経消化器病学会，日本消化管学会，日本消化器病学会関連研究会
- ・ 三田村治郎：日本歯科麻酔学会，日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本口腔粘膜学会
- ・ 遠藤重典：日本言語聴覚学会，日本コミュニケーション障害学会，日本音声言語医学会，日本特殊教育学会，聴覚医学学会，日本高次脳機能障害学会，日本教育心理学会
- ・ 内田克紀：日本泌尿器科学会（専門医，指導医），日本腎臓学会（専門医，指導医），米国泌尿器科学会，国際泌尿器科学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本EE学会，日本超音波医学会，外科系連合学会
- ・ 加藤宏之：日本神経学会（専門医），日本脳卒中学会（専門医），日本脳循環代謝学会，日本内科学会（認定内科医），日本神経治療学会，国際脳循環代謝学会，米国神経科学会

- ・ 川内基裕：日本胸部外科学会（認定医，指導医），日本心臓血管外科学会（専門医），日本外科系連合学会，日本心臓病学会，日本呼吸器外科学会（指導医），日本外科学会（認定医，指導医，専門医），日本小児外科学会，日本移植学会，日本循環器学会，日本小児循環器学会，日本人工臓器学会，The International Society for Cardiovascular Surgery, The Transplantation Society, The International Society for Heart and Lung Transplantation
- ・ 鈴木義之：日本小児神経学会，日本先天代謝異常学会，日本神経学会，日本小児科学会，日本新生児学会，日本赤ちゃん学会，日本人類遺伝学会，ライフサポート学会，日本生活支援工学会，日本遺伝子治療学会，International Child Neurology Association, Child Neurology Knowledge Environment, Child Neurology Society (USA), Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism
- ・ 関根義夫：日本精神神経学会，日本精神病理・精神療学会
- ・ 橋本雅章：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳神経外科コンgres, 日本神経病理学会，日本臨床電子顕微鏡学会，日本定位放射線学会
- ・ 村山史雄：日本外科学会，日本呼吸器外科学会，日本胸部外科学会，日本臨床細胞学会，日本呼吸器学会，日本呼吸器内視鏡学会，日本微小循環学会，日本内視鏡外科学会
- ・ 柳田 薫：日本受精着床学会，日本哺乳動物卵子学会，American Society for Reproductive Medicine, European Society of Human Reproduction and Embryology, 日本アンドロロジー学会，日本産科婦人科学会，日本不妊学会，日本生殖免疫学会，日本ヒト細胞学会，日本産科婦人科内視鏡学会，日本生殖外科学会
- ・ 山田哲夫：日本産科婦人科学会（認定医），日本周産期・新生児医学会，日本生殖免疫学会
- ・ 大橋一之：日本小児口腔外科学会，日本歯科医療福祉学会，日本口腔診断学会（認定医・指導医），日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本口腔腫瘍学会，日本歯科麻酔学会，日本頭頸部腫瘍学会，日本障害者歯科学会，日本有病者歯科医療学会，日本歯科薬物療法学会，日本外科系連合学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本顎関節学会，日本救急医学会
- ・ 橋本律夫：日本内科学会（認定医），日本神経内科学会（専門医），日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会
- ・ 緑川由紀夫：日本ショック学会，世界ショック学会，日本麻酔学会，日本ペインクリニック学会
- ・ 小野澤瑞樹：日本泌尿器科学会，日本EE学会，日本癌学会
- ・ 徳江章彦：日本泌尿器科学会（専門医，指導医），泌尿器科漢方研究会，国際泌尿器科学会，米国泌尿器科学会
- ・ 井上正人：日本哺乳動物卵子学会，日本産婦人科内視鏡学会，日本生殖外科学会，日本不妊学会，日本受精着床学会，日本アンドロロジー学会，日本産科婦人科学会
- ・ 福田宏之：日本喉頭科学会，日本気管食道科学会，日本音声言語医学会，日本耳鼻咽喉科学会，日本頭頸部外科学会，日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会，東日本音声外科研究会，専門医制度協議会，世界気管支学会，世界気管食道科学会，Colloquium Medicum Theatre (CoMeT)，東アジア音声外科会議，アジア頭頸部外科研究会
- ・ 奥田 誠：日本大腸肛門病学会，日本大腸検査学会，日本外科学会，日本消化器外科学会，日本臨床外科医学会，日本消化器内視鏡学会，日本消化器病学会，日本癌治療学会，日本内視鏡外科学会，日本サイコオンコロジー学会，The American Society of Colon & Rectal Surgeons, Society of General Internal Medicine, リザーバー研究会，大腸肛門機能障害研究会
- ・ 織田正也：日本内科学会（認定医），日本消化器病学会（専門医，指導医），日本自律神経学会，ヨーロッパ微小循環学会，日本肝臓学会（専門医，指導医），日本微小循環学会，アメリカ微小循環学会，日本臨床分子形態学会，アメリカ肝臓病学会（AASLD），国際肝臓病学会（IASL），国際リンパ学会（ISL），日本腹部救急医学会，アメリカ消化器病学会（AGA），American College of Gastroenterology（ACG），Asian Union of Microcirculation（AUM），日本脈管学会，Hepatology Research（Editorial Board Member），Microvascular Research（Editorial Board Member），Medical Molecular Morphology（Associate Editor）

- ・ 山沖和秀：日本循環器学会，日本内科学会，日本高血圧学会，日本心臓病学会，日本老年病学会，日本脈管学会
- ・ 岩動孝一郎：日本泌尿器科学会，日本アンドロロジー学会，日本性機能学会，国際泌尿器科学会，米国泌尿器科学会，日本泌尿器科学会，International Journal of Urology，日本性機能学会
- ・ 奥仲哲弥：日本レーザー医学会（指導医），日本光線力学学会，International Photodynamic Association，日本呼吸器内視鏡学会（指導医，認定医），日本呼吸器外科学会（指導医，専門医），日本肺癌学会，日本気管食道科学会，日本外科学会（指導医，専門医，認定医），日本胸部外科学会，日本呼吸器病学会（指導医，専門医），日本臨床細胞学会（指導医），日本癌学会，日本癌治療学会，日本外科系連合学会，Photodynamic News，Photodynamic and Photodynamic therapy
- ・ 長原 光：日本肝臓学会，日本消化器病学会，日本内視鏡学会，日本内科学会，日本癌学会
- ・ 柳原 泰：日本整形外科学会（専門医），日本整形外科学会（認定スポーツ医），日本整形外科学会（認定リウマチ医），日本リウマチ学会（専門医），日本リウマチ財団（リウマチ登録医），日本手の外科学会，東日本整形災害外科学会，日本整形外科学会，日本リウマチ学会，脳波筋電図学会，日本骨折治療学会，日本整形外科スポーツ医学会，日本臨床スポーツ医学会，東日本手の外科研究会
- ・ 鷺崎一成：日本神経学会，日本神経病理学会，日本神経心理学会，日本エイズ学会，日本内科学会
- ・ 岩脇 淳：日本精神科診断学会，日本精神神経学会，日本社会精神医学会，日本認知療法学会，日本産業精神保健学会，日本多文化間精神医学会，栃木県精神医学会
- ・ 須藤英一：日本内科学会（認定内科医），日本呼吸器学会（専門医），日本老年医学会（専門医，指導医），日本リハビリテーション医学会（身体障害者福祉法規定による指定医（呼吸器機能障害の診断））
- ・ 松原 哲：日本適応医学会，臨床心臓電気生理研究会，東京不整脈フォーラム教室
- ・ 美馬達夫：日本脳神経外科学会，日本脳卒中学会，日本脳循環代謝学会，正常圧水頭症研究会，脳脊髄液減少症研究会
- ・ 横山郁夫：日本循環器学会，日本心臓病学会，日本核医学会，日本心臓核医学会，米国核医学会，米国心臓核医学会
- ・ 倉島一浩：日本耳鼻咽喉科学会，日本耳科学会，日本めまい平衡医学会
- ・ 吉岡直紀：日本医学放射線学会（専門医）
- ・ 楠山敏行：日本気管食道科学会（認定医），日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医），日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会

学会役員

- ・ 下泉秀夫：日本小児神経学会（評議員），日本子どもの虐待防止学会（運営委員）
- ・ 松本和則：日本消化器病学会（評議員，関東地方会評議員），日本肝臓学会（東部会評議員），日本成人病学会（評議員）
- ・ 谷 禮夫：日本消化器病学会（評議員，学会認定指導施設国際医療福祉病院指導医代表），日本消化器内視鏡学会（評議員，関東支部運営委員，学会和文誌編集委員会（査読委員），日本実験潰瘍学会（評議員），日本消化管学会（評議員），日本消化器病学会関連研究会（壁細胞研究会代表幹事）
- ・ 加藤宏之：日本神経学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），国際脳循環代謝学会（編集委員，第23回国際脳循環代謝学会総会 開催組織委員）
- ・ 川内基裕：日本胸部外科学会（評議員，査読委員），日本心臓血管外科学会（評議員），日本外科系連合学会（評議員），日本心臓病学会特別正会員（FJCC），日本呼吸器外科学会（評議員）
- ・ 鈴木義之：日本小児神経学会（名誉会員），日本先天代謝異常学会（理事），日本神経学会（評議員），日本新生児学会（功労会員），日本赤ちゃん学会（理事），日本人類遺伝学会（評議員）ライフサポート学会（評議員）日本生

- 活支援工学会（評議員）日本遺伝子治療学会（幹事）， International Child Neurology Association（Executive Board Member, Chair of Editorship Search Committee）， Child Neurology Knowledge Environment（Member of Planning Committee, Search Committee and Oversight Committee）， Child Neurology Society USA（Active Member）， Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism（Active Member）， Brain & Development（Editor-in-Chief）， Pediatric Neurology（Editor）， Annals of Neurology（Editor）， Journal of Pediatric Neurology（Editor）， Child Health and Human Development（Editor）， International Journal of Computational Cognition（Editor）
- ・ 関根義夫：日本精神病理・精神療法学会（理事，評議員，学会誌 編集委員長）
 - ・ 橋本雅章：日本脳神経外科コンgres（評議員）
 - ・ 村山史雄：日本呼吸器外科学会（評議員）
 - ・ 柳田 薫：日本受精着床学会（評議員），日本哺乳動物卵子学会（常任理事，編集委員長）， Journal of Mammalian Ova Research（Chief editor），日本アンドロロジー学会（評議員）
 - ・ 大橋一之：日本小児口腔外科学会（評議員），日本歯科医療福祉学会（評議員）
 - ・ 橋本律夫：日本神経心理学会（評議員），日本高次脳機能障害学会（評議員）
 - ・ 緑川由紀夫：日本ショック学会（評議員）
 - ・ 徳江章彦：日本泌尿器科学会（評議員），泌尿器科漢方研究会（幹事，監事）
 - ・ 井上正人：日本哺乳動物卵子学会（理事長），日本産婦人科内視鏡学会（理事），日本生殖外科学会（常任理事），日本不妊学会（評議員），日本受精着床学会（評議員），日本アンドロロジー学会（評議員）
 - ・ 福田宏之：日本喉頭科学会（理事長，評議員），日本気管食道科学会（顧問），日本音声言語医学会（顧問），日本耳鼻咽喉科学会（評議員），日本頭頸部外科学会（評議員），日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会（幹事，名誉代議員，産業環境委員），東日本音声外科研究会（顧問），専門医制度協議会（評議員），世界気管支学会（評議員），世界気管食道科学会（評議員），Colloquium Medicum Theatre（CoMeT）（役員），東アジア音声外科会議（理事），アジア頭頸部外科研究会（代表世話人）
 - ・ 奥田 誠：日本大腸肛門病学会（評議員），日本大腸検査学会（評議員）
 - ・ 織田正也：日本消化器病学会（財団評議員），日本自律神経学会（評議員），日本肝臓学会（評議員，編集委員会委員），日本微小循環学会（理事，評議員），日本臨床分子形態学会（理事，評議員，編集委員会委員），日本腹部救急医学会（評議員），日本脈管学会（評議員），ヨーロッパ微小循環学会（Executive Committee Member）
 - ・ 山沖和秀：日本循環器学会関東甲信越地方会（評議員）
 - ・ 岩動孝一郎：日本泌尿器科学会（名誉会員），日本アンドロロジー学会（名誉会員），日本性機能学会（名誉会員）
 - ・ 奥仲哲弥：日本レーザー医学会（理事，専門医制度委員，編集委員），日本光線力学学会（理事），International Photodynamic Association（理事），日本呼吸器内視鏡学会（評議員，安全対策委員），日本呼吸器外科学会（評議員），日本肺癌学会（評議員，財務委員），日本気管食道科学会（評議員），日本外科系連合学会（評議員），Photodynamic News（Editorial Board），Photodynamic and Photodynamic therapy（Associate Editor）
 - ・ 長原 光：日本肝臓学会東部会（評議員），日本消化器病学会関東支部（評議員）
 - ・ 柳原 泰：日本手の外科学会（評議員），東日本整形災害外科学会（評議員）
 - ・ 岩脇 淳：日本精神科診断学会（評議員），栃木県精神医学会（学会誌査読委員）
 - ・ 松原 哲：日本適応医学会（評議員），臨床心臓電気生理研究会（特別幹事），東京不整脈フォーラム教室（幹事）
 - ・ 美馬達夫：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），正常圧水頭症研究会（世話人），脳脊髄液減少症研究会（世話人）
 - ・ 楠山敏行：日本気管食道科学会（評議員），日本音声言語医学会（評議員，幹事），日本喉頭科学会（幹事），日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会（予備代議員）

センター（語学教育センター）

著書

- ・田中美子, 南井紀子, 宮崎路子 (共著) : English for Co-medical Professionals (テープ2本付き), 国際医療福祉大学, 2005
- ・河原崎やす子 他 (共著) : アメリカ1920年代－ローリング・トエンティーズの光と影－移民排斥とアジア女性像 (英米文化学会 編), pp46-60, 金星堂出版, 2004.5

原著論文

- ・河原崎やす子 : 19世紀のオリエンタリズムとアジア系表象, AALA Journal, pp1-9, 2004.12
- ・宮崎路子 : イザベラ・バードとゴードン・カミング, 東日本英学史研究, 第4号, pp19-24

総説

- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Consultation”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年4月号, 中央法規出版, p.51
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “英詩を読む”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年5月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Amenity”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年6月号, 中央法規出版, p.55
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Intervention”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年7月号, 中央法規出版, p.55
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Teamwork”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年8月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Charity”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年9月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Member”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年10月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Advice”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年11月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Hospital & Hospice”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成16年12月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Merry & Happy”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成17年1月号, 中央法規出版, p.55
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Early Bird”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成17年2月号, 中央法規出版, p.53
- ・南井紀子, 相原和子 (共著) : Spirit of Social Work in English: “Monitor”, 月刊専門誌 ケアマネージャー, 平成17年3月号, 中央法規出版, p.57
- ・Charles Kevin Dobbs : Ring of Ghosts, The New York Quarterly, Number60, p49, 2004
- ・Charles Kevin Dobbs : Table Fifteen, Raritan a Quarterly Review, Vol. XXIII No.3, pp75-91, 2004
- ・Charles Kevin Dobbs : Otani-san’s Mole, Beloit Fiction Journal, Vol.17, 2004
- ・Charles Kevin Dobbs : Mausoleum of the Young Wei Couple, Gulf Stream Magazine, Vol.21, pp129-130

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 田中美子：国際的に貢献できる人作りを目指して－医療福祉の立場から－，栃木県高等学校教育研究会，国際理解部会総会，黒磯南高等学校，2004.6.4
- ・ 南井紀子：国際的視野から見た福祉の英語専門用語，神戸灘・神戸葺合ライオンズクラブ合同例会講演，2005.2.23

学会発表

- ・ 宮崎路子：CALLシステムを使った総合英語，外国語教育メディア学会関東支部，第1回音声・映像研究会，明治学院大学，2004.9.28
- ・ 宮崎路子，飛田ルミ：医療福祉系大学生に求められる英語力，日本実用英語学会，第30回全国大会，早稲田大学，2004.9.29
- ・ 宮崎路子：栃木の英学－明治21年来栃のジー・ホルムスを中心に－，日本英学史学会，第41回全国大会，早稲田大学国際会議場，2004.10.31

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，その他研究助成金）

- ・ 田中美子：「英語が使える医療福祉専門家」育成を目標とするマルチメディア機器を利用した新しいオンライン英語学習，教育・学習方法等の改善，平成16年度文部科学省私立大学等経常費補助金
- ・ 田中美子，南井紀子，宮崎路子，河原崎やす子，千葉礼子：コメディカル大学における英語教育のニーズアナリシスに基づくカリキュラム開発，平成17年度文部科学省科学研究費補助金

所属学会

- ・ 田中美子：大学英語教育学会，外国語教育メディア学会，全国語学教育学会，アメリカ学会，国際平和教育学会，Teachers of English to Speakers of Other Languages (TESOL)
- ・ 南井紀子：英語教育学会，全国語学教育学会，外国語教育メディア学会
- ・ 河原崎やす子：日本女性学会，アジア系アメリカ文学研究会，多民族研究学会，日本アメリカ文学会，アメリカ学会，Association for Asian American Studies，日本英文学会，英米文化学会，日本移民学会
- ・ Charles Kevin Dobbs：JALT（日本全国語学教育学会），MLA（Modern Language Association），Philosophy Society Of England
- ・ George C.Cota：JALT（日本全国語学教育学会）
- ・ 宮崎路子：日本英学史学会，全国語学教育学会，日本実用英語学会，外国語教育メディア学会，Teaching English to Speakers of Other Languages
- ・ 千葉礼子：日本中世英語英文学会，都立大学中世英語英文学研究会

学会役員

- ・ 田中美子：外国語教育メディア学会（団体会員代表者），国際平和教育学会（組織委員，日本代表）
- ・ 河原崎やす子：日本女性学会（第19期幹事・学会誌編集担当），アジア系アメリカ文学研究会（東京支部理事），多民族研究学会（企画担当理事）
- ・ 宮崎路子：日本英学史学会（東日本支部役員）

センター（総合教育センター）

著書

- ・小林真理子，市川宏伸 他（編/分担執筆）：子どものこころのケア，母子関係をめぐって，pp37-44，永井書店，2004

総説

- ・小林真理子：臨床心理士からみた乳幼児期・母子関係をめぐって－その光と影－，子育て応援メッセージ創刊号，NPO法人キッズシェルター報告書，pp30-41，2004
- ・小林真理子：臨床心理士からみた学童期・子どもの心の発達と家族，子育て応援メッセージ創刊号，NPO法人キッズシェルター報告書，pp74-80，2004

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・小林真理子：子どもの心の発達－子育て支援ボランティア養成講座，那須町教育委員会，那須町文化センター，那須町，2004.6.15
- ・小林真理子：発達障害を合併した被虐待児のプレイセラピー，金町慈友クリニック研究会，東京，2004.6.19
- ・小林真理子：児童期・思春期の心理臨床的問題－発達障害を中心に－，那須地区養護教育研究会，大田原東地区公民館，大田原市，2004.8.2
- ・小林真理子：発達障害の理解と対応，黒磯市教育委員会，黒磯市いきいきふれあいセンター，黒磯市，2004.8.18
- ・小林真理子：子どもの心の発達と家族，NPO法人キッズシェルター・子育て支援セミナー，黒磯市いきいきふれあいセンター，黒磯市，2004.9.15
- ・小林真理子：描画法による子どものアセスメント（1），栃木県児童相談所心理判定員研修会，栃木県北児童相談所，西那須野町，2004.9.27
- ・小林真理子：描画法による子どものアセスメント（2），栃木県北児童相談所，西那須野町，2004.10.27
- ・小林真理子：描画法による子どものアセスメント（3），栃木県北児童相談所，西那須野町，2004.12.2
- ・小林真理子：いま教職員に求められるもの，栃木県教職5年目研修，栃木県総合教育センター，宇都宮市，2004.12.3
- ・小林真理子：描画法による子どものアセスメント（4），栃木県北児童相談所，西那須野町，2004.12.8
- ・小林真理子：軽度発達障害の理解と支援，教職員研修，大田原市立紫塚小学校，大田原市，2004.12.15
- ・小林真理子：学校における危機対応と心のケア，地域ぐるみ学校安全推進モデル事業，西那須野町立東小学校，西那須野町，2004.12.22
- ・小林真理子：子どもの心の問題への援助，栃木県少年補導センター連絡協議会，那須塩原市青少年センター，那須塩原市，2005.2.15
- ・小林真理子：発達障害をもつ思春期の子どもたち－特徴の理解とサポート－，栃木県南健康福祉センター，小山市，2005.2.17
- ・小林真理子：児童虐待へのケアと地域支援－臨床心理士の立場から－，フォーラム「虐待問題を抱える親への地域支援を考える」，栃木県北地域児童問題防止研修会，県北健康福祉センター，大田原市，2005.2.28

学会発表

- ・小林真理子：学校臨床における描画を通してのアプローチ－母子・家族関係の再生に向けて－，第10回日本遊戯療法学会，徳島，2004.7.11
- ・小林真理子，木下愛子：統合型HTP法の学生相談室における臨床的適用（その2）－TEG併用による結果のフィードバック，第23回日本心理臨床学会，埼玉，2004.9.10

所属学会

- ・ 森田耕喜：日本哲学会，日本臨床死生学会，日本生命倫理学会，日本ヘーゲル学会，西田哲学会，日本独文学会，東京外国語大学地域研究フォーラム
- ・ 小林真理子：日本心理臨床学会，日本芸術療法学会，日本遊戯療法学会

学会役員

- ・ 森田耕喜：東京外国語大学地域研究フォーラム（幹事）

センター（国際交流センター）

原著論文

- ・ 陳 霞芬，藤原聡子 他4名：日中インターネットにて表現された不妊症治療者のセクシュアリティについての比較，日本性科学学会雑誌，Vol.22，pp28-38，2004

研究報告

- ・ 陳 霞芬，伊藤孝恵，角田正史：在日外国人就労者の健康管理とその保健支援方策 —3ヵ国間の比較—（奨励研究），国際医療福祉大学紀要，2005.1

学会発表

- ・ 陳 霞芬，角田正史，相沢好治：在日ブラジル人労働者におけるストレス，健康状況，健康管理，第20回日本ストレス学会，横浜，2004.11

所属学会

- ・ 陳 霞芬：日本病院管理学会，日本公衆衛生学会，日本産業衛生学会，日本ストレス学会，国際農村医学会，栃木県マネジメント学会
- ・ 渡辺晴世：日本語教育学会，日本語教育方法研究会
- ・ 伊藤孝恵：日本語教育学会，多文化関係学会

大学院

著書

- ・ 開原成允（監修），羽生正宗（著）：医療機関のための個人情報保護対策，じほう社，2005.3
- ・ 開原成允：保健医療ソーシャルワーク実践（日本社会福祉士会，日本医療社会事業協会編集），第2章 第7節 医療情報をめぐる諸問題，中央法規，2004.6
- ・ 開原成允（監修）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト，全10冊
- ・ 鎌倉矩子，山根 寛，二木淑子（編集）：老年期の作業療法 第2版（浅海奈津美，守口恭子（著）），三輪書店，2005.3

- ・伊賀立二（共著）：新心臓血管外科管理ハンドブック，南江堂，2005.2
- ・伊賀立二（監修）：内服薬調剤 基本と実践，じほう，2005.3
- ・井上明生（編著）：整形外科三大疾患の病棟管理，メディカ出版，2004
- ・井上明生（編著）：人工股関節置換術のケア，メディカ出版，2004
- ・福地總逸，小平廣子（編集），岩下清子（共著）：訪問看護実践マニュアルー問題点とその対応ー改訂版，医療保険との対比で見た介護保険の特徴および医療給付と介護給付の関係，pp87-97，医薬ジャーナル，2004.10
- ・岩下清子 他（共著）：診療報酬（介護報酬）ーその仕組みと看護の評価ー第6版，特掲診療料，pp230-257，日本看護協会出版会，2004.8
- ・梅内拓生：プライマリ・ヘルスケア，国際保健医療学（Textbook of International Health），日本国際保健医療学会編（2005年改訂），杏林書院
- ・大橋昌夫：臨床検査ガイド2005-2006，アンドロステンジオン，pp418-422，文光堂，2005.2
- ・木村哲彦（編集）：生活環境論（改訂第四版），医歯薬出版，2004.05.01
- ・木村哲彦（編集）：新イラストによる動作介助の手引き（改訂第二版），医歯薬出版，2004.10.10
- ・木村哲彦，脊髄損傷ヘルスケア委員会（編集）：脊髄損傷へのすけあ（基礎編），せき髄基金，2005.2.25
- ・佐々木淳（共著）：心臓ナビゲーター，九州脂質治療研究，pp48-49，メディカルレビュー社，2004.4.1
- ・木庭新治，佐々木淳（共著）：酸化ストレスナビゲーター，The Coronary Angioplasty Restenosis Trial（CART），pp178-179，Canadian Antioxidant Restenosis Trial（CART），pp180-181，PRESTO，pp182-183，メディカルレビュー社，2005.3.15
- ・木庭新治，佐々木淳（共著）：DATA UPDATE 循環器系，AFCAPS/Tex-CAPS，pp366-367，先端医学社，2004.12.10
- ・木庭新治，佐々木淳（共著）：ファインケミカルシリーズ 機能性脂質のフロンティア，3 生活習慣病と脂質 動脈硬化，pp52-58，シーエムシー出版，2004.12.27
- ・佐々木淳（共著），日本動脈硬化学会（編集）：高脂血症治療ガイド 2004年版，南山堂，2004
- ・杉森 甫（共著），滝 一郎（監修）：婦人科腫瘍の臨床病理，子宮頸部腫瘍総論，pp78-82，メジカルレビュー社，2004.4
- ・田中 繁，高橋 明（監訳）：モーターコントロール（運動制御の理論と臨床応用）第2版，医歯薬出版，2004.6.1
- ・中野重行，神谷 晃，野口隆志（編集）：臨床試験とCRC（増補版），薬事日報社
- ・樋渡正夫：高齢者のリハビリテーション，コメディカルのための老年医学，中外出版社
- ・樋渡正夫：看護のための最新医学講座 循環器疾患 第2版，高血圧性緊急症，中山書店
- ・山本澄子，江原義弘，萩原章由，溝部朋文（共著）：ボディダイナミクス入門 片麻痺者の歩行と短下肢装具，医歯薬出版，2005.3
- ・松下年子（共著）：系統別看護師国家試験問題回答と解説2005年版 看護師国家試験模擬問題（精神看護），2004
- ・島田千穂（共著）：在宅高齢者の終末期ケア，第3章，中央法規出版，2004.7

原著論文

- ・橋口 徹，細小路岳史，大西正利，菅原琢磨，河口洋行，開原成允：介護保険導入による自治体の老人保健財政及び一般会計への影響（上），（下），社会保険旬報，No.2197，pp28-33，2004.4
- ・開原成允：経済的に運用可能な電子カルテへ（病院医療の質を考えるセミナー），日本病院会雑誌，51（4），pp17-25，2004.6
- ・開原成允：21世紀におけるITの進歩と医療との調和，日医雑誌，133（1），pp46-51，2005.1
- ・河口洋行，開原成允，菅原琢磨，細小路岳史，大西正利，橋口 徹，岡村世里奈：公的介護保険導入後の長期入院と

- 介護サービス給付に関する研究（上），（下），社会保険旬報，No.2232，pp6-13，No.2233，pp32-38，2005.1-2
- 阿部浩美，鎌倉矩子：なぜ「金」なのかーある視覚障害を伴う発達遅滞児が目を向ける対象の探究ー，作業療法，23，pp425-437，2004.10
 - 菅野圭子，八田達夫，生田宗博，鎌倉矩子：施設入所中のアルツハイマー型痴呆患者の徘徊行動の特徴と関連状況調査，作業療法，24，pp50-59，2005.2
 - Ishiguro A, Kubota T, Sasaki H, Iga T : A long PCR assay to distinguish CYP2D6*5 and novel CYP2D6 mutant allele associated with an 11-kb EcoRI haplotype, Clin. Chim. Acta, 347, pp217-221, 2004
 - Futatsugawa Y, Kubota T, Ishiguro A, Suzuki H, Ishikawa H, Iga T : PCR-based haplotype determination to distinguish CYP2B6*1/*7 and *5/*6, Clin. Chem, 50, pp1472-1473, 2004
 - Minematsu T, Sugiyama E, Kusama M, Hori S, Yamada Y, Ohtani H, Sawada Y, Sato H, Takayama T, Sugawara Y, Makuuchi M, Iga T : Effect of hematocrit on pharmacokinetics of tacrolimus in adult living donor liver transplant recipients. Transplant, Proc, 36, pp1506-1511, 2004
 - Matsuno K, Kubota T, Matsukura Y, Ishikawa H, Iga T : Genetic analysis of glutathione S-transferase A1 and T1 polymorphisms in a Japanese population. Clin. Chem. Lab. Med, 42, pp560-562, 2004
 - Yamada Y, Sugiura M, Higo K, Ozeki T, Takayanagi R, Okuyama K, Yamamoto K, Satoh H, Sawada Y, Iga T : Receptor occupancy theory-based analysis of antiemetic effects and standard doses of 5-HT3 receptor antagonists in cancer patients, Cancer Chemother. Pharmacol, 54, pp185-190, 2004
 - Kubota T, Nishida A, Takeuchi K, Iida T, Yokota H, Higashi K, Nakahara K, Hanai H, Iga T, Frequency distribution of thiopurine S-methyltransferase activity in red blood cells of a healthy Japanese population, Ther. Drug Monit, 26, pp319-321, 2004
 - Ishiguro A, Kubota T, Ishikawa H, Iga T : Metabolic activity of dextromethorphan O-demethylation in healthy Japanese volunteers carrying duplicated CYP2D6 genes, duplicated allele of CYP2D6*10 dose not increase CYP2D6 metabolic activity. Clin. Chim. Acta, 344, pp201-204, 2004
 - Sugiura M, Ohno Y, Yamada Y, Suzuki H, Iga T : Pharmacokinetic/pharmacodynamic analysis of neutrophil prolongation induced by rhG-CSF in patients receiving antineoplastic, Yakugaku Zasshi, 124, pp599-604, 2004
 - Miyazaki N, Sekine Y, Aoyama T, Yasuno N, Nakamura H, Yamada Y, Iga T : Development and evaluation of pharmaceutical services in the ICU/CCU by medical staffs, Yakugaku Zasshi, 124, pp279-286, 2004
 - Takayanagi R, Nakamura Y, Nakajima Y, Shimizu A, Nakamura H, Yamada Y, Suzuki H, Arakawa Y, Omata M, Iga T : Analysis of information submitted by clinical trial sponsors regarding the safety of investigational drugs, Yakugaku Zasshi, 124, pp225-229, 2004
 - Nakamura H, Yanagihara Y, Sekiguchi H, Ohtani M, Kariya S, Uchino K, Suzuki H, Iga T : Effect of particle size on mixing degree in dispensation, Yakugaku Zasshi, 124, pp135-139, 2004
 - Nakamura H, Yanagihara Y, Sekiguchi H, Komada F, Kawabata H, Ohtani M, Saitoh M, Kariya S, Suzuki H, Uchino K, Iga T : Effect of mixing method on the mixing degree during the preparation of triturations, Yakugaku Zasshi, 124, pp127-134, 2004
 - Takayanagi R, Watanabe K, Nakahara A, Nakamura H, Yamada Y, Suzuki H, Arakawa Y, Omata M, Iga T : Items of concern associated with source document verification of clinical trials for new drugs, Yakugaku Zasshi, 124, pp89-92, 2004
 - 鈴木久美子，柳原良次，青山隆夫，鈴木洋史，伊賀立二：口内炎の疼痛管理を目的とした新規インドメタシンスプレ－の調製と薬剤学的検討，医薬ジャーナル 40，pp2322-2327，2004
 - 影山恵美子，小浦清子，折井孝男，伊賀立二：インターネットを活用した病院実習支援システムの現状と問題点，医

療薬学 30, pp217-223, 2004

- 村中直子, 藤田美奈, 川上由紀子, 小松朋美, 山田安彦, 中村 均, 青山隆夫, 山田八重子, 新家 眞, 伊賀立二 : 緑内障患者における投与禁忌薬の使用実態と適正使用, 医療薬学 30, pp276-279, 2004
- 影山恵美子, 折井孝男, 伊賀立二 : 医薬品等の回収情報に関する調査・研究 (第3報), 市立宇和島病院における医薬品等の回収情報の有用性, 医療薬学 30, pp113-120, 2004
- 井上明生 : 変形性股関節症の治療における常識の嘘・骨・関節・靭帯, 17, pp967-970, 2004
- 末安民生, 岩下清子 他 : 精神科訪問看護の機能と役割—病院の訪問看護と訪問看護ステーションとの比較調査から, 精神科看護, Vol.31 No.10, pp39-44, 2004.10
- Takusei Umenai, et al : Study on Epidemiology and sexually Transmitted Infection in Japan, Japanese Journal of Sexually Transmitted Diseases, Vol15 No.2, 2004
- Iwashita M, Matsushita Y, Sasaki J, Arakawa K, Kono S : Kyushu Lipid Intervention Study (KLIS) Group, Relation of serum total cholesterol and other factors to risk of cerebral infarction in Japanese men with hypercholesterolemia, Circ J, Vol.69 No.1, pp1-6, 2005
- Horiuchi H, Kita T, Mabuchi H, Matsuzaki M, Matsuzawa Y, Nakaya N, Oikawa S, Saito Y, Sasaki J, Shimamoto K, Itakura H : J-LIT Study Group. Primary cardiovascular events and serum lipid levels in elderly Japanese with hypercholesterolemia undergoing 6-year simvastatin treatment, a subanalysis of the Japan lipid intervention trial, J Am Geriatr Soc, Vol.52 No.12, pp1981-1987, 2004
- Horiuchi H, Matsuzawa Y, Mabuchi H, Itakura H, Sasaki J, Yokoyama M, Ishikawa Y, Yokoyama S, Mori S, Phru T, Akishita M, Hayashi T, Yamane K, Egusa G, Kita T : Strategy for treating elderly Japanese with hypercholesterolemia, Geriatr Gerontol Internat, 4, pp151-156, 2004
- Iwashita M, Matsushita Y, Sasaki J, Arakawa K, Kono S for the Kyushu Lipid Intervention Study (KLIS) Group : Relationship of serum cholesterol and other risk factors to risk of coronary events in middle-aged and elderly Japanese men with hypercholesterolemia—Kyushu Lipid Intervention Study—, Circ J, Vol.68 No.5), pp405-409, 2004
- Mizuguchi M, Mori M, Nozaki Y, Momoi MY, Itoh M, Takashima S, Hino O : Absence of allelic loss in cytomegalic neurons of cortical tuber in the Ecker rat model of tuberous sclerosis, Acta Neuropathol, 107, pp47-52, 2004
- Ozawa Y, Takashima S, Tada H : α 2-adrenergic ceptor subtype alterations in the brainstem in the sudden infant death syndrome, Pathophysiology, 10, pp229-234, 2004
- 小林朋佳, 西田 朗, 小沢 浩, 近藤昌敏, 池上博彦, 柿沼亮太, 高嶋幸男 : FLAIR (fluid attenuated inversion recovery) 法MRI画像による新生児脳の髄鞘化と脳室周囲白質軟化症の観察, 日本周産期・新生児学会雑誌, No.40, pp70-75, 2004
- 西田裕介, 樋渡正夫, 丸山仁司 : 高齢者の健康増進に有用な低強度負荷トレーニングプログラムの作成, 理学療法科学
- Matsushita T, Matsushima E, Maruyama M : Early Detection of Postoperative Delirium and Confusion in a Surgical Ward using the NEECHAM Confusion Scale, General Hospital Psychiatry 26, pp158-163, 2004.3.4
- Matsushita T, Matsushima E, Maruyama M : Assessment of peri-operative quality of life in patients undergoing surgery for gastrointestinal cancer, Supportive care in Cancer 12, pp319-325, 2004. 5
- 松下年子, 山崎茂樹 : 職業ストレスをめぐる抑うつとバーンアウトの関連, 日本社会精神医学会雑誌, 13, pp13-21, 2004. 7
- Matsushita T, Matsushima E : The relationships between QOL (quality of life) and lifestyle among city dwellers, Psychiatry and Clinical Neurosciences, 58, pp642-650, 2004. 12
- 松下年子, 松島英介, 丸山道生 : 消化器癌患者の心理特性, 総合病院精神医学, Vol.17, pp37-47, 2005.1

- ・松下年子, 山崎茂樹: 職業ストレスとアディクション, 日本嗜癖行動学会誌 (アディクションと家族), Vol.21, pp385-392, 2005.1
- ・松下年子, 松島英介, 丸山道生: 癌患者のQOLと心理特性, 癌と化学療法誌, Vol.32, pp209-214, 2005.2
- ・Satoru Kai, Isao Nara: Relationships among Jump Motion Control Ability, Knee Joint Position Sense, and Adjusting Muscle Contraction in Healthy Subjects, J. Phys. Ther. Sci. 16, pp119-127, 2004.12

総説

- ・開原成允: 医療分野ITの現状と課題を探る, WAM
- ・開原成允: 医療情報分野における個人情報保護について, 月間基金
- ・開原成允: 個人情報保護 RICアイ, 労災保険誌
- ・開原成允: 医療分野における人材育成, デジタルメディスン
- ・鈴木洋史, 伊賀立二: 抗アレルギー薬の代謝排泄と薬物間相互作用, Derma, 88, pp73-79, 2004
- ・高柳理早, 伊賀立二: ベンゾジアゼピン系薬剤の高齢者に対する使用上の注意, 治療学 38, pp844-846, 2004
- ・伊賀立二: 医療薬剤学に基づく院内製剤の開発と薬剤の適正使用法の構築に関する研究, 薬剤学 64, pp219-222, 2004
- ・山本武人, 伊賀立二: 血栓症の予防薬・治療薬とその使い方, 臨床婦人科産科 58, pp700-703, 2004
- ・大野能之, 伊賀立二: 臨床の現場での医薬品副作用と対応の仕方, 臨床医 30, pp442-444, 2004
- ・小滝 一, 福田直子, 伊賀立二: Lithiumの副作用・相互作用 最近の報告, 精神科治療学 19, pp403-405, 2004
- ・小滝 一, 福田直子, 伊賀立二: セロトニン作動薬の副作用・相互作用 最近の報告, 精神科治療学 19, pp262-264, 2004
- ・小滝 一, 福田直子, 伊賀立二: セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬の副作用・相互作用 最近の報告, 精神科治療学, 19, pp128-130, 2004
- ・伊賀立二: 小児の薬の剤形と投与経路, 小児科臨床 57, pp515-523, 2004
- ・伊賀立二: 21世紀の医療に貢献する新しい薬剤業務の展開, 薬事新報, No.2298, pp27-31, 2004
- ・伊賀立二: 臨床における薬学の展開-15年の軌跡-, 医療薬学 31, pp1-25, 2005
- ・井上明生: 整形外科の検査とは?, SEIKEIGEKA KANGO, 9, pp206-210, 2004
- ・井上明生: 人工関節全盛時代にあえて反論すれば?骨・関節・靭帯, 17, pp1181-1183, 2004
- ・美濃良夫, 井上明生: 褥瘡対策, ナースビーンズ, 7, pp204-208, 2005
- ・木庭新治, 佐々木淳: 高脂血症と運動療法<1>, COMPLICATION-糖尿病と血管-, Vol.19 No.1, pp67-74, 2004
- ・木庭新治, 佐々木淳: 高脂血症と運動療法<2>, COMPLICATION-糖尿病と血管-, Vol.19 No.2, pp171-179, 2004
- ・木庭新治, 佐々木淳: 高脂血症治療薬による大規模臨床試験, 臨床と研究, Vol.81 No.6, pp98-106, 2004
- ・佐々木淳, 多田紀夫, 寺本民生, 白井厚治: 高脂血症の新しい治療戦略-脂質プロファイルの総合的な改善-, Pharma Medica, Vol.22 No.4, pp95-104, 2004
- ・横川 泰, 佐々木淳: Trial&Meta analysis ASCOT-LLA, 臨床高血圧, Vol.10 No.4, 2004
- ・木庭新治, 佐々木淳: 高脂血症-高齢者における薬剤選択のポイント-, Medicament News, pp15-16, 2004.5.15
- ・佐々木淳: Metabolic Syndromeの運動療法, ドクターサロン, Vol.49 No.2, pp54-56, 2004
- ・木庭新治, 佐々木淳: スタチンの使い分けと特徴, Mebio, Vol.21 No.8, pp107-113, 2004
- ・佐々木淳: 運動療法のメリットとデメリット, Medical View Point, p6, 2005.1.10
- ・佐々木淳: 運動療法と高脂血症, Medical View Point, p6, 2005.2.10
- ・佐々木淳: 運動療法の高血圧, Medical View Point, p6, 2005.3.10
- ・高嶋幸男: こどもの脳病理-ペロキシソーム病, 日本医事新報, No.4173, pp33-36, 2004.4.17

- ・高嶋幸男：こどもの脳病理－低酸素性虚血性脳症，日本医事新報，No.4177，pp33-36，2004.5.15
- ・高嶋幸男：こどもの脳病理－ウイルス性の脳炎，脳症，脳障害，日本医事新報，No.4182，pp33-36，2004.6.19
- ・高嶋幸男：こどもの脳病理－低酸素性虚血性脳症，日本医事新報，No.4186，pp33-36，2004.7.17
- ・長谷川豊：エッセイ，第4回「産婆さん」はNO？，本学広報紙 IUHW，54号，2004.4.20，第5回 英検一級の値打ち，本学広報紙 IUHW，55号，2004.5.20，第6回 “HEALTH FOR ALL” と “ALL FOR HEALTH”，本学広報紙 IUHW，56号，2004.7.20
- ・樋渡正夫：脳卒中医学の最前線，理学療法科学，19，pp27-30，2004
- ・山本澄子：片麻痺者のための短下肢装具の開発，愛知県理学療法士会誌，Vol.16，No.3，pp3-7，2004.10
- ・山本澄子：脳卒中に対する下肢装具療法，Medical Rehabilitation，No.48，pp41-48，2004.12
- ・湯沢八江：Book Review，切れ味のよい論理でステーション発展の方向性を示す，訪問看護と介護，Vol.19 No.12，2004
- ・松下年子，松島英介：特集 サイコオンコロジーの現状と展望，臨床精神医学，Vol.33 特大号，pp541-545，2004.5
- ・松下年子，松島英介：癌患者のQOLの軌道－自記式質問紙（EORTC QLQ）を用いた癌患者のQOL調査から－（その1），精神科「リエゾンと緩和」，Vol.6，2005.3

研究報告

- ・梅内拓生：日本で開発されたワクチンの途上国での応用に関する研究，日本ワクチン開発研究会，東京，2005.3
- ・高柳和枝，木村哲彦：脊髄損傷者の実態とQOL向上の為の順行性強制排便手術，脊髄障害医学会雑誌，Vol.17 No.1，p206
- ・木村哲彦，四宮葉一：膝周囲筋の等尺性筋収縮を誘導させる他動運動機器の膝痛への影響，リハビリテーション医学41，p343
- ・木村哲彦，小澤尚久：膝周囲筋の等尺性筋収縮を誘導させる他動運動機器野開発，リハビリテーション医学41，p343
- ・高柳和枝，木村哲彦：脊髄損傷患者における盲腸ポート手術，リハビリテーション医学41，p343
- ・太田久彦，木村哲彦：リハビリテーション診療データベースの開発－障害構造と診療効果分析の試行リハビリテーション医学，41，p410
- ・高嶋幸男，小沢愉理：新生児，乳幼児の突然死例の診断に関する神経病理学的研究，「乳幼児突然死症候群（SIDS）の診断のためのガイドライン作製および予防と発症率軽減に関する研究」研究班会議，東京ステーションホテル，東京，2004.11.4
- ・高嶋幸男，金海武志，広瀬伸一，伊藤雅之，佐々木，松石豊次郎：高次脳機能形成過程における神経伝達物質の発達の役割，GABAと年齢依存性てんかん，脳科学と教育「神経回路の発達からみた育児と教育の臨界年齢の解明」，東京，2004.12.4
- ・高嶋幸男，小沢愉理：新生児，乳幼児の突然死例の診断に関する神経病理学的研究－SIDS例と正常例の脳幹におけるヒポクレチン（オレキシン）1，2とその受容体の発達の变化に関する研究，「乳幼児突然死症候群（SIDS）の診断のためのガイドライン作製および予防と発症率軽減に関する研究」研究班会議，ルビーホール，東京，2005.2.3
- ・山本澄子：委託研究 シルバーカーの歩きやすさの評価，コンビウエルネス（株）との共同研究
- ・松下年子，平野佳奈，芦野エリ子，榊 明彦：精神科急性期混合病棟入院患者におけるモデル像の獲得と入院体験の意味，精神看護，Vol.7，pp92-98，2004.5
- ・松下年子，松島英介，木野村睦，宮本康史，新貝憲利：慢性期精神科病棟入院患者のQOL（Quality of life）に関する研究，精神医学，Vol.46，pp621-627，2004.6
- ・松下年子，松島英介，丸山道生：一般外科病棟における術後せん妄発生の予測と関連要因に関する日本語版

- NEECHAM 混乱・錯乱状態スケールの臨床的妥当性と有用性, *Quality Nursing*, Vol.10, pp65-73, 2004.7
- ・ 松下年子: 精神科病棟におけるアディクション看護アプローチ, *日本アディクション看護学会誌*, 1, 2004.11
 - ・ 松下年子, 池田真由美, 渡辺英利, 戸賀瀬沙織, 渡辺雅美: 精神科急性期治療病棟内における低構造化プログラムの試み, 第35回日本看護学会論文集—精神看護—, pp30-32, 2004.12
 - ・ 松下年子, 松島英介, 平野佳奈, 芦野エリ子, 榎 明彦: 精神科急性期病棟入院患者のSOC (sense of coherence) 調査, *精神医学*, Vol.47, pp47-55, 2005.1
 - ・ 佐藤健太郎, 松下年子, 桑江みちよ, 長谷川志穂, 芦野エリ子, 榎明彦: 青年期統合失調症患者の家族に関する調査—アディクションの視点から捉える家族背景—, *日本アディクション看護学会学会誌*, Vol.2, pp52-53, 2005.1
 - ・ 平野佳奈, 松下年子, 榎 明彦: 入院中の患者—看護者関係を生かした(継続) 外来看護面接の有効性, *日本アディクション看護学会学会誌*, Vol.2, pp49-51, 2005.1
 - ・ 松下年子, 渡辺雅美: 精神科急性期治療病棟における救急入院様式の意味—入院様式別の看護ケア量と他の臨床変数の比較—, *東京精神病院協会誌*, Vol.86, 東京, 2005.3
 - ・ 松下年子, 松島英介: 中高年齢者のQOL (quality of life) と生活習慣の関連, *東京保健科学学会誌*, Vol.7, pp156-163, 2005.3
 - ・ 中原雅美, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 渡利一生, 吉本龍司, 村上茂雄: 介護老人保健施設における実習の試み(第1報), *リハビリテーション教育研究*, No.9, pp24-26, 2004
 - ・ 梅井凡子, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 中原雅美, 渡利一生, 吉本龍司, 村上茂雄: 物理療法学の授業形態について, *リハビリテーション教育研究*, No.9, pp47-49, 2004
 - ・ 吉本龍司, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 中原雅美, 渡利一生, 村上茂雄: 入学直後における学生の一般的健康調査, *リハビリテーション教育研究*, No.9, pp50-52, 2004
 - ・ 島田千穂(分担研究): 特別養護老人ホームにおける感染予防対策の実態把握, 従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と多面的評価, 課題番号H16—痴呆・骨折—007
 - ・ 丹羽 敦, 長谷麻由, 原口健三: ICFの概念を取り入れた臨床実習の有効性—第1報 臨床実習指導者へのアンケート調査より—, *リハビリテーション教育*, 2005.3
 - ・ 長谷麻由, 丹羽 敦, 原口健三: ICFの概念を取り入れた臨床実習の有効性—第2報 学生へのアンケート調査より—, *リハビリテーション教育研究教育*, 2005.3

講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 開原成允: 医療分野のIT化の現状と課題, SPD研究会, 旭メディカル東京支社, 本郷, 2004.5.20
- ・ 開原成允: 経営審査機構について, 国際医療福祉大学セミナー, ホテルオークラ, 2004.7.16
- ・ 開原成允: 疾病対策と情報管理, JICA集団研修, 国際保健医療交流センター, 2004.7.17
- ・ 開原成允: IT化で医師会の何が変わったのか(テーマに即して), COMINES, 鶴屋百貨店ホール, 熊本, 2004.7.17
- ・ 開原成允: 医療情報学の立場から, 東大法学部シンポジウム・医療情報の保護と医療, 東大山上会館, 2004.7.18
- ・ 開原成允: サプライヤー優先医療からコンシューマ主導の医療福祉へ, 生活産業創出コンソーシアム, 三菱ビルコンファレンススクエア・エムプラス, 2004.8.31
- ・ 開原成允: サービス産業としてみた医療・福祉, 戦略的なヘルスケア産業改革セミナー, 都ホテル, 東京, 2004.9.8-9
- ・ 開原成允: 21世紀におけるITの進歩と医療の調和, 世界医師会, 帝国ホテル, 2004.10.7-8
- ・ 開原成允: 激動する日本の医療と医療産業, 元培大学創立記念シンポジウム, 台湾新竹市, 2004.10.29-30
- ・ 鎌倉矩子: 教育講演, 行く手は患者が告げている—高次脳機能障害者がさまざまに示す前進への手がかり—, 第38回日本作業療法学会, 長野県社会福祉総合センター, 長野市, 2004.6.24

- ・鎌倉矩子：作業療法の成果はどのように確認すべきか，第37回日本作業療法士協会全国研修会，佐賀市文化会館，佐賀市，2004.10.9
- ・鎌倉矩子：高次脳機能障害と向き合うー作業療法の観点から，東京都リハビリテーション医師研修会，東京都医師会館，東京，2004.11.02
- ・鎌倉矩子：作業療法にできること，第二回初台リハビリテーション指導者養成講習会（CBR主催），初台リハビリテーション病院，東京，2004.12.18
- ・安徳恭演：頭痛への対応，健康管理講演会，佐賀市文化会館，2005.3.18
- ・伊賀立二：学術大会特別講演，くすりと健康食品の相互作用，日本食品化学会第10回総会，大阪，2004.6
- ・伊賀立二：日本薬剤学会学会賞受賞講演，医療薬剤学に基づく院内製剤の開発と薬剤の適正使用法の構築，千葉，2004.7
- ・伊賀立二：平成16年度石巻薬剤師会特別講演，石巻，2004.9
- ・伊賀立二：薬剤師サンデー勉強会特別講演，新しい薬剤師像を目指してー薬学教育6年制への対応ー，小山，2004.11
- ・伊賀立二：日本医薬情報センター職員研修会講演，医薬品の適正使用と情報提供，2004.12
- ・池崎清信：小児脳血管障害の診断と治療，第4回神経科学セミナー，東京，2004.8.7
- ・Ikezaki K：Clinical Management of Moyamoya Disease，1st ACNS/AASNS/WFNS Joint Educational Meeting，Bali，Indonesia，2004.12.2
- ・Ikezaki K：Cerebellomedullary Fissure Approach to the 4th Ventricular Tumors，1st ACNS/AASNS/WFNS Joint Educational Meeting，Bali，Indonesia，2004.12.3
- ・井上明生：講演 ①整形外科とは ②人工股関節置換術を受けた患者さんの病棟管理，メディカ出版 看護セミナー，神戸，2004.6.13
- ・井上明生：講演 ①整形外科とは ②人工股関節置換術を受けた患者さんの病棟管理，メディカ出版 看護セミナー，名古屋，2004.6.27
- ・井上明生：講演 ①整形外科とは ②人工股関節置換術を受けた患者さんの病棟管理，メディカ出版 看護セミナー，東京，2004.7.11
- ・井上明生：Chiari osteotomy in adults，Prof. Rowe 退職記念学術集会，光州，韓国，2004.8.27
- ・井上明生：特別講演「私と股関節外科」，日整会教育研修講演，第31回日本股関節学会，長崎，2004.10.16
- ・井上明生：講演 ①看護スタッフが関係する病棟に於けるリハビリテーション ②病棟に於ける転倒・骨折の予防，メディカ出版 看護セミナー，東京，2004.10.24
- ・井上明生：講演 ①看護スタッフが関係する病棟に於けるリハビリテーション ②病棟に於ける転倒・骨折の予防，メディカ出版 看護セミナー，大阪，2004.10.31
- ・梅内拓生：性感染症と性教育，新潟大学公衆衛生研究会，新潟市，2004.9
- ・梅内拓生：21世紀の地域医療と福祉を目指して，古川市地域医療研究会，2004.11
- ・梅内拓生：日本が期待されている老人介護，青梅保健医療研究会，青梅市，2004.12
- ・大橋昌夫，小野恭裕：糖尿病合併高血圧の治療におけるARB製剤の位置付け，三共株式会社社内教育講演，久留米，2005.2.1
- ・大橋昌夫：2004年糖尿病学会より，筑後地区管理栄養士勉強会，大川，2004.11
- ・木村哲彦：会長教育講演 高齢化社会を乗り切るための医療福祉連携ー高齢化社会なんか怖くないー，バイオフィリア・リハビリテーション学会
- ・木村哲彦：会長講演 高齢化社会に資する医療・福祉連携のために，生活支援工学会，岩手，2004.08.25
- ・佐々木淳：動脈硬化性疾患のリスクファクターをどう考えるかー高脂血症の立場から，マルチプルリスクファクター

研究会, 仙台市, 2004.6.5

- ・ 佐々木淳: 動脈硬化性疾患のリスクファクターをどう考えるかー高脂血症の立場から, 日本高血圧学会生涯教育講座, 札幌, 2004.6.26
- ・ 佐々木淳: エビデンスに基づいた高脂血症治療の実際ーとくに食事, 運動療法, 市原脂質代謝懇話会, 市原市, 2004.7.21
- ・ 佐々木淳: 心血管イベントに対するエビデンスーKLISを中心にー, Circulation Forum Today 2004 in Kyoto, 京都市, 2004.7.29
- ・ 佐々木淳: 全科のための脂質管理の実際ーKLISから学ぶー, 米沢市医師会講演会, 南陽市, 2004.7.31
- ・ 佐々木淳: 薬剤師のための脂質学ー長期投薬におけるポイントー, 薬剤師生涯教育研修会, 横須賀市, 2004.8.23
- ・ 佐々木淳: 高脂血症の治療戦略とガイドライン, 日本医師会生涯教育認定, 日本内科学会認定内科専門医資格更新認定, 京都府医師会研修会, 日本臨床内科医会指定研修会, 京都市, 2004.10.2
- ・ 佐々木淳: 全科のための脂質管理の実際ー外来診療を中心にー, 藤沢市高脂血症研修会, 藤沢市, 2004.10.22
- ・ 佐々木淳: メタボリックシンドロームの治療戦略, 宇部市医師会, 山口大学医師会研修会, 日本医師会生涯教育認定研修会, 小郡市, 2004.11.2
- ・ 佐々木淳: 全科のための脂質管理の実際ー外来診療を中心にー, 日本医師会生涯教育講座, 横須賀市医師会研修会, 横須賀市, 2004.11.5
- ・ 佐々木淳: エビデンスに基づく高齢者高脂血症治療の実際, 第15回全国介護老人保健施設香川大会, 高松市, 2004.11.10
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 千葉高脂血症フォーラム, 千葉市, 2004.11.20
- ・ 佐々木淳: 日本人における高脂血症治療戦略, 宮崎県内科医会研修会, 宮崎市, 2004.11.22
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 北九州循環器フォーラム, 小倉市, 2004.11.27
- ・ 佐々木淳: 動脈硬化性疾患予防のためにーKLISが初めて示した初発抑制のエビデンスー, 高脂血症カンファレンス 2005, 東京, 2005.1.15
- ・ 佐々木淳: 生活習慣病パネル討論, 第5回BUNGOP生活習慣病フォーラム, 大分市, 2005.1.14
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 21世紀日本人の新血管病対策研修会, 東京, 2005.3.17
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 南那珂医師会研修会, 日南市, 2005.3.25
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 亀田総合病院卒後研修会, 鴨川市, 2005.2.17
- ・ 佐々木淳: 日本人のエビデンスを基にしたスタチンの使い分け, 安房医師会研修会, 館山市, 2005.2.18
- ・ 杉森 甫: 婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構, 第56回日本産科婦人科学会総会 (ランチョン・セミナー), メリディアン・ホテル, 東京, 2004.4.12
- ・ 杉森 甫 (座長): 第3回日韓婦人科腫瘍カンファレンス, シーラ・ホテル, 濟州島, 2004.4.22
- ・ 杉森 甫: 九州連合会20年の回顧, 第20回日本臨床細胞学会九州連合会, 熊本市産業文化会館, 熊本, 2004.9.4
- ・ Takashima S: Developmental neurotransmitters pathology in SIDS (Plenary lecture), SIDS International Conference in Canada, Edmonton, 2004.7.3
- ・ Takashima S: Pathogenesis, plasticity and prevention of perinatal hypoxic- ischemic brain damage, 8th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology, New Delhi, 2004.10.8
- ・ 高嶋幸男: 発達期における大脳の易障害性と可塑性, 第5回宮崎小児神経セミナー, 宮崎, 2004.6.18
- ・ 高嶋幸男: 発達遅滞児の早期診断と早期療育, 筑後小児科医会セミナー, 久留米, 2004.11.24
- ・ 高嶋幸男: 周産期の微細脳損傷と可塑性, 第18回京滋未熟児新生児研究会, 府立医大, 京都, 2004.11.27

- ・ 田中俊一：医療機関とSMO，平成16年度CRC養成研修講演，独立行政法人医薬品医療機器総合機構主催，東京，2004.9.10
- ・ 田中俊一：大学教育におけるCRC教育の養成，第4回CRCと臨床試験を考える会議2004 in 宇部，宇部市，2004.10.10
- ・ 中山広宣：研究と論文，福岡県作業療法協会生涯教育研修会，柳川リハビリテーション学院，柳川，2005.8.22
- ・ 野口隆志：第4回CRCと臨床試験のあり方を考える会，宇部，2004.10.8-10
- ・ 野口隆志：日本科学療法学会・日本感染症学会東日本支部合同総会，新潟，2004.10.20-23
- ・ 野口隆志（座長）：第7回治験の国際化シンポジウム，横浜，2004.9.4
- ・ 野口隆志（座長）：第9回医薬品開発基礎研究会，東京，2004.12.3
- ・ 樋渡正夫：呼吸・循環器疾患における病態生理，那須呼吸器リハビリテーション研究会
- ・ 樋渡正夫：理学療法士研修会
- ・ 山本澄子：動作分析にもとづく片麻痺者のために短下肢装具の開発，日本機械学会バイオサロン，日本機械学会，東京，2004.4.2.
- ・ 山本澄子：臨床に役立つバイオメカニクスー片麻痺歩行と装具ー，京都府理学療法士会，キャンパスプラザ京都，京都，2004.6.20
- ・ 山本澄子：AFO Biomechanics, Symposia, International Conference of Prosthetics and Orthotics, HongKong, 2004.8.3
- ・ 山本澄子：Introduction of an Ankle-Foot-Orthosis, Huddinge Hospital, Stockholm, 2004.8.19
- ・ 山本澄子：健常者の歩行，動作分析実習セミナー，麻生塾リハビリテーション専門学校，福岡，2004.9.9-12
- ・ 山本澄子：片麻痺歩行と装具の基礎力学，フィジオセンター・セミナー，フィジオセンター，東京，2004.9.25-26
- ・ 山本澄子：関節モーメントとは何か，国際医療福祉大学動作分析実習セミナー，国際医療福祉大学乃木坂キャンパス，東京，2004.9.30-10.3
- ・ 山本澄子：片麻痺歩行と装具のバイオメカニクス，神奈川県理学療法士会，昭和大学，神奈川，2004.10.17
- ・ 山本澄子：脳卒中片麻痺患者の歩行と装具療法ー動作分析装置から得られるデータの分析および臨床への応用ー，誠愛リハビリテーション病院研修会，誠愛リハビリテーション病院，福岡，2005.1.8-10
- ・ 山本澄子：動作分析にもとづく片麻痺歩行のための短下肢装具の開発，広島義肢装具研究会，広島大学，広島，2005.1.30
- ・ 山本澄子：健常歩行，動作分析実習セミナー，新潟医療福祉大学，新潟，2005.2.19-22
- ・ 山本澄子：臨床介護分野への工学的アプローチー臨床ともものづくりのギャップを埋めるためにはー，とちぎロボットテクノロジー研究会，サンシャインホテル，宇都宮，2005.3.9
- ・ 山本澄子：関節モーメントの考え方，動作分析実習セミナー，沖縄リハビリテーション専門学校，沖縄，2005.3.24-27
- ・ 湯沢八江：看護職の経営参画，第8回日本看護管理学会，宇都宮，2004.8.20
- ・ 北川 明：臨床試験における中央治験審査委員会の効率的な利用について，臨床薬理学会年会
- ・ 北川 明：Clinical Trial Network in Private Hospitals, DIA
- ・ 松下年子：米国におけるアメリカアディクション看護の歴史とシステムについてー米国視察報告ー，第3回日本アディクション看護学会分代会，タワーホール船堀，東京，2004.11.7
- ・ 松下年子：がん患者とメンタルヘルス，乃木坂スクール 在宅ケア時代の訪問看護ストラテジー 講座（7回目），国威医療福祉大学大学院，東京，2004.11.13
- ・ 松下年子：公開講座「子育てと危機 子どもとどう向き合うか」，「看護師・保健師の立場から，子どもとの向き合い方について」，国際医療福祉大学，大田原，2004.11.20
- ・ 丹羽 敦：ICFの基礎，長崎県作業療法協会現職者研修会，2004.11.27
- ・ 丹羽 敦：アクティビティの効果・有効性について，福岡県作業療法協会研修会，2005.2.18

学会発表

- S Kaihara : Requirements for HER and Healthcare Registries with an experience in Japan, European Federation of Medical Informatics, Prague, 2004.4
- 開原成允 : 電子カルテは本当に役に立つのか?, 医療マネジメント学会, 長崎ハウステンボス, 2004.11.19-20
- 種村留美, 八田達夫, 鎌倉矩子 : エラー特性分類表を用いた失行症例の検査場面と生活場面での動作・行為特徴の検討, 第38回日本作業療法学会, 長野市, 2004.6.26
- 山鳥 重, 鎌倉矩子 (座長) : シンポジウムー生活の中の認知障害, 第28回日本神経心理学会総会, 2004.9.18
- K Tsukamoto, Y Miyoshi, H Nagino, K Oshida, S Wada, Y Antoku : Very Long Chain Saturated Fatty Acid Study 1, Hexacosanoic acid (C26 : 0) in red blood cell membranes can be a new risk factor for atherosclerosis, AOCS (american oil chemists society) Ohio, 2004.5
- K Oshida, Y Asano, M Takase, K Tsukamoto, Y Miyoshi, H Nagino, Y Antoku, Y Tamura, H Hayasawa1, Very Long Chain Saturated Fatty Acid Study 2, Effect of dietary fish oil containing long chain monounsaturated fatty acids (LC-MUFA) on the hexacosanoic acid (C26 : 0) content of red blood cell membranes in healthy male volunteers, AOCS (american oil chemists society) , Ohio, 2004.5
- K Oshida, Y Antoku, Y Asano, M Takase, Y Tamura, H Hayasawa1 : Very Long Chain Saturated Fatty Acid Study 3, Effect of dietary fish oil containing long chain monounsaturated fatty acids (LC-MUFA) on risk factors for atherosclerosis in Watanabe heritable hyperlipidemic (WHHL) rabbits, AOCS (american oil chemists society) , Ohio, 2004.5
- S Wada, Y Kitamura, K Oshida, Y Asano, Y Tamura, N Gotoh, Y Antoku : Very Long Chain Saturated Fatty Acid Study 4 : Oxidative Stability and Flavor of Capelin Oil for Functional Foods, AOCS (american oil chemists society) , Ohio, 2004.5
- Ishiguro A, Kubota T, Sasaki H, Ishikawa H, Iga T : Correlation of CYP2D6 genotype and phenotype for dextromethorphan O-demethylation in Japanese, Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, 2004.5
- Yamamoto T, Ozeki K, Kubota T, Sawada M, Tokota S, Kumagai Y, Iga T : Effect of CYP3A5 genetic polymorphism on the pharmacokinetics of diltiazem, Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, 2004.5
- Uchino T, Arai K, Takao A, Suzuki H, Iga T : Inclusion compound formation of all-*trans* retinoic acid with hydroxy β -cyclodextrin, Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, 2004.5
- 大野能之, 中島裕子, 草間真紀子, 関根祐子, 武田 豊, 青山隆夫, 中村 均, 伊賀立二, 鈴木洋史 (共同発表) : 腎排泄寄与率評価のための添付文書およびインタビューフォームにおける体内動態情報の現状と問題点, 第14回医療薬学会, 千葉, 2004.10
- 草間真紀子, 生越和美, 大野能之, 清野敏一, 中島克佳, 中村 均, 伊賀立二, 鈴木洋史 (共同発表) : ビグアナイド系経口糖尿病用薬の使用実態調査と適正使用に関する検討, 第14回医療薬学会, 千葉, 2004.10
- 徳田篤志, 柳原良次, 大村幸子, 猿渡 充, 黒川陽介, 青山隆夫, 山上 聡, 伊賀立二, 鈴木洋史 (共同発表) : コハク酸メチルプレドニゾロン点眼液の製剤学的検討と臨床適用, 第14回医療薬学会, 千葉, 2004.10
- 丸山知恵美, 杉浦宗敏, 長瀬幸恵, 清野敏一, 青山隆夫, 中村 均, 伊賀立二, 鈴木洋史 (共同発表) : 新人薬剤師のための実例処方せんを利用した調剤教育システムの構築と評価, 第14回医療薬学会, 千葉, 2004.10
- 高山和郎, 内田美保, 新谷良澄, 森屋恭爾, 青山隆夫, 中村 均, 小池和彦, 伊賀立二, 鈴木洋史 (共同発表) : 東大病院におけるインフルエンザ感染症対策と薬剤師の役割ー院内感染制御チーム (ICT) と薬剤部の連携ー, 第14回医療薬学会, 千葉, 2004.10
- Ikezaki K (座長) : Symposium/ Brain Tumor, 1st ACNS/AASNS/WFNS Joint Educational Meeting, Bali, Indonesia, 2004.12.2

- ・ Ikezaki K (座長) : Meningioma, 7st Asian-Oceanian International Congress on Skull Base Surgery, Taipei, Taiwan, 2004.4.16
- ・ 池崎清信 (コメンテーター) : 腫瘍2, 第19回 日本脳神経外科国際学会フォーラム, 札幌, 2004.7.16
- ・ 井上明生 : shelfおよびRAO術後の成績不良例に対するキアリ骨盤骨切り術, 第10回 関節炎・リウマチセミナー, 松山, 2004.9.18
- ・ 梅内拓生 他 : Communityにおける保健活動への助産師の役割, 諸外国との比較から, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 国際協力と助産師の役割, 助産教育に関する検討, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 母子保健に関する日本とボリビアの比較, 低出生体重児を中心に, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 思春期の性意識・性行動に関する研究 第2報, 諸外国における思春期の性感染症および人工妊娠中絶の現状の比較による日本の助産師の役割の可能性, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 日本における出生率現象の検討, 国際比較による日本の位置づけ, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 日本における車いす事故の現状と対策, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : 各国における理学療法士制度の違いとその背景, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ 梅内拓生 他 : なぜ外国の水は飲めないと言われているか?, 水質管理基準と硬度の比較から, 日本国際保健医療学会, 東京, 2004.10
- ・ Takusei Umenai, et al : Study on International Primary health care collaboration projects in Nepal from the view point of Traditional Nepal Culture.
- ・ 梅内拓生 他 : 性感染症の疫学と教育に関する研究, 日本性感染症学, 東京, 2004.12
- ・ 大橋昌夫, 鐘ヶ江佳子 : 糖尿病教室におけるバイキング形式食事会の継続意義, 第42回 日本糖尿病学会九州地方会, 佐世保, 2004.10.22
- ・ 大橋昌夫, 坂本理笑子 : 肝膿瘍を合併した2型糖尿病の一例, 第42回 日本糖尿病学会九州地方会, 佐世保, 2004.10.22
- ・ 大橋昌夫, 藤松里美 : 微小血管心筋虚血によりうっ血性心不全を呈したと考えられる糖尿病の一例, 第42回 日本糖尿病学会九州地方会, 佐世保, 2004.10.22
- ・ 大橋昌夫, 坂本理笑子 : 著明な高脂血症を伴った急性膵炎の一例, 第100回 九州大学第3内科同門会, 福岡市, 2004.11.23
- ・ 大橋昌夫, 坂本理笑子 : I型糖尿病2例の臨床経過 (自己免疫性と劇症型), 第268回 日本内科学会九州地方会, 福岡市, 2005.2.4
- ・ 木村哲彦 : 日本機械学界シンポジウム
- ・ 木村哲彦 : リハビリテーション医学会
- ・ 木村哲彦 : せき髄障害学会
- ・ 木村哲彦 : 病院管理学会
- ・ 木村哲彦 : リハビリテーション・ネットワーク研究会
- ・ 佐々木淳 (座長) : シンポジウム7 小児・若年者の動脈硬化, 第36回日本動脈硬化学会総会, 福岡, 2004. 7.24
- ・ 佐々木淳, 上田正人 : 「Lp(a)カンファレンス」主催, 福岡, 2004.7.23
- ・ 佐々木淳 : Differences in coronary event risk factors between men and women in Japanese hypercholesterolemic patients treated with low-dose simvastatin, 74th EAS congress, sevilla, Spain, 2004.4.17-20
- ・ 佐々木淳 (座長) : Beyond Cholesterolを考える, 21世紀におけるメタボリックシンドロームと動脈硬化治療の最前線,

大阪市, 2004.6.12

- Hirose S, Fukuma G, Kanaumi T, Ueno S, Ishii A, Haga Y, Hamachi A, Yonetani M, Itoh M, Takashima S, Kaneko S, Mitsudome A : A novel nonsense mutation of GABRG2 leads to aggregation of GABA_A receptors in neurons, Neuroscience 34th Annual Meeting, San Diego, 2004.10.23-27
- Hirose S, Fukuma G, Kanaumi T, Ueno S, Ishii A, Haga Y, Hamachi A, Yonetani M, Konashi A, Takashima S, Kaneko S, Mitsudome A : Apoptosis due to endoplasmic reticulum stress may be associated with the pathogenesis of severe myoclonic epilepsy in infancy resulting from channel mutations, 8th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology, New Delhi, 2004.10.8
- Kanaumi T, Fukuma G, Ueno S, Ishii A, Haga Y, Hamachi A, Yonetani M, Itoh M, Takashima S, Kaneko S, Mitsudome A, Hirose H : Possible pathogenesis of severe myoclonic epilepsy in infancy, A novel nonsense mutation of GABRG2 leading to aggregation of GABA_A receptors in neurons, 5th Asian and Oceanian Epilepsy congress (AOEC) , Bangkok, 2004.8.28
- 金海武志, 高嶋幸男, 岩崎 宏 : ビタミンB12非反応性メチルマロン酸血症の神経病理, 第5回日本神経病理学会, 前橋, 2004.5.28
- 小沢愉理, 高嶋幸男, 野中博子, 多田 裕 : Hypocretin-1, 2のSIDSの脳幹における発達的变化に関する検討, 第40回日本周産期・新生児学会, 東京, 2004.7.13
- 金海武志, 高嶋幸男, 山下文雄, 木村英雄 : ダウン症候群における早発老化 ; アルツハイマー型痴呆と硫化水素合成酵素, 第30回日本重症心身障害学会, 旭川, 2004.9.9
- 岡 明, 高嶋幸男 : Seckel症候群原因遺伝子産物ATRの発達期ヒト脳での発現, 日本小児神経学会
- 金海武志, 高嶋幸男, 廣瀬伸一, 岩崎 宏, 満留昭久 : GABA(A)受容体alpha1サブユニットとgamma2サブユニットの年齢依存性発達, 第46回小児神経学会, 東京, 2004.7.15
- 金海武志, 安達正武, 高嶋幸男, 岩崎 宏 : 在胎19週の裂脳症の剖検例 (開頭のみ) , 第78回九州病理集談会, 奄美大島, 2004.7.3
- 金海武志, 廣瀬伸一, 高嶋幸男, 岩崎 宏, 満留昭久 : 新生児期発症のビタミンB12非依存型メチルマロン酸血症剖検例, 第47回日本先天代謝異常学会, 宇都宮, 2004.11.11
- Tanaka S : ISO/TC 173/WG 1/N-288 “Basic summary for proposing a standard on tip friction” , ISO/TC 173/WG 1/ meeting, Valencia, Spain, 2004.5.7
- Tanaka S : ISO/TC 173/WG 1/N-283 “Tips for Walking Aids—part 1 : Friction Test Test Methods” , ISO/TC 173/WG 1/ meeting, Valencia, Spain, 2004.5.7
- 田中 繁 : 環境照度と作業効率との関係について—統合失調症者との比較を目的として—, 第45回日本人間工学会, 2004.6.5-6
- Tanaka S : Development of light weight prosthetic foot, The 11th World Congress of the International Society for Prosthetics and Orthotics, Hong Kong
- Tanaka S : A Survey on standards for assistive production in Asian countries, The 11th World Congress of the International Society for Prosthetics and Orthotics, Hong Kong
- 北川 明, 中原綾子, 田中俊一, 山崎 力 : 演題1-3, 臨床試験分野における中央治験審査委員会の効率的な利用について, シンポジウム1<臨床試験分野>, 日本臨床薬理学会, 静岡, 2004.9
- 中原綾子, 北川 明, 田中俊一, 山崎 力, 折井孝男 : CRC大学院教育の現状 (17P-19) , シンポジウム1<臨床試験分野>, 日本臨床薬理学会, 静岡, 2004.9
- 北川 明, 中原綾子, 田中俊一, 山崎 力, 折井孝男 : 臨床試験のコスト削減とCRC教育への利用を目指したAROの

- 取り組み (17P-20) , シンポジウム1<臨床試験分野>, 日本臨床薬理学会, 静岡, 2004.9
- ・ 中山広宣 : 幾何学図課題における統合失調症者の視覚認知機能, 第38回日本作業療法学会, 長野, 2004.6.25
 - ・ 川辺千鶴子, 中山広宣 : 健常者における「表情」の探索眼球運動の特徴, 第38回日本作業療法学会, 長野, 2004.6.25
 - ・ 中山広宣 : 不安障害者に対するビデオを用いた認知療法の効果, 第34回日本臨床神経生理学会, 東京, 2004.11.17
 - ・ 川辺千鶴子, 中山広宣 : 母子を提示図とした比較照合課題における統合失調症者の探索眼球運動の特徴, 第34回日本臨床神経生理学会, 東京, 2004.11.17
 - ・ 石原浩二, 中山広宣 : 作業療法学科学生の見覚認知機能と成績の関係, 第50回九州精神保健学会, 佐賀, 2004.11.20
 - ・ 高森進一, 中山広宣 : パーキンソン病患者の見覚空間認知の検討, 第50回九州精神保健学会, 佐賀, 2004.11.20
 - ・ 中山広宣 (座長) : 第38回日本作業療法学会, 長野, 2004.6.26
 - ・ 野口隆志 : 日本感染症学会総会, 東京, 2004.4.6-7
 - ・ 野口隆志 : 日本薬物動態学会, 東京, 2004.4.15-16
 - ・ 野口隆志 : 日本臨床薬理学会, 静岡, 2004.9.16-18
 - ・ 野口隆志 : 日本薬物動態学会, 金沢, 2004.11.18-20
 - ・ 野口隆志 : 日本化学療法学会, 沖縄, 2004.5.3-5
 - ・ 野口隆志 : Bacterial Adherences & Biofilm, 東京, 2004.7.3
 - ・ 野口隆志 : 創薬ビジョンシンポジウム, 東京, 2004.9.30-10.1
 - ・ 野口隆志 : 日本学会議薬学研連シンポ, 東京, 2004.10.15
 - ・ 野口隆志 : 日本医師会フォーラム, 東京, 2004.11.3
 - ・ 野口隆志 : 東アジア感染症制御カンファレンス, 東京, 2004.11.12
 - ・ 野口隆志 : 真菌フォーラム, 東京, 2005.1.29
 - ・ 野口隆志 : 緑膿菌研究会, 神戸, 2004.2.4-6
 - ・ 野原功全 (座長) : 機器技術・PET技術(1), 第44回日本核医学会総会, 国立京都国際会館, 2004.11.5
 - ・ 西田祐介, 樋渡正夫, 丸山仁司 : 施設入所高齢者に対する12週間の低強度運動負荷トレーニングプログラムの効果, 自律神経活動・運動機能に及ぼす影響, 理学療法士学会
 - ・ 金子純一郎, 黒澤和生, 樋渡正夫 他 : 壮年期有訴者の活動状況と運動機能の関係, 理学療法士学会
 - ・ 森沢知之, 金子純一郎, 樋渡正夫 他 : 胸部外科術後早期からの肺機能の推移, 理学療法士学会
 - ・ 高橋邦泰, 樋渡正夫 : 第3回全国障害者スポーツ大会参加都道府県, 政令市選手団のメディカルチェック実施状況について, 日本臨床スポーツ医学会
 - ・ Yae Yuzawa : New challenges for elderly care system in Japan, 46th Western Social Science Association, Salt Lake City, USA
 - ・ 北川 明 : 臨床試験のコスト削減とCRC教育への利用を目指したAROの取り組み, 臨床薬理学会年会
 - ・ 松下年子, 松島英介, 森尾友宏, 水谷修紀, 角田由美子, 有江典子 : 長期入院治療を要する悪性疾患患者を抱えた母親の心理 (1) , 第17回日本サイコオンコロジー学会総会, 福岡, 2004.5.13-14
 - ・ 松下年子, 村田比奈子, 松島英介, 麻生武志 : 婦人科腫瘍患者の心理特性, 第17回日本サイコオンコロジー学会総会, 福岡, 2004.5.13-14
 - ・ 村田比奈子, 松下年子, 松島英介, 麻生武志 : 婦人科腫瘍患者のQOL, 第17回日本サイコオンコロジー学会総会, 福岡, 2004.5.13-14
 - ・ 三並淳一, 松下年子, 芦野エリ子 : 急性期治療病棟における統合失調症患者を対象とした集団精神療法の試みの振り返り, 第29回日本精神科看護学会秋田大会, 秋田, 2004.5.26-28
 - ・ 池田真由美, 松下年子, 渡辺英利, 渡辺雅美 : 精神科急性期治療病棟内における低構造化プログラムの有効性, 第36回日本看護学会—精神看護—, 大阪, 2004.7.19-20

- ・河野裕太, 松下年子, 松島英介, 丸山道生: 消化器がん患者の退院後の心理的苦痛とQOL, 第3回文京緩和医療研究会, 東京, 2004.8.28
- ・松下年子, 山崎茂樹: 職業ストレスとアディクション, 第12回東京保健科学学会学術集会, 東京, 2004.9.25
- ・玉田陽子, 松下年子, 渡辺雅美, 小森藍子, 古賀 誠: 急性期治療病棟プログラムにおける患者-スタッフ間の関係性に関する研究-“もてなし”をめざした作業プログラム「一休3」をめぐる-, 第47回日本病院・地域精神医学会総会, 神戸, 2004.10.1-2
- ・松下年子, 渡辺雅美: 精神科急性期治療病棟における救急入院様式の意味-入院様式別の看護ケア量と他の臨床変数の比較-, 第19回東京精神病院協会学会, 東京, 2004.10.29
- ・根間真一, 松下年子, 大林領子, 畠山辰夫, 三枝美樹夫: 精神科デイ・ケア通所者における喫煙・飲酒行動, 日本アディクション看護学会第3回学術大会, 東京, 2004.11.6-7
- ・松下年子, 大木友美, 濱島 央, 松島英介: 外科的治療を受ける患者のSOC (Sense of Coherence), 第17回日本総合病院精神医学会総会, 東京, 2004.11.26-27
- ・小林未果, 松下年子, 濱島 央, 松島英介: 消化器系がん患者の入院時・退院時におけるQOLと心理特性, 第17回日本総合病院精神医学会総会, 東京, 2004.11.26-27
- ・松下年子, 松島英介: 癌患者の心理特性とSOC (Sense of Coherence), 第24回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2004.12.4-5
- ・吉本龍司, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 中原雅美, 山川志子, 渡利一生, 村上茂雄, 高橋精一郎: 学生の理学療法士に対する意識調査-ダイヤモンドランキングを用いて-, 第10回教育研究大会, 全国私立リハビリテーション学校連絡協議会, 秩父, 埼玉県, 2004.8.26
- ・中原雅美, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 山川志子, 渡利一生, 吉本龍司, 村上茂雄, 高橋精一郎: 介護老人保健施設での実習の試み (第2報), 第10回教育研究大会, 全国私立リハビリテーション学校連絡協議会, 秩父, 埼玉県, 2004.8.26
- ・中原雅美, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 山川志子, 渡利一生, 吉本龍司, 村上茂雄, 高橋精一郎: 当学院における介護老人保健施設での実習の試み (第2報), 第26回九州PTOT合同学会, 長崎市, 2004.10.31
- ・吉本龍司, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 中原雅美, 山川志子, 渡利一生, 村上茂雄, 高橋精一郎: 当学院学生の理学療法士についての意識調査-ダイヤモンドランキングを用いて-, 第26回九州PTOT合同学会, 長崎市, 2004.10.31
- ・宮崎至恵, 森田正治, 甲斐 悟, 梅井凡子, 中原雅美, 山川志子, 渡利一生, 吉本龍司, 村上茂雄, 高橋精一郎: 静止立位における足圧中心と足圧分布, 第26回九州PTOT合同学会, 長崎市, 2004.10.31
- ・村上茂雄, 森田正治, 宮崎至恵, 甲斐 悟, 梅井凡子, 中原雅美, 山川志子, 渡利一生, 吉本龍司, 高橋精一郎: 情意面での社会人経験者と未経験者の違い~情動知能指数 (EQS) を用いて~, 第26回九州PTOT合同学会, 長崎市, 2004.10.31
- ・宮崎至恵, 甲斐 悟, 森田正治, 中原雅美, 山川志子, 渡利一生, 松崎秀隆, 吉本龍司, 村上茂雄, 高橋精一郎: 静止立位姿勢における重心点の偏移~スポーツ歴や履物による影響~, 第14回福岡県理学療法士学会, 大野城市, 2005.2.27
- ・島田千穂: Comparison of end-of-life care evaluation between visiting nurses and family caregivers, The International Federation On Ageing 7th Global Conference, Singapore, 2004.9
- ・丹羽 敦, 長谷麻由, 原口健三: ICFの概念を取り入れた臨床実習の有効性, -第1報 臨床実習指導者へのアンケート調査より-, 第10回教育研究大会, 全国私立リハビリテーション連絡協議会, 秩父, 埼玉県, 2004.8.26

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，その他研究助成金）

- ・ 開原成允：国際的動向を視野に入れた医薬品安全性情報の電子的伝達システムに関する研究，厚生科学研究，医薬安全総合研究事業，継続
- ・ 開原成允：国際的動向を踏まえた医薬品等の新たな有効性および安全性の評価に関する研究，厚生科学研究，医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業，分担研究
- ・ 開原成允：UMLSと連携する日本語医学用語シソーラスの実用性に関する評価研究，厚生科学研究，医薬技術評価総合研究事業，分担研究
- ・ 伊賀立二：薬学実務実習カリキュラムを円滑に実施するための企画調査研究（研究代表者 井上圭三）（研究分担者），平成17年度科学研究費補助金，基盤研究(C)，企画調査
- ・ 伊賀立二：薬学実務実習開始前の臨床能力評価法に関する調査研究（研究代表者 望月正隆）（分担研究者），平成17年度科学研究費補助金，基盤研究(C)，企画調査
- ・ 木村哲彦：リハビリテーション工学系専門職の養成に関わるあり方について，テクノエイド協会，厚生労働省委託
- ・ 佐々木淳（分担），斉藤 康（代表）：日本人における総コレステロール目標値に関する研究，原発性高脂血症に関する調査研究，厚生労働省，特定疾患対策事業，2004
- ・ 高嶋幸男：平成16年度文部科学省科学研究費，一般研究(B)
- ・ 高嶋幸男：平成16年度厚生労働省厚生科学研究
- ・ 田中 繁：義肢装具士および福祉用具関連専門職のあり方，およびその養成に関わる大学・大学院・関連施設のあり方に関する調査事業（受託研究），テクノエイド協会（厚生労働省関係），2004.10
- ・ 長谷川豊：ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業，独立行政法人・国際協力機構（JICA），2005.3.2
- ・ 樋渡正夫：高齢者の健康増進のための運動はどこまで強度を下げても有効か？，文部科学省，平成16年度科学研究費補助金，基盤研究(C)(2)
- ・ 山本澄子，勝平純司，渡辺仁史 他（分担研究）：加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究，平成15～18年度文部科学省科学研究費補助金，基盤研究（A），継続
- ・ 山本澄子，安井 匡 他（分担研究）：油圧を利用した短下肢装具の開発，新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO），継続
- ・ 足立 啓，湯沢八江，松下年子，島田千穂（分担研究）：従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と効果の多面的評価，平成16年度厚生労働科学研究費補助金，痴呆・骨折臨床研究事業，007
- ・ 辻 明良，湯沢八江（分担研究）：高齢者介護施設における感染管理のあり方に関する研究，厚生労働科学特別研究，平成16年度厚生労働科学研究費補助金
- ・ 松島英介，松下年子：がん医療における緩和医療及び精神腫瘍学の在り方とその普及に関する研究－平成15年度総括・分担研究報告書－2004年度厚生労働科学研究費補助金 効果的医療技術の確立推進臨床研究事業
- ・ 松下年子，松島英介：国内外における悪性腫瘍を中心とした尊厳死に関する研究－オーストラリアにおける終末期医療および尊厳死の実態－2004年度厚生労働科学研究費補助金 厚生労働科学特別研究事業
- ・ 松島英介，松下年子，野口 海：我が国における尊厳死に関する研究，平成16年度厚生労働科学研究費補助金
- ・ 島田千穂（研究協力者）：患者団体による医療者への講義の影響測定，ファイザー財団若手研究者育成事業

所属学会

- ・ 開原成允：日本医療情報学会，American Association of Medical Informatics，International Medical Informatics Association，American College of Medical Informatics，病院管理学会，医療マネジメント学会，医事法学会，日本医学会

- ・ 鎌倉矩子 : American Occupational Therapy Association, 日本神経心理学会, 日本失語症学会, 高次神経障害作業療法研究会
- ・ 安德恭演 : 日本神経学会 (神経内科専門医), 日本内科学会 (内科認定医)
- ・ 伊賀立二 : 国際薬学・薬剤師連合 (FIP), 日本医療薬学会, 日本薬学会, 日本薬物動態学会, 日本薬剤疫学会, 日本TDM学会, 日本医薬情報学会
- ・ 池崎清信 : 日本脳神経外科学会 (専門医), 日本脳神経外科コンgres, 日本小児神経外科学会, アメリカ神経外科学会, アメリカ神経外科コンgres, アメリカ日本友好脳神経外科シンポジウム, スパインフロンティア福岡, 日本神経疾患医療・福祉従事者協議会, 日本脳卒中学会, Asian Conference of Neurological Surgeons, 日本脳神経外科学会九州地方会, 日本脳神経外科同時通訳団, 日本脳神経外科国際学会フォーラム
- ・ 井上明生 : 日本整形外科学会, 日本股関節学会, 日本小児整形外科学会, 日本リウマチ関節外科学会, 西日本整形災害外科学会
- ・ 岩下清子 : 日本公衆衛生学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本質的心理学会
- ・ 梅内拓生 : 日本性感染症学会, 日本評価学会, 日本国際保健医療学会, 日本公衆衛生学会
- ・ 木村哲彦 : 生活支援工学会, ライフサポート学会, 国際バイオフィリア・リハビリテーション医学会, 脊髄障害学会, 病院管理学会, リハビリテーション・ネットワーク研究会, バーチャルリアリティー学会, コンピュータ外科学会, 公衆衛生学会
- ・ 佐々木淳 : 日本内科学会, 日本循環器学会, 日本動脈硬化学会, 日本老年病学会, 日本肥満学会, 人間ドック学会, アメリカ心臓病学会, 日本循環器学会
- ・ 杉森 甫 : 佐賀母性衛生学会, 日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構, 日本産科婦人科学会, 日本癌治療学会, 日本臨床細胞学会, 日本婦人科腫瘍学会, 国際子宮頸部病理コルポスコピー学会
- ・ 高嶋幸男 : 日本小児神経学会, 日本神経病理学会, 日本小児科学会, 日本SIDS研究会, 日本小児病理学会, 日本小児遺伝学会, 日本先天異常学会, 日本新生児学会, 日本神経超音波学会, 日本未熟児新生児学会, 国際神経病理学会, 日本周産期新生児学会, 国際小児神経学会, 国際周産期学会, 日本リハビリテーション学会, Internatinal Neuropathology Society, International Child Neurology Society, International Pediatrics Society
- ・ 高橋精一郎 : 日本呼吸管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会, 日本理学療法学術大会
- ・ 田中 繁 : 日本生活支援工学会, 日本義肢装具学会, ISPO International Society of Prosthetics and Orthotics
- ・ 田中俊一 : 日本内科学会 (認定医), 日本糖尿病学会 (専門医, 研修指導医), 日本内分泌学会 (指導医), 日本肥満学会, 日本東洋医学会 (専門医), 日本病態栄養学会, 日本臨床内科医会, American Diabetes Association, New York Academy of sciences, SHR研究会
- ・ 中山広宣 : 精神科デイ・ケア研究協議会, 九州集団療法研究会, 日本臨床神経生理学会, 日本社会医療学会, Psychiatry and Clinical Neurosciences学会
- ・ 野口隆志 : ASM (アメリカ細菌学会), 日本感染症学会, 日本化学療法学会, 日本薬学会, 日本臨床薬理学会, 日本薬物動態学会, 日本薬理学会, 日本臨床ウイルス学会, 緑膿菌研究会, Bacterial Adherences & Biofilm研究会, 医薬品開発基礎研究会
- ・ 野原功全 : 日本物理学会, 日本応用物理学会, 日本核医学会, 日本医学放射線学会, 日本医用画像工学会, 日本医学物理学会
- ・ 長谷川豊 : 日本国際保健医療学会, 日本公衆衛生学会
- ・ 兵頭明和 : 日本統計学会, 日本小児精神神経学会
- ・ 樋渡正夫 : 日本リハビリテーション医学会 (専門医), 日本内科学会 (認定臨床医), 日本高血圧学会, 日本循環器学会, 日本臨床スポーツ学会, 日本心血管内分泌代謝学会

- ・ 山本澄子：日本義肢装具学会，日本福祉工学会，理学療法科学学会，臨床歩行分析研究会，国際義肢装具連盟，バイオメカニクス学会，日本生活支援工学会，日本リハビリテーション医学会，日本エムイー学会，日本人間工学会，日本建築学会，日本臨床バイオメカニクス研究会
- ・ 湯沢八江：日本在宅ケア学会，日本看護研究学会，日本老年看護学会，日本看護管理学会，日本公衆衛生学会，ホームインフュージョンセラピー研究会
- ・ 北川 明：臨床薬理学会，日本薬学会
- ・ 松下年子：日本アディクション看護学会，日本嗜癖行動学会，日本公衆性衛生学会，日本社会精神医学会，日本看護科学学会，日本保健科学学会，日本外来精神医療学会，日本サイコオンコロジー学会，日本総合病院精神医学会，Psychiatry and Clinical Neurosciences，日本看護管理学会，日本高齢者虐待防止学会
- ・ 甲斐 悟：理学療法科学学会，日本解剖学会
- ・ 島田千穂：日本看護管理学会，日本公衆衛生学会，日本老年社会科学学会，日本在宅ケア学会，日本地域看護学会，日本社会福祉学会，日本プライマリケア学会
- ・ 丹羽 敦：日本作業療法学会，日本在宅ケア学会，地域作業療法研究会

学会役員

- ・ 開原成允：日本医療情報学会（顧問），日本医学会（医学用語管理委員会委員長）
- ・ 鎌倉矩子：日本神経心理学会（評議員），日本失語症学会（評議員），高次神経障害作業療法研究会（世話人）
- ・ 安徳恭演：日本神経学会（評議員）
- ・ 伊賀立二：国際薬学・薬剤師連合（FIP）（評議員），日本医療薬学会（理事），日本薬学会（代議員），日本薬物動態学会（評議員），日本薬剤疫学会（評議員），日本TDM学会（評議員），日本医療情報学会（顧問）
- ・ 池崎清信：日本脳神経外科学会（代議員，世界脳神経外科コンgres招致委員），日本脳神経外科コンgres（評議員），日本小児神経外科学会（機関誌査読委員），アメリカ神経外科学会（国際交流委員），アメリカ神経外科コンgres（国際外交委員），アメリカ日本友好脳神経外科シンポジウム（運営委員），スパインフロンティア福岡（世話人）日本神経疾患医療・福祉従事者協議会（評議員），日本脳卒中学会，Asian Conference of Neurological Surgeons（運営委員），日本脳神経外科学会九州地方会（世話人），日本脳神経外科同時通訳団（九州支部長），日本脳神経外科国際学会フォーラム（運営委員）
- ・ 井上明生：日本整形外科学会（名誉会員），日本股関節学会（名誉会員），日本小児整形外科学会（名誉会員），日本リウマチ関節外科学会（名誉会員），西日本整形災害外科学会（名誉会員）
- ・ 岩下清子：日本ケアマネジメント学会（評議員）
- ・ 梅内拓生：日本性感感染症学会（理事），日本評価学会（理事），日本国際保健医療学会（評議委員），日本公衆衛生学会（評議委員）
- ・ 木村哲彦：生活支援工学会（会長，理事長），ライフサポート学会（理事），国際バイオフィリア・リハビリテーション医学会（会長，理事長），脊髄障害学会（評議員，保険委員），病院管理学会（評議員），リハビリテーション・ネットワーク研究会（会長，理事長）
- ・ 佐々木淳：日本動脈硬化学会（動脈硬化診療・疫学委員会副委員長，監事，評議委員）日本老年病学会（評議委員），日本肥満学会（評議委員），日本循環器学会（心筋梗塞二次予防ガイドライン作成版委員），日米医学協力研究会（栄養・代謝専門部会 研究員），J Atheroscler Thromb（編集委員），Arterioscler Thromb Vasc Biol（査読委員）
- ・ 杉森 甫：佐賀母性衛生学会（理事），日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構（副理事長，運営委員長，臨床試験効果判定委員長），日本産科婦人科学会（名誉会員），日本癌治療学会（名誉会員），日本臨床細胞学会（名誉会員），日本婦人科腫瘍学会（名誉会員）

- ・高嶋幸男：日本小児神経学会（名誉会員），日本神経病理学会（評議員），日本SIDS研究会（理事），日本先天異常学会（評議員），日本新生児学会（評議員），日本未熟児新生児学会（功労会員），日本周産期新生児学会（功労会員），小児神経蔵王セミナー（会長）
- ・田中 繁：日本生活支援工学会（理事），日本義肢装具学会（評議員），ISPO International Society of Prosthetics and Orthotics（終身フェロー）
- ・田中俊一：日本病態栄養学会（評議員），American Diabetes Association（Professional Section Member）
- ・中山広宣：日本社会医療学会（理事）
- ・野口隆志：日本化学療法学会（臨床試験指導員制度問題委員会委員），医薬品開発基礎研究会（運営幹事），治験の国際化シンポジウム（運営幹事）
- ・野原功全：日本医用画像工学会（幹事）
- ・山本澄子：日本義肢装具学会（学会誌編集委員長（2004.9まで），理事，国際回答原案作成委員会委員），日本福祉工学会（理事），理学療法科学会（理事），臨床歩行分析研究会（運営委員，事務局），国際義肢装具連盟（日本支部副会長），バイオメカニズム学会（評議員），日本生活支援工学会会員（評議員）
- ・湯沢八江：ホームインフュージョンセラピー研究会（世話人）
- ・松下年子：日本アディクション看護学会（理事，編集委員長，第4回学術大会（平成17年度） 大会長）
- ・丹羽 敦：日本作業療法学会（演題採択委員）

国際医療福祉大学附属熱海病院

著書

- ・神崎 仁（高久史磨 他編）：最新版家庭の医学（耳介血腫，外耳道損傷，鼓膜損傷，外耳道異物），法研，2004
- ・神崎 仁：めまいの正体，文春新書，2004.9.20
- ・神崎 仁：耳鳴を治す，慶応大学出版，2004.10.30
- ・川口 実：3章 胃・腸，新臨床栄養学II（井上修二 編），pp13-44，光生館，2004.11.30
- ・川口 実：消化器内視鏡のトラブル防止マニュアル，日本メディカルセンター，p94，p145，p269，2004.10.30
- ・伊藤 章（監修）：予防のポイント 自分で考え実行しよう（エイズ・生活習慣病），pp1-9，東京法規出版，2004.6
- ・岩崎博幸：甲状腺High-risk分化癌の治療アンケート報告，乳腺，甲状腺外科，Practical Discussion 14，pp64-66，pp111-120，2004
- ・北洞哲治：今日の治療と看護・第二版（水島 裕，黒川 清 編），口臭，p67，南江堂，東京，2004.4
- ・北洞哲治：今日の治療と看護・第二版，悪心・嘔吐（水島 裕，黒川 清 編），pp71-75，南江堂，東京，2004.4
- ・藤山佳秀，北洞哲治：医療における飲用アルカリ性電解水（アルカリイオン水），水の特性と新しい利用技術 農業・食品・医療分野への応用，pp348-359，（株）エヌ・ティー・エス，東京，2004.5
- ・栗山 学（分担執筆）：広範囲血液・尿化学検査，免疫学的検査（IV）—その数値をどう読むか—，前立腺特異抗原（PSA），前立腺特異抗原・ α 1-アンチキモトリプシン複合体（PSA-ACT），遊離，F/T比，日本臨床，2005年増刊，日本臨床社，2005
- ・栗山 学（分担執筆）：広範囲血液・尿化学検査，免疫学的検査（IV）—その数値を どう読むか—，前立腺性酸性ホスファターゼ（PAP），日本臨床，2005年増刊，日本臨床社，2005
- ・佐々木哲雄：膠原病 2.全身性強皮症（竹原和彦，近藤啓文 編集），12.対症療法的治療，インフォームドコンセ

- ントのための図説シリーズ, pp56-59, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2004.9.10
- ・ 高藤 繁: 疾患・症状別 今日の治療と看護, 改訂第2版 (水島 裕, 黒川 清 総編集), 薬物アレルギー, pp889-895, 南江堂, 2004
 - ・ 高藤 繁: 疾患・症状別 今日の治療と看護, 改訂第2版 (水島 裕, 黒川 清 総編集), 物理・化学物質アレルギー, pp895-896, 南江堂, 2004
 - ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 生駒英子: β 遮断薬—狭心症治療薬, 降圧薬から心不全治療薬への臨床応用, β 遮断薬のすべて (荻原俊男, 築山久一郎, 横山光宏 編集), pp26-34, 先端医学社, 東京, 2004
 - ・ 築山久一郎, 大塚啓子: 第一選択薬としての β 遮断薬の位置づけ, 降圧薬から心不全治療薬への臨床応用, β 遮断薬のすべて (荻原俊男, 築山久一郎, 横山光宏 編集), pp110-121, 先端医学社, 東京, 2004
 - ・ 荻原俊男, 築山久一郎, 横山光宏, 松崎益徳: β 遮断薬による循環器疾患治療の新展開—クラスエフェクトを超えた β 遮断薬の特徴と臨床効果への期待, β 遮断薬のすべて (荻原俊男, 築山久一郎, 横山光宏 編集), pp362-373, 先端医学社, 東京, 2004
 - ・ 築山久一郎: 治療抵抗性高血圧へのアプローチ, 循環器学の社会へのアプローチ—基礎・臨床・予防—, CD-ROM版 (日本循環器学会), 2004
 - ・ 生駒英子, 築山久一郎: β 遮断薬の使い方のコツ, 高血圧診療のコツと落とし穴 (島田和幸 編集), pp88-89, 中山書店, 東京, 2004
 - ・ 重政朝彦, 築山久一郎: 血圧が下がらない場合どうするか, 高血圧診療のコツと落とし穴 (島田和幸 編集), pp226-227, 中山書店, 東京, 2004
 - ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 大塚啓子: ファーマナビゲーターARB編 (熊谷裕生, 小室一成, 堀内正嗣, 森下隆一 編集), LIFE, pp120-125, メディカルレビュー社, 東京, 2004
 - ・ 都島基夫: 高血圧 これで安心 (監修), pp1-191, 小学館, 東京, 2004.4.10
 - ・ 都島基夫: 高脂血症と血小板 (第II章 分子病態C 全身性疾患と血小板), 血小板生物学 (池田康夫, 丸山征郎 編), pp637-645, メディカルレビュー社, 東京/大阪, 2004.6.10
 - ・ 都島基夫: 3 予後, 動脈硬化度の評価と危険因子, 非侵襲動脈硬化的診断法を中心に, 脈波速度 (韓国語翻訳版) (小澤利男, 増田善昭 編), pp110-119, メジカルビュー社, 東京, 2004.6
 - ・ 加藤治文, 中村治彦 (分担執筆): 標準外科学 第10版, 気管・気管支および肺 良性腫瘍, pp375-378, 医学書院, 2004.4
 - ・ 加藤治文, 中村治彦 (分担執筆): 標準外科学 第10版, 気管・気管支および肺 悪性腫瘍, pp378-393, 医学書院, 2004.4
 - ・ 中村治彦 (分担執筆): インフォームドコンセントのための図説シリーズ 肺癌, 転移性肺癌, pp18-19, 医薬ジャーナル社, 2004.5
 - ・ 中村治彦, 田口雅彦, 川崎徳仁 (分担執筆): 呼吸器疾患ガイドライン, 転移性肺腫瘍, pp255-257, 総合医学社, 2004.12
 - ・ 藤澤知雄: 肝胆道・膵・腹膜疾患, ナースのための小児科学, 中外医学社, pp230-241, 2004.4.15
 - ・ 藤澤知雄: 便秘, 今日の治療と看護, 南山堂, pp228-229, 2004
 - ・ 乾あやの: 病理検査 肝 (五十嵐隆, 大藪恵一, 高橋孝雄 編), 今日の小児診断指針第4版, pp544-546, 医学書院, 東京, 2004
 - ・ 築山久一郎, 大塚啓子, 重政朝彦: 高血圧症 高血圧症の管理・治療 高血圧症の予後, pp268-280, 最新医学社, 2004
 - ・ 土田知史, 米山克也, 佐々木一嘉, 神 康之, 笠原彰夫, 足立広幸, 韓 仁燮, 藤井慶太, 鹿原 健, 岩崎博幸: 腹

- 腔鏡が診断に有用であった大網裂孔ヘルニア嵌頓の1例, 本邦報告188例の集計, 日本消化器外科学会雑誌, 37, pp440-445, 2004.4
- ・ 土田知史, 米山克也, 佐々木一嘉, 神 康之, 笠原彰夫, 鹿原 健, 岩崎博幸, 小菅宇之, 利野 靖, 長嶋洋治: 局所切除および免疫化学療法にて長期寛解を得た直腸肛門部悪性黒色腫の1例, 日本消化器外科学会雑誌, 37, pp1787-1793, 2004.11
 - ・ 東野一隆, 神崎 仁: 治療薬UP-TO-DATE2005, 耳鼻科用薬, pp120-126, メディカルレビュー社, 2005.1

原著論文

- ・ 神崎 仁: 突発性難聴, 総合臨床, 53, pp163-2164
- ・ 神崎 仁: 慢性耳鳴りに対する新しい概念, 日医雑誌, 132, pp1578-1579
- ・ Kanzaki J, Kanzaki S: Curable sensorineural hearing loss, In: Hearing Impairment pp282-286 ed, by Suzuki J, Kobayashi T, Koga K. Springer Verlag Tokyo
- ・ 川口 実: 内視鏡による胃疾患—最近の知見, 各科臨床のトピックス, 日本医師会雑誌, Vol.132 No.6, pp866-867, 2004
- ・ 川口 実: 胃生検Group分類, 私はこう考える, 胃と腸, Vol.39 No.11, pp1510-1527, 2004
- ・ 川口 実, 児島辰也, 吉田友彦: 透析患者に発症した好酸球性結腸炎の1例, Progress of Digestive Endoscopy, Vol.65 No.2, pp96-97, 2004
- ・ 川口 実, 荒川城司: 今日の治療薬, 看護実践の科学, Vol.30 No.3, pp4-7, 2005
- ・ 増田剛太, 木村 哲, 森澤雄司, 岩本愛吉, 菊地 壽, 安岡 彰, 立川夏夫, 源河いくみ, 照屋勝治, 福武勝幸, 花房秀次, 合地研吾, 後藤守孝, 石ヶ坪良明, 萩原恵理, 伊藤 章, 内海 眞, 井上徹也, 米村佳子, 白坂琢磨, 上平朝子, 古西 満, 坂上賀洋, 吉田英樹, 増谷 衛: Nevirapin (BIRG567) 国内における臨床試験, ANTIBIOTICS & CHEMOTHERAPY, Vol.20 No.3, pp113-128, 2004.4
- ・ 岩崎博幸: 甲状腺癌近接臓器侵潤に対する治療方針, 臨床外科, Vol.59 No.4, pp419-423, 2004.4
- ・ 高崎二郎, 江崎勝一: 片側性の脳浮腫を呈した脳炎の1例における髄液中炎症性サイトカイン値, 小児科臨床, 57, pp2229-2233, 2004
- ・ 高崎二郎, 板倉敬乃, 田村正徳: B群溶連菌による化膿性髄膜炎患児の髄液中Matrix Metalloproteinase-9の測定, 日本周産期新生児医学会雑誌, 40, pp813-816, 2004
- ・ 高崎二郎, 板倉敬乃, 中村利彦: 気道吸引液中Matrix Metalloproteinase-9値と慢性肺疾患Ⅲ・Ⅲ'型の発症, 日本未熟児新生児学会雑誌, 17, pp77-81, 2005
- ・ 土田知史, 米山克也, 佐々木一嘉, 神康之, 笠原彰夫, 足立広幸, 韓仁燮, 藤井慶太, 鹿原健, 岩崎博幸: 腹腔鏡が診断に有用であった大網裂孔ヘルニア嵌頓の1例—本邦報告188例の集計—, 日消外会誌, Vol.37 No.4, pp440-445, 2004
- ・ 足立広幸, 土田知史, 韓 仁燮, 藤井慶太, 鹿原 健, 岩崎博幸: 甲状腺全摘後も甲状腺機能亢進が持続し, TSH受容体抗体陽性であった甲状腺濾胞癌骨転移の1例, 日臨外会誌, Vol.65 No.9, pp2319-2324, 2004
- ・ H.Iwasaki, K.Tuchida, I.Han, H.Adachi, K.Kabara, T.Matsuzo and H.Kitamura: Functional bone metastasis from thyroid cancer 12th International congress of Endocrinology E831C0640, pp1007-1012, 2004
- ・ 陶山秀夫, 石川 均, 北村 創: 33歳男性に発症した球結膜扁平上皮癌の1例, 眼科臨床医報, Vol.90 No.1, pp45-49, 2005
- ・ 五來逸雄: 骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン (2004年度版), 日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用に関する指針検討委員会, Osteoporosis Jpn 12, pp191-207, 2004

- ・三木隆己, 中弘 志, 今井弘子, 太田博明, 岡野浩哉, 五來逸雄, 斎藤真一, 白木正孝, 高田潤一, 山下敏彦, 中塚喜義, 西澤良記, 福永仁夫: 骨代謝マーカーによるアレンドロネートの治療モニタリングどの程度評価可能か, *Osteoporosis Jpn* 12, pp219-224, 2004
- ・綾部原子, 山田正子, 広門未知子, 掛水夏恵, 山川有子, 佐々木哲雄, 近藤 恵, 池澤善郎: シクロスポリンAが奏効した壊疽性膿皮症の1例, *皮膚科の臨床*, 46, pp771-774, 2004
- ・山田正子, 広門未知子, 福永有希, 掛水夏恵, 山川有子, 公平昭男, 佐々木哲雄, 相原道子, 国崎主税, 池澤善郎: 皮膚症状を契機に胃癌が発見された多形慢性痒疹の1例, *皮膚科の臨床*, 46, pp1711-1713, 2004
- ・池澤優子, 掛水夏恵, 河野真純, 三谷直子, 山川有子, 佐々木哲雄, 原野 浩, 中嶋 弘, 高鳥浩介, 池澤善郎: 鼻腔内より発症したムーコル症の1例, *臨床皮膚科*, 59, pp124-126, 2005
- ・山口絢子, 山川有子, 相原道子, 牧万里子, 佐々木哲雄, 柳 浩正, 池澤善郎: ヒト免疫グロブリンが奏効したTEN型薬疹の1例, *日本皮膚アレルギー学会雑誌*, 11, pp87-93, 2003 (昨年度分補遺)
- ・Takafuji S, Miyakuni Y, Ishida A, Nakagawa T: Effects of human eosinophils on cytokine production by lung fibroblasts, *Allergy Frontiers and Futures*, pp166-168, 2004
- ・中川武正, 高藤 繁, 駒瀬裕子, 斉藤大雄, 山本崇人, 池原瑞樹, 菅野 智, 柳川忠二: 気管支喘息患者における連用吸入器フルチカゾンディスクス®の臨床評価, *アレルギーの臨床*, Vol.24, pp52-59, 2004
- ・中川武正, 高藤 繁: CFC-BDPからHFA-BDP (キューバル™) への切り替えによる臨床効果と患者アンケート調査による使用感の検討, *アレルギー・免疫*, Vol.12, pp140-146, 2005
- ・仲森隆子, 井上啓史, 上垣内郁, 菅野 亘, 奥山啓二, 都島基夫: 総コレステロール値の低下が及ぼす血液データへの影響, Vol.10 No.1, pp64-66, 日本未病システム学会誌, 2004.8
- ・都島基夫, 井上啓史, 上垣内郁, 菅野 亘, 奥山啓二: 患者のMotivationを引き出す未病糖尿病外来の新しい試みと有用性, Vol.10 No.1, pp85-87, 日本未病システム学会誌, 2004.8
- ・都島基夫, 大鈴文孝, 磯 博康, 佐藤真一, 斉藤 功, 小西正光, 荻尾七臣, 川口明人, 安達 寿, 若林一郎, 万波俊文, 小久保喜弘, 田邊 潤, 梶原一郎: 14公一6循環器疾患の予防に向けての炎症反応指標の応用, 平成15年度厚生省循環器病研究報告書, pp310-324, 2005.1
- ・Nakamura H, Saji H, Idiris A, Kawasaki N, Hosaka M, Ogata A, Saijo T, Okada S, Kato H: Lung cancer patients showing pure ground-glass opacity on computed tomography are good candidates for wedge resection, *Lung Cancer (IASLC)*, 44, pp61-68, 2004
- ・Nakamura H, Idiris A, Kato Y, Kato H: An increase in the percentage of HLA-DR-positive peripheral leukocytes predicts a poor prognosis in patients with squamous cell carcinoma of the lung, *Oncology Report*, 11, pp673-676, 2004
- ・Nakamura H, Kato Y, Kato H: Outcome of surgery for small cell lung cancer - response to induction chemotherapy predicts survival, *Thoracic and Cardiovascular Surgeon*, 52, pp1-5, 2004
- ・Kato H, Nakamura H, Tsuboi M, Ikeda N, Tsuchida T, Kato Y, Hirano T: Treatment of peripheral early stage lung cancer, *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery*, 10, pp1-3, 2004
- ・Nakamura H, Fujita K, Nakagawa H, Kishi F, Takeuchi A, Aute I, Kato H: Expression pattern of the scaffold protein IQGAP1 in lung cancer, *Oncology Report*, 13, pp427-431, 2005
- ・川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦: 異所性ADHおよびACTH産生小細胞肺癌の1例, *日本気管食道科学会会報*, 56, pp47-51, 2005
- ・長坂博範, 乾あやの, 藤澤知雄: 生後3か月より胆汁うっ滞が続き6歳で肝不全をきたし先天代謝異常症が疑われた1例, *Minophagen Medical Review*, 49, p309, 2004
- ・橋本卓史, 蜂矢正彦, 月本一郎, 中野 茂, 山田秀一, 五十嵐良典, 高田将司, 種村宏之, 渡辺 聖, 藤澤知雄: 内

- 視鏡的クリップ止血法を試みた小児消化管出血の7例, 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 18, pp56-60, 2004
- ・ 白木和夫, 大戸齊藤, 稲葉憲之, 藤澤知雄, 田尻 仁, 神崎 普, 松井 陽, 森島恒雄, 戸苅 創, 木村昭彦, 日野茂雄: C型肝炎ウイルス妊婦とその出生児の管理ならびに指導指針, 日本小児科学会雑誌, 109, pp38-42, 2005.03.14
 - ・ 村上智子, 村上圭, 金沢正樹, 河野陽一, 乾あやの, 藤澤知雄: 自己免疫性肝炎が疑われた症例, *Minophagen Medical Review*, 50, pp33-34, 2005
 - ・ 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 藤澤知雄, 恵谷ゆり, 田尻仁, 脇 研自, 清水行敏, 中島章子, 今川智之, 横田俊平: 小児期発症の自己免疫性肝炎(AIH)の10例, *Minophagen Medical Review*, 50, p35, 2005
 - ・ Nagasaka H, Yorifuji T, Egawa H, Yanai H, Fujisawa T, Kosugiyama K, Matsui A, Hasegawa M, Okada T, Takayanagi M, Chiba H, Kobayashi K: Evaluation of risk for atherosclerosis in Alagille syndrome and progressive familial intrahepatic cholestasis: Two congenital cholestasis diseases with different lipoprotein metabolisms, *J Pediatr*, Vol.146 No.3, pp329-335, 2005.3
 - ・ 藤澤知雄: HBVの分娩時血行感染, 日本医事新報, No.4179, pp95-96, 2004
 - ・ 藤澤知雄: どのような症状から肝疾患を疑うのか?, 小児内科, 36, pp1223-1225, 2004
 - ・ 小松陽樹, 乾あやの, 十河剛, 藤澤知雄: 小児のTTV感染症はどこまでわかったか?, 小児内科, 36, pp1332-1334, 2004
 - ・ 藤澤知雄: B型肝炎ワクチン, 小児看護, 27, pp1628-1632, 2004
 - ・ 十河 剛, 乾あやの, 橋爪浩臣, 小松陽樹, 藤澤知雄: 原発性硬化性胆管炎, 小児内科, 36, pp1573-1577, 2004
 - ・ 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛: HBV感染症の予防はできているか?, 周産期医学, 特集号, 周産期ケア, 34, pp530-532, 2004
 - ・ 藤澤知雄: 小児救急の手引き, 12 出血(吐血・下血), 臨床医薬, 20, pp1133-1143, 2004
 - ・ 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 藤澤知雄: 肝庇護剤の効果, 小児内科, 37, pp270-273, 2005
 - ・ 三谷晋一, 伊藤 淳, 三谷雄一, 熊谷頼明, 三谷秀俊: 踵骨骨折に対する内側アプローチ法 (McReynolds変法) の術式と術後成績, 雑誌整形外科, 56, pp25-31, 2005.1
 - ・ 野崎昌俊, 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: 血球貪食症候群を併発した劇症肝炎の1例, 肝臓, Vol.45 No.12, pp671-677, 2004
 - ・ A Inui, T Fujisawa, T Kubo, T Sogo, H Komatsu, Y Kagata: A case of neonatal hemochromatosis-like liver failure with spontaneous remission, *J Pediatr Gastroenterol Nutr*, Vol.40 No.3, pp374-377, 2005
 - ・ Komatsu H, Fujisawa T, Inui A, Horiuchi K, Hashizume H, Sogo T, Sekine I: Molecular diagnosis of cerebral aspergillosis by sequence analysis with panfungal polymerase chain reaction, *J Pediatr Hematol Oncol*, Vol.26 No.1, pp 40-44, 2004.1
 - ・ Nagasaka H, Komatsu H, Ohura T, Sogo T, Inui A, Yorifuji T, Murayama K, Takayanagi M, Kikuta H, Kobayashi K: Nitric oxide synthesis in ornithine transcarbamylase deficiency possible involvement of low no synthesis in clinical manifestations of urea cycle defect, *J Pediatr*, Vol.145 No.2, pp259-62, 2004.8
 - ・ Komatsu H, Inui A, Sogo T, Kuroda K, Tanaka T, Fujisawa T: TTV infection in children born to mothers infected with TTV but not with HBV, HCV, or HIV, *J Med Virol*, Vol.74 No.3, pp499-506, 2004.11
 - ・ 陶山秀夫, 石川 均, 北村 創: 33歳男性に発症した球結膜扁平上皮癌の1例, 眼臨, 99, pp45-49, 2005.1
 - ・ 山田佳彦, 大村昌夫, 笹野公伸, 角田幸雄, 西川哲男, 関原久彦, 画像検査上右副腎に2個の腫瘍像を認め右副腎からのコルチゾール過剰分泌と両側副腎からのアルドステロン過剰分泌を示した1例, ホルモンと臨床52巻臨時増刊, pp141-150, 2004.9
 - ・ 板倉敬乃: 市中病院における乳幼児健診の意義, 埼玉県医学会雑誌, Vol.39 No.5, pp600-602, 2005.3

- ・板倉敬乃：退院後の問題が予測される母子との関わりについて－新生児科医の役割－，小児保健研究，Vol.64 No.2，pp217-219，2005
- ・Yoneda M, Wada K, Katayama K, Nakajima N, Iwasaki T, Osawa E, Mukasa K, Yamada Y, Blumberg RS, Sekihara H, Nakajima A：A novel therapy for acute hepatitis utilizing dehydroepiandrosterone in the murine model of hepatitis，Biochem Pharmacol，Vol.68 No.11，pp2283-2289，2004.12.1
- ・上杉昌章：Repair of Articular Cartilage Defect by Autologous Transplantation of Basic Fibroblast Growth Factor Gene-Transduced Chondrocytes with Adeno-Associated Virus Vector，Arthritis Rheum，52，pp164-170，2005
- ・上杉昌章：Cotrel-Dubousette法による脊椎後方矯正固定術後，創部にデスマイドが発生した特発性弯症の1例，日小整会誌，13，pp135-137，2004
- ・Takuji Amano, Hideaki Hiro-Oka, DongHak Choi, Hiroyuki Furukawa, Fumiyoshi Kano, Mituo Takeda, Motoi Nakanishi, Kimiya Shimizu, Kohji Ohbayashi：OFDR with an SSG-DBR laser，Proceeding of SPIE，5531，pp375-382，2004
- ・Takuji Amano, Hideaki Hiro-Oka, DongHak Choi, Hiroyuki Furukawa, Fumiyoshi Kano, Mituo Takeda, Motoi Nakanishi, Kimiya Shimizu, Kohji Ohbayashi：Optical frequency-domain reflectometry with a rapid wavelength-scanning superstructure-grating distributed Bragg reflector laser，Applied Optics，44，pp808-816，2005
- ・相澤大輔，清水公也，中西 基，鈴木雅信，大野晃司，小松真理：Laser in situ keratomileusis 術後2年の経過，日本眼科学会雑誌，Vol.109 No.2，pp88-92
- ・花田美穂，根岸 晶，猪又直子，高橋一夫，池澤善郎（横浜市大），藤巻克通，金森平和（第一内科）：HHV-6によるヘルペス脳炎を伴った急性移植片対宿主病（aGVHD）の2例，日本皮膚アレルギー学会誌，Vol.12 No.2，pp75-81，東京，2004

総説

- ・川口 実，樋渡信夫：「早期胃癌研究会」2004年9月例会から，胃と腸，Vol.39 No.11，pp1535-1537，2004
- ・伊藤 章：労働衛生随想198 最近感じたこと，労務安全衛生（かながわ），No.662，pp14-15，2004.4
- ・伊藤 章：労働衛生随想202 最近のニュースから，労務安全衛生（かながわ），No.666，pp28-29，2004.8
- ・伊藤 章：中枢神経系に障害を生じるウイルスの特徴は？，Clinician '4，No.532，pp33-35，2004.8
- ・伊藤 章：労働衛生随想206 最近の話題と経験から，労務安全衛生（かながわ），No.670，pp28-29，2004.12
- ・唐澤英偉：特集 膵癌のリスクファクター，膵臓，19，p103，2004
- ・唐澤英偉：特集 胆嚢結石症治療のガイドライン作成に向けて，胆道，18，p107，2004
- ・唐澤英偉：特集 膵癌の早期診断へのアプローチ，膵臓，19，2004
- ・唐澤英偉：胆道画像診断の進歩と課題，RADFAN，Vol.3 No.2，pp56-62，2005
- ・北洞哲治：消化不良・吸収不良に対する治療・食事生活指導，治療 増刊号，Vol.87，2005.3
- ・五來逸雄：開発・研究中の骨粗鬆症治療薬 チボロン，増刊号，62，pp555-559，日本臨床，2004
- ・五來逸雄：ホルモン補充療法の禁忌，有害事象と普及への展望，pp61-64，Pharma Medica，22，2004
- ・五來逸雄：骨吸収マーカー，ホルモンと臨床，52，pp307-316，2004
- ・五來逸雄：更年期のヘルスケア，骨粗鬆症，88，pp1261-1268，2004
- ・五來逸雄：骨粗鬆症診療に於ける骨代謝マーカーの新たな展開，HRTと骨代謝マーカー，骨粗鬆症治療，3，pp228-233，2004
- ・五來逸雄：骨粗鬆症の薬物療法，日産婦医会報，Vol.56 No.9，pp10-11，2004
- ・五來逸雄：フォローアップの実際，閉経後女性患者の場合，ガイドラインを生かした骨粗鬆症患者の治療，Medical Practice，21，pp1721-1724，2004

- ・水沼英樹, 藤野敬史, 五來逸雄, 倉林 工: 座談会「産婦人科における骨粗鬆症治療の実際」, Pharma Medica, 22, pp87-94, 2004
- ・五來逸雄: ホルモン補充療法の新たなストラテジー, Million Women Studyとは?, 骨粗鬆症治療, 4, pp25-30, 2005
- ・五來逸雄: SERM研究の目的, SERMの歴史, SERM 1, 1, pp14-18, 2005
- ・五來逸雄: 原発性骨粗鬆症の診断と治療, Osteoporosis Jpn 13, pp106-107, 2005
- ・佐々木哲雄: 特集 プライマリケア医が知っておきたい皮膚病診療のコツ, Q&A: SLEと皮膚筋炎の皮疹の鑑別法を教えてください, 治療, Vol.86 No.12, p3227, 2004
- ・Takafuji S, Nakagawa T: Drug-induced pulmonary disorders, 43, pp169-170, Internal Medicine, 2004
- ・高藤 繁: 医学と医療の最前線 環境汚染とアレルギー, 93, pp1026-1031, 日本内科学会雑誌, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 生駒英子: 利尿薬の心血管に対する作用, 代謝性副作用, 降圧効果以外の保護作用はあるか, 循環器科, Vol.55 No.3, pp223-230, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 生駒英子: 各種の高血圧管理指針における血圧管理基準の評価と妥当性, 血圧, Vol.11 No.4, pp384-390, 2004
- ・築山久一郎, 生駒英子, 大塚啓子: 見直すべき利尿薬, Mebio, Vol.21 No.5, pp56-61, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 大塚啓子: 高血圧症の予後, 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 20, 高血圧症, pp268-280, 最新医学社, 2004
- ・築山久一郎: 血圧正常値の設定について, Ther Res, Vol.25 No.6, pp1078-1083, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 管理不良高血圧・治療抵抗性高血圧へのアプローチ, 最近の臨床成績からみた考察, Ther Res, Vol.25 No.7, pp1327-1342, 2004
- ・築山久一郎, 佐々木龍, 重政朝彦: Trial & Meta-analysis EUROPA, 臨床高血圧, 10, pp300-301, 2004
- ・築山久一郎, 生駒英子, 佐々木龍: 血圧低下と脳卒中の再発予防, 臨床高血圧, 10, pp306-307, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 代理のエンドポイントは真のエンドポイント足りうるか, 循環器科, 56, pp485-492, 2004
- ・築山久一郎, 佐々木龍, 生駒英子, 重政朝彦: ジヒドロピリジン系Caチャンネルブロッカーの大規模臨床試験, Progress in Medicine, 24, pp2716-2722, 2004
- ・築山久一郎: 治療抵抗性高血圧の対処法, Animus, 37, pp19-23, 2005
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 降圧薬治療の心血管イベント抑制効果, 大規模介入試験で心血管イベント抑制に血圧は低いほどよいか, なぜBeyond Blood Pressure Lowering効果は明確でないか, Ther Res, 25, pp2265-2279, 2004
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 管理不良高血圧はどのくらいの頻度でみられるかー住民研究/大規模介入試験成績, Modern Physician, 25, pp125-129, 2005
- ・築山久一郎, 重政朝彦: 主要高血圧ガイドラインにみる降圧薬治療の変遷, Ther Res, 26(Report 4), pp3-23, 2005
- ・築山久一郎, 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: CAMELOT, 臨床高血圧, 11, pp70-73, 2005
- ・都島基夫: 動脈硬化の診断法と臨床評価, 臨床と研究, Vol.81 No.6, pp920-929, 2004.6
- ・都島基夫: 炎症と脳血管障害, 脳と循環, Vol.9 No.2, pp143-148, 2004.4
- ・都島基夫, 都島健介: フィブリノゲンと動脈硬化, Vol.23 No.2, pp158-166, 日本アフェレシス学会雑誌, 2004.4
- ・都島健介, 都島基夫: 未病としての動脈硬化症, メタボリックシンドロームと動脈硬化, 動脈硬化予防, Vol.3 No.3, pp40-48, 2004.6
- ・都島基夫: 循環器疾患の予防に向けての炎症反応指標の応用, 日本人によるエビデンスの構築に向けて, BN NEWS, 18, pp1-7, 2004.10

- ・ 都島基夫：抗血小板薬としてのアスピリンー過去から現在までー，9975号，pp6-7，薬事日報，2004.10.4
- ・ 都島基夫：血管年齢と臓器障害，加齢と大動脈径・石灰化 モダンフィジシャン，Vol.24 No.11，pp1728-1734，2004.11
- ・ 都島基夫，秦 葭哉：高血圧について考える①高血圧から身をまもる生活習慣，そして食事とは，週刊文春，pp74-75，文藝春秋社，2004.11.4
- ・ 中村治彦，加藤治文：Oncogenic emergencyとその対応ー肺癌，日本外科学会雑誌，105，pp271-274，2004
- ・ 中村治彦：外国文献紹介 A genetic explanation of Slaughter's concept of field cancerization: evidence and clinical implications，日本気管食道科学会会報，55，p49，2004
- ・ 中村治彦：肺癌遺伝子診断・治療の可能性，第4回薬剤師のためのオンコロジーセミナー（講演集），pp2-13，2004
- ・ 中村治彦：新刊紹介 Interventional pulmonary medicine (Marcel Dekker Inc. New York, 2004)，日本気管食道科学会会報，55，p473，2004
- ・ 秦 葭哉，都島基夫：Meet the Boss（対談），The Lipid，pp96-103，2005.1
- ・ 西澤良記，都島基夫，塩井 淳：血管石灰化（座談会），The BONE，Vol.19 No.2，pp213-227，2005.2
- ・ 伊藤 淳，腰野富久，岡本連三，三ツ木直人，斎藤知行：Kinematic人工膝関節の15年以上の成績，骨・関節・靭帯，17，pp775-781，2004.7
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄，小松陽樹：B型・C型肝炎ウイルス感染症，小児科診療，Vol.67 No.3，pp421-427，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：HBV，HCVキャリアの母親からの母乳は感染源とならない，小児内科，36，pp982-983，2004
- ・ 乾あやの，藤澤知雄，十河 剛，小松陽樹：HBV母子感染と予防対策，日本臨床 増刊号62，pp190-194，2004
- ・ 藤澤知雄，乾あやの，十河 剛，小松陽樹：小児期におけるB型慢性肝炎の長期経過，日本臨床，増刊号62，pp303-308，2004
- ・ 藤澤知雄，十河 剛，乾あやの：C型慢性肝炎に対するPEG-IFN療法の適応は？，小児内科，36，pp1327-1329，2004
- ・ 十河 剛，乾あやの，小松陽樹，藤澤知雄：小児期の自己免疫性肝炎に対するステロイドパルス療法は有用か？，小児内科，36，pp1348-1349，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，小松陽樹，藤澤知雄：いわゆる肝庇護剤の使い方は？，小児内科，36，pp1364-1366，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，小松陽樹，藤澤知雄：小児期の肝生検適応とコツは？，小児内科，36，pp1367-1369，2004
- ・ 十河 剛，乾あやの，藤澤知雄：肝膿瘍・胆管炎，小児科，45，pp630-633，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：小松陽樹：B型肝炎ワクチン，小児科診療，67（特大号），pp1925-1930，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：子どもの消化機能，子どもと発育発達，2，pp244-245，2004
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：糖原病診療の進歩，小児科臨床，58，pp9-17，2005
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：ノロウイルスの集団感染，小児内科，37，pp111-114，2005
- ・ 重政朝彦，佐々木龍，生駒英子，内野和頭，梅村 敏：EBMで検証（17），慢性心不全患者に運動療法は必要か？，治療，87，pp425-431，2005
- ・ 山田佳彦，関原久彦：DHEA補充への生体への作用，Vol.42 No.9，pp1157-1162，Geriatric Medicine，2004.09
- ・ 山田佳彦，関原久彦：内分泌疾患の診断と治療の進歩 副腎，Vol.21 No.11，pp108-113，Mebio，2004.11
- ・ 岩崎知之，山田佳彦，関原久彦：検査値を読む，ホルモン 尿中17-ケトステロイド(17-KS)，内科，Vol.93 No.6，pp1363-1364，2004.06
- ・ 岩崎知之，山田佳彦，関原久彦：検査値を読む，ホルモン 尿中17-ヒドロキシコルチコイド(17-OHCS)，内科，Vol.93 No.6，pp1361-1362，2004.06

- ・岩崎知之, 山田佳彦, 関原久彦: 検査値を読む, ホルモン コルチゾール, 尿中遊離コルチゾール, 内科, Vol.93 No.6, p1360, 2004.06
- ・岩崎知之, 山田佳彦, 関原久彦: 検査値を読む, ホルモン 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH), 内科, Vol93 No.6 pp1358-1359, 2004.06
- ・山田佳彦, 関原久彦: 副腎アンドロジェン, Annual Review内分泌 代謝, 2005巻, pp215-220, 2005.01
- ・山田佳彦, 関原久彦: Metabolic Modulators インスリン作用改善薬, デヒドロエピアンドロステロン (DHEA), 内分泌・糖尿病科, Vol20 No1, pp47-54, 2005.01
- ・板倉敬乃: これからの虐待防止を考える, 周産期からの育児支援, 母子保健情報, No.50, pp88-93, 2005.1

研究報告

- ・中村治彦: リアルタイムPCR法による肺癌発現遺伝子の高感度検出と診断への応用 実績報告書, 平成16年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (2), 課題番号15591493, 2005.3

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・神崎 仁: 耳鳴と難聴, からだ元気科, 日本テレビ出演, 2004.6.6
- ・神崎 仁: めまい, からだ元気科, 日本テレビ出演, 2004.10.10
- ・神崎 仁: 忍び寄る耳の老化 難聴にご用心, からだはエライ, NHKテレビ出演, 2005.2.23
- ・川口 実: 胃潰瘍診療ガイドラインについて考える, 賀茂医師会学術講演会 2004.6.11
- ・川口 実: 内視鏡所見と組織所見との相関性, 第3回胃と腸 東部会,
- ・川口 実, 芳野純治: 早期胃癌の深達度診断, 第17回重点卒後教育セミナー, 日本消化器内視鏡学会, 2005.2.20
- ・伊藤 章: 病院感染をめぐるトピックス, 真菌と病院感染, 第20回日本環境感染学会, ICD制度協議会, 第22回ICD講習会, 神戸市, 2005.2.26
- ・伊藤 章: 院内感染対策と病院検査室の構築, 神奈川県臨床検査技師会セミナー, 横浜, 2004.11.6
- ・岩崎博幸: 再発進行乳頭癌の治療ガイドライン, 第21回横浜カンファレンス, 2005.3
- ・唐澤英偉 (司会): 超音波ドプラ研究会, ワンポイント・レクチャー
- ・唐澤英偉: 多摩エコー研究会
- ・唐澤英偉: 第179回岡山腹腔鏡研究会
- ・唐澤英偉: 水戸腹部超音波診断研究会
- ・鈴木雅之, 北洞哲治, 鈴木秀和: 内視鏡を用いた機能診断・病態へのアプローチ 胃粘膜好中球由来活性酸素産生量におよぼす背景因子の解析, ワークショップ, 第67回日本消化器内視鏡学会総会, 2004.5.26-28
- ・北洞哲治: 飲用アルカリ性電解水(アルカリイオン水)の検証, 中国北京機能水研究会, 2004.6.27
- ・Tetsuji KITAHORA: VALUATION IN EFFICACY OF POTABLE ELECTROLYZED ALKALINE WATER (ALUKALI-IONSUI) ON GASTROINTESTINAL SYMPTOMS, The 17th Annual and International Meeting of the Japanese Association for Animal Cell Technology, NAGOYA, 2004.11.15-18
- ・北洞哲治: 「生活における健康と水」アルカリイオン水, 日本機能水学会, 第3回学術大会, 市民公開講座, 2004.12.7-8
- ・栗山 学: カテーテル挿入術, 静岡県CAPDナースカレッジ基礎コース, 特別講演, 静岡県女性総合センター, 静岡, 2004.5.20
- ・栗山 学: 排尿障害, SBC (静岡放送), 2004.5
- ・水沼英樹, 藤野敬史, 五來逸雄, 倉林 工: 座談会 産婦人科における骨粗鬆症治療の実際, 熱海市, 2004.4.23

- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療（特別講演），岐阜SERM学術講演会，岐阜市，2004.6.5
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と最新の治療（特別講演），エビスタ発売記念講演会，沼津市，2004.6.10
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療（特別講演），岡山四水会講演会，岡山市，2004.6.23
- ・ 五來逸雄：ラロキシフェンの薬理的効果と安全性，エビスタ学術講演会，松本市，2004.7.17
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と新しい治療（特別講演），岡崎地区エビスタ学術講演会，岡崎市，2004.7.29
- ・ 五來逸雄：新しい骨粗鬆症治療薬としてのSERM（特別講演），神奈川県病院薬剤師会，9月薬学研修会，横浜市，2004.9.16
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療（特別講演），奈良骨粗鬆症研究会，奈良市，2004.9.18
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療（特別講演），第2回神奈川骨粗鬆症フォーラム，横浜市，2004.9.25
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療（特別講演），静岡市産婦人科医会（一土会）講演会，静岡市，2004.9.30
- ・ 五來逸雄：原発性骨粗鬆症の診断と治療，船橋市整形外科医会，船橋市，2004.10.15
- ・ 五來逸雄：骨粗鬆症の診断と最新の治療，第209回各務原市医師会勉強会，各務原市，2004.10.21
- ・ 五來逸雄：特別講演 最新の骨粗鬆症治療薬，川崎市産婦人科医会，川崎市，2004.11.25
- ・ 五來逸雄：骨粗鬆症の診断と最新の薬物治療，平成16年度日本産科婦人科学会島根地方部会ランチョンセミナー，出雲市，2004.12.5
- ・ 佐々木哲雄：褥瘡に対する外用薬の使い分け，その基礎と実際，第2回日本褥瘡学会関東甲信越連合地方会，前橋，2005.3.19
- ・ 佐々木哲雄：趾爪真菌症に対するイトリゾール400mgパルス療法の経験，第2回東部皮膚真菌談話会，沼津市，2004.11.18
- ・ 高藤 繁：新しい抗ヒスタミン薬の臨床的有用性 内科の立場から，イブニングシンポジウム，第16回日本アレルギー学会春季臨床大会，前橋，2004.5.12
- ・ 玉城允之：パーキンソン病について，江戸川区歯科医師会，江戸川区歯科医師会館，2004.6.25
- ・ 築山久一郎：老年者高血圧の治療－血圧管理不良例への対応－（特別講演），第6回臨床高血圧研究会，東京，2004.6.12
- ・ 築山久一郎：血圧管理不良例/治療抵抗性高血圧へのアプローチ－症例を中心に－（特別講演），日経メディカルフォーラム，日本内科学会認定内科専門医資格医更新講座，日本医師会生涯教育講座，広島，2004.9.18
- ・ 築山久一郎：高血圧衛星カンファランス2004（クロージングリマークス），日本高血圧学会生涯教育講演，沼津，2004.11.18
- ・ 築山久一郎：高齢者の循環器疾患－高血圧の診断と治療の実際（特別講演），老年医学研修会，日本医師会生涯教育講座，日本内科学会認定内科医更新講座，京都，2004.11.27
- ・ 築山久一郎：最近の高血圧管理の実際と心拍数の重要性（特別講演），日医生涯教育講座学術講演会，長野，2005.1.21
- ・ 築山久一郎：血圧管理不良例の対策と実際（特別講演），日医生涯教育講座学術講演会，沼津，2005.2.15
- ・ 築山久一郎：血圧管理不良例の治療の実際（特別講演），新潟市医師会内科医会，新潟県医師会生涯教育講座，新潟，2005.2.17
- ・ 築山久一郎：降圧薬の実践的な併用療法（特別講演），学術講演会－進化するカルシウム拮抗剤－，沼津，2005.3.10
- ・ Motoo Tsushima, Hideki Koh, Shingo Kyotani, Yutaka Harano, Masaaki Suzuki：Perfusion Metabolism Theory, Metabolic Syndrome is a syndrome of hypertension First Global International Congress on Cardiovascular Clinical Epidemiology and Pharmacology（第1回循環器病臨床疫学薬理学会），香港，2004.10.1-3
- ・ 都島基夫：健康と疾患における栄養評価法2（基調講演），第26回日本臨床栄養学会，第25回日本臨床栄養協会大連合大会，大阪国際交流会館，2004.10.1-3

- ・ 都島基夫：未病糖尿病外来の新しい外来体系の試みと未病としての糖尿病治療－患者Motivationの引き出し－，中日友好病院20周年記念，日中生活習慣病フォーラム，北京，2004.10.25
- ・ 都島基夫：未病認定資格設置に当たって（特別講演），第11回日本未病システム学会，大宮，2005.1.8
- ・ Motoo Tsushima, Shinichi Sato, Hirotsugu Ueshima, Group JALS：Featured Research Session; Was the extremely high level of serum HDL cholesterol concentration a risk for cardiovascular diseases?, 第69回日本循環器学会年次学術集会，パシフィコ横浜，2005.3.19
- ・ 都島基夫：メタボリックシンドローム，NPO統合研究研究会04ワークショップ，木更津かずさパーク，2004.8.6
- ・ 都島基夫：14公－6 循環器疾患の予防に向けた炎症反応指標の応用に関する研究，厚生労働省特定研究循環器病研究委託費報告会，大阪千里阪急ホテル，2005.2.16
- ・ 都島基夫：メタボリックシンドロームにおける微小循環の意義－perfusion metabolism theory－，第27回福岡脂質研究会，福岡，2004.5.19
- ・ 古井宏彦，都島基夫 他：ピタバスタチンの有効性・安全性に関する多施設共同研究，西三河スタチン研究会，名古屋観光ホテル，2004.5.29
- ・ 古井宏彦，都島基夫 他：ピタバスタチンの有効性・安全性に関する多施設研究－西三河スタチン研究－，東海血栓症研究会，名古屋，2004.7.4
- ・ 古井宏彦，都島基夫 他：ピタバスタチンの有効性・安全性に関する多施設研究，朝食後，夕食後投与の比較－西三河スタチン研究－，名古屋，2004.9.4
- ・ 都島基夫：成因からみたメタボリックシンドローム，微小循環の意義－Perfusion Metabolism Theory－，第27回東静岡メタボリックシンドローム研究会，三島プラザ，2004.9.7
- ・ 都島基夫：糖尿病指導における患者の動機づけと成果－未病糖尿病外来の経験－，南勢糖尿病研究会，松阪，2004.12.9
- ・ 都島基夫：リスクファクター管理とメタボリックシンドローム，危険因子フォーラム，東京品川プリンスホテル，2005.3.16
- ・ 中村治彦：知っておかねばならない肺癌の知識（特別講演），熱海市医師会学術講演会，熱海後楽園ホテル，熱海，2004.11.9
- ・ 中村治彦：肺癌診断におけるFISH（fluorescence in situ hybridization）法の応用（特別講演），第74回東京医科大学霞ヶ浦病院内科研究会（大学院セミナー），東京医科大学霞ヶ浦病院，茨城，2005.2.7
- ・ 藤澤知雄：小児における肝炎ウイルス感染症の話題，第7回富山小児感染免疫研究会，富山，2004.7.24
- ・ 藤澤知雄：どのような時に肝疾患を疑うか，小田原小児科医会学術集会，小田原，2004.9.24
- ・ 藤澤知雄：第117回肝胆膵疾患研究会，横浜，2004.11.11
- ・ 藤澤知雄：学校伝染病について，学校医と養護教諭の集い，熱海，2004.11.16
- ・ 藤澤知雄：小児期における肝炎ウイルス感染症のトピックス，第6回静岡県小児肝・消化器疾患研究会，沼津，2005.1.29
- ・ 藤澤知雄：小児および若年成人におけるC型慢性肝炎の診療，第16回静岡県血友病治療連絡会議－ヘモフィリア講演会－，静岡，2005.3.19
- ・ 乾あやの，藤澤知雄，阿部賢治：小児期におけるHBV感染症とHBV genotypeの検討，シンポジウム，第35回日本肝臓学会東部会，東京，2004.12.10-11
- ・ 陶山秀夫：加齢と疾患 その2 加齢黄斑変性と老人性白内障，熱海市民講座，熱海観光会館，熱海，2005.2.6
- ・ 板倉敬乃：退院後の問題が予測される母子との関わりについて，第51回日本小児保健学会，シンポジウム，盛岡，2004.10.29

- ・板倉敬乃：周産期からの育児支援，児童虐待対策，第3回東松山保健所管内母子保健担当者会議，講演，埼玉県，東松山市，2004.12.20

学会発表

- ・Ishikawa K, Tamagawa Y, Kitamura K, Kanzaki J 他：Molecular biology of hearing loss and deafness, 第5回Molecular Biology, Washington, 2004.9.30-10.3
- ・井上泰広, 小川 郁, 神崎 仁：聴神経腫瘍症例における突発難聴の予後と経過について, 第49回日本聴覚医学会, 10.14-15
- ・熊埜御堂浩, 東野一隆, 神崎 仁 他：難聴小児の画像診断, 第5回静岡県東部耳鼻科集談会, 2005.2.19
- ・神崎 仁：医事紛争防止のために, パネルディスカッション, 日耳鼻医事問題セミナー, 2004.6.16
- ・川口 実：児島辰也, 吉田友彦透析患者に発症した好酸球性結腸炎の1例, 第78回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2004.6.11
- ・川口 実, 野澤秀樹, 唐沢英偉, 春山航海一, 北洞哲治：内視鏡的に摘出し得た大腸アニサキスの1例, 日本消化器病学会東海支部第100回例会, 2004.6.26
- ・川口 実 (座長)：第46回日本消化器病学会大会, 2004.10.21
- ・川口 実 (座長)：第68回日本消化器内視鏡学会総会, 2004.10.24
- ・花田美穂, 伊東祥雄, 佐々木哲雄, 鈴木由香, 下田圭一, 伊藤 章：最近1年間に褥瘡から分離した菌の検討, 第6回日本褥瘡学会, 札幌市, 2004.9.3-4
- ・伊藤 章 (座長)：イブニングセミナー, HIV感染症の現状と課題－HIV検査体制を中心に－, 第56回神奈川県感染症医学会, 横浜, 2004.9.18
- ・近藤真規子, 嶋 貴子, 須藤弘二, 足立拓也, 相楽裕子, 岩室紳也, 伊藤 章, 今井光信：HIV感染者におけるnef欠損HIV-1変異株について, 第18回日本エイズ学会総会, 静岡市, 2004.12.10
- ・H. Iwasaki, T. Tsuchida, I Han, H. Adachi, K. Kabara, H. Kitamura：Functional bone metastasis for a thyroid cancer, 12th International Congress of Endocrinology, Lisbon, 2004.9
- ・岩崎博幸, 土田知史, 南 智行, 稲垣大輔, 岡本隆英：甲状腺癌転移巣におけるホルモン産生能とサイログロブリン値の関係, 第42回日本癌治療学会総会, 2004.10
- ・川口 実, 唐澤英偉, 北洞哲治, 春山航海一, 野澤秀樹, 土田知史：IIc ul (+)と思われる大腸m癌の一例, 第67回日本消化器内視鏡学会総会, 2004.5.26-5.28
- ・十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 橋本卓史, 大森多恵, 藤沢知雄, 北村 創：低コレステロール血症と低フィブリノーゲン血症が診断のきっかけとなった Fibrinogen storage disease の1例, 第31日本小児栄養消化器肝臓学会, 東京, 2004.9.18-19
- ・十河 剛, 乾あやの, 小林大介, 小松陽樹, 藤沢知雄, 北村 創：小児における機能性胃腸症－内視鏡診断の役割－, 第1回日本消化管学会総会, 名古屋, 2005.1.28-29
- ・五來逸雄：エストロゲン受容体ではなくエストロゲン代謝酵素の遺伝子多型は健常日本人閉経後女性での初経年齢と相関する, 日本骨代謝学会, 大阪市, 2004.8.6
- ・五來逸雄：中高年女性の医学 (研修講演), 骨粗鬆症の診断と最新の薬物治療, 第369回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 横須賀市, 2004.10.30
- ・Gorai I, Inada M, Morinaga H, Uchiyama M, Yamauchi H, Chaki O, Hirahara F, Cytochrome P450c17a (CYP17) gene polymorphism indirectly influence on bone density through their effects on endogenous androgen in postmenopausal Japanese women-Are the effects of age and body mass index greater than those of endogenous sex steroids?, The 26th Annual Meeting of

- the American Society of Bone and Mineral Research, Seattle, Washington, USA, 2004.10.1-5
- Kurasawa K, Chaki O, Mochizuki K, Arata Y, Yoshikata H, Kikuchi R, Gorai I, Hirahara H, Predictive value of biochemical markers of bone turnover in the treatment of Japanese postmenopausal women with alendronate, The 26th Annual Meeting of the American Society of Bone and Mineral Research, Seattle, Washington, USA, 2004.10.1-5
 - 佐々木哲雄, 花田美穂, 高橋秀行: Eosinophilic cellulites (Wells症候群), 第68回日本皮膚科学会総会, 京都市, 2004.4.18
 - 猪又直子, 佐々木哲雄, 木村 優, 山中正二, 池澤芳郎: MALT lymphomaの併発が疑われたシェーグレン症候群の1例, 第68回日本皮膚科学会総会, 京都市, 2004.4.18
 - 伊東祥雄, 佐々木哲雄, 花田美穂: 経過中に胃癌の合併が判明した水疱性類天疱瘡の1例, 第79回日本皮膚科学会静岡地方会, 静岡市, 2004.6.19
 - 立脇聡子, 高橋一夫, 小島実緒, 小野田雅仁, 近藤 恵, 佐々木哲雄, 池澤善郎: 男性SLE7例の検討, 第79回日本皮膚科学会東京地方会, 横浜市, 2004.6.19
 - 飯島敬子, 米沢美津子, 太田しずか, 勝又律子, 花田美穂, 佐々木哲雄, 下田圭一: 最近1年間に経験した褥瘡発生患者の背景についての検討, 第6回日本褥瘡学会学術大会, 札幌市, 2004.9.3-4
 - 伊東祥雄, 佐々木哲雄, 花田美穂: 陰囊に生じた疣贅様黄色腫の1例, 第80回日本皮膚科学会静岡地方会, 三島, 2004.9.25
 - 伊東祥雄, 佐々木哲雄, 菅原万理子, 花田美穂, 北村 創: 外陰部リンパ管腫の1例, 第68回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 新潟市, 2004.10.2-3
 - 佐々木哲雄, 石井文人, 橋本 隆: Vancomycin誘発性linear IgA bullous dermatosisと思われる1例, 第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 久留米市, 2004.11.6-7
 - 佐々木哲雄, 近藤 恵, 内田敬久, 高橋一夫: Generalized morphea様の特徴的な躯幹の皮膚硬化を呈する軽症型全身性強皮症(炎症型SScの1型か?), 第8回強皮症研究会・厚生労働省班会議合同会議, 東京都, 2005.1.15
 - 伊東祥雄, 佐々木哲雄, 花田美穂: 左顔面頬部にみられたarteriovenous hemangiomaの1例, 第81回日本皮膚科学会静岡地方会, 浜松, 2005.1.22
 - 立脇聡子, 高橋一夫, 小島実緒, 山口由衣, 小野田雅仁, 近藤 恵, 池澤善郎, 佐々木哲雄: 男性SLE7例の検討, 第28回皮膚脈管・膠原病研究会, 東京都, 2005.1.27
 - 山口由衣, 高橋一夫, 小島実緒, 小野田雅仁, 内田敬久, 近藤 恵, 千葉由幸, 蒲原 毅, 池澤善郎, 泉二恭輔, 佐々木哲雄: 難治性下腿潰瘍を契機に診断した抗リン脂質抗体症候群の1例, 第28回皮膚脈管・膠原病研究会, 東京都, 2005.1.28
 - 佐々木哲雄, 菅原万理子, 花田美穂, 高橋秀行, 伊東祥雄, 三谷直子, 水野 尚, 内藤静夫: Clear cell BCEの1例と当科における11年間の基底細胞上皮腫の統計, 第68回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京都, 2005.2.19
 - 佐々木哲雄 (座長): 第68回日本皮膚科学会総会, 京都市, 2004.4.18
 - 佐々木哲雄 (座長): 第56回日本皮膚科学会中部支部学術大会ランチョンセミナー, 金沢市, 2004.9.12
 - 佐々木哲雄 (座長): 第80回日本皮膚科学会静岡地方会, 三島, 2004.9.25
 - 佐々木哲雄 (座長): 第8回強皮症研究会・厚生労働省班会議合同会議, 東京都, 2005.1.15
 - 佐々木哲雄 (座長): 第28回皮膚脈管・膠原病研究会, 東京都, 2005.1.28
 - 佐々木哲雄 (座長): 第68回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京都, 2005.2.19
 - 高藤 繁 (司会): アナフィラキシーショックの予防治療法, イブニングシンポジウム, 第54回日本アレルギー学会総会, 横浜, 2004.11.5
 - 久保嶋慎二, 高藤 繁, 石田 明, 中川武正: ヒト肺線維芽細胞活性化に対する血小板活性化因子 (PAF) の影響,

第54回日本アレルギー学会総会，横浜，2004.11.5

- Tamaki Mitsuyuki , Sawada Y, Arasaki K, Sudo K : The effects of repetitive transcranial magnetic stimulation (rTMS) on frozen gait in the patients with parkinsonism, 8th International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders, Roma, 2004.6.16
- 武井直之, 武井 泉, 渡辺清明, 広瀬信義, 都島基夫, 猿田享男 : 2型糖尿病患者における腹部CTを用いた大動脈石灰化率について, 進展度と危険因子, 合併症との関係, 第47回日本糖尿病学会年次学術集会東京国際フォーラム, 2004.5.15
- 三輪宜一, 河口明人, 服部浩明, 都島基夫, 笹栗俊之 : 血中HDL結合PAF-AH濃度と頸動脈硬化度との関係, 第36回日本動脈硬化学会, 福岡国際会議場, 2004.7.23-24
- 都島基夫 (座長) : 動脈硬化の疫学, 第36回日本動脈硬化学会, 福岡国際会議場, 2004.7.23-24
- Motoko Adachi, Yuru Kakuta, Atsuko Hidaka, Satomi Nakano, Taro Maruyama, Shingo Kyotani, Motoo Tsushima, Shosuke Kojo : When apolipoproteinB-100 is fragmented, LDL particle size becomes smaller, 第44回日本生化学大会, パシフィコ横浜, 2004.10.16
- 中野里美, 京谷晋吾, 仲森隆子, 丸山千寿子, 丸山太郎, 都島基夫 : 高感度CRP(hsCRP)の測定意義と動脈硬化との関係—紀勢町/動脈硬化5報, 日本老年医学会年次学術集会, 千葉幕張メッセ, 2004.6.17
- 仲森隆子, 都島基夫, 丸山千寿子, 丸山太郎, 中野里美, 京谷晋吾 : 高感度CRP(hs-CRP)の測定意義と肥満との関係 第25回日本肥満学会, 大阪国際会議場, 2004.9.28-30
- 都島基夫 (座長) : 健康と疾患における栄養評価法2, 第26回日本臨床栄養学会, 第25回日本臨床栄養協会, 大連合大会, 大阪国際交流会館, 2004.10.1-3
- 今村佳子, 丸山千寿子, 丸山太郎, 都島基夫 : 紀勢町研究, 第26回日本臨床栄養学会, 第25回日本臨床栄養協会, 大連合大会, 大阪国際交流会館, 2004.10.1-3
- 都島基夫 (座長) : 中日友好病院20周年記念, 日中生活習慣病, フォーラム, 北京, 2004.10.25
- 都島基夫 (座長) : 第11回日本未病システム学会, サマリー講演, 未病診断1, 大宮, 2005.1.8
- 都島基夫 (座長) : 第11回日本未病システム学会, 特別講演, 大宮, 2005.1.8
- 仲森隆子, 角田 裕, 小幡一美, 都島基夫 : トリグリセライド値が身体へ及ぼす影響, 第11回日本未病システム学会 大宮, 2005.1.8
- 仲森隆子, 小幡一美, 角田 裕, 都島基夫 : 早食いの影響, 第11回日本未病システム学会, 大宮, 2005.1.8
- Motoo Tsushima, Yoshio Ishida, Hideki Koh, Masaaki Suzuki : Microcirculation to the peripheral cells is an important factor for metabolic syndrome, —Perfusion Metabolism Theory—, 第69回日本循環器学会年次学術集会, パシフィコ横浜, 2005.3.19
- 中村治彦, 本田英俊, 原田匡彦, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : 臨床病期I期非小細胞肺癌に対する郭清を伴わない縮小手術の予後 (サージカルフォーラム), 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.7
- 坪井正博, 池田徳彦, 林 和, 大平達夫, 梶原直央, 河野貴文, 原田匡彦, 内田修, 平野 隆, 中村治彦, 加藤治文, 国頭英夫, 多田弘人, 永井完治, 一瀬幸人, 土屋了介 : 局所進行非小細胞癌に対する術前後補助療法 : 当院における臨床経験と多施設共同試験の結果からの考察, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.8
- 梶原直央, 内田修, 林 和, 宮島邦治, 河野貴文, 鈴木明彦, 吉田浩一, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, 米山一男, 青島正大, 三好新一郎, 加藤治文 : 関東地域における肺移植適応疾患の検討, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.9
- 原田匡彦, 奥仲哲弥, 林 和, 本田英俊, 一瀬修二, 臼田実男, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, 加藤治文 : 肺門部早期癌に対する光線力学的治療(PDT)の適応基準, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.7

- ・池田徳彦, 林 和, 内田修, 坪井正博, 大平達夫, 梶原直央, 前田純一, 平野 隆, 中島英治, 中村治彦, 加藤治文: 末梢小型肺癌に対する治療戦略—手術術式の個別化は可能か, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.8
- ・内田 修, 梶原直央, 河野貴文, 林 和, 永田真一, 高橋 充, 鈴木明彦, 林 博樹, 坪井正博, 池田徳彦, 平野隆, 中村治彦, 加藤治文: 肺移植後慢性拒絶反応におけるケモカインRantes/CCR5とMAPK Pathwayについての検討—気道炎症モデルとマウス閉塞性細気管支炎モデルを用いて, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.8
- ・河野貴文, 内田 修, 梶原直央, 林 和, 宮島邦治, 鈴木明彦, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, 加藤治文: 肺気腫合併肺癌症例の臨床的検討, 第104回日本外科学会総会, 大阪, 2004.4.9
- ・中村治彦, 藤田浩司, 中川 啓, 岸フク子, 竹内 淳, 佐治 久, 川崎徳仁, 緒方昭彦, 保坂誠, 加藤治文: 肺癌におけるIQGAP1発現の意義, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.27
- ・内田修, 梶原直央, 河野貴文, 林 和, 宮島邦治, 高橋 充, 鈴木明彦, 林博樹, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, 加藤治文: マウス異所性気管移植におけるp-ERKの発現とケモカインについての検討, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.27
- ・中島英治, 内田 修, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, 米山一男, 加藤治文: 自然気胸の発症と気圧変化についての検討, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.28
- ・アウテ・イデリス, 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 加藤治文: 肺癌細胞診におけるFISH法の応用(ワークショップ), 第27回日本呼吸器内視鏡学会総会, 大阪, 2004.6.2
- ・大平達夫, Robert Gemmill, 山田公人, 河野貴文, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 中村治彦, Harry Drabkin, 加藤治文: 肺癌におけるE-cadherinの低下とそのメカニズムの検討, 第13回日本癌病態治療研究会, 千葉, 2004.6.1
- ・中村治彦: 肺癌治療の進歩—遺伝子治療, 第10回国際医療福祉大学附属熱海病院 院内学術懇話会, 熱海, 2004.7.27
- ・川崎徳仁, 田口雅彦, 高藤 繁, 中村治彦: 気管支鏡的に診断した低ナトリウム血症を伴う肺小細胞癌の1例, 第110回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 東京, 2004.9.25
- ・中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 藤田浩司, 中川啓, 岸フク子, 竹内 淳, 加藤治文: 肺癌における細胞骨格蛋白IQGAP1の発現様式, 第63回日本癌学会総会, 福岡, 2004.9.30
- ・川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦, 加藤治文: 非小細胞肺癌におけるサイクリンD1遺伝子コピー数の異常, 第42回日本癌治療学会総会, 京都, 2004.10.27
- ・中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: 肺小細胞癌の切除成績に影響する因子, 第57回日本胸部外科学会総会, 札幌, 2004.10.20
- ・中村治彦, アウテ・イデリス, 川崎徳仁, 田口雅彦, 加藤治文: 非小細胞肺癌における腫瘍局所のCEA発現とその血清濃度の関係, 第45回日本肺癌学会総会, 横浜, 2004.10.25
- ・中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦: 胸腔ドレナージによって治癒した急性膿胸の1例, 日本外科感染症学会, 長岡, 2004.11.18 (地震のため中止, 抄録号に抄録掲載しインターネット上で質疑応答)
- ・田口雅彦, 川崎徳仁, 中村治彦: 気胸後に発見された悪性胸膜中皮腫の1例, 第141回日本肺癌学会関東支部会, 新宿, 2004.12.18
- ・中村治彦, 田口雅彦, 川崎徳仁, 北村 創: 肺炎が発見契機となった大腸癌肺転移の1切除例, 第142回肺癌学会関東支部会, 2005.3.12
- ・中村治彦 (座長): 周術期/合併症, 第21回日本呼吸器外科学会総会, 横浜, 2004.5.28
- ・中村治彦 (座長): 肺癌に対する術前化学療法について(セミナー), 第10回呼吸器外科セミナー(総合), 横浜, 2004.5.29
- ・中村治彦 (座長): 基礎およびその他, 第27回日本呼吸器内視鏡学会総会, 大阪, 2004.6.1
- ・中村治彦 (座長): 末梢小型肺癌に対する術式選択(ワークショップ), 第19回日本肺癌学会ワークショップ, 京都,

2004.7.10

- ・ 伊藤 淳, 三ツ木直人, 齋藤知行, 腰野富久, 岡本連三: Kinematic人工関節置換術後の膝蓋骨追加置換例, 第48回日本リウマチ学会総会・学術集会, 岡山, 2004.4.15
- ・ 伊藤 淳, 藤田英彦: 大腿骨頸部骨折術後の患肢踏ん張り能力と退院時歩行能力について, 第41回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2004.6.3
- ・ 藤田英彦, 伊藤 淳: 大腿骨頸部骨折手術後歩行能力に対する入院時予測チャートを用いたprospective study, 第41回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2004.6.3
- ・ 十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 吉村文一, 位田 忍, 藤澤知雄, 上本伸一: 初診から10年後に肝移植となった原発性硬化性胆管炎と自己免疫性肝炎の合併の1例, 第21回日本小児肝臓研究会, 熱海, 2004.7.17-18
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 森 庸祐, 藤澤知雄, 内田恵一, 水野修吾, 上本伸一: 診断に苦慮した特発性腹腔内膿瘍の1例, 第40回日本小児放射線学会, 長崎, 2004.6.25
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄: ノロウイルス感染症にみられた麻痺生イレウスの画像所見, 第40回日本小児放射線学会, 長崎, 2004.6.25
- ・ 橋本卓史, 麻生敬子, 伊藤祐佳人, 月本一郎, 岩崎維和夫, 中村博志, 渡邊聖, 藤澤知雄: 1か月健診で黄疸を指摘されながら, 診断の遅れた胆道閉鎖症4例, 第31回武蔵野小児肝臓病懇話会, 東京, 2004.11.30
- ・ 藤沢知雄, 十河 剛, 乾あやの: 小児期発症の自己免疫性肝炎に対する治療, 厚生労働省科学研究費補助金「難治性の肝疾患に関する調査研究, 東京, 2005.1.20-21
- ・ 原田知典, 中島章子, 中村智子, 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 相原雄幸: 薬剤性肝障害で肝内胆管の消失を認めた小児2例: 第10回神奈川県小児肝疾患研究会, 横浜, 2005.3.2
- ・ 伊藤 淳, 三ツ木直人, 腰野富久, 岡本連三, 齋藤知行: 人工膝関節置換術後の腔骸骨追加置換例と膝蓋骨に置換長期経過例, 第32回日本リウマチ・関節外科学会, 奈良, 2004.10.1
- ・ 小松陽樹, 乾あやの, 十河 剛, 江上美矢子, 石倉健司, 永井敏郎, 藤澤知雄: 小児期に診断したDuctal plate malformationの臨床経過, 第107回日本小児科学会学術集会, 岡山, 2004.4.9
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 野崎昌俊, 大嶋宏一, 藤澤知雄: 生体部分肝移植後に"de novo" autoimmune hepatitisを発症した1例, 第107回日本小児科学会学術集会, 岡山, 2004.4.9
- ・ 大嶋宏一, 小松陽樹, 十河 剛, 乾あやの, 野々山恵章, 藤澤知雄: 意識消失を契機に発見された原発性アルドステロン症の1小児例, 第107回日本小児科学会学術集会, 岡山, 2004.4.10
- ・ 神田 隆, 杉枝正明, 乾あやの, 秋山美穂, 西尾治: 胃腸炎患者および健康人からのNorovirusの検出について, 第45回日本臨床ウイルス学会, 大阪, 2004.6.13
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 野崎昌俊, 大嶋宏一, 藤澤知雄: 生体部分肝移植後に"de novo" autoimmune hepatitisを発症したウイルソン病の1例, 第10回Wilson病研究会, 東京, 2004.5.8
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄, 宮川 浩, 江川裕人, 田中紘一: 生体部分肝移植後のde novo autoimmune hepatitis発症におけるサイトケラチン8/18抗体の関与, 第40回日本肝臓学会総会, 浦安, 2004.6.3-4
- ・ A. Inui, T. Sogo, H. Komatsu, M. Nosaki, T. Fujisawa: Clinical features of ductal plate malformation in childhood, 2nd World Congress of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition, Paris, 2004.7.3-7
- ・ M. Nozaki, T. Sogo, A. Inui, H. Komatsu, T. Fujisawa, K. Murayama, T. Numata, M. Mori, S. Yokota: Serial changes in cytokines, soluble cytokine receptors, soluble Fas and soluble Fas ligand in a case of fulminant hepatitis complicated with hemophagocytic syndrome, 2nd World Congress of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition, Paris, 2004.7.3-7
- ・ T. Sogo, T. Fujisawa, A. Inui, H. Komatsu, Y. Etani, H. Tajiri, K. Waki, S. Nakajima, T. Imagawa, S. Yokota: Intravenous methylprednisolone pulse therapy for children with autoimmune hepatitis, 2nd World Congress of Pediatric

Gastroenterology, Hepatology and Nutrition, Paris, 2004.7.3-7

- ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄, 宮川 浩, 江川裕人, 田中紘一: 移植後のde novo autoimmune hepatitis 発症におけるサイトケラチン8/18の関与, 第30回武蔵野小児肝臓病懇話会, 東京, 2004.7.13-14
- ・ 十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 吉村文一, 位田 忍, 藤澤知雄, 上本伸二: 初診から10年後に肝移植となった原発性硬化性胆管炎と自己免疫性肝炎合併の1例, 第21回日本小児肝臓研究会, 熱海, 2004.7.17-18
- ・ 武野 亨, 早川依里子, 佐藤典子, 國方徹也, 松下竹次, 枝元良広, 阿部賢治, 星野 健, 十河 剛, 乾あやの: 母子感染によるB型劇症肝炎の一例, 第21回日本小児肝臓研究会, 熱海, 2004.7.17-18
- ・ 日衛嶋栄太郎, 岡藤郁夫, 西小森隆太, 楠 隆, 平塚俊男, 中畑龍俊, 鬼頭敏幸, 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄: 劇症肝炎で発症した自己免疫性肝炎(AIH)Ⅱ型が疑われた4歳女児例, 第21回日本小児肝臓研究会, 熱海, 2004.7.17-18
- ・ 十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 橋本卓史, 大森多恵, 藤澤知雄, 北村 創: 低コレステロール血症と低フィブリノーゲン血症が診断のきっかけとなったFibrinogen storage diseaseの1例, 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会, 東京, 2004.9.18-19
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 中島章子, 横田俊平, 高柳正樹, 重松陽介: 原因不明の肝機能異常で発見された脂肪酸代謝異常症, 第9回神奈川県小児肝疾患研究会, 横浜, 2004.9.29
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: 小児期に診断したDuctal plate malformationの臨床経過と病理組織像, 第8回日本肝臓学会大会, 福岡, 2004.10.21-22
- ・ 十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 藤澤知雄, 田尻 仁: 小児期における原発性硬化性胆管炎の免疫学的特徴と長期予後, 第36回日本小児感染症学会, 東京, 2004.11.12-13
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄, 西尾 治: ノロウイルスによる急性胃腸炎の臨床的検討, 第36回日本小児感染症学会, 東京, 2004.11.12-13
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 板倉敬乃, 高崎二郎, 藤多和信, 藤澤知雄: 当院小児科における小児消化器内視鏡症例の検討, 第106回日本小児科学会静岡地方会, 沼津, 2004.11.14
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄, 小松陽樹: 小児期のHBV感染症におけるgenotype, 第31回武蔵野小児肝臓病懇話会, 東京, 2004.11.30
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄: 小児期のノロウイルス感染症の臨床的特徴, 第32回静岡県東部臨床小児懇話会, 三島, 2005.1.22
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 小林大介, 小松陽樹, 藤澤知雄, 北村 創: 小児における機能性胃腸症, 内視鏡診断の役割, 第1回日本消化管学会, 名古屋, 2005.1.28-29
- ・ 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 小林大介, 石井茂樹: 当院小児科における小児消化器内視鏡症例の検討, 第272回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2005.2.19
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄, 阿部賢治: 小児期から若年成人期におけるHBV感染症とGenotypeの検討, 第10回神奈川県小児肝疾患研究会, 横浜, 2005.3.2
- ・ 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄, 神田 隆, 杉枝正明: ノロウイルスによる急性胃腸炎の合併症の検討, 第107回日本小児科学会静岡地方会, 静岡, 2005.3.5
- ・ 生駒英子, 重政朝彦, 佐々木龍, 築山久一郎: 塩酸エフェドリン投与による冠攣縮が疑われた一例, 第123回日本循環器学会東海地方会, 名古屋, 2004.6.19
- ・ 生駒英子, 重政朝彦, 佐々木龍, 築山久一郎: 塩酸エフェドリン投与による冠攣縮が疑われた一例, 第1回駿河湾を囲む臨床を語る会, 沼津, 2004.6.30.
- ・ 重政朝彦, 生駒英子, 佐々木龍, 齋藤紀隆, 遠山慎一, 梅村 敏: 心疾患患者における運動耐容能と血漿脳性ナトリウム利尿ペプチドとの関係—高齢者と若年者との比較検討—, 第10回日本心臓リハビリテーション学会, 相模原,

2004.9.4

- ・ 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子, 築山久一郎: 多臓器障害を呈した完全房室ブロックに対してペーシング治療とカルペリチド投与により救命し得た高齢女性の一例, 第15回日本老年医学会東海地方会, 名古屋, 2004.9.25
- ・ 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 携帯型超音波診断装置が早期診断に有用であった肺塞栓症の2例, 日本超音波医学会第21回中部地方会学術集会, 富山, 2004.10.17
- ・ 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子: 多臓器障害を呈した完全房室ブロックに対してペーシング治療とカルペリチド投与により救命し得た高齢女性の一例「当院永久ペースメーカー植え込み第1例目」, 第2回駿河湾を囲む臨床を語る会, 沼津, 2004.11.24
- ・ 佐々木龍, 重政朝彦, 生駒英子, 築山久一郎: 卵巣明細胞癌に合併した肺塞栓症の一例, 日本循環器学会第124回東海・第109回北陸合同地方会, 金沢, 2004.11.27
- ・ 重政朝彦, 佐々木龍, 生駒英子, 築山久一郎: 県外で発症した心室細動に対して救急救命士による除細動が奏効し救命し得た急性心筋梗塞の一例. 第195回日本内科学会東海地方会, 津, 2005.2.19.
- ・ 柏木広哉, 矢田清身, 陶山秀夫: 県立静岡がんセンターにおける眼腫瘍数例, 平成16年度第1回静岡県眼科医放談会, 沼津, 2004.5.12
- ・ 陶山秀夫, 石川 均, 北村 創: 33歳男性に発症した球結膜扁平上皮癌の1例, 第21回関東眼科学会東京, 2004.5.15
- ・ 柏木広哉, 陶山秀夫, 石川 均, 清水公也: 電子カルテとの2年間, 第21回関東眼科学会, 東京, 2004.5.15
- ・ 緒方博子, 峰村健司, 富岡敏也, 陶山秀夫, 石川 均, 根本 徹, 岸原紘子, 西本浩之, 河合裕美, 庄司信行, 清水公也: ラタノプロスト単独使用例へのプリンゾラミド追加による眼圧下降効果, 第21回関東眼科学会, 東京, 2004.5.15
- ・ 岸原紘子, 堤 瑛理, 西本浩之, 石川 均, 陶山秀夫, 根本 徹, 富岡敏也, 西元久晴, 河合裕美, 庄司信行, 清水公也: ドルゾラミド点眼薬からプリンゾラミド点眼薬への変更による眼圧下降効果, 第21回関東眼科学会, 東京, 2004.5.15
- ・ 堀部 円, 石川 均, 浅川 賢, 陶山秀夫, 清水公也: Step刺激における瞳孔反応を用いた眼精疲労の評価, IT眼症と環境因子研究班第3回研究会, 東京, 2004.5.23
- ・ 柏木広哉, 陶山秀夫, 清水公也: 地方の総合病院での電子カルテの現状と問題点, 第40回日本眼光学学会, 横浜, 2004.9.12
- ・ 高崎二郎, 水田桂子, 鈴木理永, 田村正徳: 入院時に髄液細胞数が正常であったB群溶連菌による化膿性髄膜炎の1例における髄液中interleukin-8及びmatrix metalloproteinase-9の変化, 第107回日本小児科学会, 岡山, 2004.04.10
- ・ 高崎二郎, 田村正徳: B群溶連菌による新生児化膿性髄膜炎患児の髄液中Matrix Metalloproteinase-8の測定, 第40回日本周産期・新生児医学会, 東京, 2004.7.11
- ・ 高崎二郎, 田村正徳: 化膿性髄膜炎患児の髄液中Matrix Metalloproteinase-8の測定, 第9回日本神経感染症学会, 弘前, 2004.10.8
- ・ 高崎二郎, 板倉敬乃, 田村正徳: B群溶連菌による化膿性髄膜炎患児の髄液中インターロイキン12の検討, 第49回日本未熟児新生児学会, 横浜, 2004.12.7
- ・ 山田佳彦, 村松賢一, 高橋謙一郎, 森 保道, 向笠浩司, 岩崎知之, 河村晋平, 関原久彦: デヒドロエピアンドロステロン (DHEA) 補充療法による血中ホルモン濃度及びインスリン抵抗性指標への影響の検討, 第101回日本内科学会総会・講演会, 東京
- ・ 岩崎知之, 向笠浩司, 河村晋平, 山田佳彦, 森 保道, 中島淳, 関原久彦: ラット心線維芽細胞におけるコラーゲンタイプ1発現に対するdehydroepiandrosterone (DHEA) の影響, 第77回日本内分泌学会学術総会, 京都
- ・ 中川 幸, 安田和基, 山田佳彦, 森保道, 関原久彦: 副腎アンドロゲンの膵β細胞への効果の検討: 第47回日本糖尿

病学会年次学術集会, 東京

- ・ 山田佳彦, 向笠浩司, 森 保道, 村松賢一, 岩崎知之, 高橋謙一郎, 河村晋平, 関原久彦, 脂肪肝のインスリン抵抗性に及ぼす影響の検討, 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京
- ・ 板倉敬乃, 十河 剛, 乾あやの, 高崎二郎, 藤多和信, 藤澤知雄: 当科における小児救急外来の現状, 第29回静岡県小児保健学会, 静岡市, 2004.10.23
- ・ 板倉敬乃, 羽鳥雅之, 峯 真人, 安田 正: 児童虐待に対する実態調査, 第51回日本小児保健学会, 盛岡, 2004.10.30
- ・ 板倉敬乃, 清水 浩, 田村正徳: 極低出生体重児の9歳時の呼吸機能, 第37回日本小児呼吸器疾患学会, 駒場, 2004.11.19
- ・ 板倉敬乃, 高崎二郎, 清水 浩, 田村正徳: 出血性肺浮腫の気道分泌物中のサーファクタントサブタイプについての検討, 第2報, 第49回日本未熟児新生児学会, 横浜, 2004.12.7
- ・ 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦: 気管支鏡的に診断した低ナトリウム血症を伴う肺11・細胞癌の1例, 第110回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 東京, 2004.9
- ・ 熊埜御堂浩: 難聴小児の画像診断, 静岡県東部耳鼻咽喉科集談会, KKR, 熱海, 2005.2.19
- ・ 土田知史, 米山克也, 佐々木一嘉, 神 康之, 笠原彰夫, 鹿原 健, 岩崎博幸, 小菅宇之, 利野 靖, 長嶋洋治: 局所切除および免疫化学療法にて長期生存中の直腸肛門部悪性黒色腫の1例, 第90回日本消化器病学会総会, 仙台, 2004.4.21
- ・ 土田知史, 足立広幸, 韓 仁燮, 南 智之, 稲垣大輔, 鹿原 健, 岡本隆英, 岩崎博幸, 春山航一, 川口 実, 北村 創, 長 晴彦, 今田敏夫: 臍頭部腫瘤像を呈した十二指腸原発平滑筋肉腫の1例, 第66回日本臨床外科学会総会, 盛岡, 2004.10.14
- ・ 土田知史, 稲垣大輔, 韓 仁燮, 今田敏夫: 高度リンパ管侵襲および同時性多発巨大肝転移を伴った小型大腸癌の1例, 第59回日本大腸肛門病学会総会, 久留米, 2004.11.5
- ・ Takuji Amano, Hideaki Hiro-Oka, DongHak Choi, Hiroyuki Furukawa, Fumiyoshi Kano, Mituo Takeda, Motoi Nakanishi, Kimiya Shimizu, Kohji Ohbayashi: OFDR with an SSG-DBR laser, The International Symposium on Optical Science and Technology (SPIE 49th Annual Meeting), Colorado Convention Center, 2004.8.2
- ・ 中西 基, 天野卓治, 廣岡秀明, 古川裕之, 崔 東学, 大林康二, 庄司信行, 清水公也: OFDR-OCTによる生体顕微鏡, 第40回日本眼光学学会, パシフィコ横浜, 2004.9.11
- ・ 古川裕之, 崔 東学, 天野卓治, 廣岡秀明, 吉村了行, 宮澤丈夫, 中西 基, 清水公也, 大林康二: OFDR-OCTによる血液の酸素飽和度測定, 応用物理学会, 東北学院大学, 2004.9.11
- ・ DongHak Choi, Takuji Amano, Hideaki Hiro-Oka, Hiroyuki Furukawa, Takeo Miyazawa, Ryoko Yoshimura, Motoi Nakanishi, Kimiya Shimizu, Kohji Ohbayashi: Tissue imaging by OFDR-OCT using an SSG-DBR laser, Biomedical Optics 2005 (SPIE International Symposium), San Jose Convention Center, 2005.1.22
- ・ 中西 基, 天野卓治, 廣岡秀明, 古川裕之, 崔 東学, 大林康二, 鈴木宏昌, 庄司信行, 清水公也: OFDR-OCTによる隅角の観察, 第109回日本眼科学会総会, 国立京都国際会館, 2005.3.24
- ・ 崔 東学, 天野卓治, 廣岡秀明, 古川裕之, 宮澤丈夫, 吉村了行, 石井啓之, 中西 基, 清水公也, 大林康二: SSG-DBRレーザを用いたOFDR-OCTによる生体組織画像, 応用物理学会, 埼玉大学, 2005.3.2
- ・ 中西 基: 第43回日本網膜硝子体学会総会, 前橋市民文化会館, 2004.12.3-12.5
- ・ 中西 基: 第11回日本糖尿病眼学会総会, 名古屋国際会議場, 2005.3.4-3.6

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，その他研究助成金）

- ・ 五来逸雄（研究代表者）：閉経後日本人女性の骨量変化に及ぼす内分泌的・遺伝的因子の影響と骨量予知に関する研究，文部科学省科学研究費，基盤研究(C)(2)，課題番号14571576，継続
- ・ 五来逸雄（研究代表者）：ラロキシフェン「選択的エストロゲン受容体モジュレーター(SERM)」が閉経後日本人女性の皮膚に及ぼす影響に関する研究，平成16年度骨粗鬆症財団研究助成金
- ・ 佐々木哲雄（研究協力者）：分担研究課題 高齢者用外用治療マニュアルの開発と普及（研究者：国立長寿医療センター 磯貝善蔵），長寿医療研究委託事業
- ・ 佐々木哲雄（共同研究者）：ラロキシフェン「選択的エストロゲン受容体モジュレーター(SERM)」が閉経後日本人女性の皮膚に及ぼす影響に関する研究（研究代表者：五来逸雄），平成16年度骨粗鬆症財団研究助成金
- ・ 佐々木哲雄，近藤 恵，内田敬久，高橋一夫：Generalized morphea 様の特徴的な躯幹の皮膚硬化を呈する軽症型全身性強皮症（炎症型SScの一表現型か？），厚生労働科学研究費補助金，「難治性疾患克服研究事業 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」（主任研究者 竹原和彦），平成16年度総括・分担研究報告書，pp299-307，2005.3
- ・ 竹原和彦，佐藤伸一，宮園浩平，石川 治，佐々木哲雄，室 慶直，伊 浩信，遠藤平仁，川口鎮司，桑名正隆，藤本 学，後藤大輔：強皮症における病因解明と根治的治療法の開発，厚生労働科学研究費補助金，「難治性疾患克服研究事業 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」（主任研究者 竹原和彦），平成16年度総括研究報告書，pp1-6，2005.3
- ・ 竹原和彦，佐藤伸一，石川 治，桑名正隆，伊 浩信，遠藤平仁，川口鎮司，佐々木哲雄，室 慶直，後藤大輔，藤本 学：全身性強皮症の重症度分類・治療指針案，厚生労働科学研究費補助金，「難治性疾患克服研究事業 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」（主任研究者 竹原和彦），平成16年度分担研究報告書，pp7-45，2005.3
- ・ 都島基夫：循環器疾患の予防に向けての炎症反応指標の応用に関する研究，厚生労働省特定研究循環器病研究委託費，14公-6，主任研究員，2002-2004年度
- ・ 中村治彦（研究代表者）：リアルタイムPCR法による肺癌発現遺伝子の高感度検出と診断への応用，平成16年度科学研究費補助金（基盤研究C2），課題番号15591493，継続
- ・ 藤澤知雄：小児期発症の自己免疫性肝炎に対するステロイドパルス療法，実績報告書，厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業），難治性肝疾患に関する調査研究，2005.4
- ・ 藤澤知雄：小児C型慢性肝炎に対するPEG-IPN療法（案）実績報告書，平成15年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎分野）H14肝炎-13，2005.3
- ・ 十河 剛，藤澤知雄：小児の自己免疫性肝炎に対する治療，厚生労働科学研究費補助金，難治性疾患克服研究事業「難治性の肝疾患に関する調査研究」，平成16年度第一回医総会，東京，2004.8.28
- ・ 藤澤知雄，乾あやの：HCV母子感染小児に対するPEG-IFN療法の経験，厚生労働省「C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究班」，平成16年度第1回研究連絡会議，東京，2004.9.4
- ・ 乾あやの，十河 剛，小松陽樹，藤澤知雄：小児期におけるB型およびC型肝炎ウイルス感染症の臨床的検討，平成16年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究推進事業，国際研究グラント「民族とウイルスゲノム相違を背景にしたHBV/HCV感染症の病態と治療抵抗に関わる要因の解明」班会議，国立感染症研究所，東京，2004.8.3

学位取得

- ・ 中西 基：北里大学大学院医療系研究科医学専攻博士課程，2004.9.30

所属学会

- ・ 神崎 仁：日本耳鼻咽喉科学会，日本聴覚医学会，日本めまい平衡医学会，日本耳科学会，日本聴神経腫瘍研究会，

東京メニエール病カンファレンス, 日本頭蓋底学会

- 川口 実: 日本内科学会 (認定医), 日本消火器内視鏡学会 (指導医), 日本消化器病学会 (専門医), 日本実験潰瘍学会, 日本消化器癌発生学会, 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本胃癌学会, 日本病理学会, 日本消化器集団検診学会
- 伊藤 章: 日本感染症学会 (感染症専門医), 日本化学療法学会 (抗菌薬臨床試験指導医), 日本医真菌学会 (専門医), 日本環境感染学会, 日本臨床微生物学会, 日本性感感染症学会, 日本抗生物質学術協議会, 日本内科学会 (認定医), 日本臨床検査医学会 (臨床検査専門医), 日本臨床微生物学会, 神奈川県臨床検査医学会, 神奈川県感染症医学会, 神奈川STD研究会, 日本性感感染症学会, 日本エイズ学会, 日本臨床ウイルス学会, 日本産業衛生学会,
International Society for Human and Animal Mycology (ISHAM)
- 岩崎博幸: 日本外科学会, 日本臨床外科学会, 日本消化器外科学会, 日本内分泌外科学会, 日本内分泌学会, 日本癌治療学会, 乳癌学会, 万国外科学会, アメリカ甲状腺学会
- 唐澤英偉: 日本消化器病学会, 日本画像医学会, 日本超音波医学会, 日本膵臓学会, 日本胆道学会, 日本肝臓学会, 日本内科学会, 日本消火器内視鏡内視鏡学会, 日本放射線医学会, 日本癌治療学会, 日本感染症学会, 東京膵癌研究会, 超音波ドプラ研究会
- 北洞哲治: 日本内科学会, 日本大腸肛門病学会, 日本癌治療学会, 日本腹部救急医学会, 日本ヘリコバクター学会, 日本実験潰瘍学会, 日本救急医学会関東地方会, 日本消化吸収学会, 日本消化器病学会, 日本消火器内視鏡学会, 日本消化器免疫学会, 日本消化器病学会関東地方支部会, 日本内視鏡学会関東地方支部会, 日本機能水学会
- 北村 創: 日本病理学会 (専門医)
- 栗山 学: 日本泌尿器科学会 (専門医, 指導医), 日本化学療法学会, 日本癌治療学会, 日本癌学会, 日本移植学会, 日本腎臓学会 (認定医, 指導医), 日本臨床免疫学会, 日本感染症学会, 日本性機能学会, 日本Endourology・ESWL学会, 日本癌検診学会, 日本泌尿器科学会・腎移植血管外科研究会, 日本透析療法学会 (認定医, 指導医),
Corresponding member of American Urological Association (AUA), Active member of European Society of Urological Oncology and Endocrinology (ESUOE), Corresponding member of European Society of Urology (ESU), Active member of International Society of Urology (SIU), Active member of International Society for Peritoneal Dialysis (ISPD), Fellow of International Union against Cancer (UICC)
- 五來逸雄: 日本産科婦人科学会 (専門医), 日本癌治療学会 (がん治療専門医), 日本婦人科腫瘍学会 (専門医), 日本更年期医学会, 日本骨代謝学会, 日本骨粗鬆症学会, 日本骨形態計測学会, 代謝性骨疾患研究会, 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本婦人科腫瘍学会, エンドメトリオーシス研究会, ASBMR (American Society of Bone and Mineral Research), International Menopause Society, International Gynecological Cancer Society
- 佐々木哲雄: 日本研究皮膚科学会, 日本結合組織学会, 日本臨床免疫学会, 日本リンパ網内系学会, 日本アレルギー学会, 日本リウマチ学会, 日本乾癬学会, マトリックス研究会, 日本褥瘡学会, 神奈川県皮膚科医会, 静岡県皮膚科医会, 横浜市皮膚科医会, 神奈川皮膚科免疫アレルギー懇話会, Society for Investigative Dermatology (Active member)
- 高藤 繁: 日本内科学会 (認定医), 日本呼吸器学会 (専門医), 日本アレルギー学会 (専門医, 指導医), 日本リウマチ学会, 日本血液学会, 日本インターフェロン・サイトカイン学会, 日本アレルギー学会
- 玉城允之: 日本神経学会 (専門医), 日本内科学会 (認定内科医), 日本臨床神経学会, Movement Disorder Society
- 築山久一郎: 日本高血圧学会 (FJSH), 日本臨床生理学会, 日本内科学会 (認定内科医), 日本循環器学会 (専門医)
- 都島基夫: 日本内科学会 (認定医, 指導医), 日本老年医学会 (専門医, 指導医), 日本糖尿病学会 (専門医), 日本循環器学会 (専門医), 日本臨床栄養学会, 日本未病システム学会, 日本動脈硬化学会, 日本臨床生理学会, 日本脈管学会, 日本病態栄養学会, 日本肥満学会, 日本血栓止血学会, 日本疫学学会, 日本内分泌学会, 日本心血管内分

泌代謝学会，国際動脈硬化学会

- ・ 中村治彦：日本外科学会（認定医，専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医，指導医），日本呼吸器学会（専門医，指導医）日本呼吸器内視鏡学会，（専門医，指導医），日本肺癌学会，日本気管食道科学会，日本外科系連合学会，日本臨床外科学会，日本レーザー医学会，日本癌治療病態研究会，日本癌免疫外科研究会，日本肺癌学会，日本呼吸器内視鏡学会，日本遺伝子治療学会
- ・ 藤澤知雄：日本肝臓学会（専門医指導医），日本小児放射線学会，日本学術振興会科学研究費委員会，武蔵野小児肝臓懇話会，神奈川移植医学会，日本小児科学会，日本小児栄養消化器肝臓学会，日本肝不学会，日本小児感染症学会，日本小児肝臓研究会
- ・ 伊藤 淳：日本整形外科学会（専門医），日本リウマチ学会（専門医，指導医），日本リハビリテーション学会，日本リウマチ・関節外科学会，日本肩学会，日本手の外科学会，日本膝学会，関東整形災害外科学会，日本骨折治療学会
- ・ 乾あやの：日本小児科学会，日本小児栄養消化器肝臓学会，日本小児感染症学会，インфекション・コントロール・ドクター（ICD），日本小児神経学会，日本肝臓学会（認定医，指導医），日本小児放射線学会，日本新生児学会，日本病理学会，日本小児肝臓研究会，日本先天代謝異常学会
- ・ 重政朝彦：日本内科学会（認定内科医，認定内科専門医，指導医），日本循環器学会（循環器専門医），日本心臓病学会，日本老年医学会（老年病専門医，老年病指導医），日本内分泌学会（内分泌代謝科（内科）専門医，内分泌代謝科（内科）指導医），日本超音波医学会（超音波専門医，超音波指導医），日本心血管インターベンション学会（認定医），日本心臓リハビリテーション学会（心臓リハビリテーション指導士），日本心血管内分泌代謝学会，日本高血圧学会，日本心臓ペースング・電気生理学学会，日本心エコー図学会，日本冠疾患学会，日本臨床検査医学会，米国内科学会，米国高血圧学会
- ・ 陶山秀夫：日本眼科学会（専門医），日本眼科医会，日本神経眼科学会，日本緑内障学会，日本自律神経学会，日本眼手術学会，日本旅行医学会，日本温泉気候物理医学会
- ・ 高崎二郎：日本小児科学会，日本未熟児新生児学会，日本周産期・新生児医学会，日本神経感染症学会，日本感染症学会，日本小児感染症学会，日本小児神経学会
- ・ 田口雅彦：日本外科学会（専門医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本移植学会，日本レーザー医学会，日本呼吸器学会，日本肺癌学会，日本呼吸器内視鏡学会
- ・ 山田佳彦：日本内科学会，日本糖尿病学会，日本内分泌学会，日本遺伝子診療学会，米国糖尿病学会
- ・ 石川淳哉：日本救急医学会（救急科専門医）
- ・ 板倉敬乃：日本小児科学会，日本周産期・新生児医学会，日本未熟児新生児学会，日本小児保健学会，日本小児科医学会，日本小児呼吸器疾患学会，日本小児感染症学会
- ・ 熊埜御堂浩：日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医），日本気管食道科学会（認定医），日本アレルギー学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，日本めまい平衡医学会，日本鼻科学会，日本口腔咽頭科学会，日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，耳鼻咽喉科臨床学会，日本バイオフィードバック学会，日本小児耳鼻咽喉科研究会，日本耳鼻咽喉科情報処理研究会，日本嚥下研究会
- ・ 土田知史：日本外科学会（認定医），日本消化器外科学会，日本臨床外科学会，日本呼吸器外科学会，肺癌学会，日本胸部外科学会，大腸肛門病学会，日本消化器内視鏡学会，日本消化器病学会，日本内視鏡外科学会
- ・ 中西 基：日本眼科学会，日本眼科医会，日本眼科手術学会，日本網膜硝子体学会
- ・ 花田美穂：日本アレルギー学会，日本皮膚科学会，日本接触皮膚炎学会，日本皮膚アレルギー学会

学会役員

- ・ 神崎 仁：日本耳鼻咽喉科学会（副理事長，評議員），日本聴覚医学会（顧問），日本めまい平衡医学会（参与），

- 日本耳科学会（参与），日本聴神経腫瘍研究会（代表），東京メニエール病カンファレンス（代表），日本頭蓋底学会（名誉会員）
- ・川口 実：日本内科学会，日本消火器内視鏡学会（評議員），日本消化器病学会（評議員），日本実験潰瘍学会（評議員），日本消化器癌発生学会（評議員）
 - ・伊藤 章：日本感染症学会（評議員，ICD），日本化学療法学会（評議員），日本医真菌学会（評議員），日本環境感染症学会（評議員），日本臨床微生物学会（評議員），日本性感感染症学会（評議員），日本抗生物質学術協議会（評議員，機関紙審査委員），神奈川県臨床検査医学会（監事）神奈川県感染症医学会（幹事），神奈川県STD研究会（幹事）
 - ・岩崎博幸：日本外科学会（認定医認定試験中部地区試験委員），日本臨床外科学会（評議員），日本内分泌外科学会（評議員，教育啓蒙委員）
 - ・唐澤英偉：日本消化器病学会（評議員，社会保険委員会委員，専門医制度審議委員会委員），日本画像医学会（理事），日本超音波医学会（評議員，編集委員），日本膵臓学会（評議員，編集委員，社会保険委員），日本胆道学会（評議員，学術賞選考委員），東京膵 癌研究会（世話人），超音波ドブラ研究会（副代表）
 - ・北洞哲治：日本消化器病学会（評議員），日本消火器内視鏡学会（評議員），日本消化器免疫学会（評議員），日本消化器病学会関東地方支部会（評議員），日本内視鏡学会関東地方支部会（評議員），日本機能水学会（理事，第3回学術大会大会長）
 - ・北村 創：日本病理学会（評議員）
 - ・栗山 学：日本泌尿器科学会（Voting Member），日本化学療法学会（評議員），日本性機能学会（評議員），日本癌検診学会（評議員），日本泌尿器科学会・腎移植血管外科研究会（世話人）
 - ・五來逸雄：日本更年期医学会（代表幹事，評議員，学会賞等選考委員），日本骨代謝学会（評議員，骨粗鬆症診断基準検討委員会委員（婦人科代表），骨粗鬆症患者QOL評価検討委員会委員（婦人科代表）），日本骨粗鬆症学会（評議員，広報委員会委員，骨粗鬆症至適薬物療法（A-TOP）研究会委員），代謝性骨疾患研究会（代表世話人），日本産婦人科学会生殖内分泌専門委員会（小委員会委員），厚生省 骨粗鬆症予防ワーキンググループ（委員（婦人科代表）），日本骨粗鬆症財団（助成金交付選考委員会委員）
 - ・佐々木哲雄：日本研究皮膚科学会（評議員），日本結合組織学会（評議員），日本臨床免疫学会（評議員），日本リンパ網内系学会（評議員），神奈川県皮膚科免疫アレルギー懇話会（監事）
 - ・高藤 繁：日本アレルギー学会（代議員，試験委員）
 - ・玉城允之：日本神経学会（評議員）
 - ・築山久一郎：日本臨床生理学会（評議員），日本高血圧学会（功労会員，高血圧治療ガイドライン作成委員会委員）
 - ・伊藤 淳：日本リウマチ学会（評議員）
 - ・都島基夫：日本未病システム学会（常任理事，認定医制委員長），日本臨床栄養学会（理事），日本老年医学会（評議員，雑誌編集委員），日本動脈硬化学会（評議員），日本臨床生理学会（評議員），日本脈管学会（評議員），日本病態栄養学会（評議員），日本肥満学会（評議員）
 - ・中村治彦：日本呼吸器外科学会（評議員，学術委員，専門医認定試験問題作製委員），日本呼吸器学会（用語委員），日本呼吸器内視鏡学会（理事，評議員，指導医認定委員，保険委員），日本肺癌学会（評議員，学術委員，会則改定委員），日本気管食道科学会（評議員，学会誌編集委員），日本外科系連合学会（評議員），日本癌治療病態研究会（世話人），日本肺癌学会（関東部会幹事），日本呼吸器内視鏡学会（関東支部会幹事）
 - ・藤澤知雄：日本肝臓学会（評議員，専門医指導医，研究助成委員会委員，あり方委員会委員），日本小児放射線学会（理事），日本学術振興会科学研究費委員会（専門委員），武蔵野小児肝臓懇話会（世話人代表），神奈川県移植医学会（幹事），日本小児科学会（代議員，和文誌編集委員会委員），日本小児栄養消化器肝臓学会（運営医委員，学術委員長），第21回日本小児肝臓研究会（会長），医学雑誌小児内科（編集委員），日本肝不学会（幹事），日本小児

感染症学会（評議員），日本小児肝臓研究会（運営委員）

- 乾あやの：日本小児栄養消化器肝臓学会（薬事委員），日本肝臓学会（東部会評議員），日本小児放射線学会（評議員），日本小児肝臓研究会（運営委員）
- 重政朝彦：日本内科学会（東海地方会評議員）